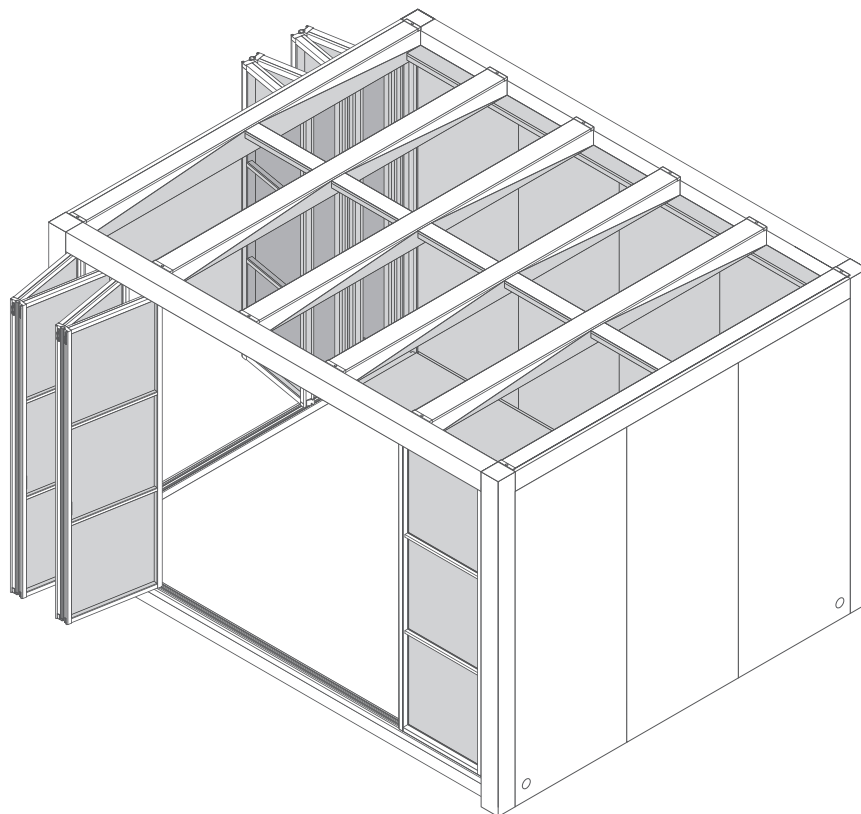




プラスG 離れ



このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。






■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
-  **お願い** ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

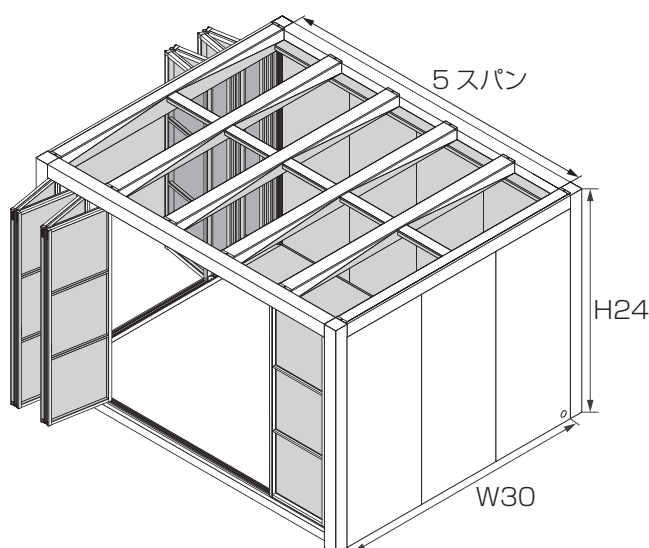
ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

目次

施工上のご注意	3	5 本体の施工	34
施工の前に	3	5-1 Gルーフ フリータイプ枠の取付け	34
施工上のご注意	3	5-2 90角柱 中間用の取付け	36
基礎工事について	4	5-3 床ベースの取付け	37
電気配線工事について	4	5-4 土間見切り材の取付けと基礎の打設	38
施工の後に	4	5-5 Gルーフ フリータイプの取付け	39
梱包明細表	5	5-6 折戸 上レールの取付け	49
1 施工前の重要確認事項	11	5-7 化粧樋(外側排水用)の取付け	51
1-1 離れの商品構成	11	5-8 ボード天井材の取付け	54
1-2 フレーム寸法と柱の垂直・フレームの直角の確認	13	5-9 Gウォール 下地材の取付け	71
1-3 連棟制限	14	5-10 Gウォール ラッピングボードの取付け	83
1-4 化粧樋の配置と納まり	15	5-11 Gウォール 止水処理	84
1-5 ボード天井材とGウォール ラッピングボードの保管	16	5-12 折戸 縦枠ベースの取付け	85
1-6 Gウォールの巾木と床仕上げ材との取り合い	16	5-13 折戸 下レールの取付け	86
1-7 仕上げ面の確認	16	5-14 折戸 調整縦枠の仮置き	87
1-8 折戸 調整FIXパネル取付け向きの確認(5スパンの場合)	17	5-15 折戸 調整FIXパネルの取付け(5スパンの場合)	89
1-9 エアコンを取付ける場合の注意点	17	5-16 折戸 下レール回転ブレードの取付け	92
1-10 断熱材を取付ける場合の注意点	18	5-17 折戸 折戸パネルの取付け	94
2 各部名称と基本寸法	20	5-18 折戸 レールピースの取付け	99
2-1 各部名称	20	5-19 折戸 調整縦枠の取付け	100
2-2 基本寸法	23	5-20 折戸 折戸の動作確認	101
2-3 断面納まり	26	5-21 水抜き穴の加工	102
3 基礎と配線工事	30		
3-1 基礎工事	30		
3-2 配線工事	31		
4 施工の流れ	32		

【 本取付説明書は下記の離れプランについての取付説明になります。
 【 下記以外の商品構成またはサイズの場合は、各商品の取付説明書を参照してください。 】



【商品構成】

柱	: 150角柱 (H24)
フレーム	: 150角フレーム
屋根	: Gルーフ フリータイプ
天井	: ボード天井材 (断熱材あり)
壁	: Gウォール ラッピングボード仕様 (断熱材あり) (W30用、5スパン用)
開口部	: 折戸 (W30用、5スパン用)

□ 施工の前に

! 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損することがあります。
- 本製品は必ず2人以上で施工を行ってください。

💡 お願い

- 本取付説明書は、プラスG 離れ 商品構成の一例の内容になります。
異なる商品構成で施工を行う場合、部分的に各商品の取付説明書を参照してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 使用するシーリング剤は、以下のアルコール系シーリング剤を現場で手配してください。
 - ・信越化学工業(株)「シーラント72」
 - ・モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)「トスシール380」
 - ・ダウ・東レ(株)「SE960」
- 屋根に断熱材を取付ける場合は、下記に注意して取付けを行ってください。
 - ・必ず乳白色の屋根材と併用して使用してください。
 - ・シャープホワイト色の屋根材を使用した場合、断熱材が耐候性劣化するおそれがあります。

□ 施工上のご注意

! 注意

- ボルト、ねじ、ナットは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
強度低下などの原因になります。
〈推奨トルク〉
 - ※φ4ねじ、ナット:2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
 - ※φ5ねじ:3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ねじなどにゆるみがないか確認してください。
- 両面テープを貼付する際は、下記の点に留意して施工を行ってください。
 - ・貼付面に水濡れのない事を確認し、汚れ・油分を取除きローラーや指等(5kg/cm²)で押し付けて十分に圧着してください。
十分に圧着されていない場合、接着力が低下し剥がれるおそれがあります。
 - ・気温が5℃以上の環境で施工を行うか、あらかじめ両面テープおよび貼付する部材を温めてから施工を行ってください。
気温が5℃未満の低温下では両面テープの初期接着力が低下するおそれがあります。
 - ・両面テープの貼付後は十分な養生期間を確保してください。
両面テープの接着強度は、圧着直後で最終強度の1/3、1時間経過で2/3まで向上、72時間経過で最終強度となります。

□ 施工上のご注意

💡 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 給湯機や暖房機等の熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

□ 基礎工事について

⚠ 注意

- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

💡 お願い

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

□ 電気配線工事について

⚠ 注意


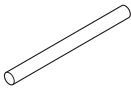
- PF管は現場で別途手配してください。
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。
- DC12V用照明取付けにはトランス電源ユニットと電源ケーブルを別途手配してください。
- LED照明（ダウンライト・表札灯）はDC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。



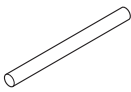


□ 施工の後に


💡 お願い

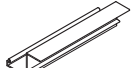

- 取扱説明書と折戸外錠用キー（3本）は施主様にお渡しください。

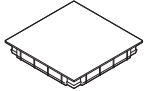

梱包明細表

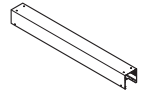



【1】 柱 (150角柱) セット		
名 称	略 図	員 数
		H24
柱		1
アンカー棒		1

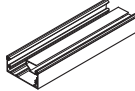




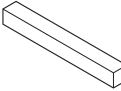



【2】 柱 中間用 (90角柱) セット		
名 称	略 図	員 数
		H24
柱 中間用		1
中間柱取付金具		1
アンカー棒		1
【2a】φ5×16ナベドリねじ		4
【2b】φ5×30ナベタッピンねじ2種 D=9 G=5		4

【3】 フレーム150角セット				
名 称	略 図	員 数		
		W30	W40	W60
フレーム 150角		1	1	1
150角フレーム スリーブ		2	2	2
フレームカバー 150角		1	1	2
フレーム取付金具 150角		2	2	2
フレームカバー 150角 取付金具		7	9	14
【3a】φ4×10トラスタッピンねじ3種		7	9	14
【3b】φ5×16ナベドリねじ		18	18	18
【3c】φ5×70ナベドリねじ		16	16	16

【4】 150角フレーム用スクリーン隙間カバーセット				
名 称	略 図	員 数		
		W20	W30	W40
隙間カバー		2	2	2
【4a】φ4×16ナベドリねじ		10	12	14

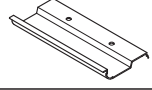
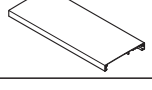

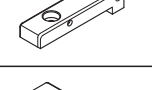
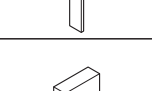


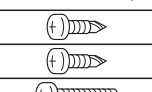



【5】 150角柱キャップセット		
名 称	略 図	員 数
150角柱キャップ		1
キャップ取付部材		4

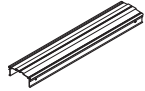
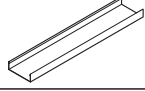
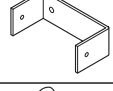


【6】 中間フレームセット		
名 称	略 図	員 数
		W30
中間フレーム		1
中間フレーム取付金具		2
【6a】φ5×19ナベドリねじ		12
【6b】φ5×20ナベタッピンねじ2種G=5		4

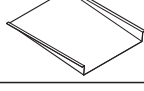
【7】 雨樋セット				
名 称	略 図	員 数		
		4スパン	5スパン	6スパン
樋		1	1	1
樋端部取付材		2	2	2
樋端部カバー		2	2	2
雪下ろし指示シール(600タイプ)		1	1	1
屋根固定材端部止水材 端部		2	2	2
屋根固定材端部止水材 中間		3	4	5
【7a】φ4×16サラタッピンねじ2種G=8		4	4	4
【7b】φ4×19ナベドリねじ		4	4	4
【7c】φ4×13ナベドリねじ		3	4	5


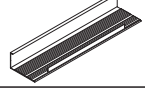
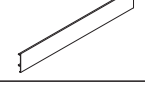
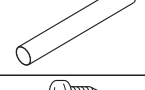

梱包明細表

梱包明細表

【8】 ルーフ取付枠セット			
名 称	略 図	員 数	
		W30 1スパン	W30 延長
屋根固定材 中間		—	1
屋根固定材 端部		2	—
屋根固定材カバー 端部		2	—
屋根固定材カバー 中間		—	1
屋根固定材 棟木		1	1
固定材キャップ 端部L		2	—
固定材キャップ 端部R		2	—
固定材キャップ 中間		—	2
パネル止水ビート材 W15・W30用		2	2
屋根固定材 (棟木・1列用) 止水材		2	2
パネル側面止水材		6	6
パネル端水切材 端部用		4	—
パネル端水切材 中間用		—	2
防水テープ ダブル		2	2
屋根材スペーサー		2	2
棟木端部表面保護テープ		2	2
【8a】φ4×13ナベドリルねじ		22	10
【8b】φ4×19ナベドリルねじ		8	6
【8c】φ4×30ナベタッピンねじ2種 G=5		8	4
【8d】防水座金M4		8	6
【8e】防水座金M5		12	—

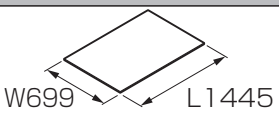
【9】 棟木セット		
名 称	略 図	員 数
棟木上側		1
棟木下側		1
棟木取付金具		2
【9a】φ4×10トラスタッピンねじ3種		4
【9b】φ4×15ナベタッピンねじ2種G=5		4

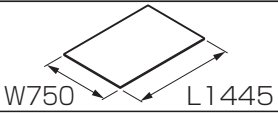
【10】 屋根材セット		
名 称	略 図	員 数
		W30 2枚入
屋根材		2

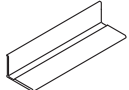




【11】 化粧樋 (外側排水用) セット		
名 称	略 図	員 数
		H24
化粧樋(ベース部)		1
化粧樋(意匠部)		1
化粧樋(カバー材)		1
豎樋		1
【11a】φ4×13ナベドリルねじ		15

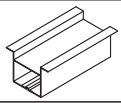
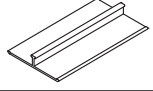
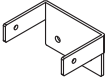



梱包明細表


【12】エルボセット		
名称	略 図	員 数
エルボ		1
エルボアタッチメント		1
エルボキャップ(L/R)		L:1/R:1
エルボアタッチパッキン		1
エルボキャップパッキン(Oリング)		2
エルボパッキン		2
92° エルボ		1
排水部アタッチメント		1
【12a】φ4×10トラスタッピンねじ3種(D=8)		2
【12b】φ4×16トラスタッピンねじ3種(D=8)		6
【12c】φ4×20ナベタッピンねじ2種(G=5)		3

【13】ボード天井材 端部用		
名称	略 図	員 数
ボード天井材	 W699 L1445	2

【14】ボード天井材 中間用		
名称	略 図	員 数
ボード天井材	 W750 L1445	2

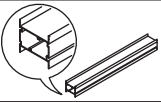
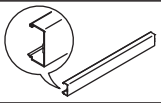
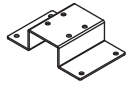


【15】端部カバーセット		
名称	略 図	員 数
端部受け材		2
端部見切りカバー A		2
端部見切りカバー B (L=2000)		4
【15a】φ4×13サラドリルねじ(D7)		55
【15b】φ4×8ナベタッピンねじ2種		17
取付説明書 ボード天井材-〈EXM155〉	—	1

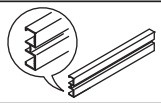

【16】中間カバーセット		
名称	略 図	員 数
連結カバー受け		1
連結カバー		1
連結カバー受け固定金具		2
【16a】φ4×13ナベドリルねじ		12
【16b】φ4×12トラスタッピンねじ3種		4
【16c】φ4×13サラドリルねじ(D7)		55








【17】天井吊部材セット			
名称	略 図	員 数	
		端部用	中間用
縦材 A		1	2
縦材 B		1	—
縦材 C		1	—
端部用縦材受け A		1	—
端部用縦材受け B		1	—
中間用縦材受け		—	1
天井材共通スペーサー		—	3
ねじスペーサー		—	2
【17a】φ4×13ナベドリルねじ		11	—
【17b】φ4×16ナベドリルねじ		—	3
【17c】φ4×35ナベドリルねじ		—	6

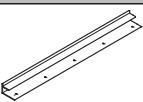

梱包明細表

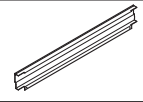
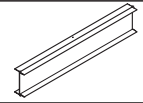

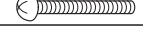

梱包明細表

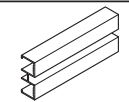

【18】 中間支柱セット		
名 称	略 図	員 数
		H24
中間支柱		1
中間支柱ふかし材		2
中間支柱取付金具		1
【18a】φ5×25ナベドリップねじ2種		2
【18b】φ5×16ナベドリップねじ		4



【19】 柱ふかし材セット		
名 称	略 図	員 数
		H24
中間柱ふかし材		2
【19a】φ4×25ナベドリップねじ		14

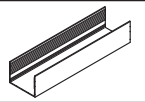

【20】 ラッピングボード用コーナー枠セット		
名 称	略 図	員 数
		H24
ボード用出隅コーナー部材		1
入隅コーナー部材		1
端部ふかし材		1
端部ふかし材巾木取付用		2
上部見切り出隅コーナー部品		1
【20a】φ4×16ナベドリップねじ		22
【20b】φ4×10トラスタッピンねじ3種		2

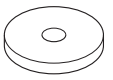
【21】 上部見切りセット				
名 称	略 図	員 数		
		W10	W20	W30
上部見切り材		2	2	2
【21a】φ4×16ナベドリップねじ		6	10	14

【22】 巾木セット				
名 称	略 図	員 数		
		W10	W20	W30
巾木		2	2	2
下枠		1	2	2
【22a】φ4×16ナベドリップねじ		6	10	14
【22b】φ4×35トラスタッピンねじ		2	2	2
【22c】ノーブルアンカー NA-3		2	2	2
取付説明書 Gウォール<EXM017>	—	1	1	1
取扱説明書 Gウォール<UC019>	—	1	1	1

【23】 中間横材セット		
名 称	略 図	員 数
		W10
中間横材		4
【23a】φ4×25ナベドリップねじ3種		12

【24】 ラッピングボードセット		
名 称	略 図	員 数
		H24
ラッピングボード端部用		2
ラッピングボード中間用		2

【25】 パネル取付部材セット		
名 称	略 図	員 数
		H24
パネル取付部材		1
【25a】φ4×16ナベドリップねじ		12

【26】 両面テープセット		
名 称	略 図	員 数
両面テープ 33m巻き		1

梱包明細表

【27】 上下レールセット				
名 称	略 図	員 数		
		W30/4スパン	5スパン	6スパン
パネル召し合わせ部品セット		1	1	2
下レール		1	1	1
上レール		1	1	1
上レールピース材		1	1	1
下レールミゾ塞ぎ材		-	1	-
下レール回転材受け		1	1	1
上レールアタッチ材(調整フィックス用)		-	1	-
下レールピース		1	1	1
[27a]φ4×12サラタツピンねじ3種(ブラック)		-	2	-
[27b]φ4×8ナベタツピンねじ3種(生地)		7	7	10
[27c]φ4×16ナベドリルねじD=8.2(ブラック)		7	9	10
[27d]φ4×16ナベドリルねじD=8.2(ブロンズ)		9	10	12

【28】 回転ブレードセット			
名 称	略 図	員 数	
		W30/4スパン/5スパン	6スパン
回転ブレード端部用(外観右)		1	1
回転ブレード端部用(外観左)		1	1
回転ブレード中間用		-	1

【29】 縦枠セット				
名 称	略 図	員 数		
		5スパン(右用)	5スパン(左用)	W30/4スパン/6スパン
調整FIX戸当り枠		1	1	-
調整縦枠		1	1	2
縦枠カバー 下部用		2	2	2
縦枠カバー 基本用		2	2	2
縦枠ベース 外観右用		1	1	1
縦枠ベース 外観左用		1	1	1
調整FIX吊元部材		1	1	-
FIXキャップ下用 外観右用		1	-	-
FIXキャップ下用 外観左用		-	1	-
FIXキャップ上用 外観右用		1	-	-
FIXキャップ上用 外観左用		-	1	-
調整FIXキャップ下用 外観右用		-	1	-
調整FIXキャップ下用 外観左用		1	-	-
調整FIXキャップ上用 外観右用		-	1	-
調整FIXキャップ上用 外観左用		1	-	-

梱包明細表

梱包明細表

【29】 縦枠セット (つづき)				
名 称	略 図	員 数		
		5スパン (右用)	5スパン (左用)	W30/4スパン/6スパン
調整縦枠キャップ下用 外観右用		1	-	1
調整縦枠キャップ下用 外観左用		-	1	1
調整縦枠キャップ上用 外観右用		1	-	1
調整縦枠キャップ上用 外観左用		-	1	1
[29a]φ4×10特サラタッピンねじ2種D=6(生地)		2	2	4
[29b]φ4×13サラドリルねじD=6(生地)		2	2	-
[29c]φ4×16ナベドリルねじ(生地)		22	22	18

【30】 床ベース・土間見切り材セット		
名 称	略 図	員 数
		W30/4スパン/5スパン/6スパン
床ベース		1
土間見切り材		1
下レール取付部材用金具		2
[30a]φ4×16ナベドリルねじ(生地)		11

【31】 パネルA (外鍵付き) セット		
名 称	略 図	員 数
		W30/4スパン/5スパン/6スパン
パネルA(外鍵付き)		1
外鍵用キー		3

【32】 パネルB (落し棒付き) セット		
名 称	略 図	員 数
		W30/4スパン/5スパン/6スパン
パネルB(落し棒付き)		1

【33】 パネルCセット		
名 称	略 図	員 数
		W30/4スパン/5スパン/6スパン
パネルC		1

【34】 FIXパネルセット		
名 称	略 図	員 数
		5スパン
FIXパネル		1

【35】 折戸パネル部品セット			
名 称	略 図	員 数	
		2セット	3セット
パネル小口キャップ連結受け側 下用		2	3
パネル小口キャップ連結受け側 上用		2	3
閉時節度部品B		2	3
[35a]φ5×12トラスタッピンねじ3種D=10(ブロンズ)		15	22
[35b]M4×8ナベ小ねじ(ブロンズ)		5	7
[35c]φ4×13ナベドリルねじ(ブロンズ)		3	4

【36】 施工キット		
名 称	略 図	員 数
		W30/4スパン/5スパン/6スパン
シリコンスプレー		1
取付説明書 折戸-<EXM087>	-	1
取扱説明書 折戸-<EXM090>	-	1

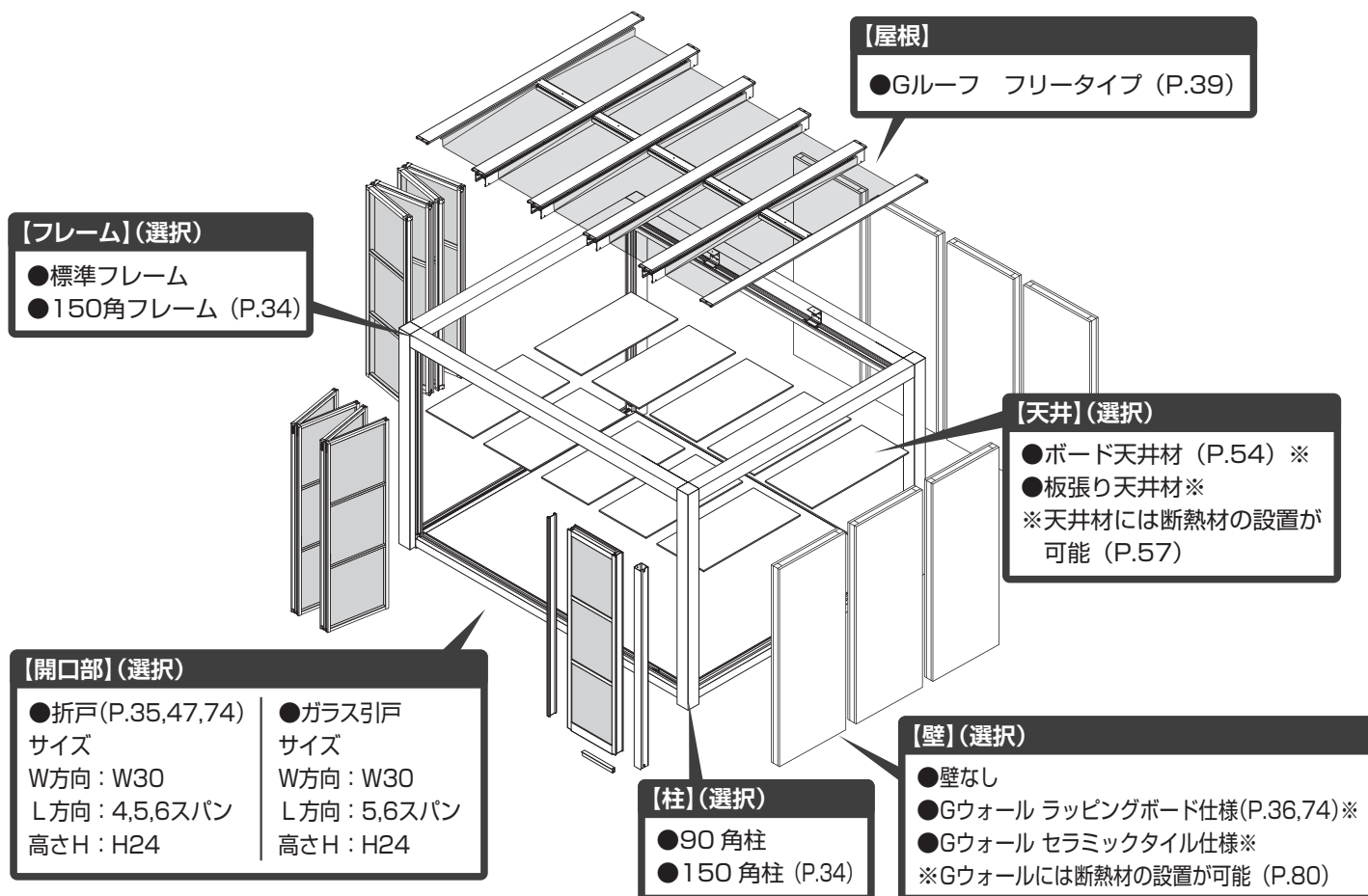
【37】 フレーム施工キットA		
名 称	略 図	員 数
フレーム取付穴位置治具		1
取付説明書 Gフレーム-<E248>	-	1
取扱説明書 Gフレーム-<UE067>	-	1

【38】 ルーフ施工キットB		
名 称	略 図	員 数
ルーフ取付穴位置治具		1
穴隠しシール		4
取付説明書 Gルーフフリータイプ-<E258>	-	1
取扱説明書 Gルーフフリータイプ-<UE071>	-	1

【39】 断熱材セット			
名 称	略 図	員 数	
		6枚入り	8枚入り
断熱材ルーフ用 (加工あり)		6	8
断熱材ウォール用		6	8

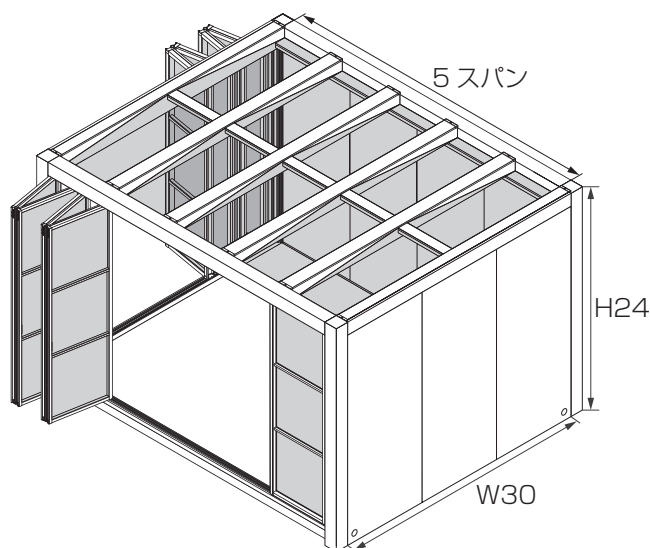
1 施工前の重要確認事項

1-1 離れの商品構成



💡 お願い

- 上記から商品を選択し、離れの構成を決定してください。
- 6スパンの開口部アイテムを設置する場合、柱・フレームは必ず150角を使用してください。
- 立面に開口部アイテムを1面でも設置する場合は、必ず4面全てを壁と開口部で囲って開放面を作らないでください。(4面全てに開口部アイテムを設置することができます。)
- 1棟の離れで開口部アイテムを統一してください。
- 以降、本取付説明書は下記の離れプランについての取付説明になります。
下記以外の商品構成またはサイズの場合は、各商品の取付説明書を参照してください。



【商品構成】

柱	: 150角柱 (H24)
フレーム	: 150角フレーム
屋根	: Gルーフ フリータイプ
天井	: ボード天井材 (断熱材あり)
壁	: Gウォール ラッピングボード仕様 (断熱材あり) (W30用、5スパン用)
開口部	: 折戸 (W30用、5スパン用)

1 施工前の重要確認事項

1-1 離れの商品構成

つづき

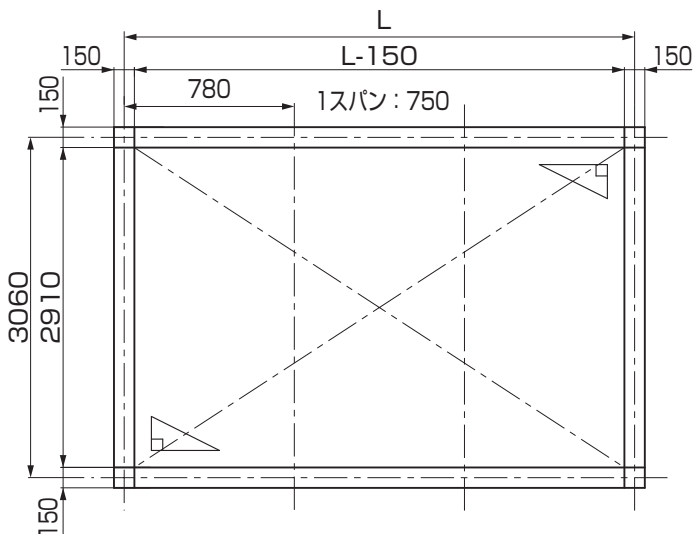
取付説明書区分

商品	使用する取付説明書	取説コード
90角柱・標準フレーム	Gフレーム	E248
150角柱・150角フレーム		
Gルーフ フリータイプ	Gルーフ フリータイプ	E258
板張り天井材	Gルーフ 天井材フリータイプ	EXM154
ボード天井材	Gルーフ フリータイプ ボード天井材	EXM155
Gウォール ラッピングボード仕様	Gウォール	EXM017
Gウォール セラミックタイル仕様		
折戸	Gスクリーン 折戸	EXM087
ガラス引戸	Gスクリーン ガラス引戸	EXM016
断熱材	プラスG 離れ	EXM107

1 施工前の重要確認事項

1-2 フレーム寸法と柱の垂直・フレームの直角の確認

▼ フレーム寸法 ▼



	L(柱芯々寸法)
4スパン	3060
5スパン	3810
6スパン	4560

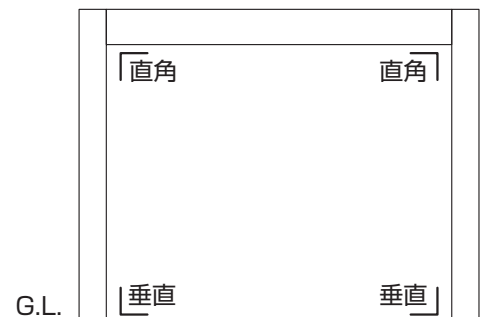
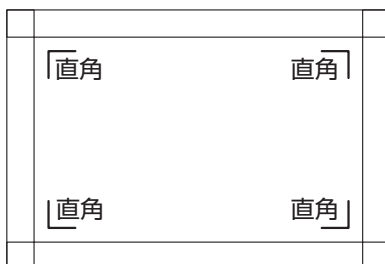
💡 お願い

- フレーム寸法を確認し、必要に応じてフレームの切断・加工を行ってください。
- 上記のフレーム寸法は150角フレームを使用した寸法になります。
標準フレームを使用する場合、取付説明書 Gルーフ フリータイプ<E258>をご確認ください。

▼ 柱の垂直・フレームの直角の確認 ▼

💡 お願い

- 柱およびフレームの垂直、フレームの直角は必ず確認してください。

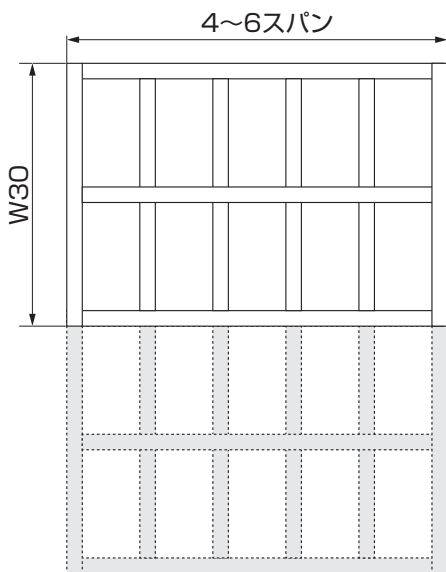


1 施工前の重要確認事項

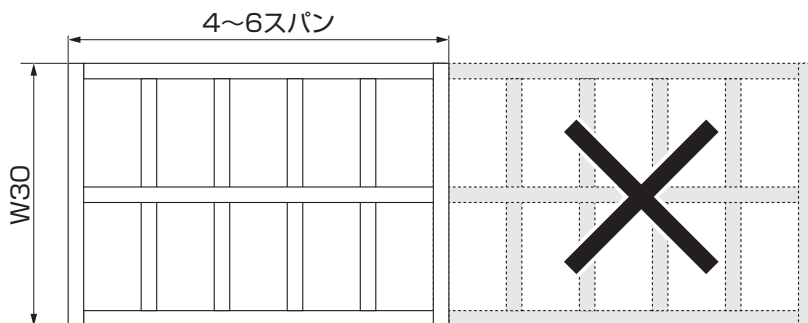
1-3 連棟制限

1 施工前の重要確認事項

▼ W連棟 ▼



▼ スパン連棟 ▼



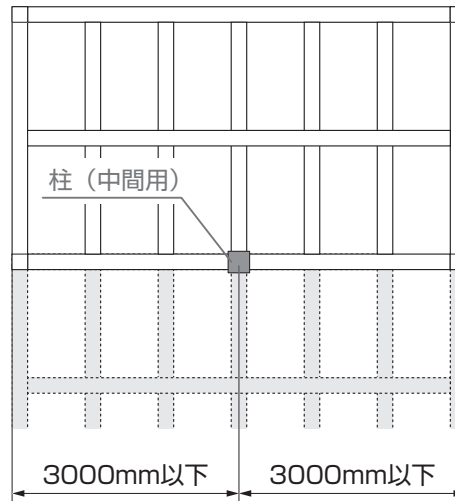
● 離れの連棟制限

サイズ		W連棟	スパン連棟
W	スパン		
W30	4スパン	○	×
	5スパン	△	×
	6スパン	△	×

○：可能 △：条件付きで可能 ×：不可

📍 お願い

- スパン方向への連棟はできません。
- W方向への連棟は、下記に従って行ってください。
 - ・ 4スパンの場合、連棟することができます。
 - ・ 5スパンまたは6スパンの場合、連棟部のフレームに柱ピッチ3000mm以下で柱(中間用)を追加することにより連棟可能になります。

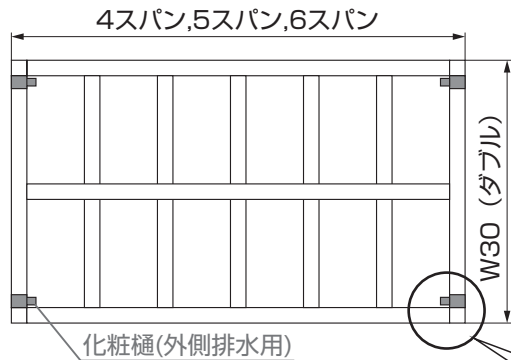


1 施工前の重要確認事項

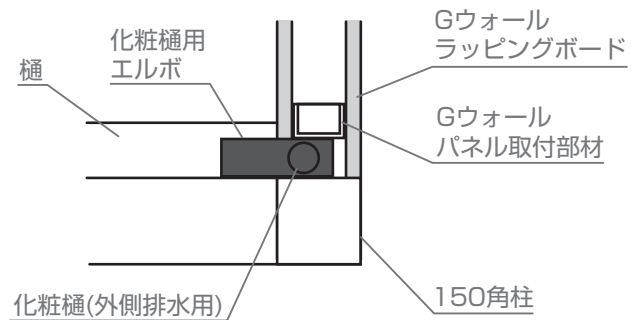
1-4 化粧樋の配置と納まり

お願い

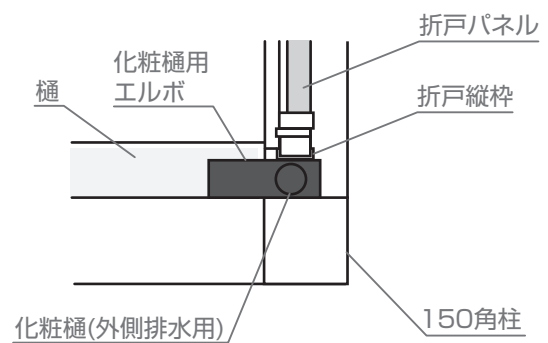
- 離れの場合サイズ（スパン数）にかかわらず、必ずW30側の柱内側4か所に化粧樋を設置する必要があります。
- 化粧樋はすべて外側排水用を使用してください。



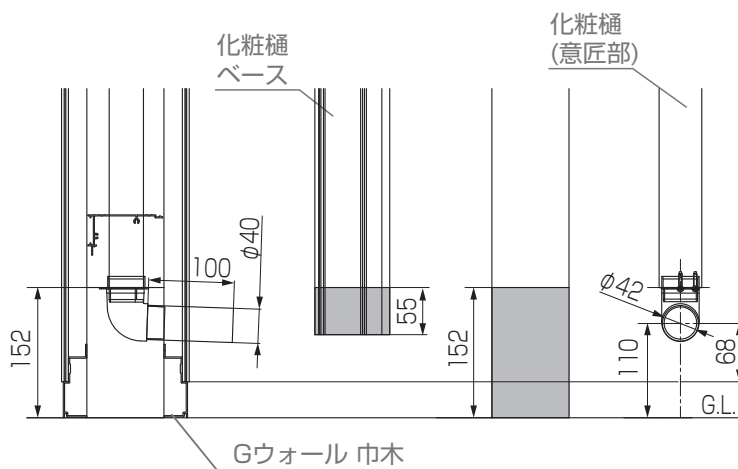
▼ W30がGウォールの場合の納まり ▼



▼ W30が折戸の場合の納まり ▼



▼ W30がGウォールの場合の下部納まり ▼



お願い

- Gウォール施工の場合、化粧樋（ベース）の長さを55mm切断してください。
- Gウォール施工の場合、化粧樋（意匠部）の長さを152mm切断してください。
- 化粧樋に同梱されている縦樋φ40は、現場で取付ける寸法を測って切断して使用してください。
- Gウォールのラッピングボードに外側排水用の縦樋穴あけまたは、切り欠き加工を現場でしてください。

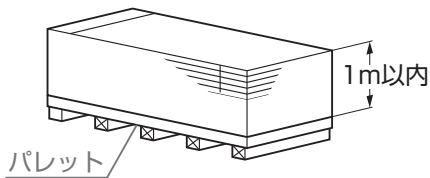
1 施工前の重要確認事項

1-5 ボード天井材とGウォール ラッピングボードの保管

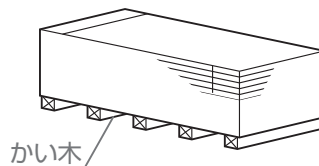
お願い

- 必ずパレットの上に置き、屋内で保管してください。やむを得ずパレットの上に置けない場合には、角材を5本以上をかい木にし、不陸のないよう水平に置いてください。
- 施工現場でやむを得ず屋外に保管する場合は、防水シート、その他適当なものでおおい、雨や飛沫のかからないように保護してください。
- 積み重ねの高さは1メートル以内にしてください。

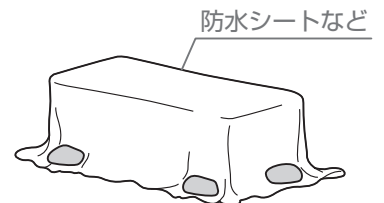
▼パレット積みの場合▼



▼パレット積みでない場合▼



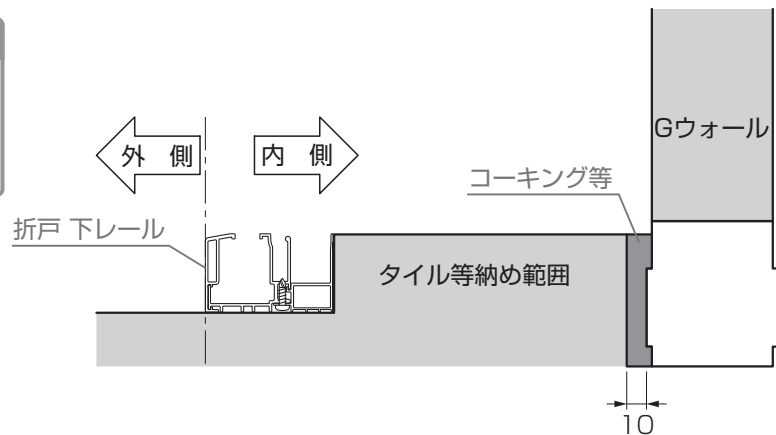
▼屋外保管する場合▼



1-6 Gウォールの巾木と床仕上げ材との取り合い

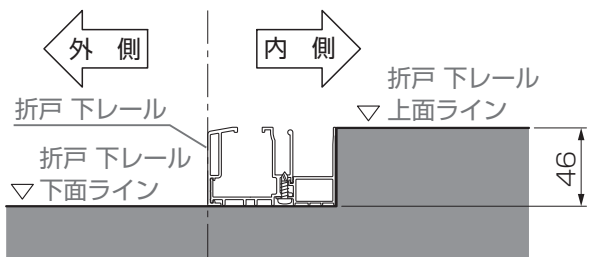
お願い

- Gウォールの巾木とタイル等の床仕上げ材の間には10mm程度の隙間を空け、コーキング等で埋めてください。

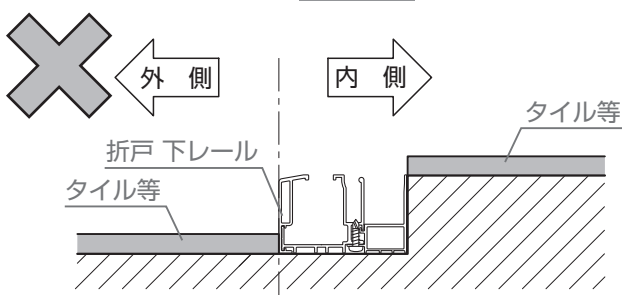


1-7 仕上げ面の確認

- 室外側の仕上げは、折戸 下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。
- 室内側を立ち上げる場合は、室内側を折戸 下レール上部と同じか低くなるように仕上げてください。



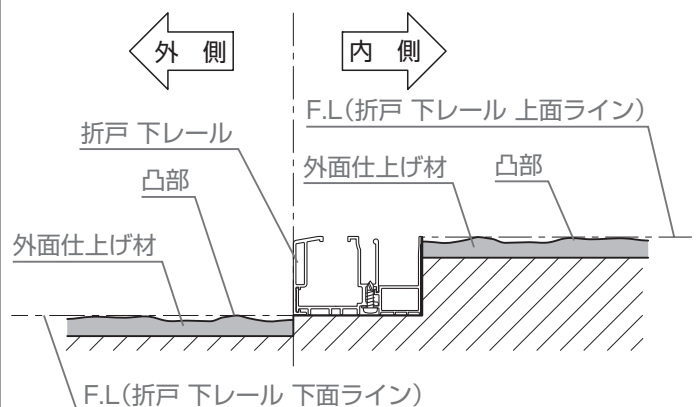
■ : タイル等の納め範囲



お願い

▼凹凸が大きいタイル等を使用する場合▼

- 凹凸の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が折戸 下レール上面より高くないように仕上げてください。同様に、室外側は折戸 下レール下面より凸部が高くないように仕上げてください。

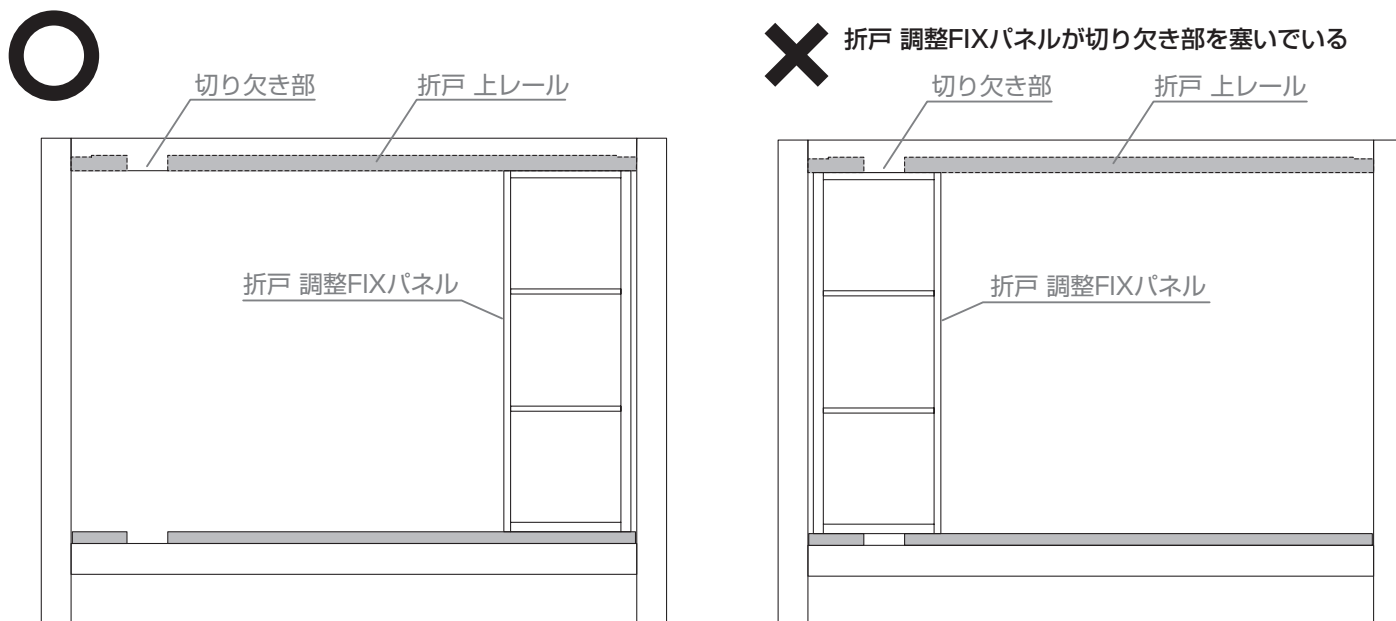


1 施工前の重要確認事項

1-8 折戸 調整FIXパネル取付け向きの確認 (5スパンの場合)

🔦 お願い

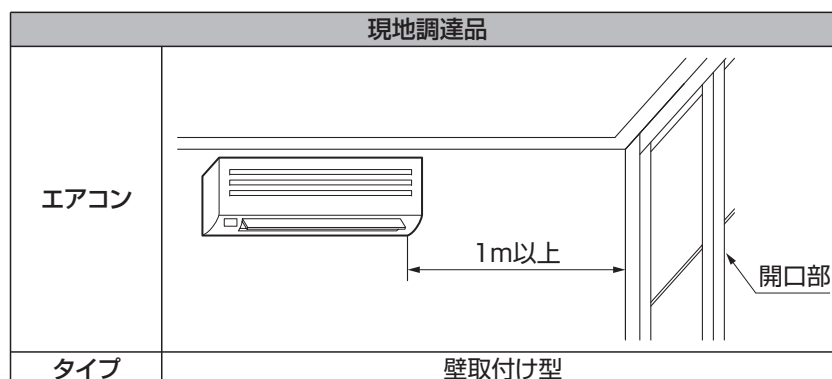
- 折戸 5スパンの場合は、左右端いずれかに調整FIXパネルを取付ける必要があります。
- 折戸 調整FIXパネルの取付け向きと、折戸を吊込むための切り欠き部が重ならないように、取付け時は注意してください。



1-9 エアコンを取付ける場合の注意点

🔦 お願い

- 離れにエアコンを取付ける場合は、必ず立面の4面全てを壁と開口部で囲って1面以上をGウォールにしてください。また、エアコン取付け用に中間横材セットを手配してください。
※中間横材の取付けはP.78の「5-9-8 中間横材の取付け」を参照してください。
- エアコンはGウォールにのみ取付けることができます。天井面や開口部への取付けはできません。
- エアコンは現地調達品となります。適した製品を選択してください。
- プラスG離れには住宅家屋のような水密性、気密性はありません。エアコンは開口部から1m以上離れた場所に設置してください。また、漏電などに備え、漏電遮断器を使用し燃えやすいものを近くに置かないなど、安全対策を行ってください。

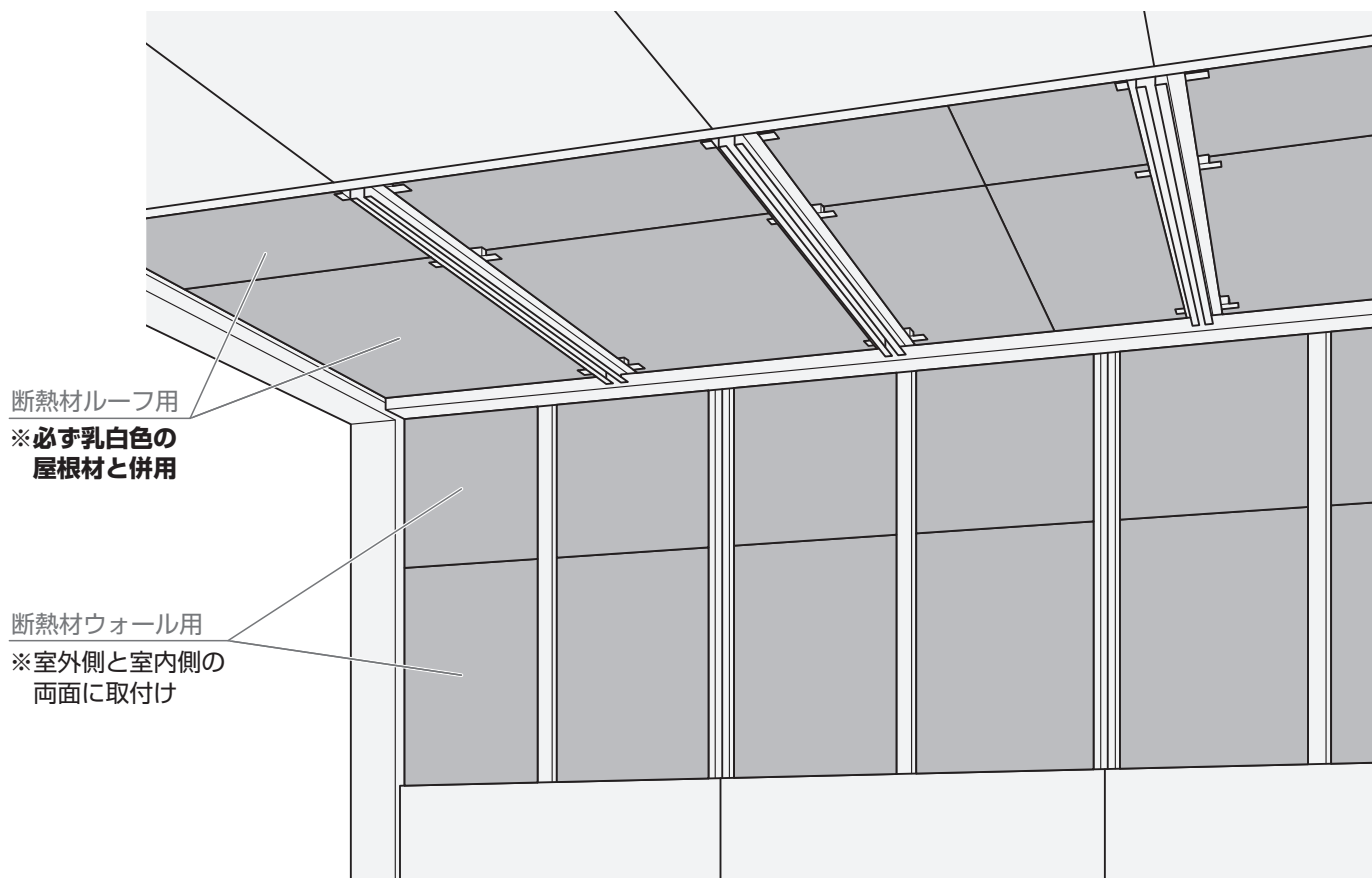


- Gウォール ラッピングボード仕様にエアコンを取付ける場合は、ラッピングボードへ配管穴や据付板用穴の加工が必要になります。
 - Gウォール セラミックタイル仕様にエアコンを取付ける場合、下記に注意して取付けを行ってください。
 - ・下地ボードとセラミックタイルへ配管穴や据付板用穴の加工が必要になります。
 - ・下記の①～③の手順で取付けを行うと配管や電源線の通線がしやすくなります。
- ①下地ボードを上下で切断し、エアコンを取付ける部分の下地ボードとセラミックタイルを先に貼り付ける
 - ②エアコンを取付け (配管・電源線)
 - ③残りの下地ボードとセラミックタイルを貼り付ける

1-10 断熱材を取付ける場合の注意点

🔦 お願い

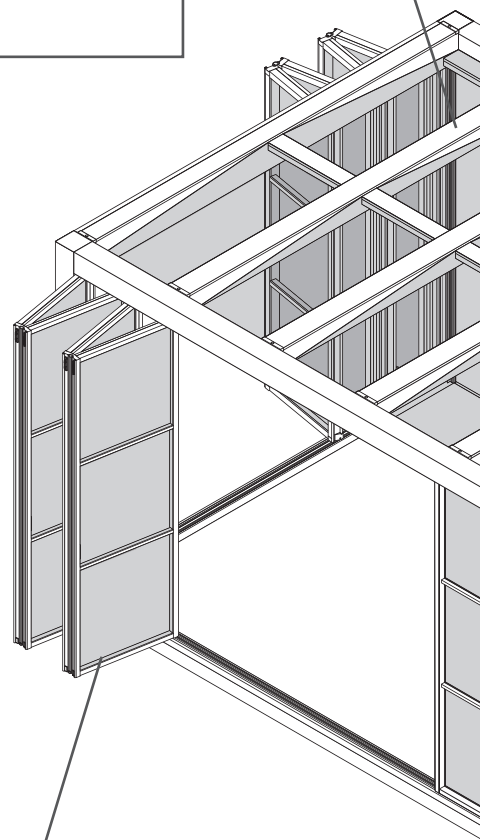
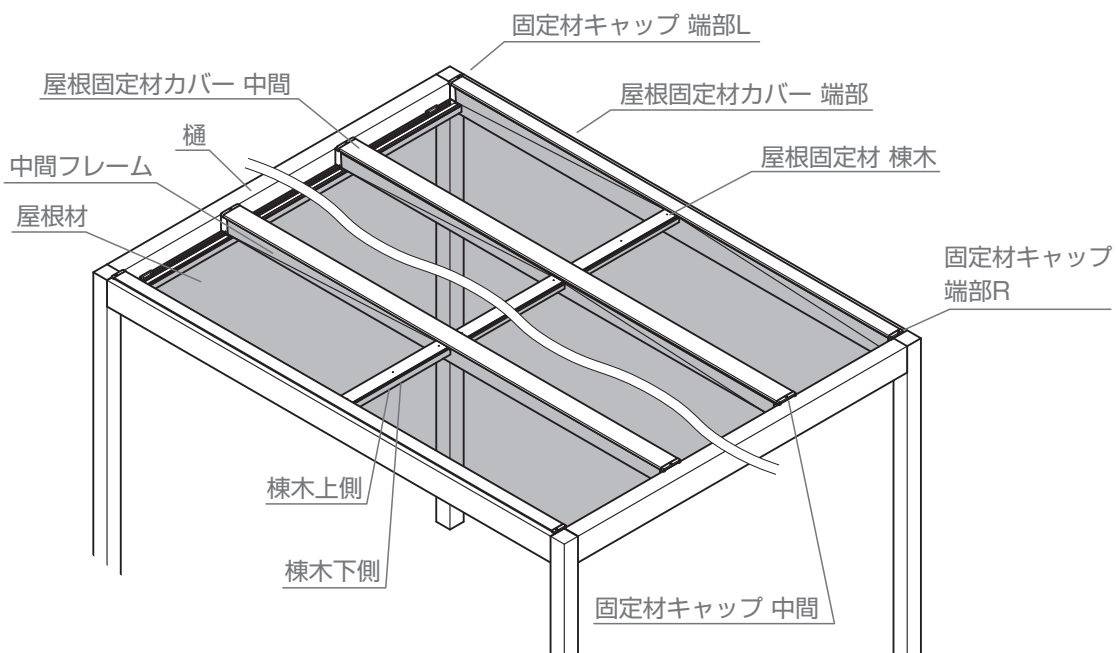
- 壁に断熱材を取付ける場合は、下記に注意して取付けを行ってください。
 - ・ Gウォールの室外側と室内側の両面に断熱材を取付けてください。
- 屋根に断熱材を取付ける場合は、下記に注意して取付けを行ってください。
 - ・ **必ず乳白色の屋根材と併用して使用してください。**
シャープホホワイト色の屋根材を使用した場合、断熱材が耐候性劣化するおそれがあります。
 - ・ 天井材（板張り天井材または、ボード天井材）との併用する場合のみ取付けが可能です。
 - ・ W30×2スパン～7スパンのGルーフフリータイプに取付けが可能です。



2 各部名称と基本寸法

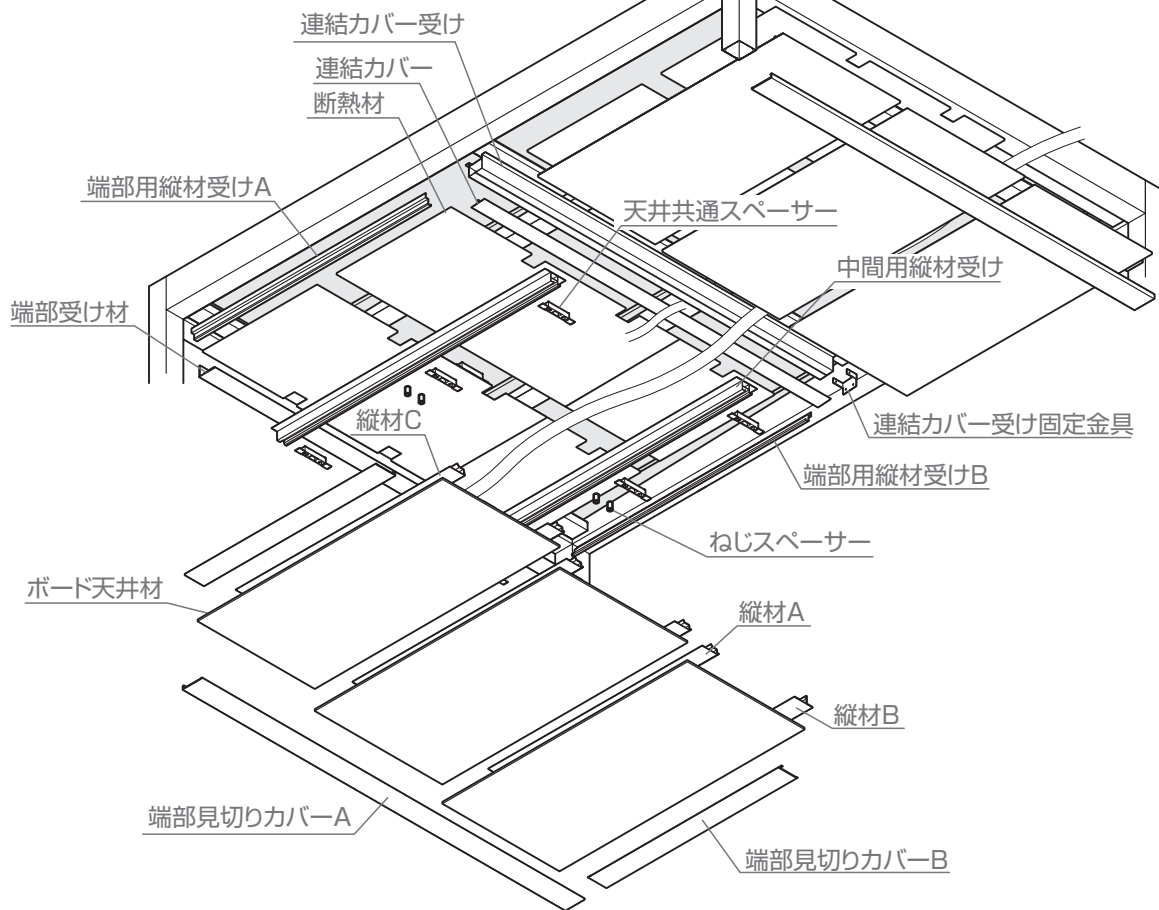
2-1 各部名称

Gルーフ フリータイプ

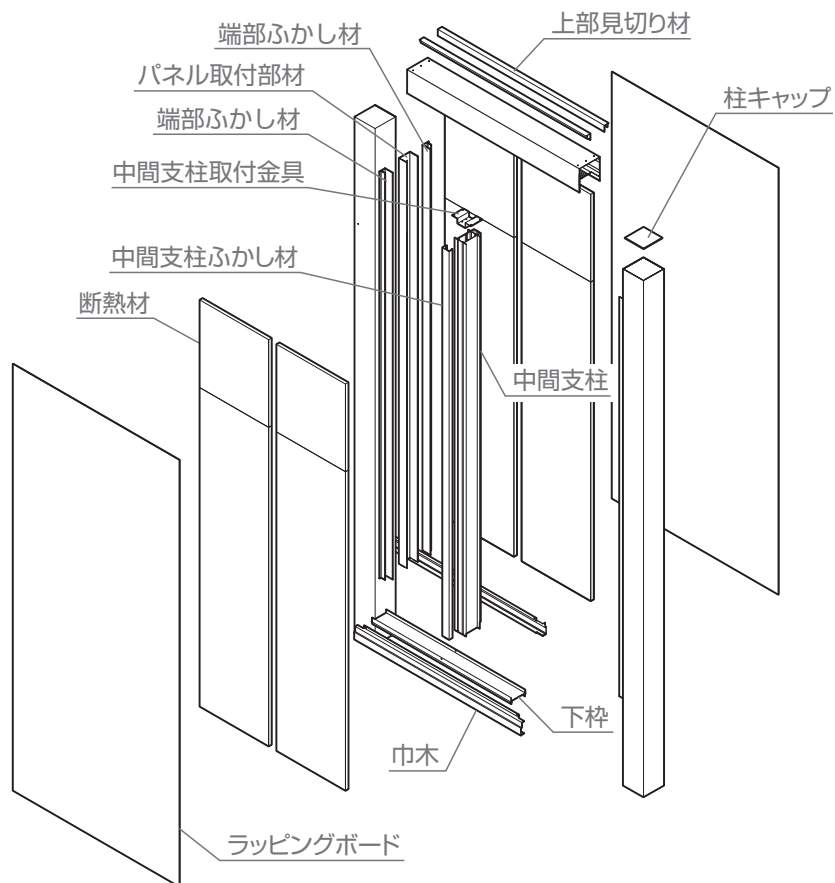


折戸はP.22を参照

ボード天井材

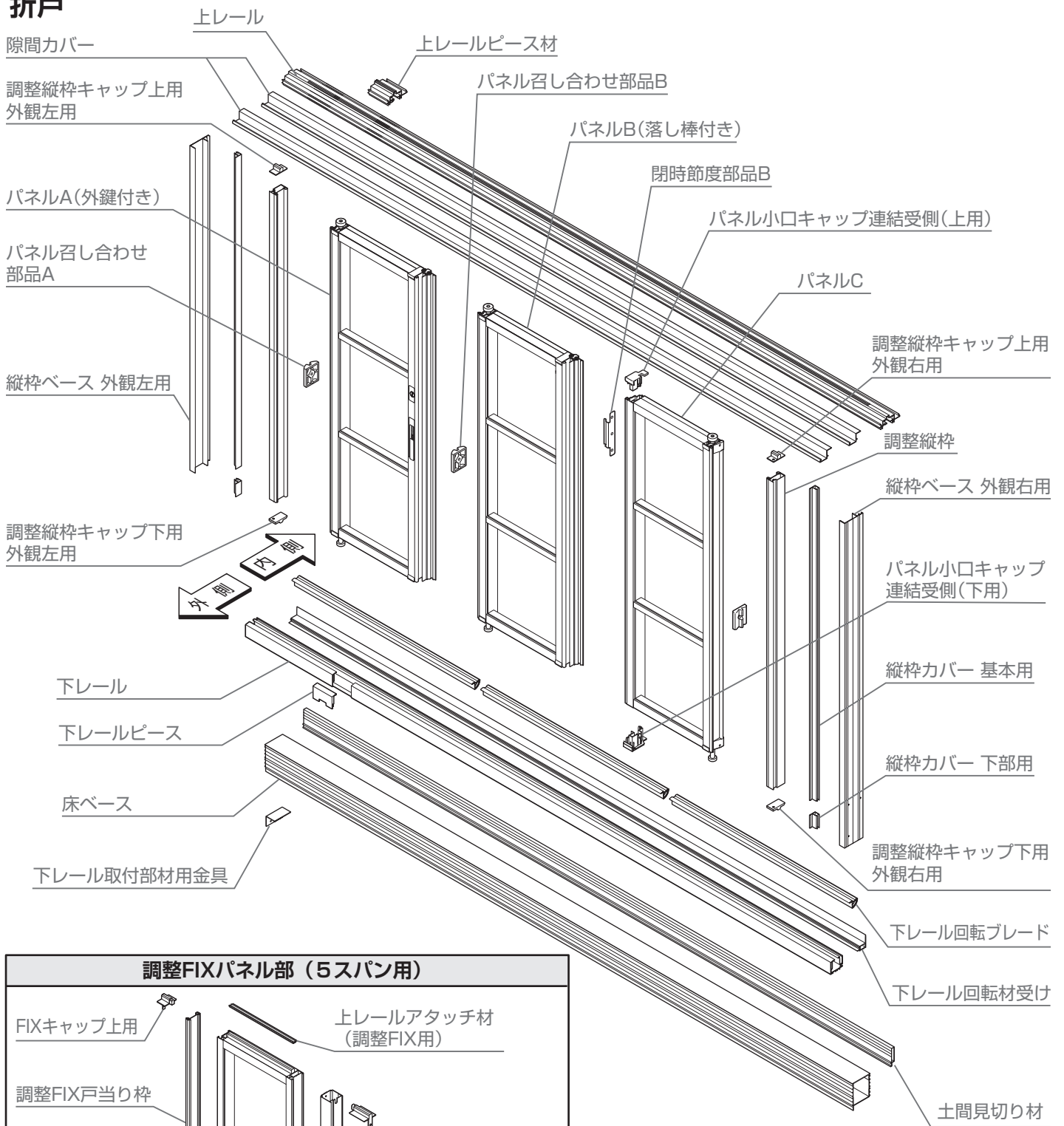


Gウォール（ラッピングボード仕様）

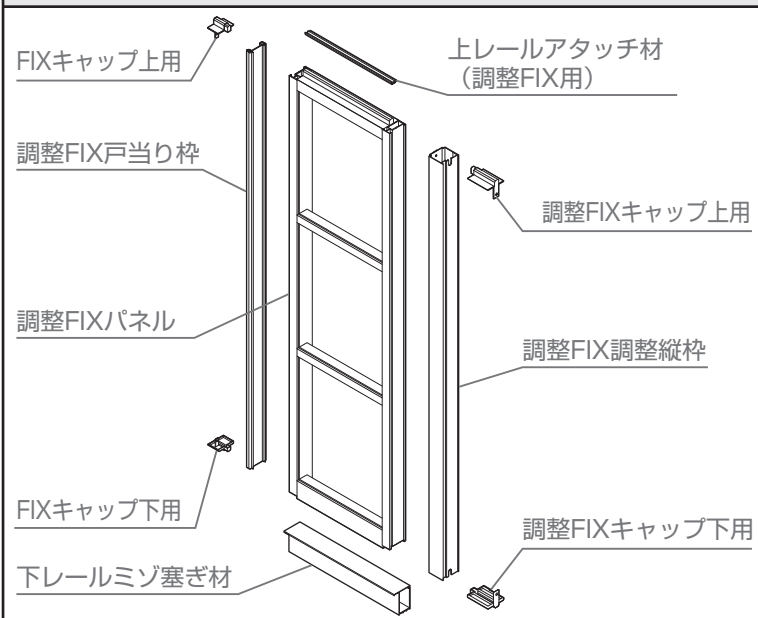


2-1 各部名称

折戸



調整FIXパネル部 (5スパン用)

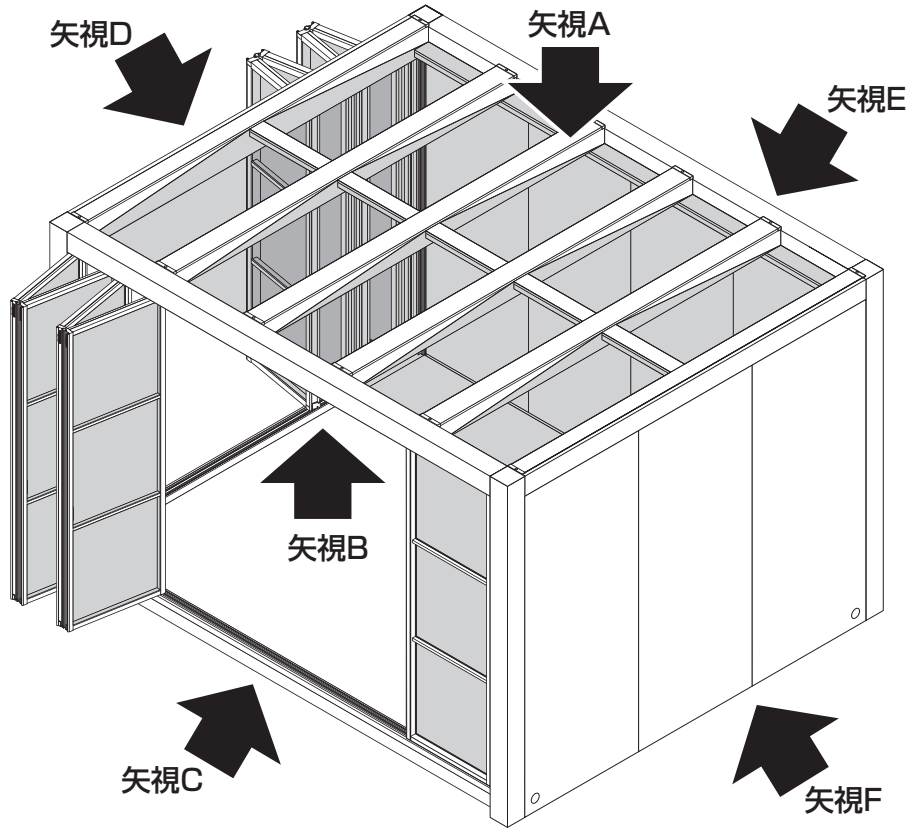


2 各部名称と基本寸法

2-2 基本寸法

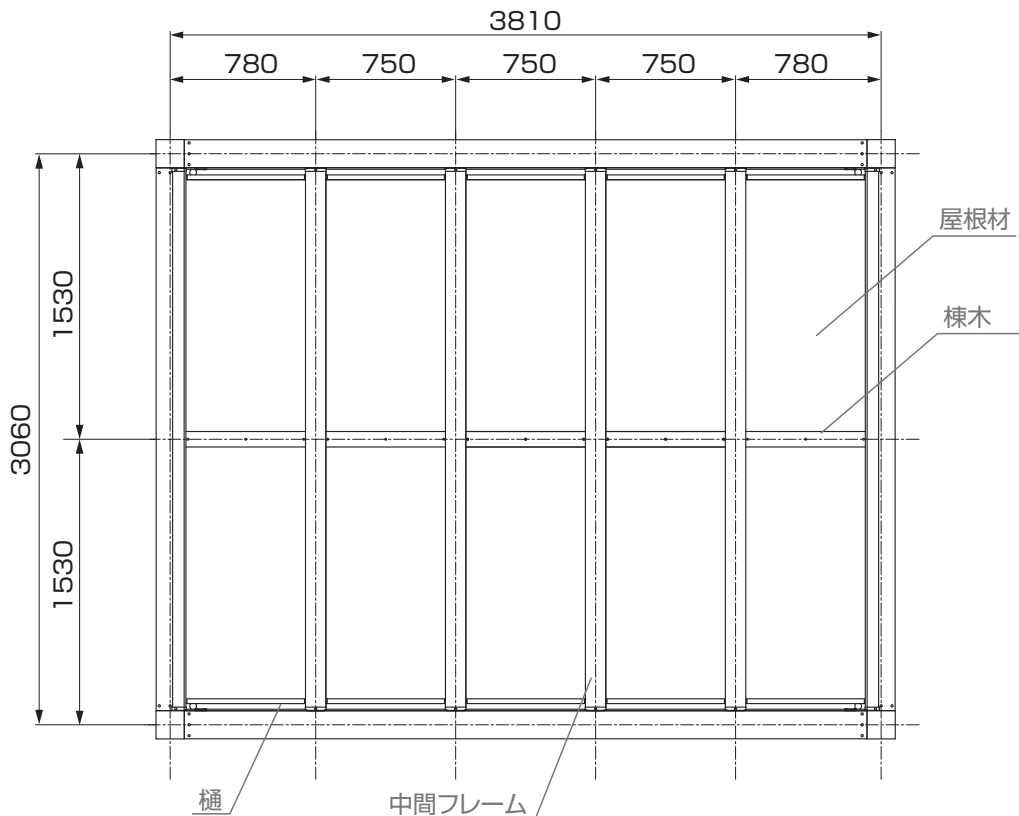
🔦 お願い

- 本取付説明書と異なる商品構成またはサイズの場合は、各商品の取付説明書を参照してください。
- 150角柱、150角フレームを使用した場合の基本寸法になります。



●Gルーフ フリータイプ

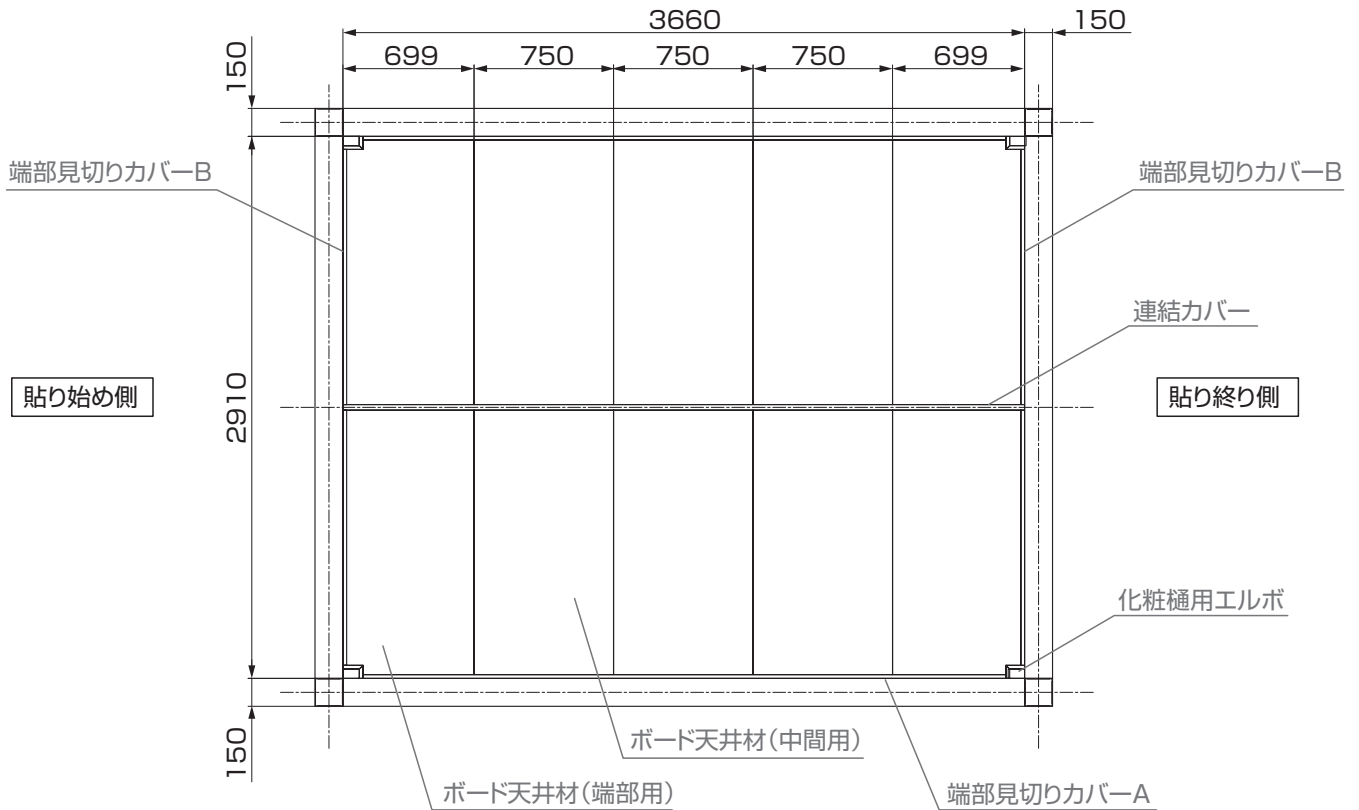
▼ 矢視A ▼



2-2 基本寸法

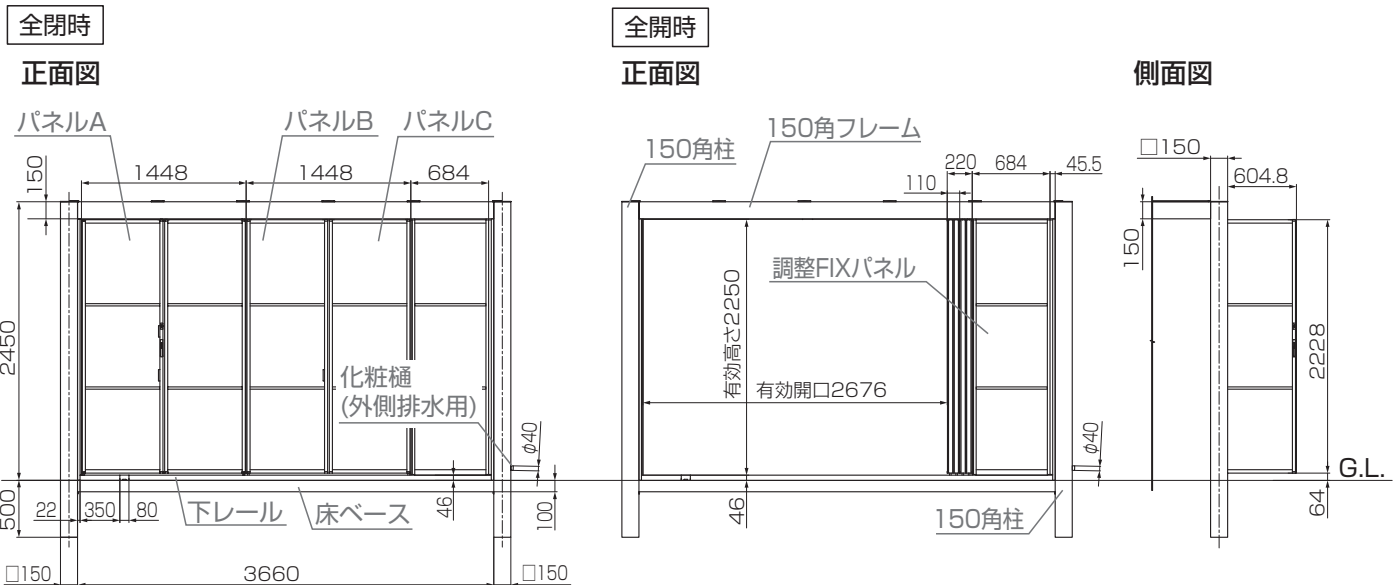
●ボード天井材

▼ 矢視B ▼



●折戸

▼ 矢視C (5スパン面) ▼

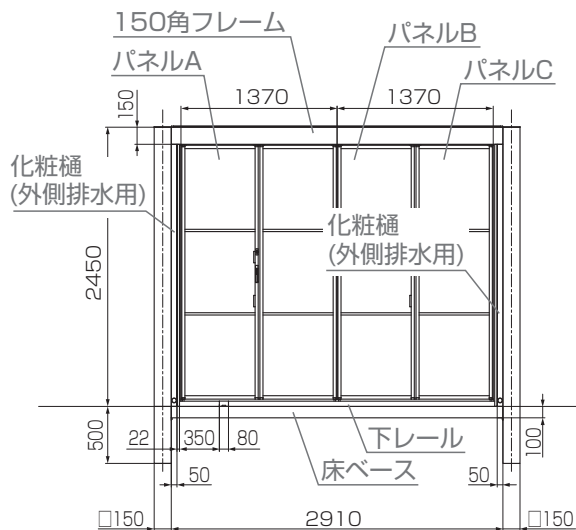


●折戸

▼ 矢視D (W30面) ▼

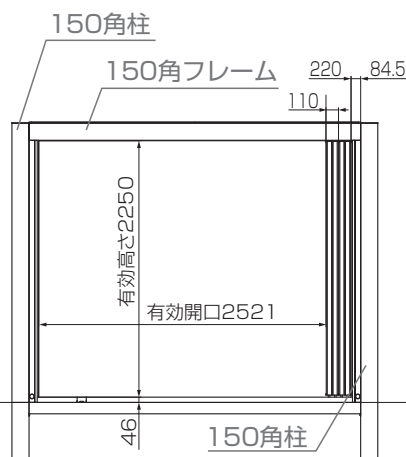
全閉時

正面図

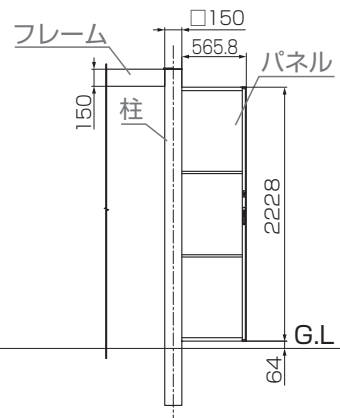


全開時

正面図

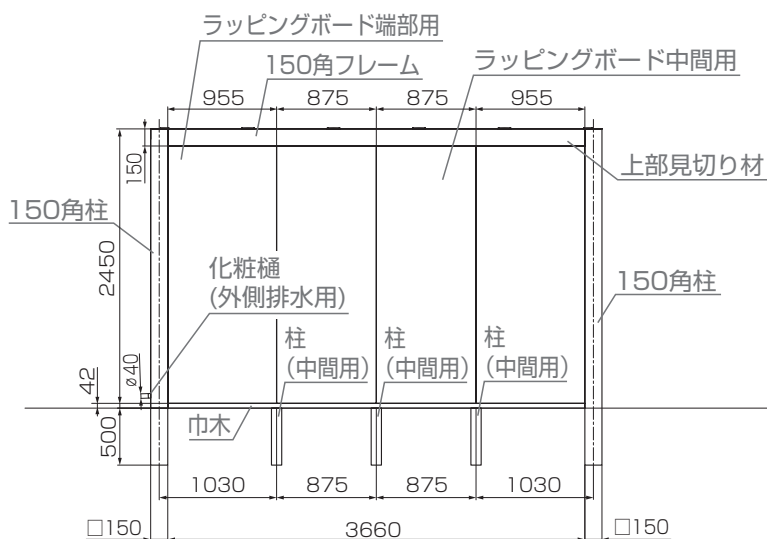


側面図

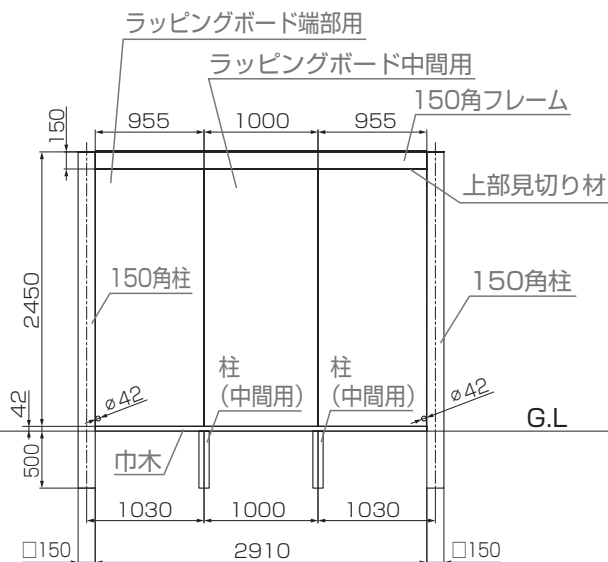


●Gウォール ラッピングボード仕様

▼ 矢視E (5スパン面) ▼



▼ 矢視F (W30面) ▼

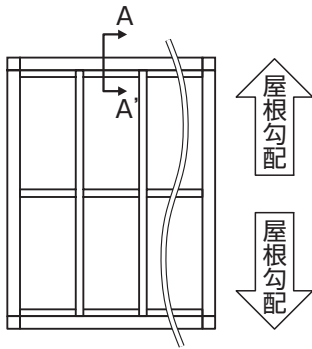


2 各部名称と基本寸法

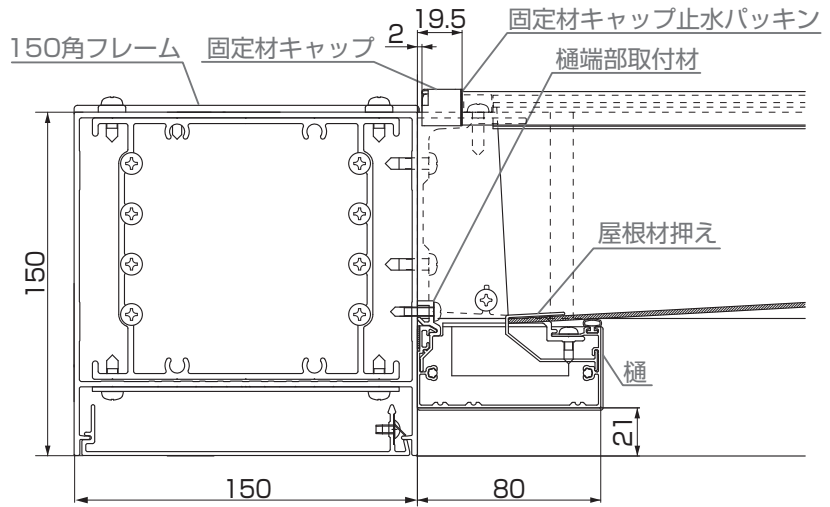
2-3 断面納まり

2-3-1 Gルーフ フリータイプ

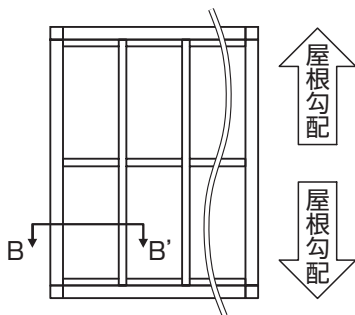
●樋部断面



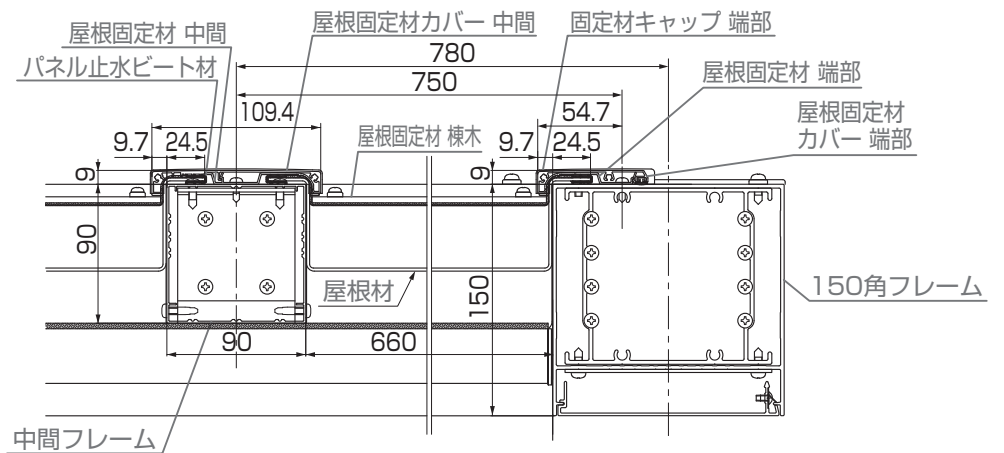
A-A' 断面詳細図



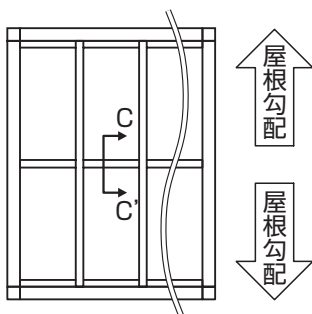
●中間フレーム断面



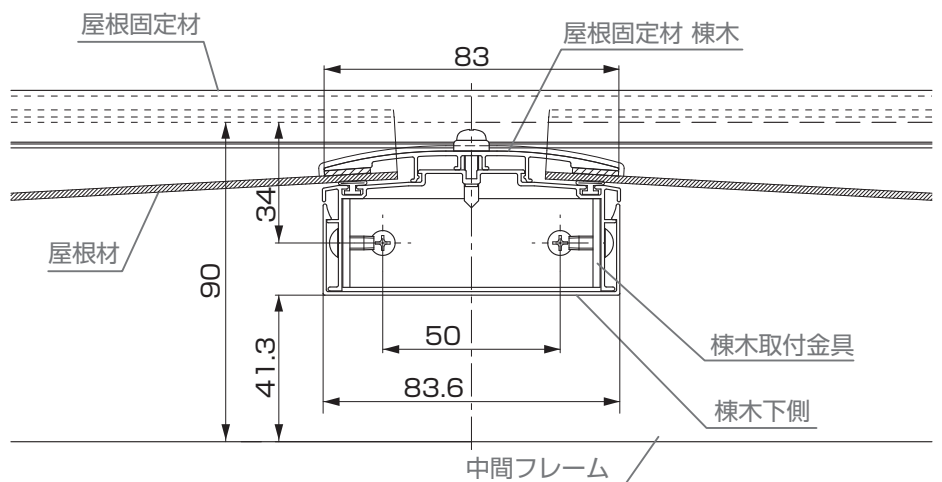
B-B' 断面詳細図



●棟木断面

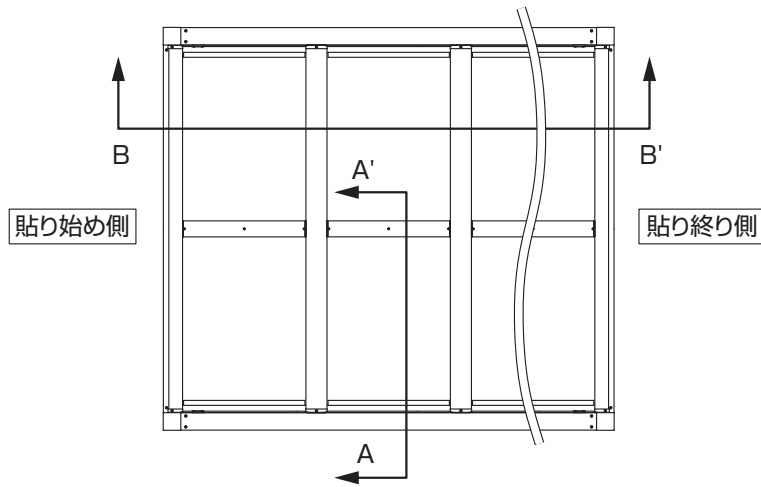


C-C' 断面詳細図



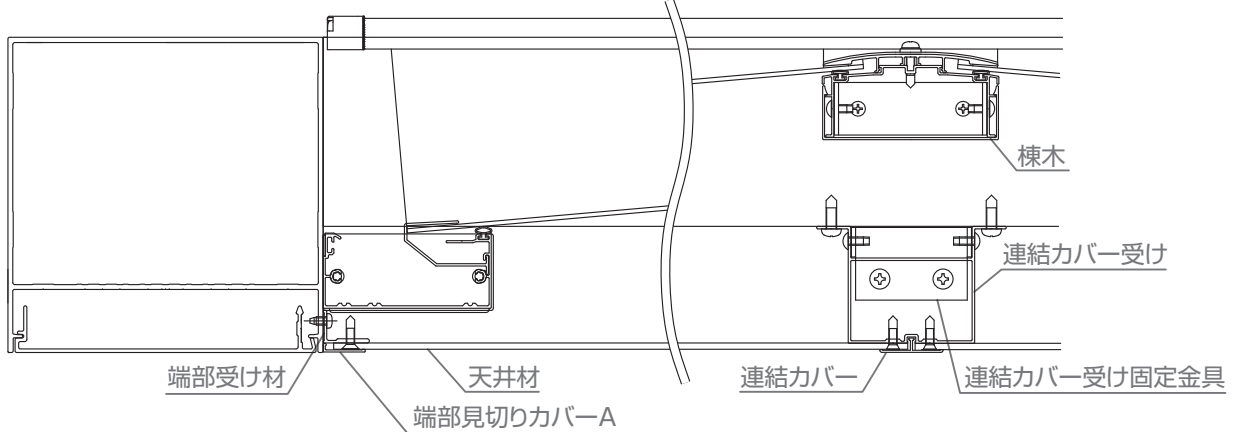
2-3-2 | ボード天井材

●上面図



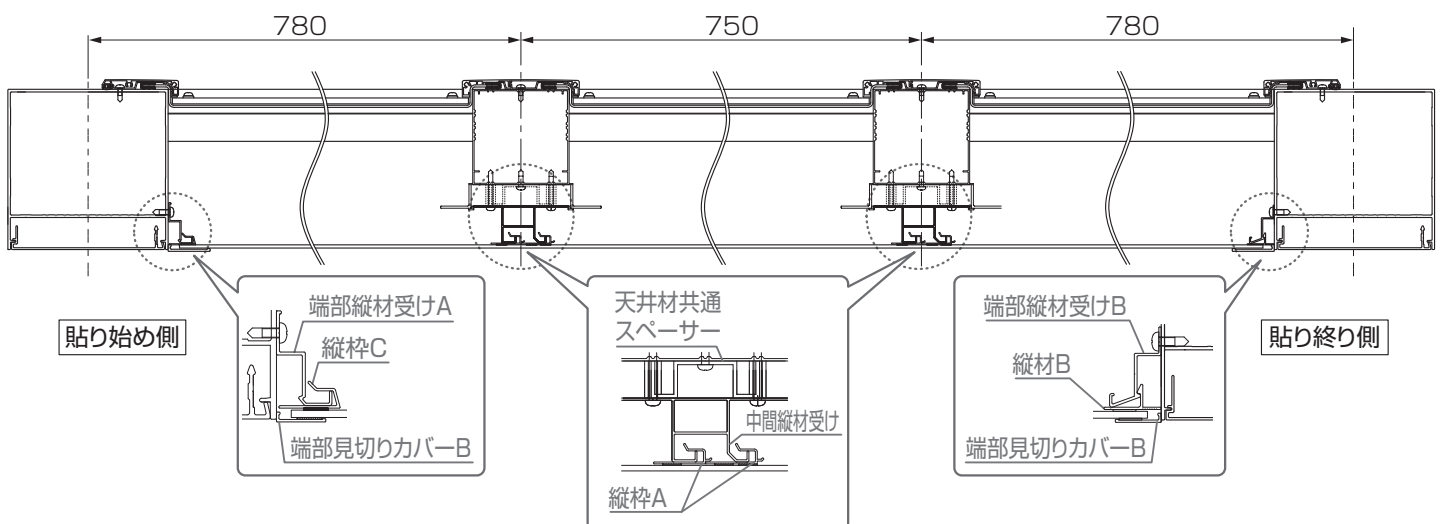
●樋部-棟木断面

A-A' 断面詳細図



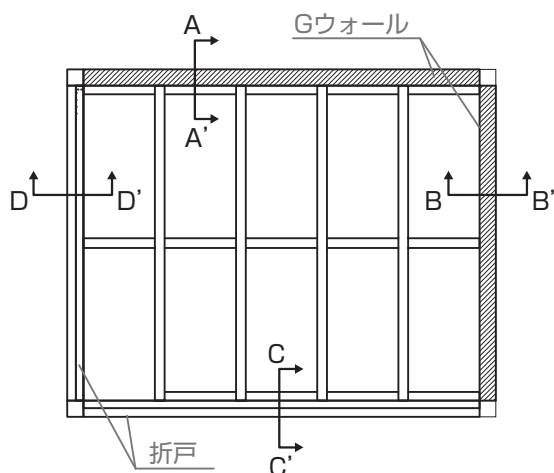
●フレーム-中間フレーム断面

B-B' 断面詳細図



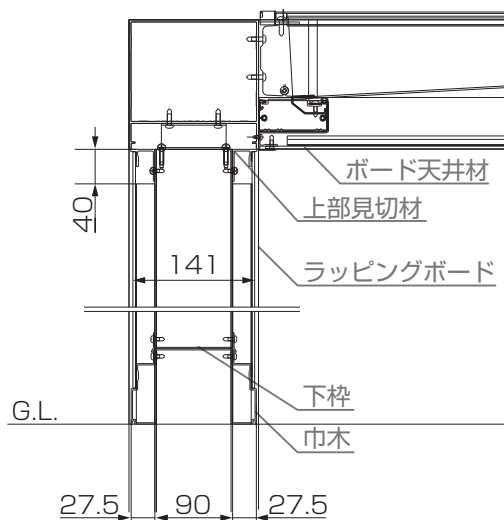
2-3-3 Gウォール、Gスクリーン折戸

●上面図

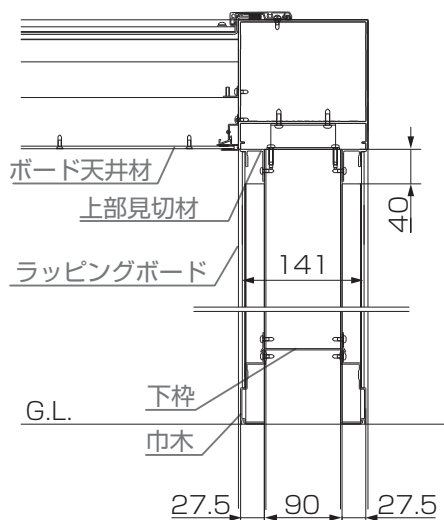


●Gウォール断面

A-A'断面詳細図

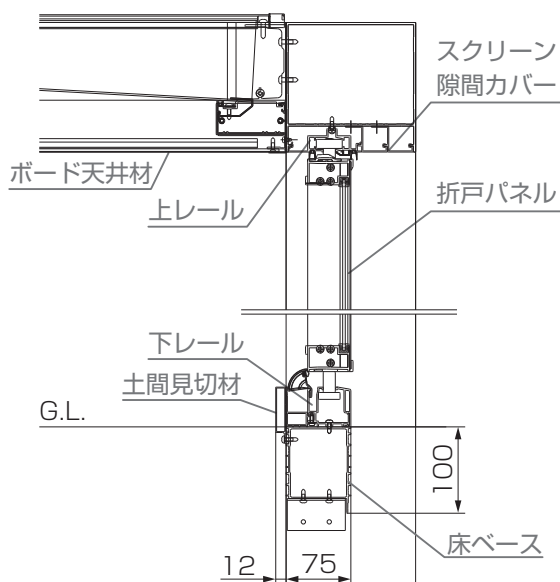


B-B'断面詳細図

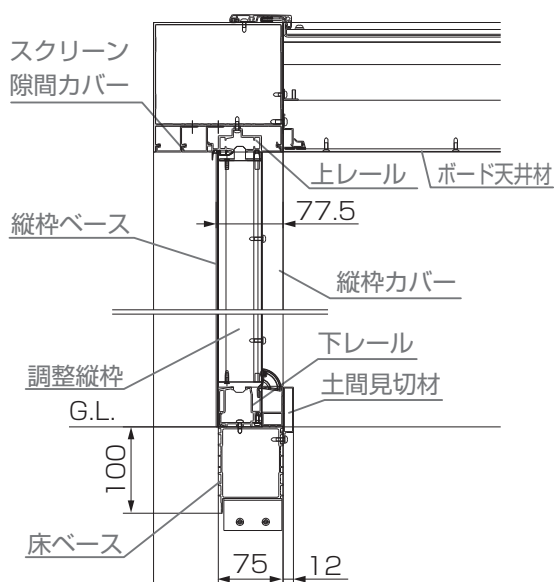


●Gスクリーン折戸断面

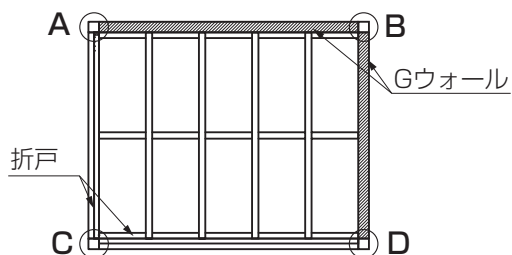
C-C'断面詳細図



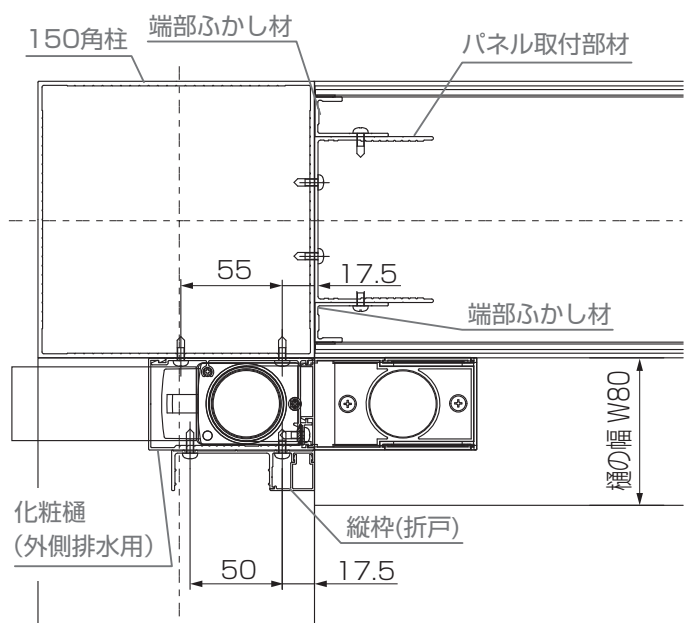
D-D'断面詳細図



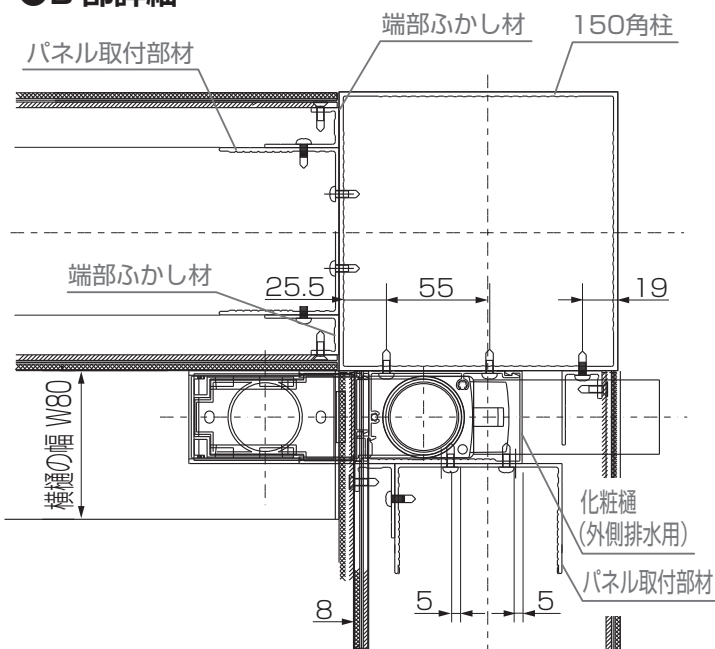
2-3-4 化粧樋



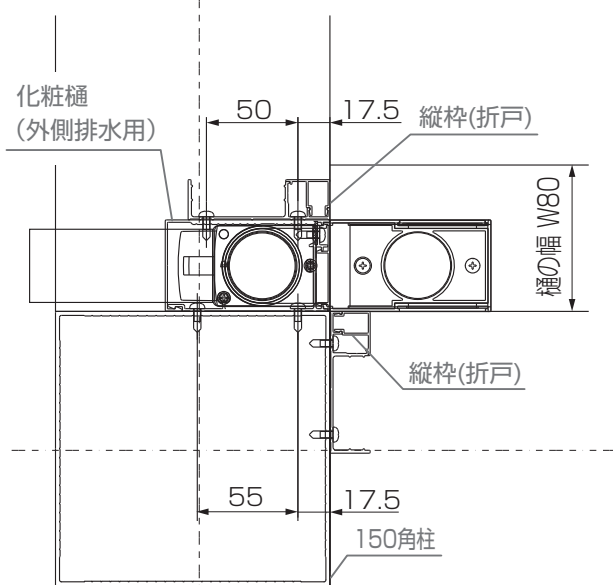
●A部詳細



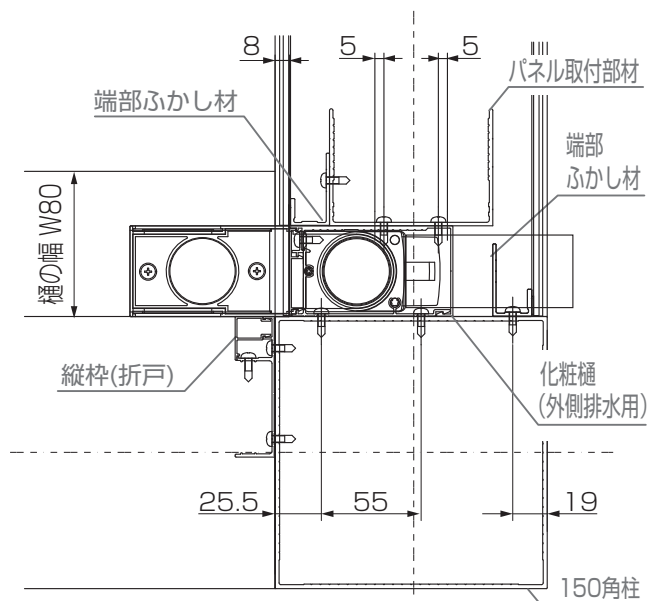
●B部詳細



●C部詳細



●D部詳細



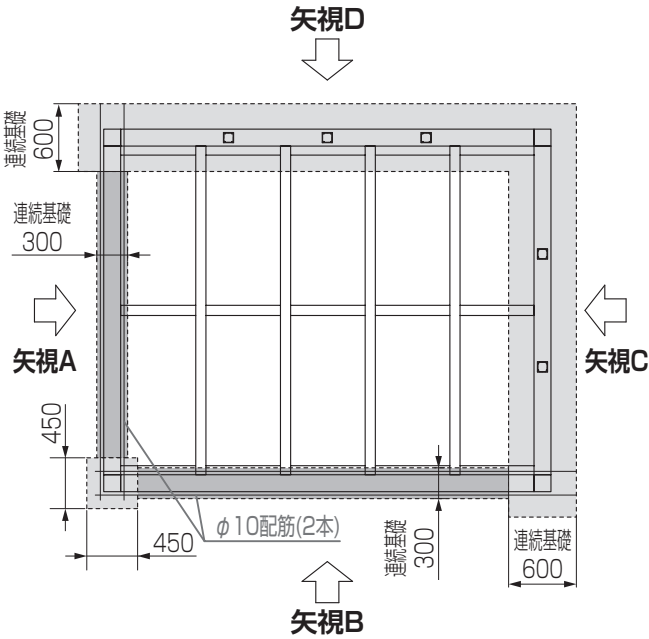
💡 お願い

- B部・D部でパネル取付部材を化粧樋(意匠部)に取付ける場合は以下の手順で行ってください。
- ①化粧樋から22mmパネル取付部材をずらしませう。
- ②パネル取付け部材のV溝から5mmずらして、φ4×13ナベドリルねじで取付けてください。

3 基礎と配線工事

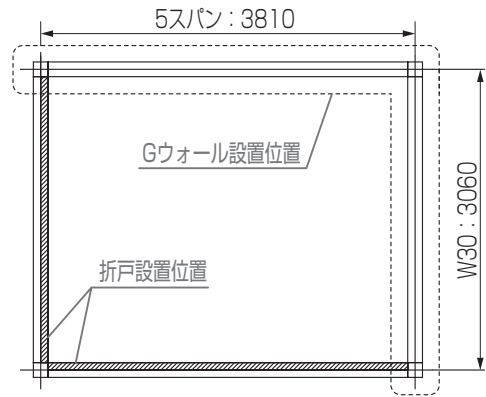
3-1 基礎工事

●基礎伏図



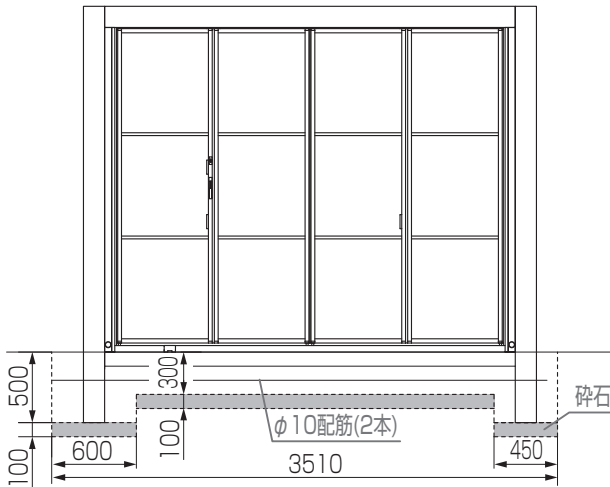
📌 お願い

- 本取付説明書と異なる商品構成またはサイズの場合は、各商品の取付説明書を参照してください。
- 折戸 床ベース部の基礎は本体サイズにかかわらず深さ300mm以上、奥行き300以上の連続基礎にしてください。また、φ10の配筋を2本使用して柱部と繋げてください。
- Gウォール部の基礎は深さ500mmの連続基礎にしてください。

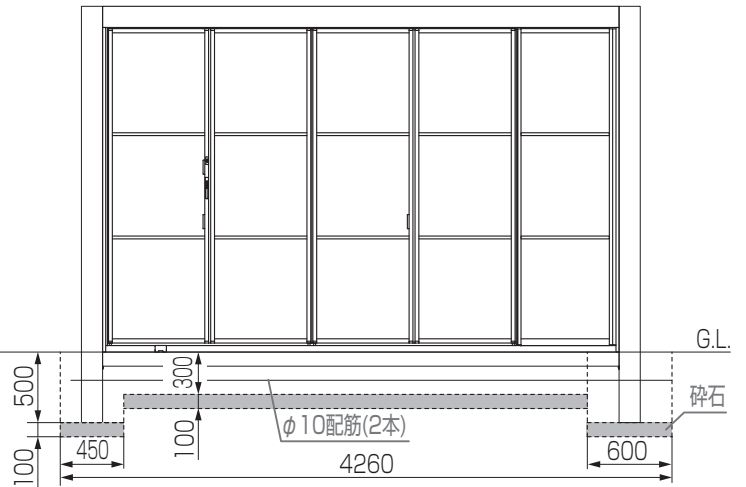


●折戸 基礎側面図

【矢視A (W30)】

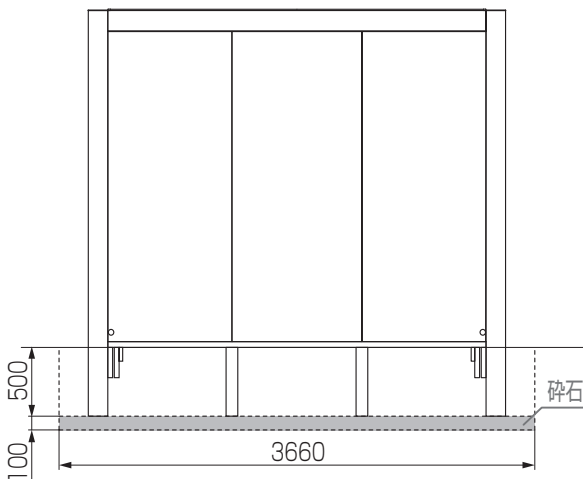


【矢視B (5スパン)】

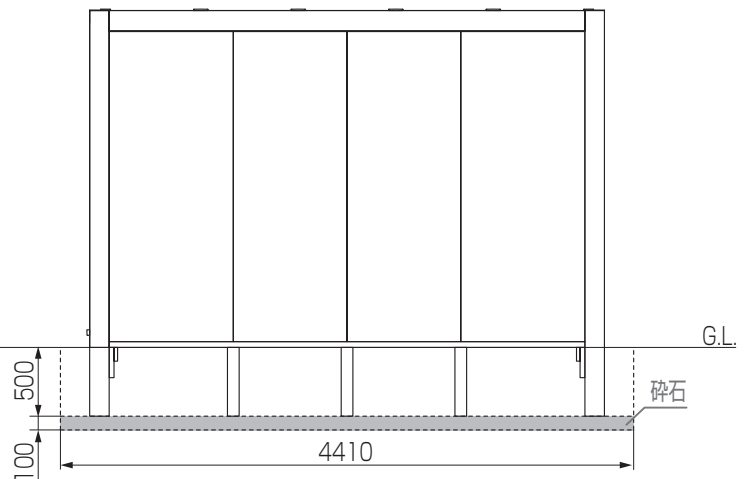


●Gウォール 基礎側面図

【矢視C (W30)】

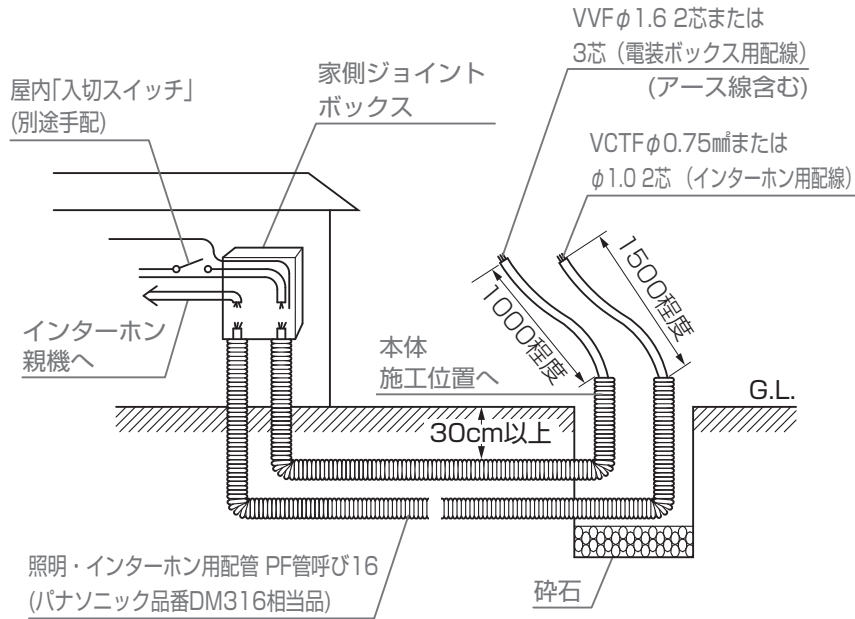


【矢視D (5スパン)】

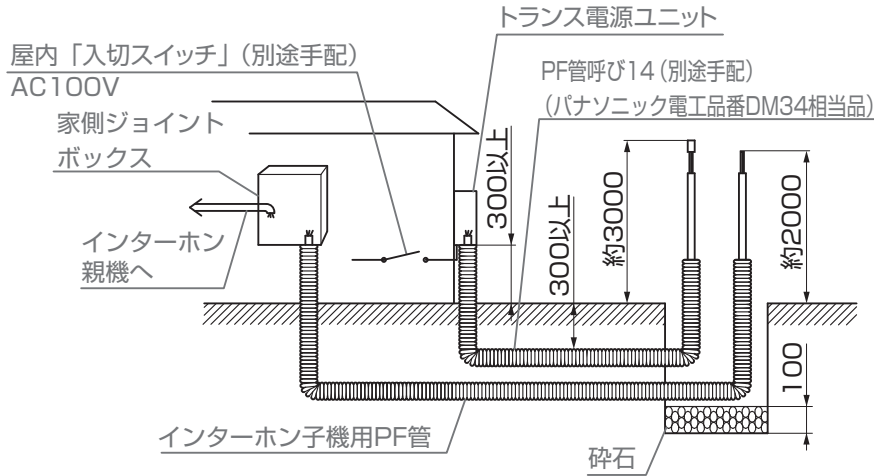


3-2 配線工事

▼ AC100V配線 (AC100V照明) ▼



▼ DC12V配線 (トランス電源ユニットを使用する場合) ▼



💡 お願い

- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- 配管はG.L.よりも200mm程度上げ、パテ埋めなどでの処理を施してください。
- 照明用配線は柱の上端から引出します。また、インターホン子機用配線は柱側面から引出します。取付方法を確認し、作業内容に合わせた配線長さを考慮してください。(※1)

4 施工の流れ

5-1 Gルーフ フリータイプ枠の取付け

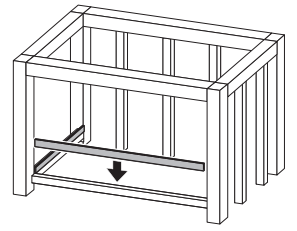
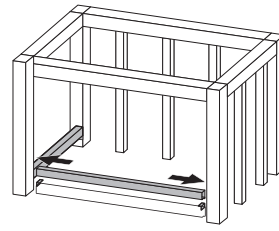
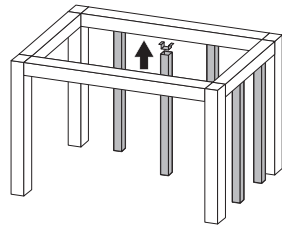
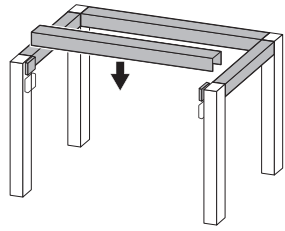
5-2 90角柱 中間用の取付け

5-3 床ベースの取付け

5-4 土間見切り材の取付けと基礎の打設

5-1-1 | 150角柱とフレームの取付け

5-4-2 | 土間見切り材の取付けと基礎の打設



土間見切り材の取付け

5-4 土間見切り材の取付けと基礎の打設

5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

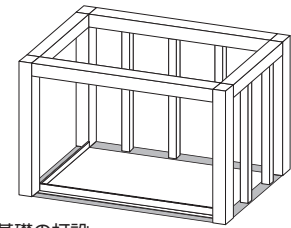
5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

5-4-2 | 土間見切り材の取付けと基礎の打設

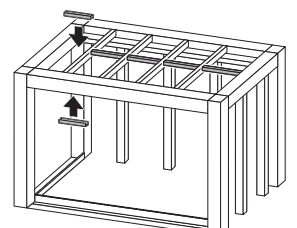
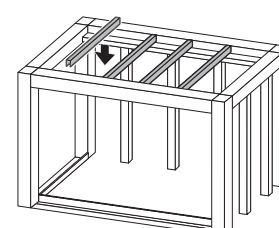
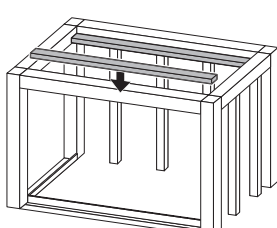
5-5-2 | 樋の取付け

5-5-4 | 中間フレームの取付け

5-5-5 | 棟木の取付け



基礎の打設



5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

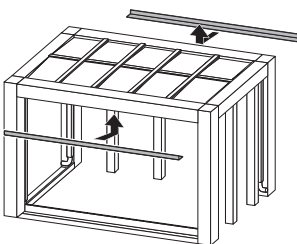
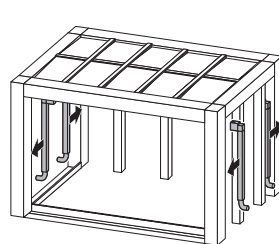
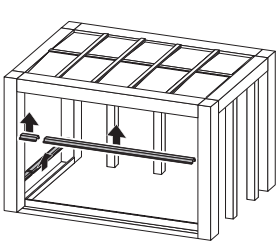
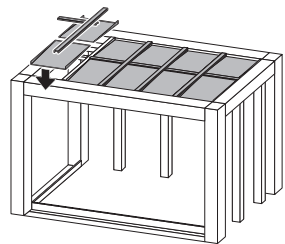
5-6 折戸 上レールの取付け

5-7 化粧樋 (外側排水用) の取付け

5-8 ボード天井材の取付け

5-5-7 | 屋根材の取付け

5-8-1 | 端部受け材の取付け



5-8 ボード天井材の取付け

5-8 ボード天井材の取付け

5-8 ボード天井材の取付け

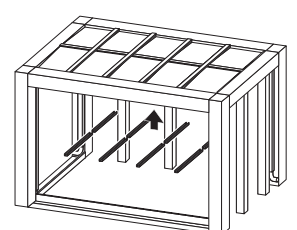
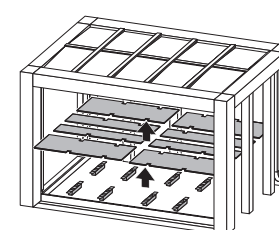
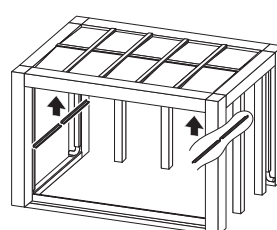
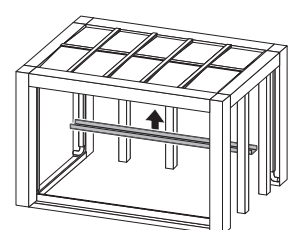
5-8 ボード天井材の取付け

5-8-2 | 連結カバー受けの取付け

5-8-3 | 端部縦材受けの取付け

5-8-4 | 断熱材と天井材共通スペーサーの取付け

5-8-5 | 中間縦材受けの取付け



5-8 ボード天井材の取付け

5-8 ボード天井材の取付け

5-9 Gウォール 下地材の取付け

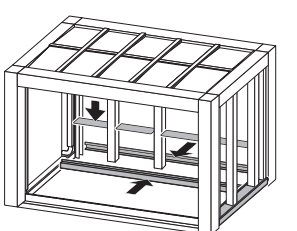
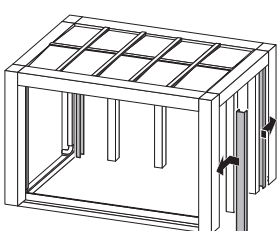
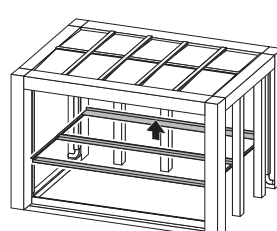
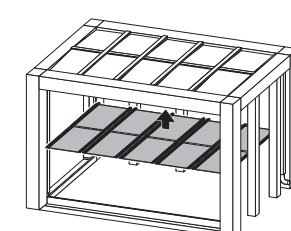
5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-8-9 | ボード天井材の取付け

5-8-10 | 端部見切りカバー・A・Bと連結カバーの取付け

5-9-1 | パネル取付部材の取付け

5-9-2 | 巾木と下枠の取付け



4 施工の流れ

4 施工の流れ

5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9 Gウォール 下地材の取付け

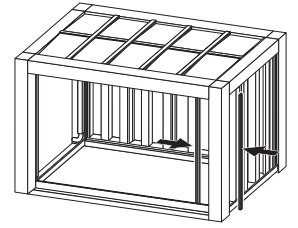
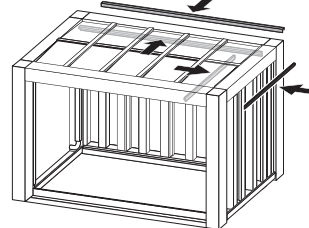
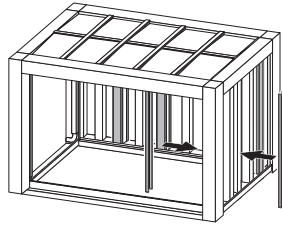
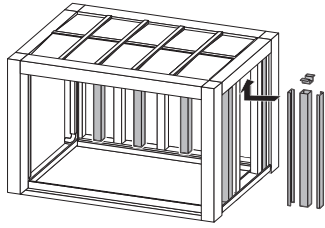
5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-4 中間支柱とフレームの取付け

5-9-5 中間柱ふかし材の取付け

5-9-6 上部見切り材の取付け

5-9-7 端部ふかし材の取付け



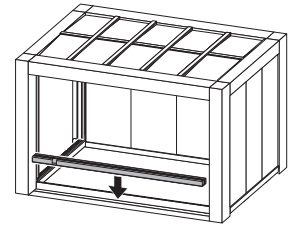
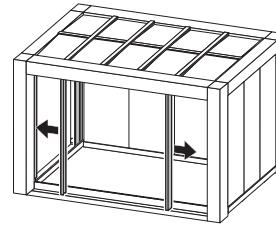
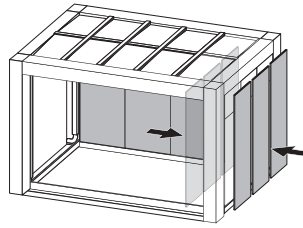
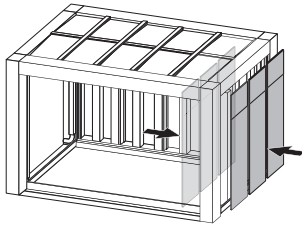
5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-10 Gウォール ラッピングボードの取付け

5-12 折戸 縦枠ベースの取付け

5-13 折戸 下レールの取付け

5-9-9 断熱材(ウォール用)の取付け

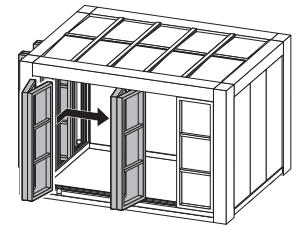
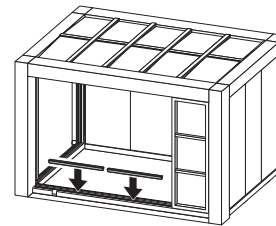
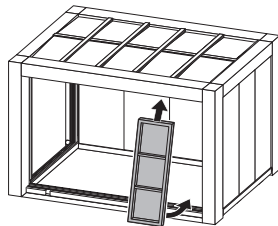
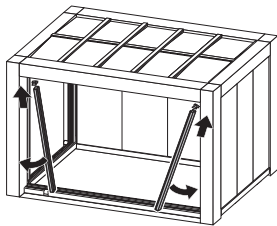


5-14 折戸 調整縦枠の仮置き

5-15 折戸 調整FIXパネルの取付け

5-16 折戸 下レール回転部ブレードの取付け

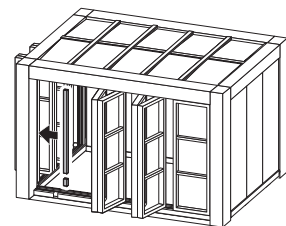
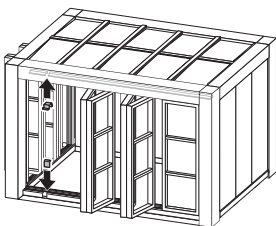
5-17 折戸 折戸パネルの取付け



5-18 折戸 レールピースの取付け

5-19 折戸 調整縦枠の取付け

5-19-2 縦枠カバーの取付け



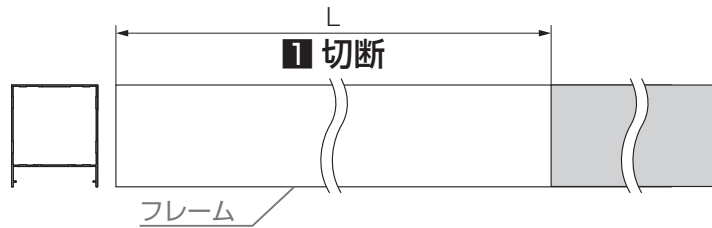
5 本体の施工

5-1 Gルーフ フリータイプ枠の取付け

5-1-1 | 150角柱とフレームの取付け

1: スパン側のフレームを下表のL寸法で切断

	4スパン	5スパン	6スパン
L	2910	3660	4410



2: 1で切断したフレームの切断側にφ6の穴加工

3: 150角柱にフレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴加工

お願い

- フレーム取付位置治具の穴位置をよく確認してください。

4: 150角フレームスリーブをフレームに【3c】で取付け

5: 150角柱にアンカー棒を差し込み、柱を下表の寸法で建込み

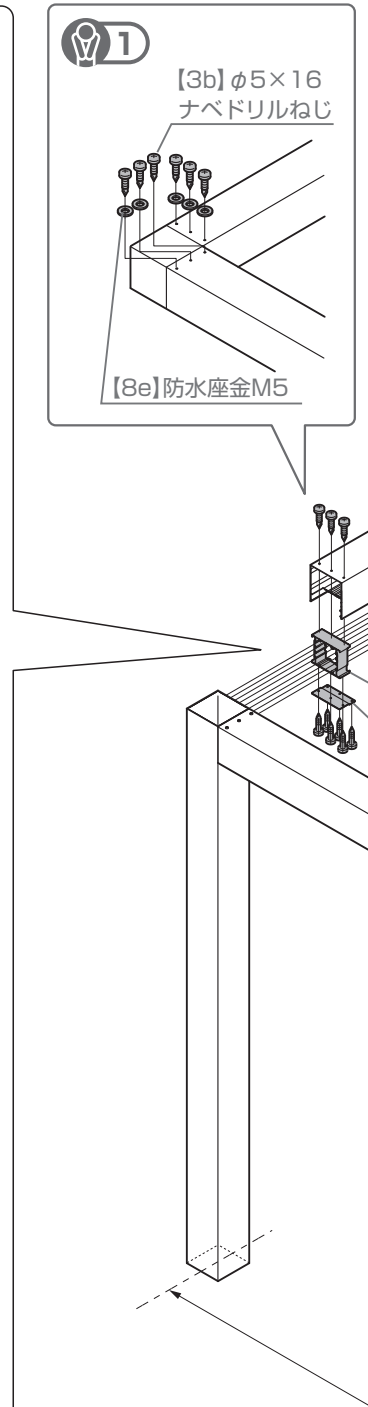
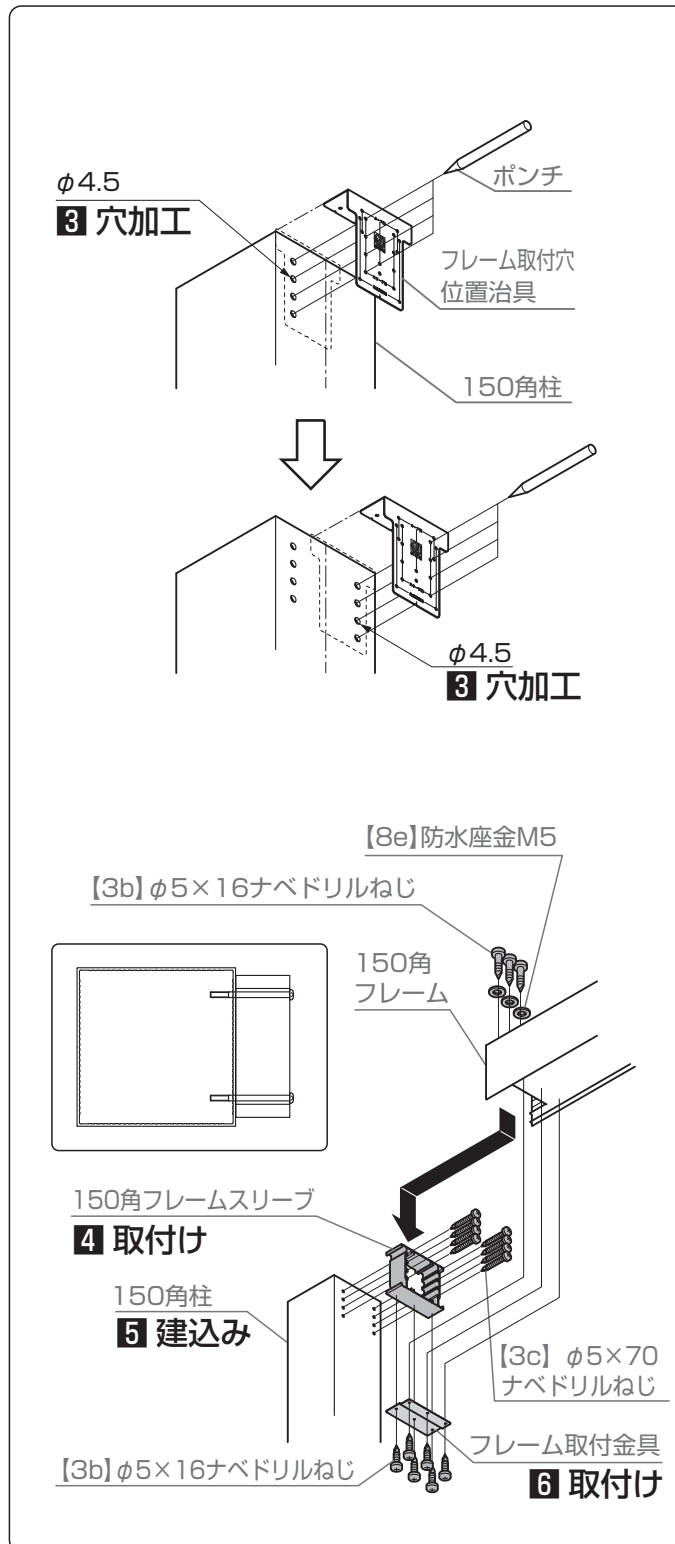
	W30	4スパン	5スパン	6スパン
150角 芯々寸法	3060	3060	3810	4560

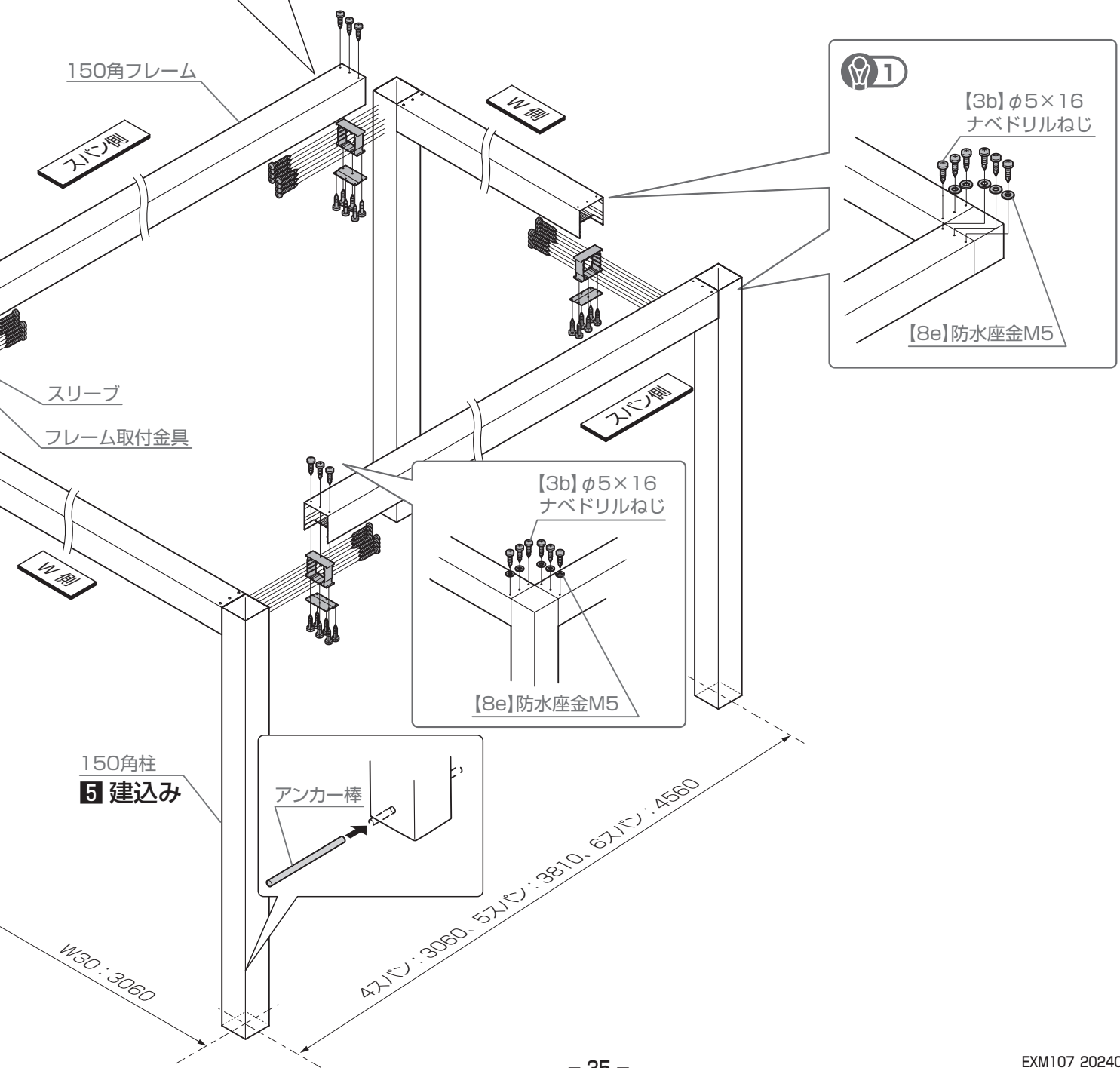
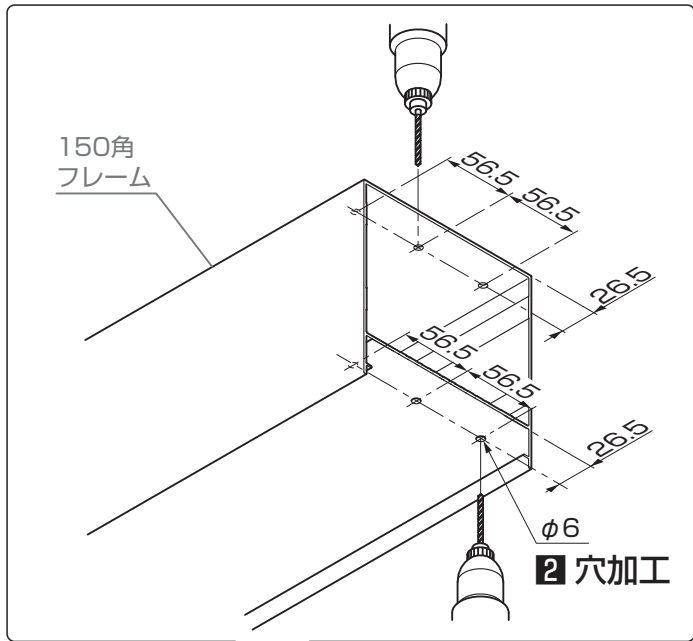
6: フレーム取付金具をスリーブとフレームに【3b】で取付け

7: フレーム上部とスリーブを【3b】と【8e】で取付け

お願い 1

- スパン側フレーム上部のねじは全て防水座金を使用して取付けてください。
- W側フレーム上部のねじは内側の1本以外は防水座金を使用して取付けてください。





5
本体の施工

5 本体の施工

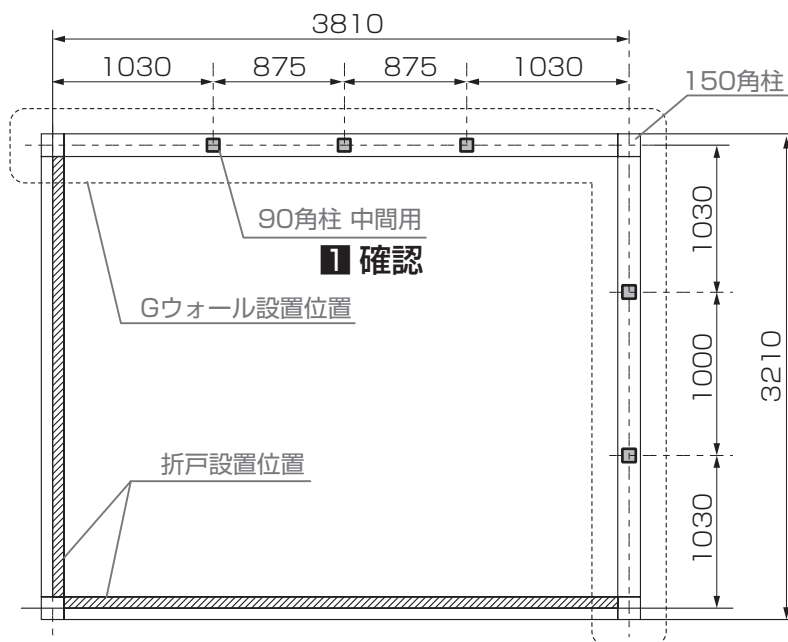
5-2 90角柱 中間用の取付け

5-2-1 取付け位置の確認

お願い

- Gウォールを設置する場合、90角柱 中間用の取付けが必要になります。右図を参考に取付け位置を決定してください。

1: 90角柱 中間用の取付け位置を確認

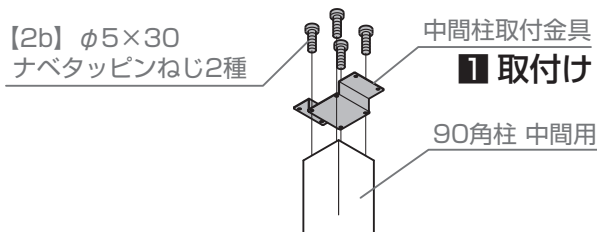


5-2-2 90角柱 中間用の取付け

1: 中間柱取付金具を90角柱 中間用に【2b】で取付け

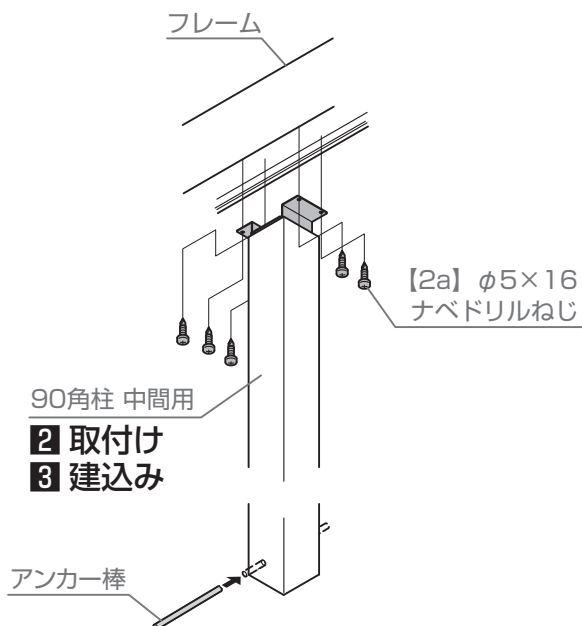
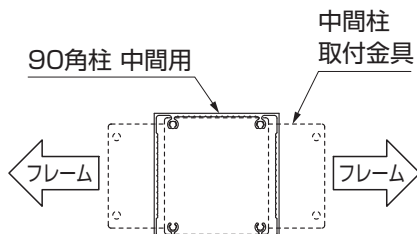
2: 90角柱 中間用をフレームに【2a】で取付け

3: 90角柱 中間用にアンカー棒を差込み、柱を建込み



お願い

- 90角柱中間用には向きがあります。



5-3 床ベースの取付け

- ❶: 下レール取付部材用金具を床ベース下面
両端に【30a】で取付け
- ❷: 柱にφ3.5の穴加工
- ❸: 床ベースを柱に【30a】で取付け

お願い

●床ベースの取付後、フレーム下面から床ベース上面の寸法が2300であることを確認してください。

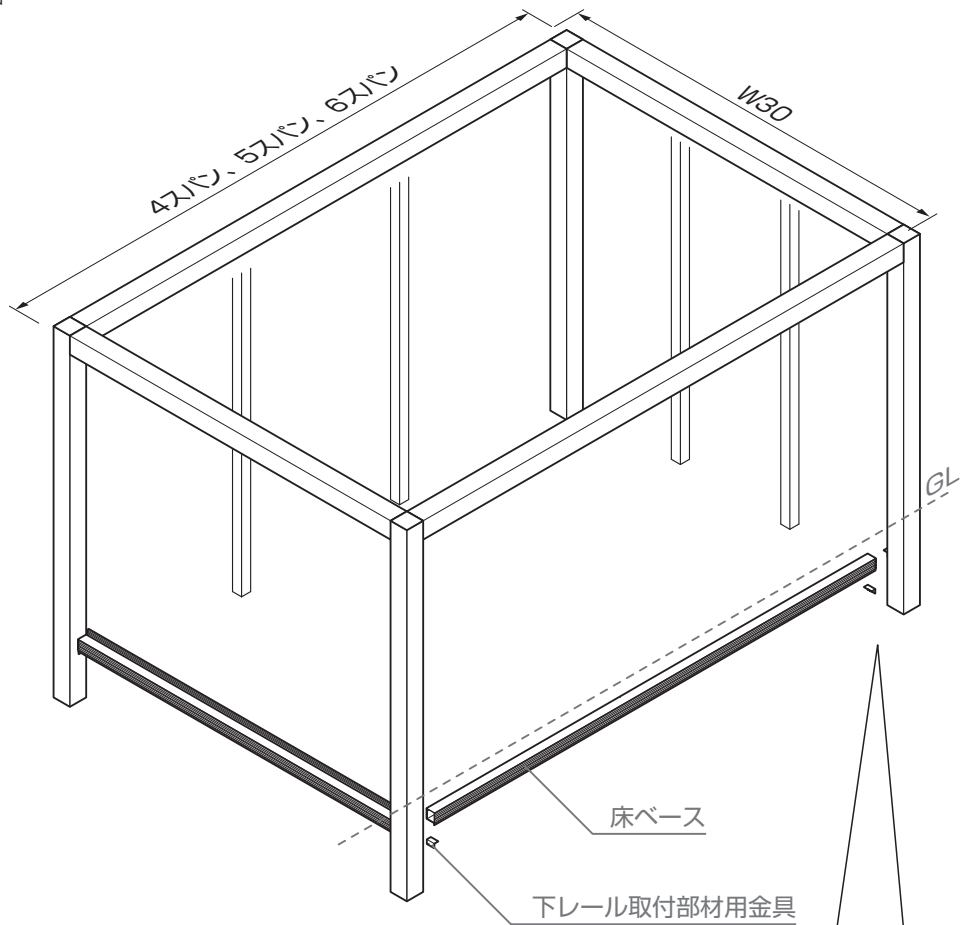
フレーム

内側 外側

2300

GL

面一



床ベース

下レール取付部材用金具

❶ 取付け

【30a】φ4×16
ナベドリルねじ(生地)

お願い

●床ベースの上下面に注意して、下レール取付部材用金具を取付けてください。

上側

下側

床ベース

柱

❷ 穴加工

φ3.5

❸ 取付け

【30a】φ4×16
ナベドリルねじ(生地)

20

30

390

お願い

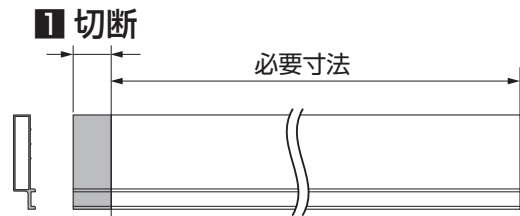
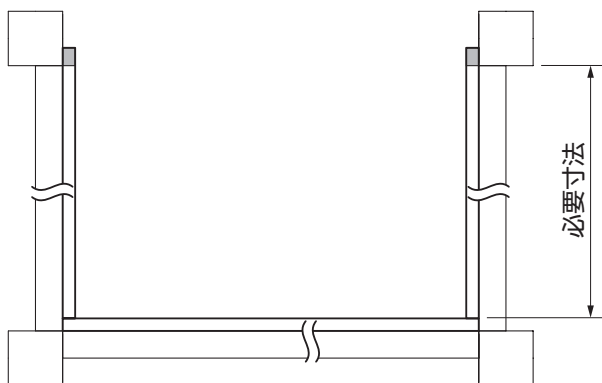
●内側と外側に注意して床ベースを取付けてください。

5 本体の施工

5-4 土間見切り材の取付けと基礎の打設

5-4-1 土間見切り材の加工

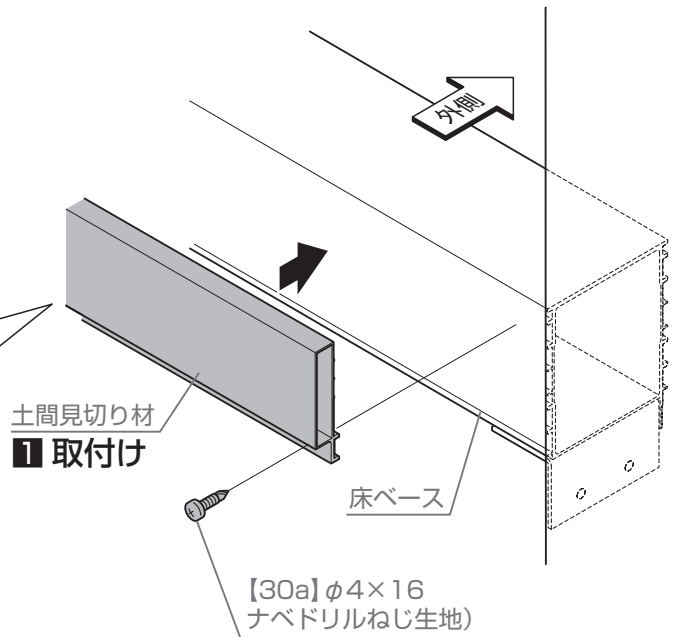
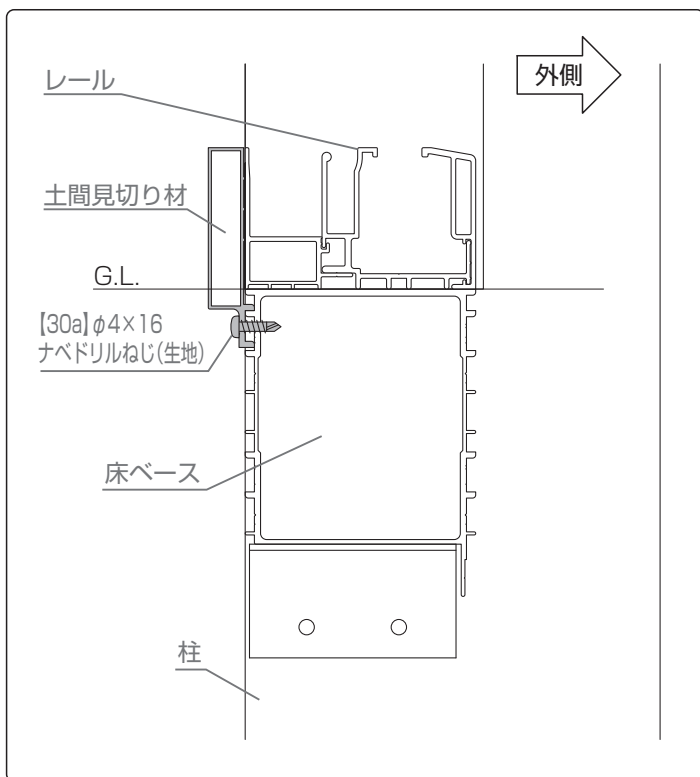
1: 土間見切り材を必要寸法に切断



5-4-2 土間見切り材の取付けと基礎の打設

1: 土間見切り材を床ベースに【30a】で取付け

2: 150角柱の基礎、Gウォール部の連続基礎、折戸床ベースの基礎を打設



お願い

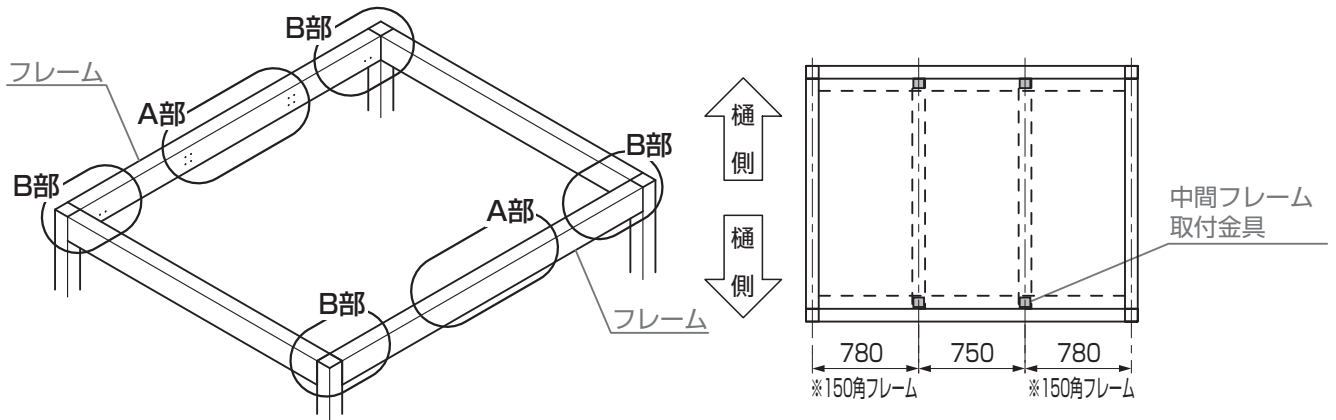
●各基礎サイズは [3-1 基礎工事] を確認してください。

5 本体の施工

5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

5-5-1 フレームの加工

●加工位置の確認

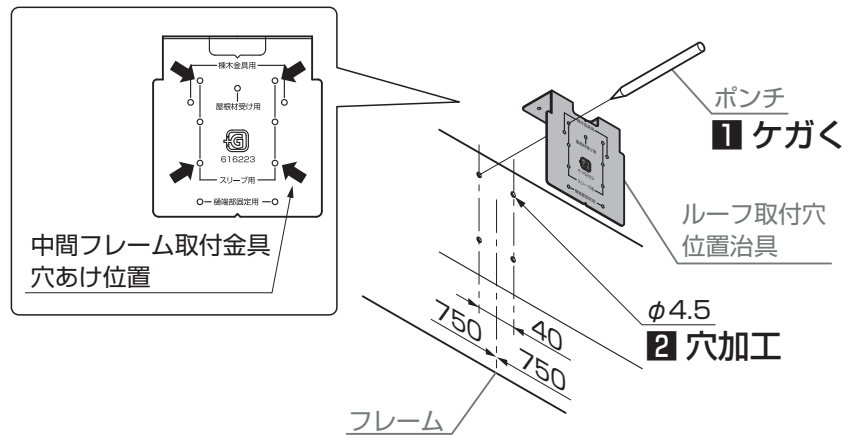


▼ A部中間フレーム取付金具の穴あけ▼

- 1: フレームにルーフ取付穴位置治具をあて、ポンチでケガく
- 2: ケガいた位置にφ4.5の穴加工

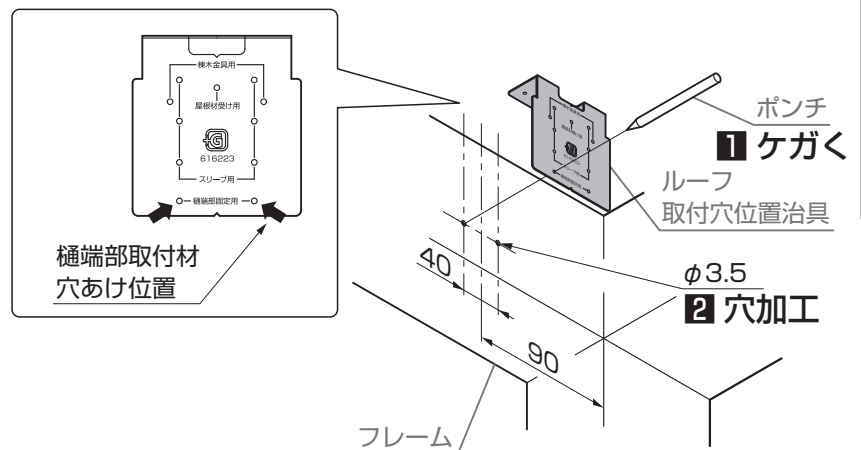
💡 お願い

- 中間フレーム取付金具の下穴のピッチが750mmになるように加工してください。
- 指定通りの寸法に加工しないと屋根パネルが取付けられなくなります。



▼ B部樋端部取付材の穴あけ▼

- 1: フレーム面から90mm程度の位置にルーフ取付穴位置治具をあててケガく
- 2: ケガいた位置にφ3.5の穴加工



5

本体の施工

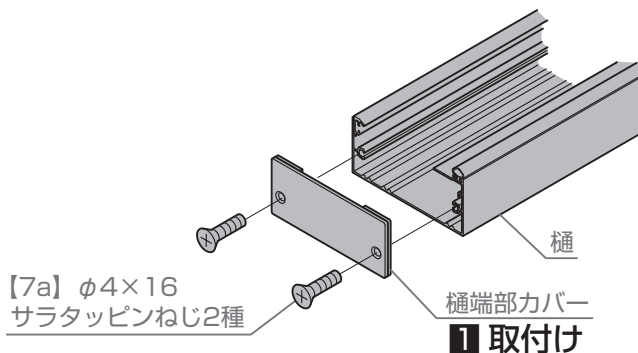
5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

5-5-2 樋の取付け

- 1: 樋端部カバーを樋の両端に【7a】で取付け
- 2: 樋止水材を樋に貼付け

お願い

- 樋端部カバーを樋にねじで取付ける時ねじが締まりきれているか、確認してください。

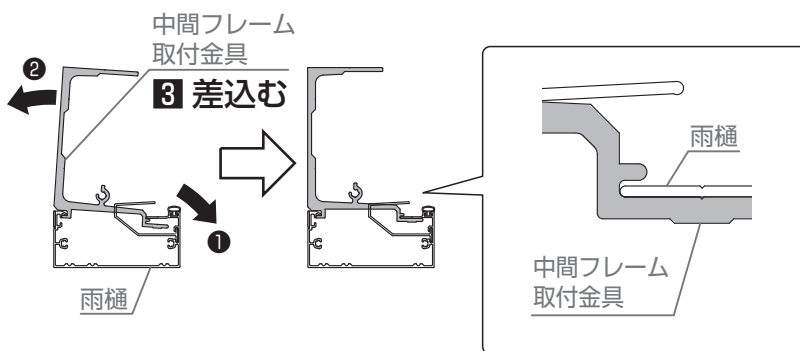


1 取付け

- 3: 樋に中間フレーム取付金具を差込む

補足

- 1 樋を広げて、2 中間フレーム取付金具のフィンと樋のフィンをはめ込んでください。



- 4: 樋に組付けた中間フレーム取付金具をフレームに【6a】で取付け
- 5: 中間フレーム取付金具と樋を【7c】で固定
- 6: 樋端部取付材をフレームに【7b】で取付け

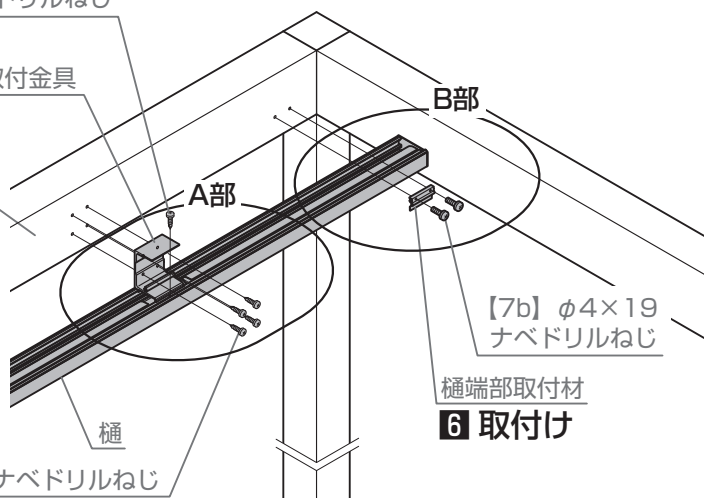
【7c】φ4×13ナベドリルねじ

5 固定

中間フレーム取付金具

4 取付け

フレーム

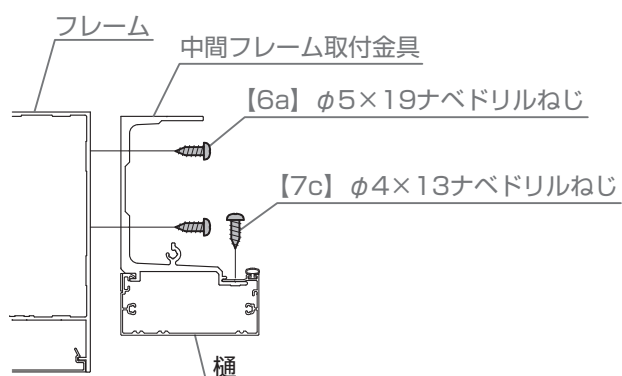


樋端部取付材

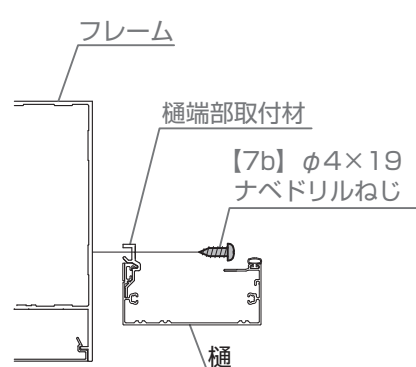
6 取付け

【6a】φ5×19ナベドリルねじ

●A部詳細図中間部



●B部詳細図端部



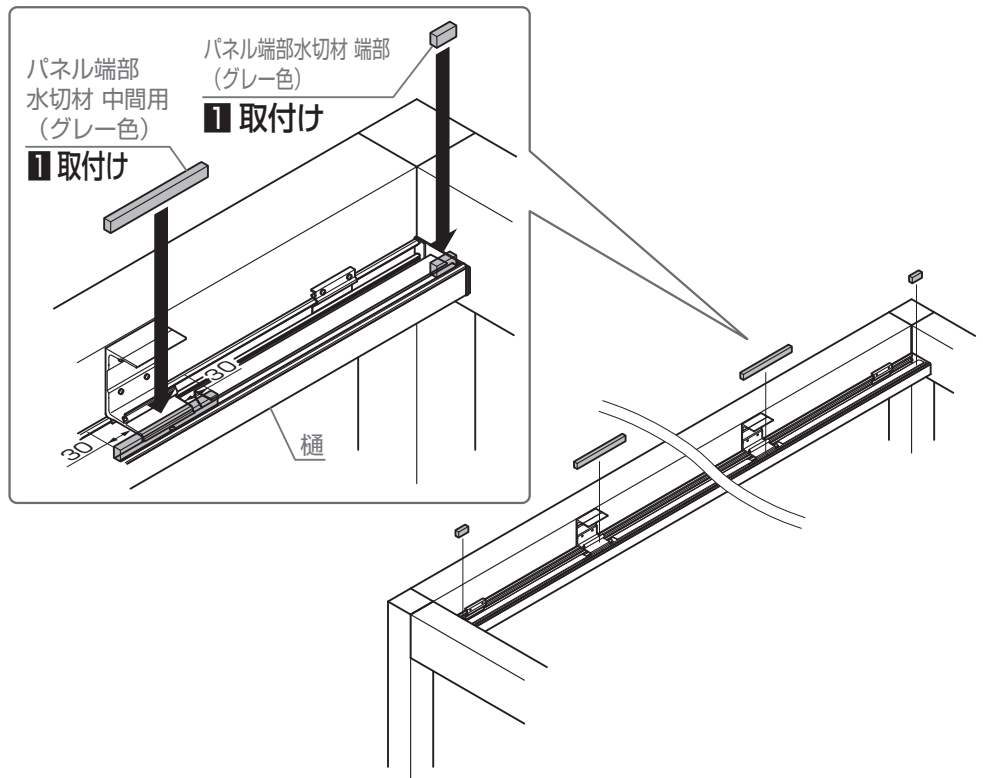
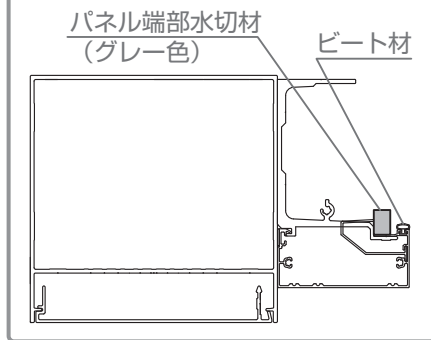
5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

5-5-3 樋へのパッキンの取付け

1: 樋にパネル端部水切材 端部・中間用を取付け

お願い

- ビート材とのすき間をあけて取付けてください。

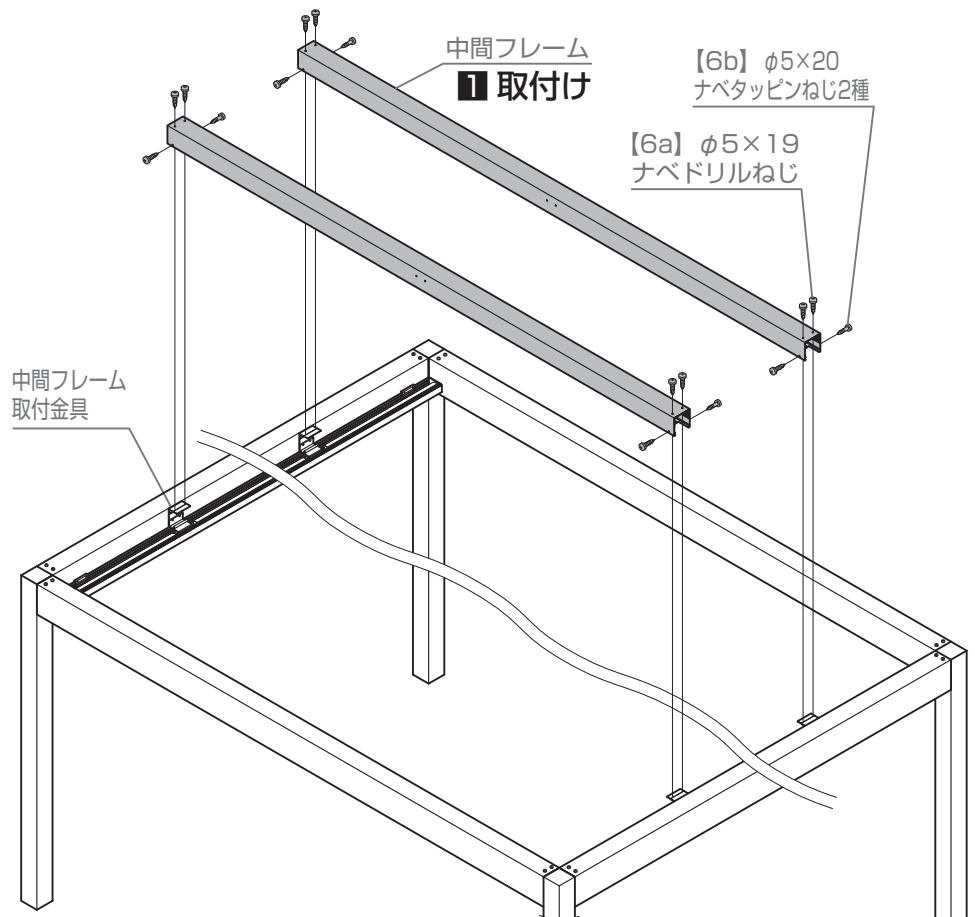
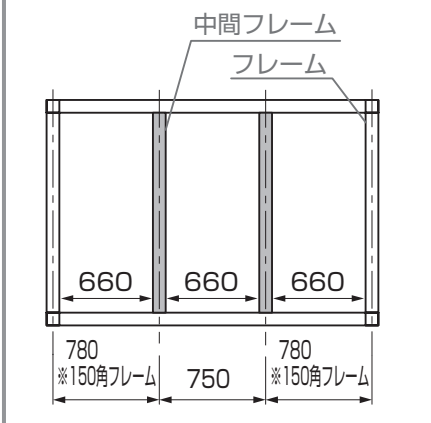


5-5-4 中間フレームの取付け

1: 中間フレームを中間フレーム取付け金具に【6a】、【6b】で取付け

お願い

- 中間フレームのピッチが750mmになっていることを確認してください。
- フレーム～中間フレームおよび中間フレーム～中間フレーム内寸法が660になっていることを確認してください。



5 本体の施工

5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

つづき

5-5-5 棟木の取付け

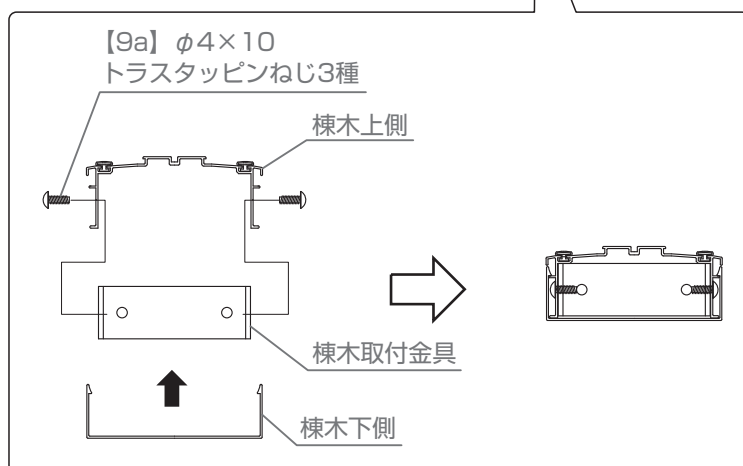
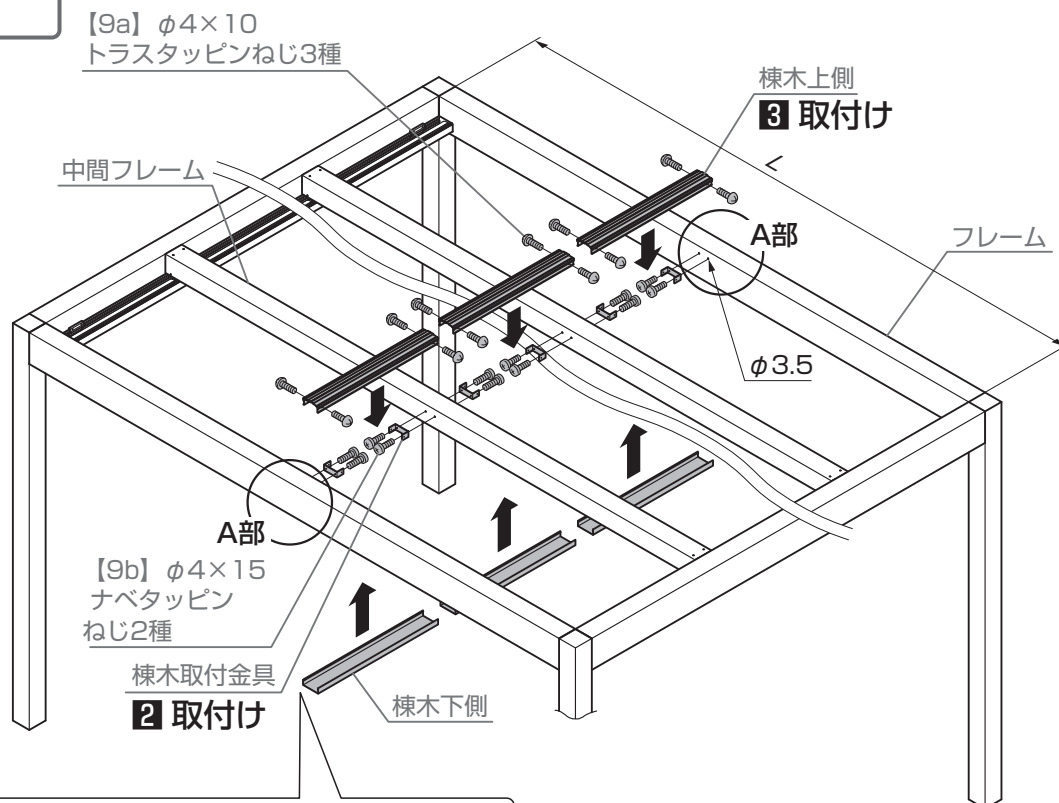
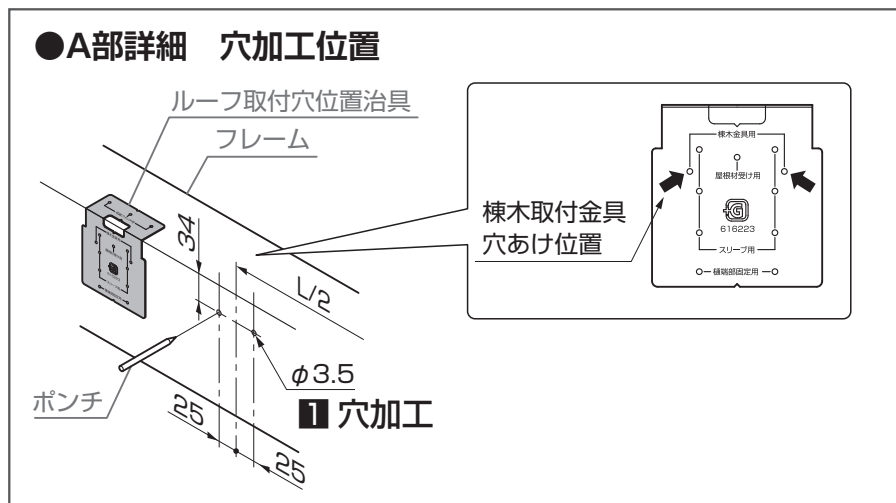
- 1: ルーフ取付穴位置治具をあてて、ポンチ等でケガキφ3.5の穴加工

	L	L/2
W30	2910	1455

- 2: 棟木取付金具をフレーム、中間フレームに【9b】で取付け
 3: 棟木上側を棟木取付金具に【9a】で取付け

注意

- 【9a】で棟木上側を取付けるとき、インパクトドライバーは使用しないでください。取付けねじが破損することがあります。



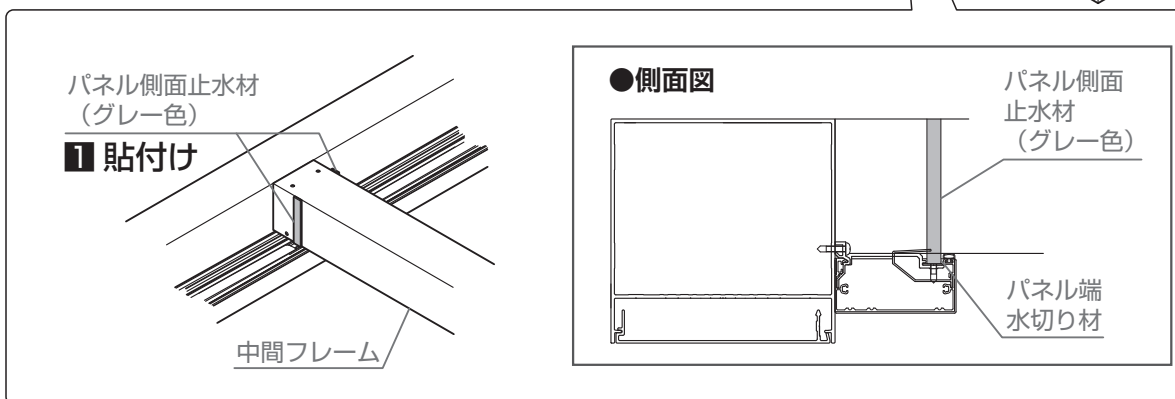
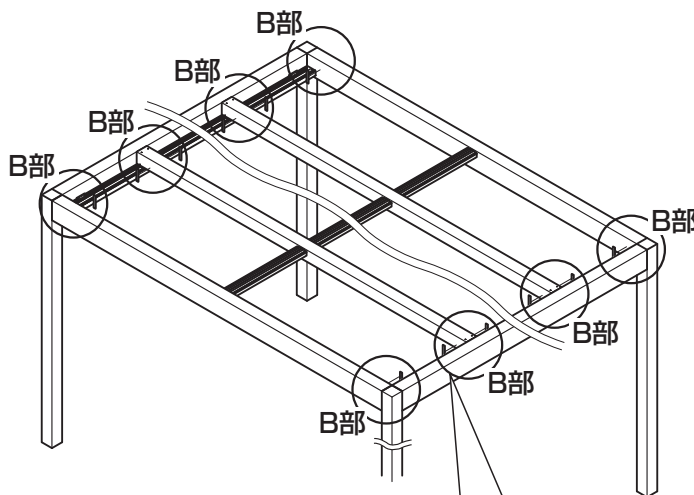
5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

つづき

5-5-6 屋根材の取付け準備

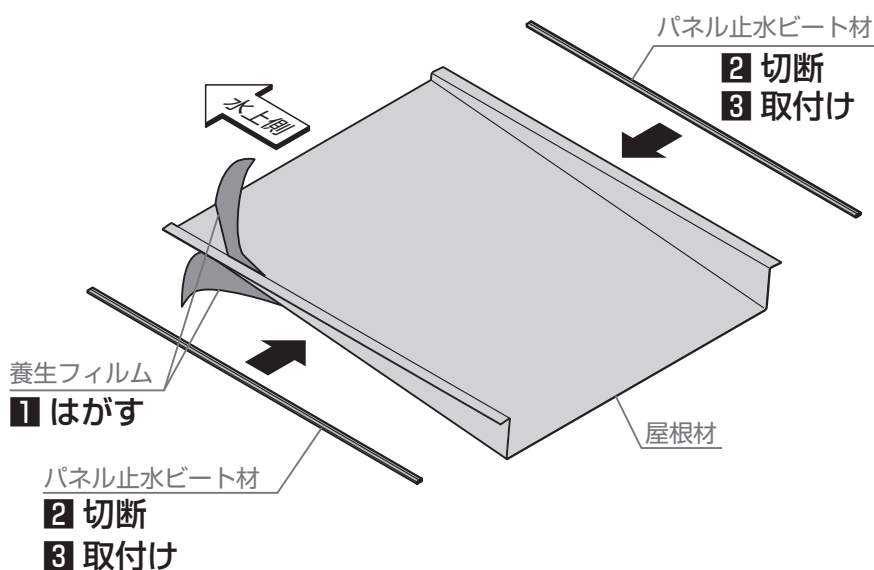
●止水パッキンの貼付け

1: パネル端水切りの位置に合わせて、パネル側面止水材を樋取付け側B部のフレーム・中間フレーム側面部に貼付け



●パネル止水ビート材の貼付け

- 1: 屋根材の養生フィルムをはがす
- 2: パネル止水ビート材を屋根材の長さに合わせて切断
- 3: パネル止水ビート材を屋根材の両端部に挟み込むように取付け



💡 お願い

●屋根に断熱材を取付ける場合は、必ず乳白色の屋根材を使用してください。シャープホワイト色の屋根材を使用した場合、断熱材が耐候性劣化するおそれがあります。

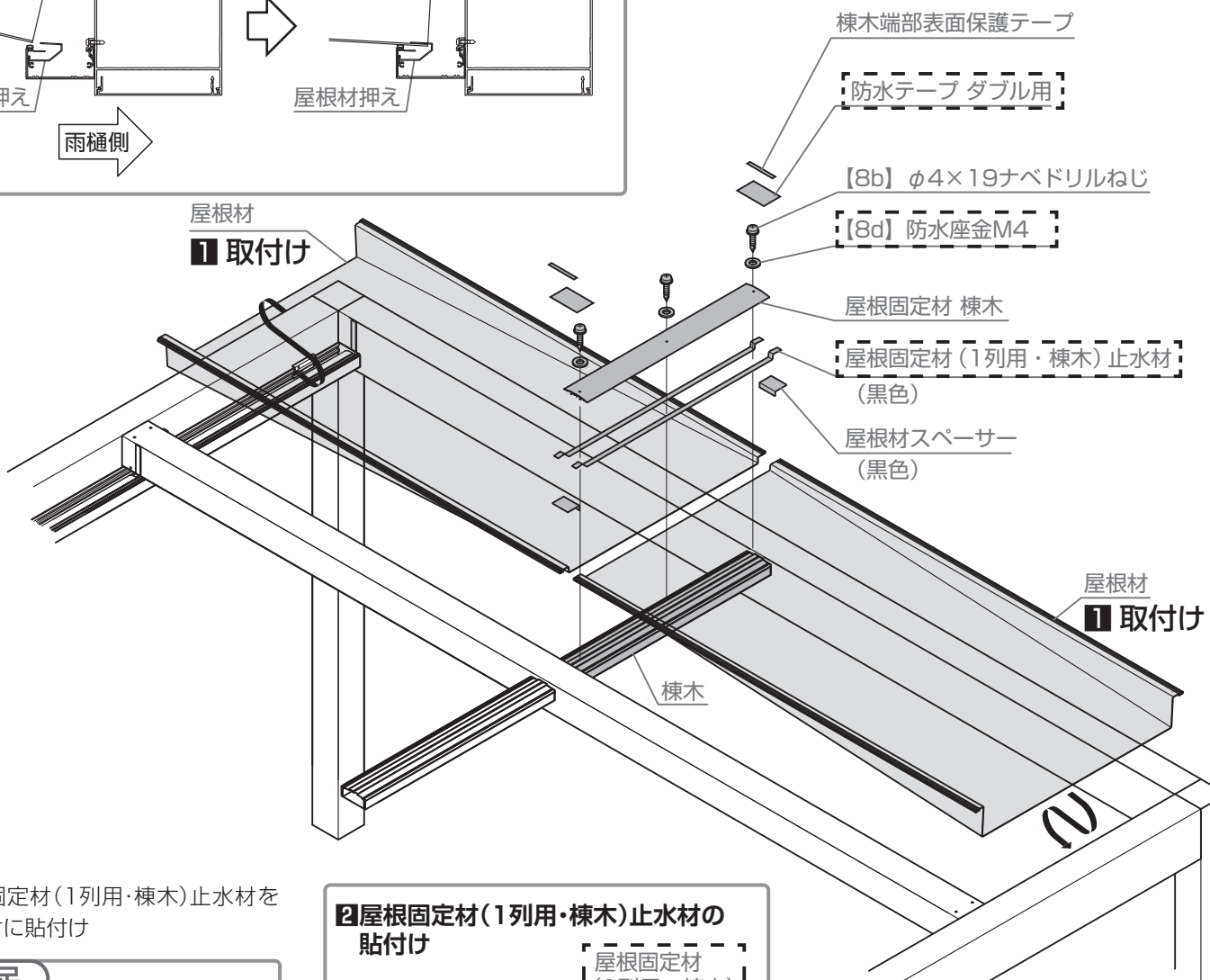
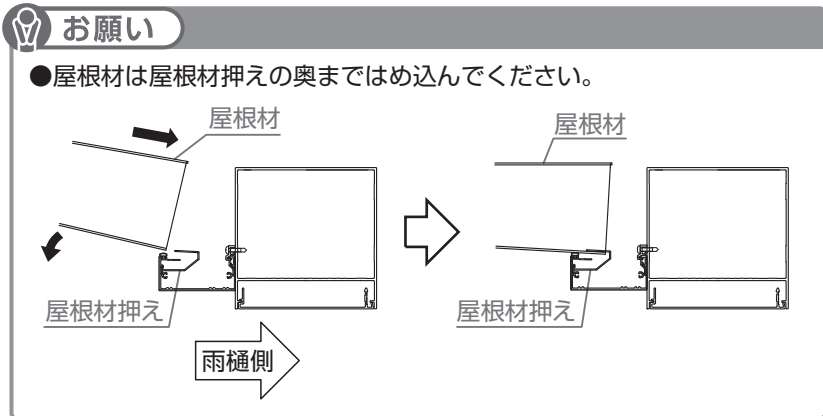
5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

5-5-7 屋根材の取付け

(1) 屋根材・屋根固定材棟木の取付け

※屋根材は端部から1スパンずつ順番にP.42~P.45の作業を繰り返して取付けてください。

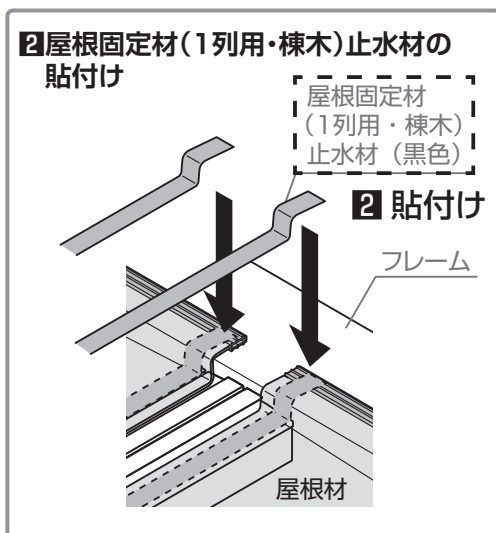
1: 屋根材を屋根材押えに、はめ込み位置を確認して取付け



2: 屋根固定材(1列用・棟木)止水材を屋根材に貼付け

補足

- 屋根材の下の棟木が透けて見えます。棟木の端部にそって屋根固定材(1列用・棟木)止水材を貼付けてください。
- 余分な部分はカッター等で取除いてください。



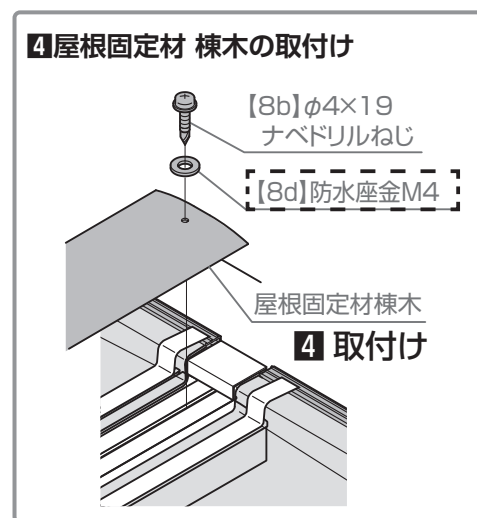
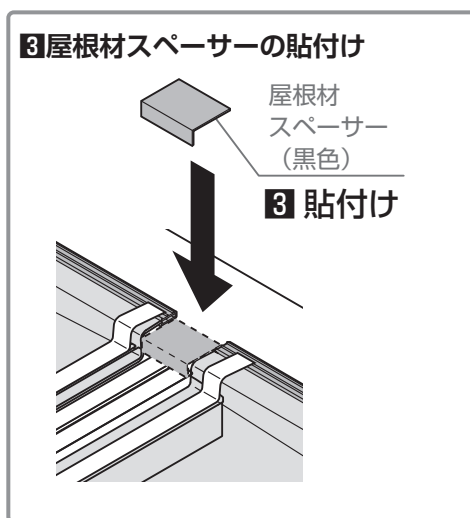
5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

つづき

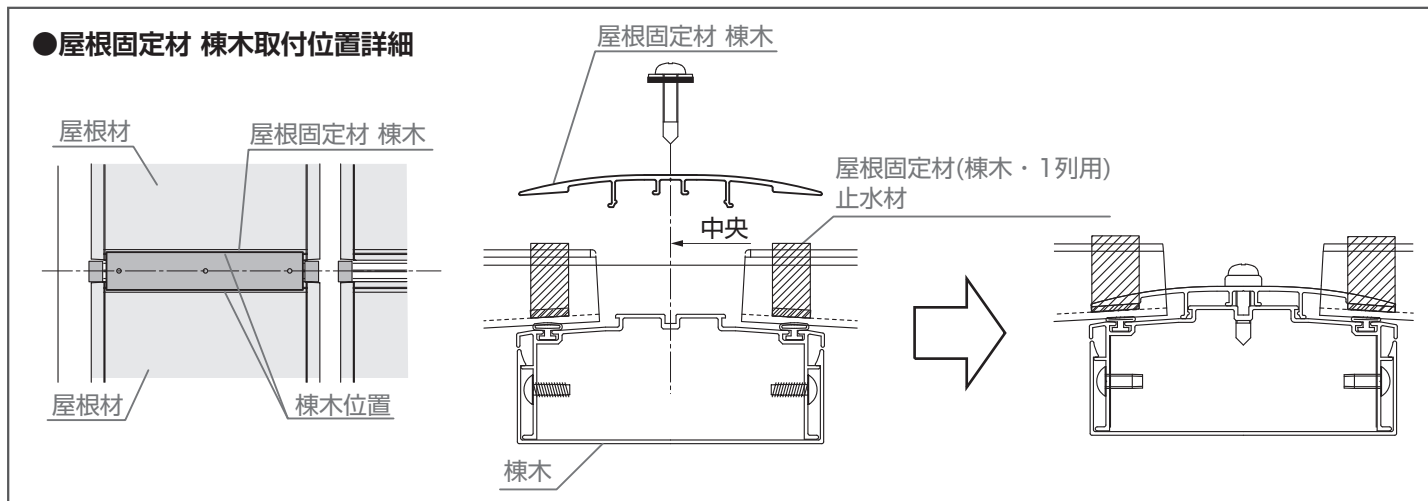
5-5-7 屋根材の取付け

つづき

- 3: 屋根スパーサーを屋根材の隙間を埋めるように、折り曲げてフレーム、中間フレームに貼付け
- 4: 屋根固定材 棟木を棟木にはめ込み、しっかりはまっていることを確認した後、【8b】、【8d】で取付け



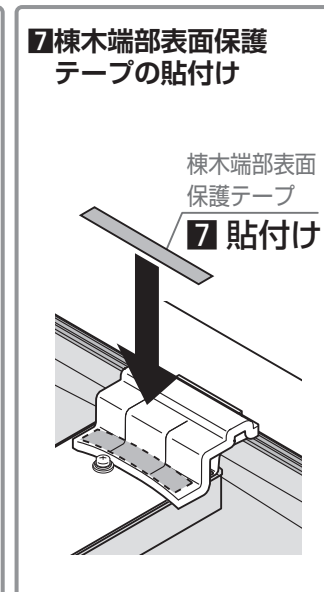
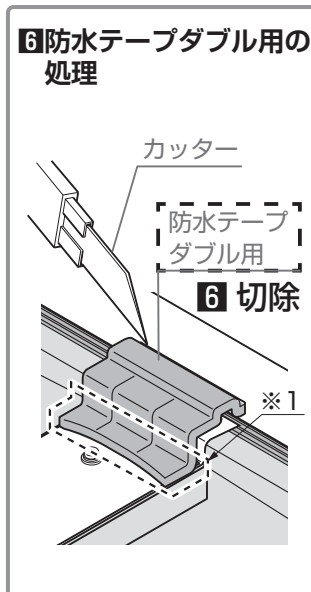
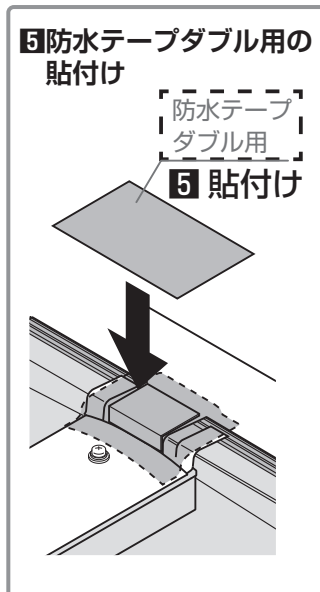
● 屋根固定材 棟木取付け位置詳細



- 5: 防水テープダブル用を屋根材、屋根固定材、棟木、フレームまたは、中間フレームに貼付け
- 6: 防水テープダブル用の余った部分を切除

お願い

- 角部や隅部にすき間ができないように、ルーフ取付穴位置治具等の角の丸い物でしっかり押さえつけてください。(※1)
 - 防水テープの接着面のすき間は漏水の原因になります。
 - 防水テープダブル用で屋根材ラインから3mm以上はみ出した場合は、カッターなどで取り除いてください。
- 次に取付ける屋根固定材の取付けが出来なくなります。



- 7: 棟木端部表面保護テープを防水テープダブル用を覆うようにして貼付け

5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

つづき

5-5-7 屋根材の取付け

つづき

(2) 屋根固定材の取付け

- ❶: 屋根固定材端部をフレームに【8a】で取付け
- ❷: 屋根固定材中間を中間フレームに【8a】で取付け
- ❸: 屋根固定材端部止水材端部・中間をフレーム、中間フレームに取付け

【8b】φ4×19
ナベドリルねじ

屋根固定材カバー 中間

【8d】防水座金M4

【8a】φ4×13
ナベドリルねじ

屋根固定材 中間

❷ 取付け

A部

屋根材

【8b】φ4×19ナベドリルねじ

❷ 固定

【8d】防水座金M4

❷ 固定

【8a】φ4×13
ナベドリルねじ

屋根固定材 端部

❶ 取付け

屋根固定材カバー 端部

A部

A部

A部

φ3.5

❶ 穴加工

屋根材

A部

●A部詳細図

屋根固定材端部
止水材 中間(黒色)

❸ 取付け

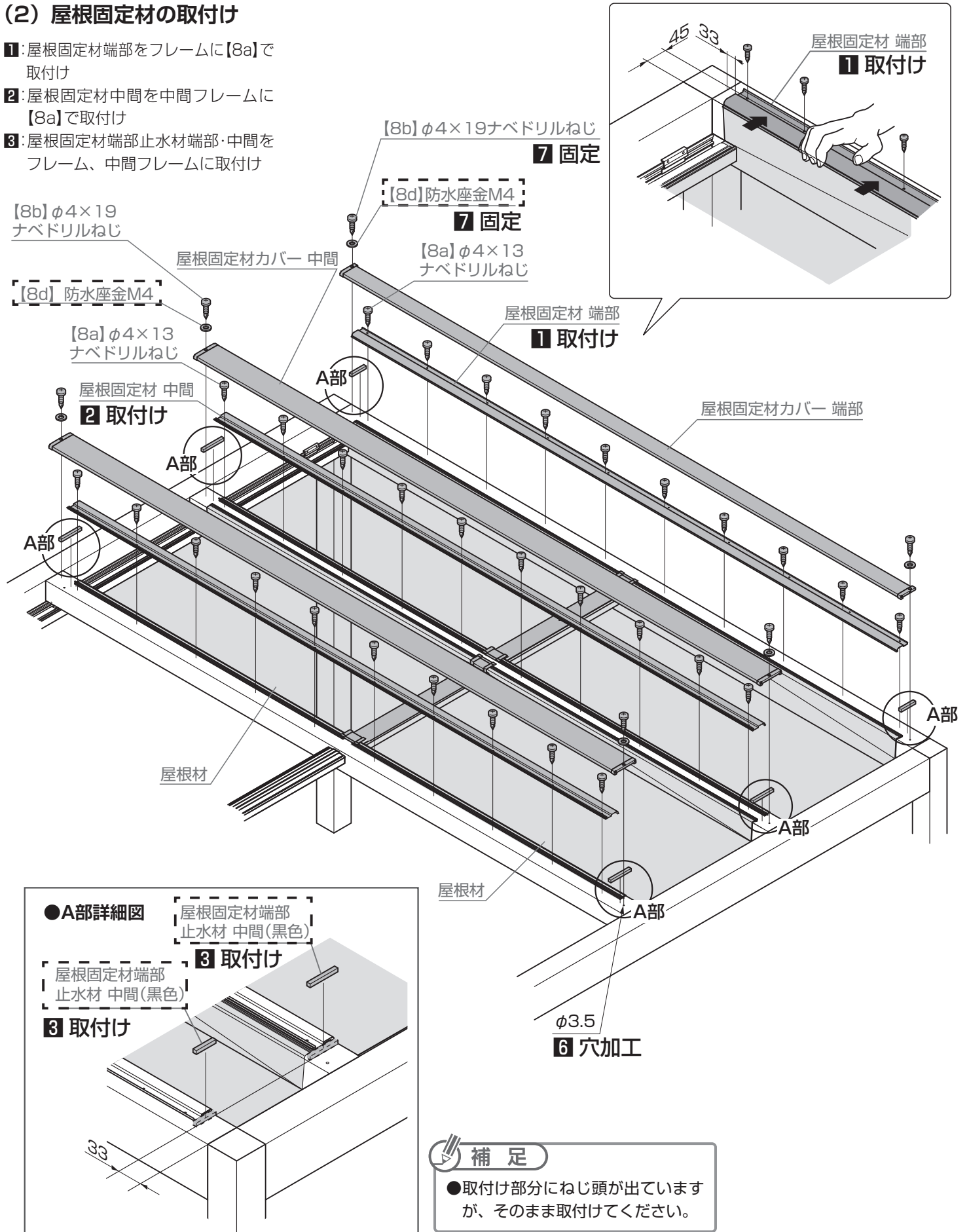
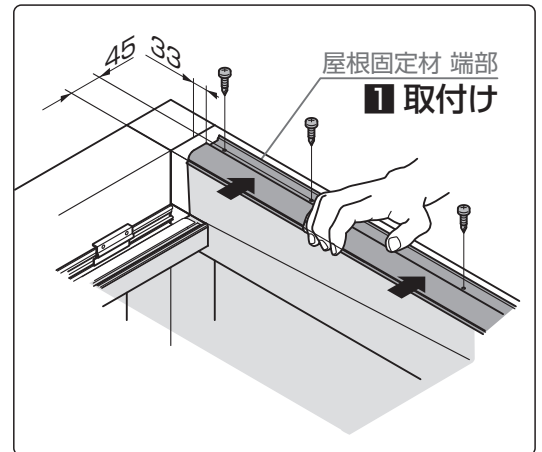
屋根固定材端部
止水材 中間(黒色)

❸ 取付け

33

補足

- 取付け部分にねじ頭が出ていますが、そのまま取付けてください。



5-5 Gルーフ フリータイプの取付け

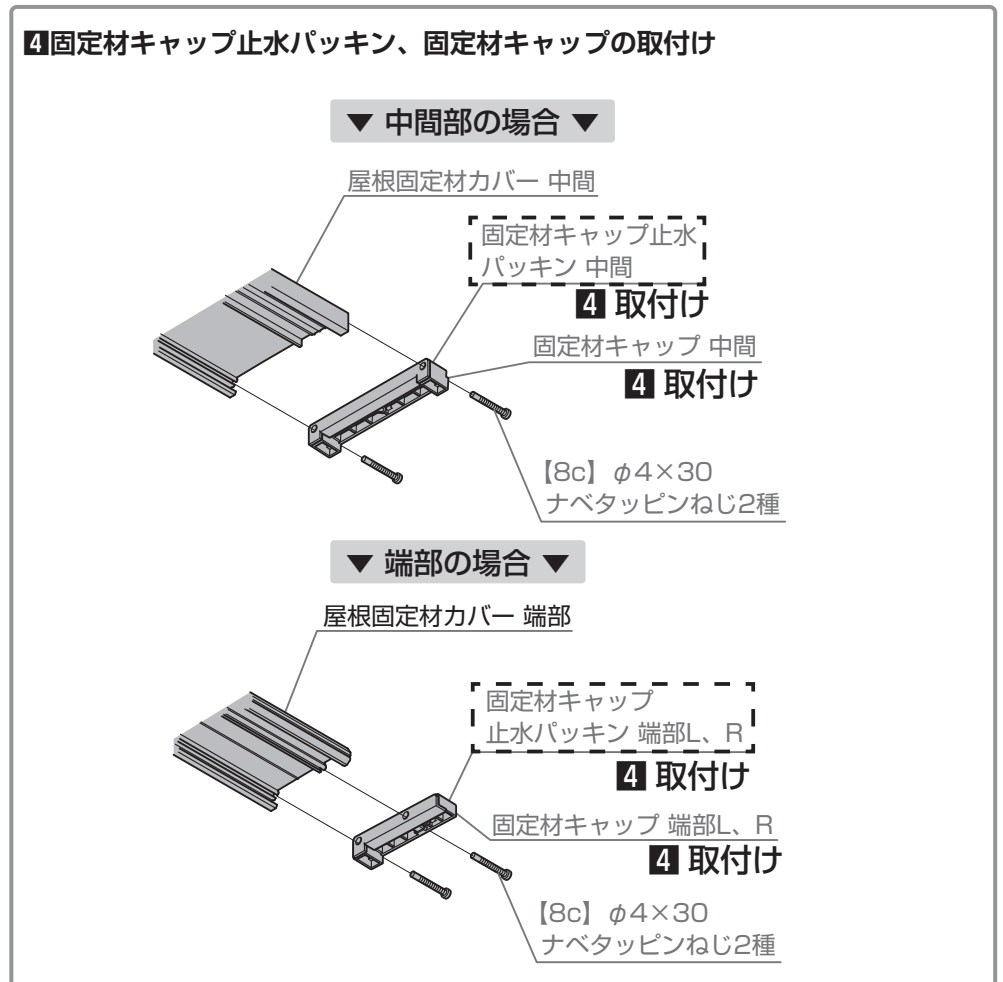
つづき

5-5-7 屋根材の取付け

つづき

4: 固定材キャップ止水パッキン、固定材キャップを屋根固定材カバーに【8c】で取付け

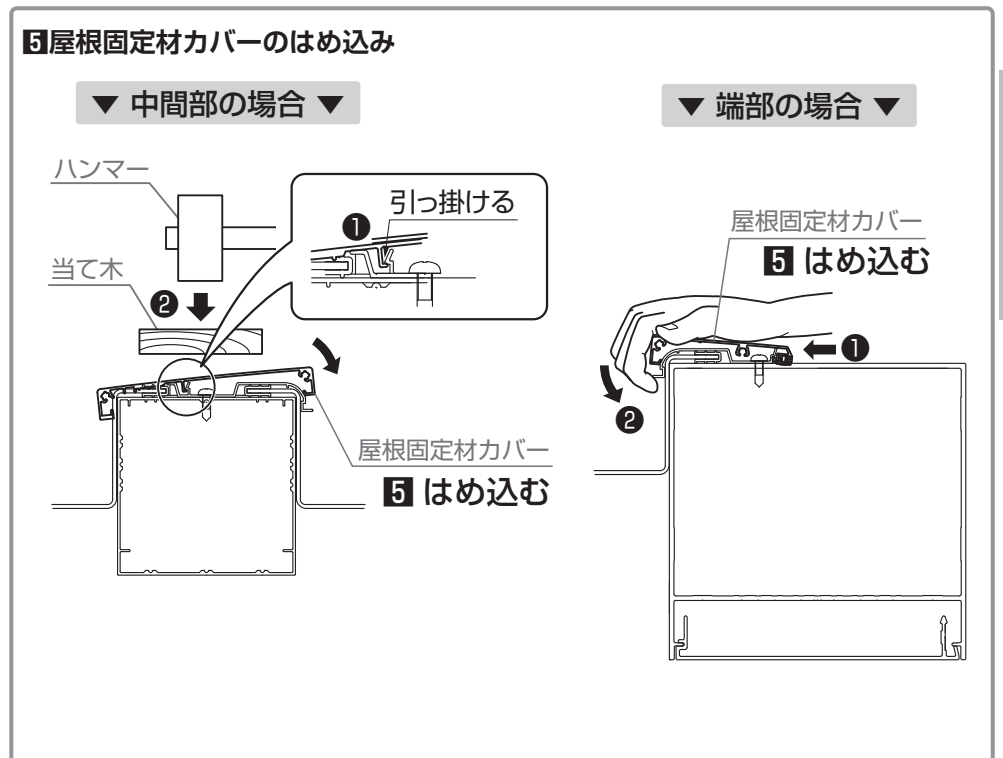
4 固定材キャップ止水パッキン、固定材キャップの取付け



5: 屋根固定材カバーを屋根固定材にはめ込む

お願い
●屋根固定材カバー 中間は当て木を使ってハンマー等ではめ込んでください。

5 屋根固定材カバーのはめ込み



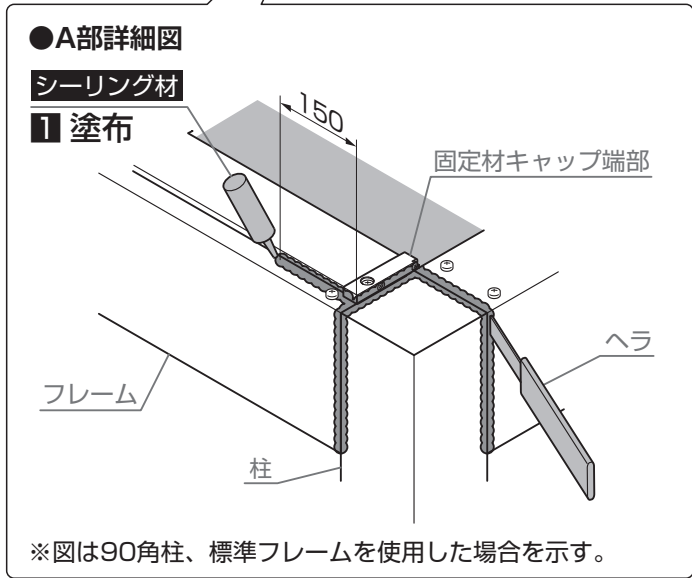
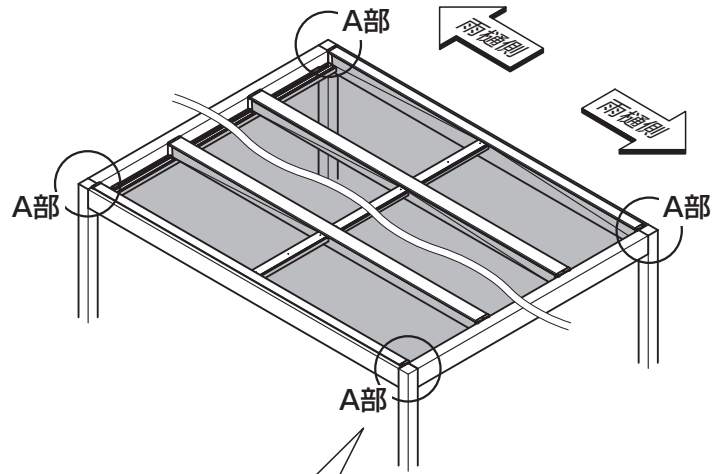
6: フレームにφ3.5穴加工
7: 固定材キャップを【8b】、【8d】で固定

5-5-8 シーリング

1: 図の位置にシーリング材を塗布

お願い

- すき間なくシーリング処理をしてください。すき間がある場合、雨水が侵入する場合があります。
- シーリングはヘラ等でおさえて十分密着させてください。



5 本体の施工

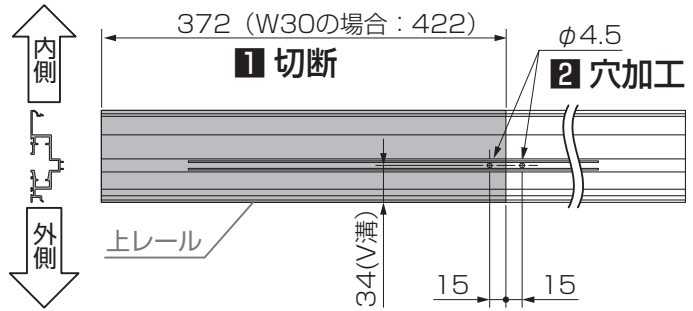
5-6 折戸 上レールの取付け

5-6-1 | 上レールの加工

- 1: 図を参照して上レール端部を切断
- 2: 図の位置にφ4.5の穴加工

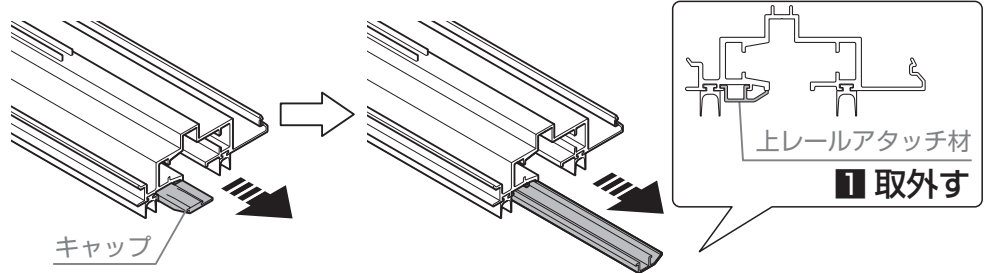
💡 お願い

- パネルを吊込む位置を確認して左右どちらから切断してください。
- 5スパンの場合は、調整FIXパネルの左右取付け位置と反対側の端部を切断してください。

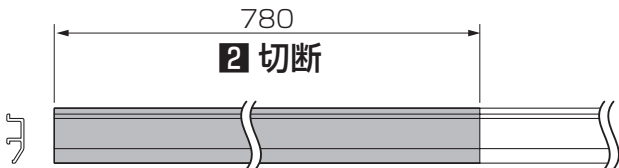


5-6-2 | 上レールアタッチ材の加工 (5スパンの場合)

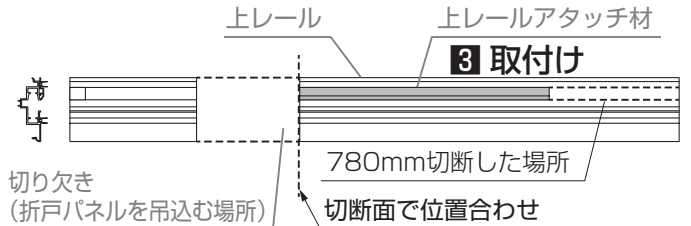
- 1: 切断した上レールの長手側アタッチ材を取外す
- 2: 下記の図を参照して上レールアタッチ材を切断
- 3: 切断した上レールアタッチ材を上レールの切断面側に合わせて取付け



● 上レールアタッチ材切断サイズ



● 上レールアタッチ材取付け位置詳細

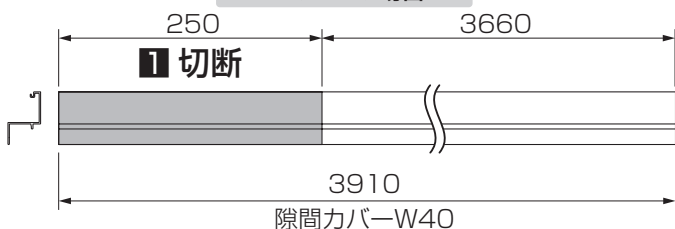


5-6-3 | 隙間カバーの取付け (150角フレームの場合)

- 1: 下記の図を参照して隙間カバーを切断
- 2: 外側の隙間カバーをフレームに【4a】で取付け
- 3: 内側の隙間カバーをフレームに【4a】で取付け

● 隙間カバー切断サイズ

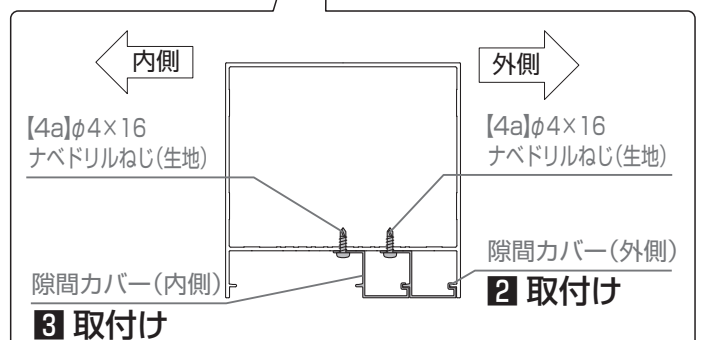
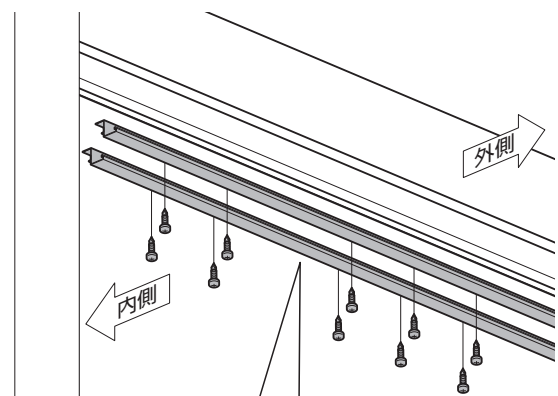
▼ 5スパンの場合 ▼



▼ 6スパンの場合 ▼



※ W30、4スパンの場合は切断しません。



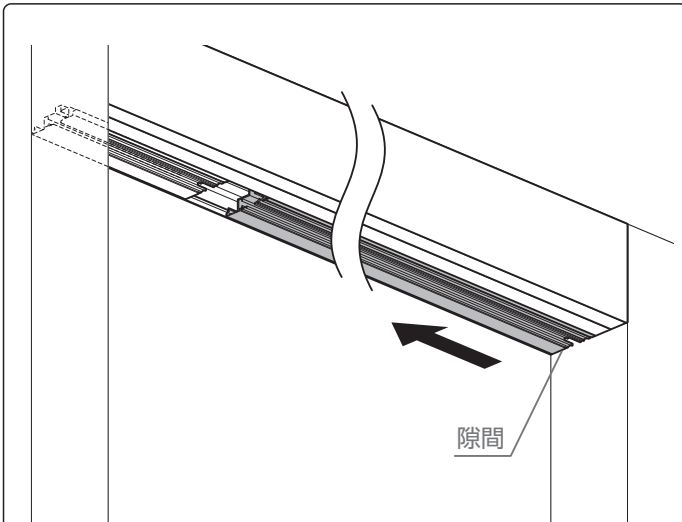
5-6 折戸 上レールの取付け

5-6-4 上レールの取付け

1: 分割した上レールをフレームに【27c】
で取付け

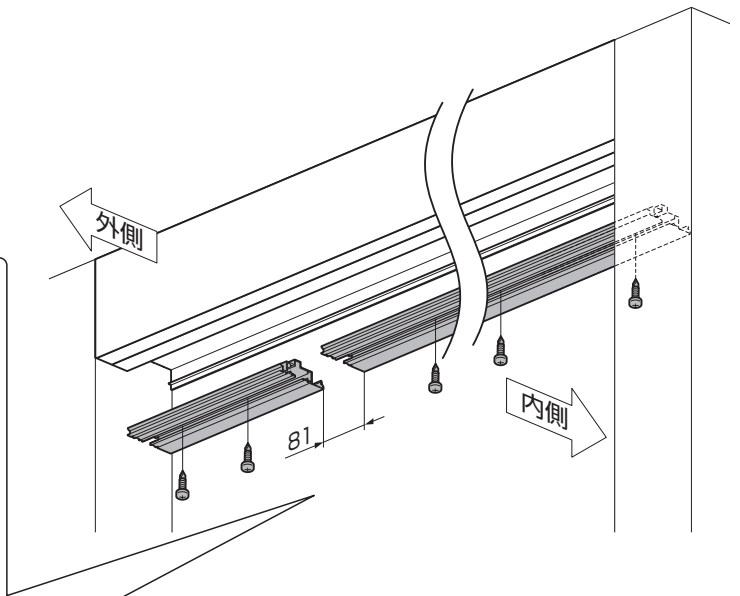
お願い

- 上レールの内側と外側の取付け向きにご注意ください。

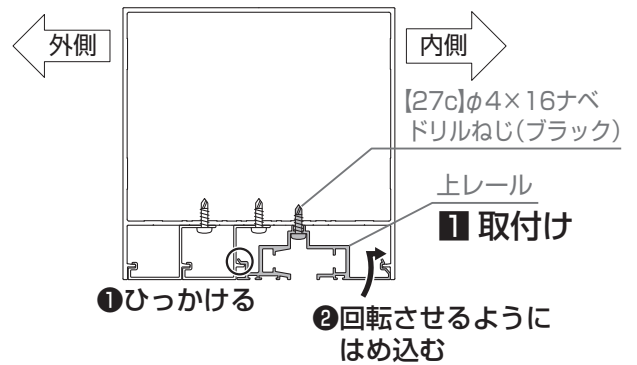


お願い

- 分割したレール間に必ず81mmの隙間を空けてください。81mm以上隙間が空いてしまう場合は、分割したレール間は81mmを保持して柱側で調整してください。



● 上レール取付けの詳細



※はめ込みが固い場合は、当て板やプラスチックハンマーを使用してください。

5 本体の施工

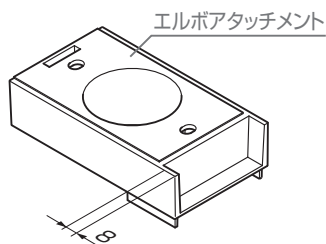
5-7 化粧樋（外側排水用）の取付け

5-7-1 エルボアタッチメントの取付け

- 1: エルボアタッチメントで雨樋にケガく
- 2: 雨樋に水抜き穴φ36とエルボアタッチメント取付け穴φ3.2を穴加工

お願い

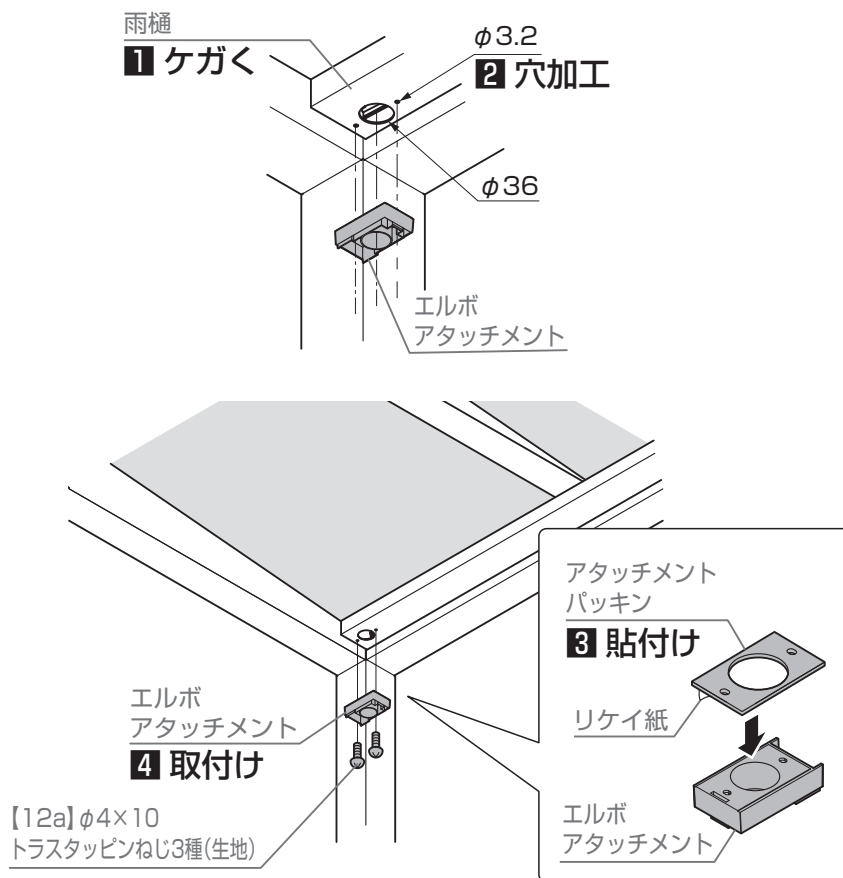
- Gウォール側へ取付ける化粧樋のエルボアタッチメントは端部から8mmカットして取付けてください。



※上記は150角フレームで構成したGウォールの場合の作業です。標準フレームを使用する場合は異なりますので[EXM-017 Gウォール取付説明書]を確認してください。

- 穴加工位置のズレが大きいと、樋が取付けられません。

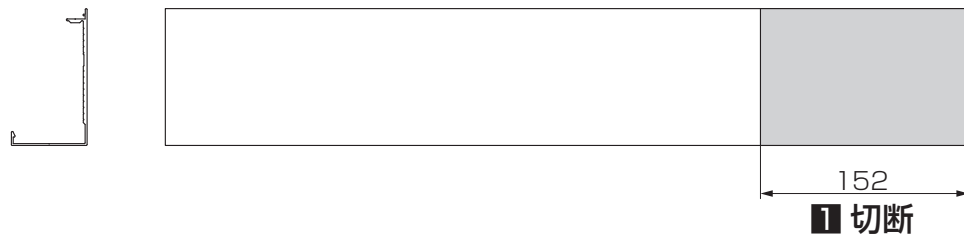
- 3: アタッチメントパッキンをエルボアタッチメントに貼付け
- 4: エルボアタッチメントをルーフの雨樋に【12a】で取付け



5-7-2 化粧樋の加工 ※Gウォール側へ取付ける化粧樋のみの作業です。

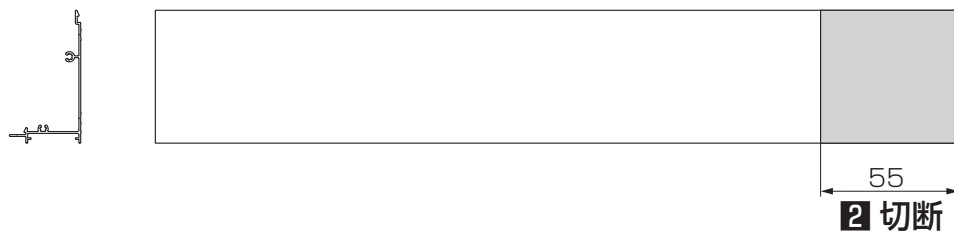
- 1: 化粧樋(意匠部)を152mm切断

●化粧樋（意匠部）



- 2: 化粧樋(ベース部)を55mm切断

●化粧樋（ベース部）



5

本体の施工

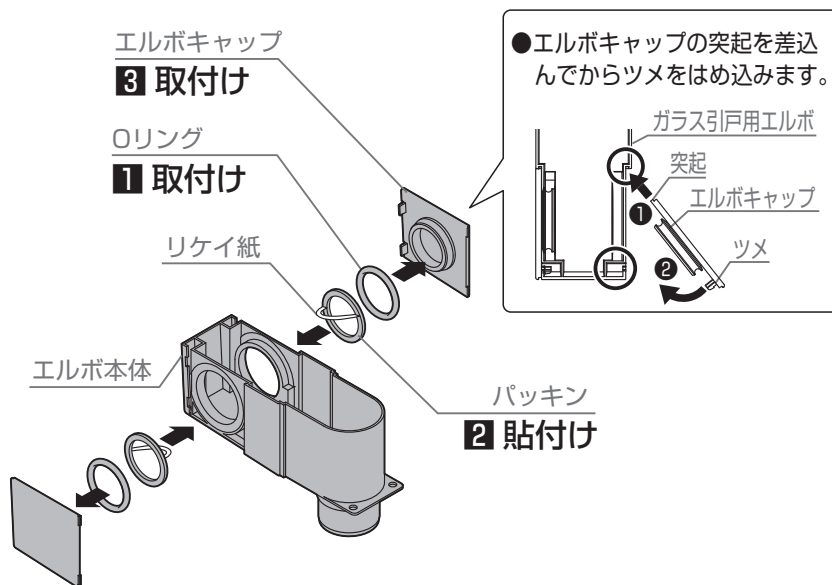
5-7 化粧樋（外側排水用）の取付け

5-7-3 エルボ本体の組立て

- 1: Oリングをエルボキャップに取付け
- 2: パッキンをエルボ本体の円形の溝に貼付け
- 3: エルボキャップをエルボ本体に取付け

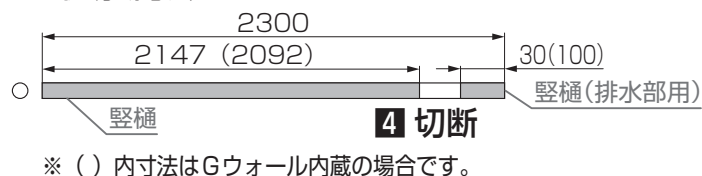
お願い

- パッキンとOリングの取付け位置にズレがないか確認してください。
- エルボキャップがエルボ本体にすき間なくしっかり取付いているか確認してください。

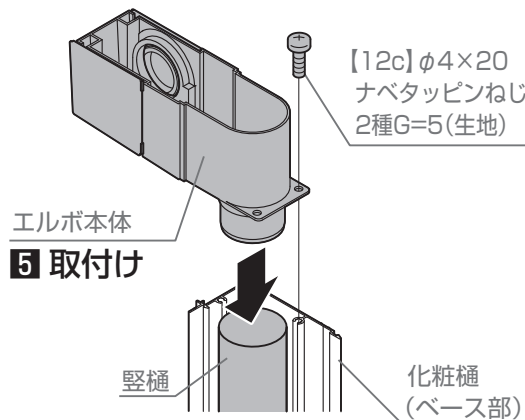


- 4: 縦樋を切断

●縦樋切断寸法

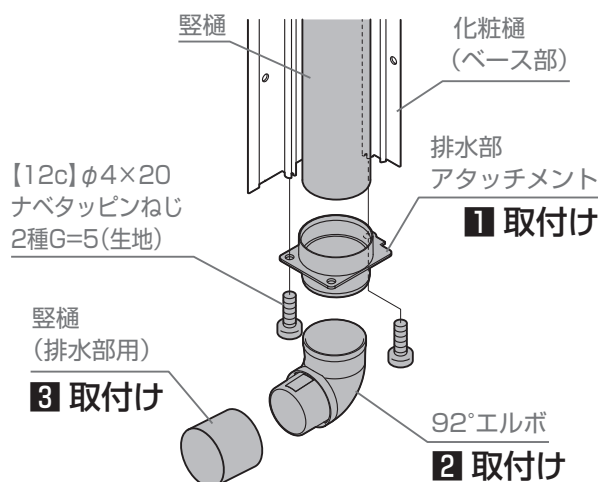


- 5: エルボ本体を化粧樋（ベース部）に【12c】で取付け



5-7-4 排水部の組立て

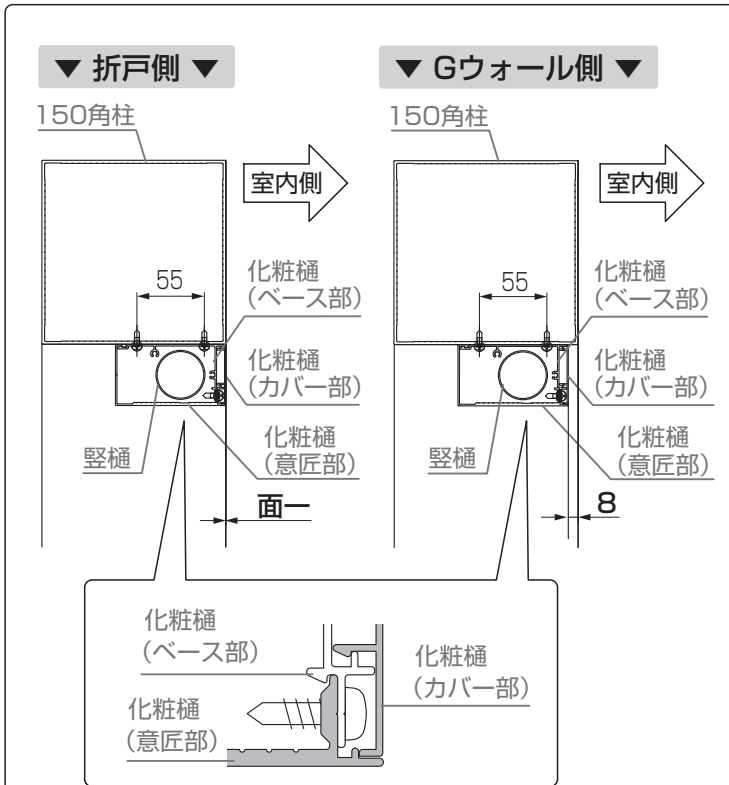
- 1: 排水部アタッチメントを化粧樋（ベース部）に【12c】で取付け
- 2: 92°エルボを排水部アタッチメントに取付け
- 3: 「5-7-3 エルボ本体の組立て」で加工した縦樋（排水部用）を92°エルボの排水側に取付け



5-7 化粧樋（外側排水用）の取付け

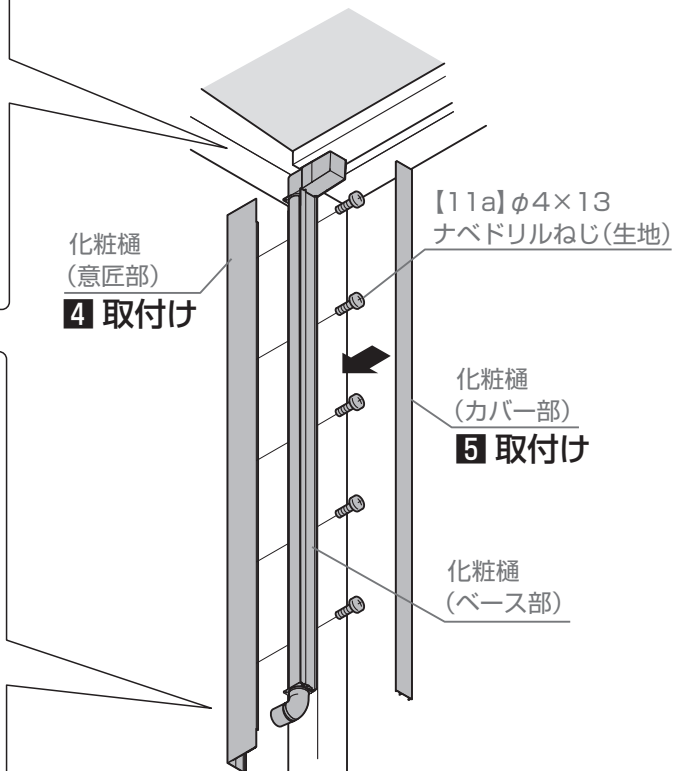
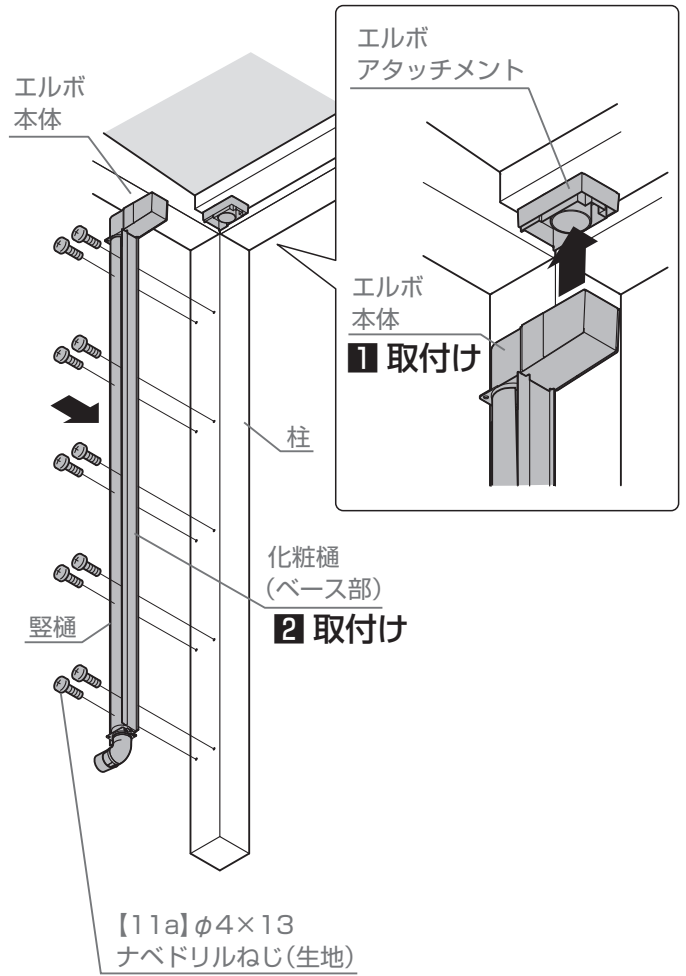
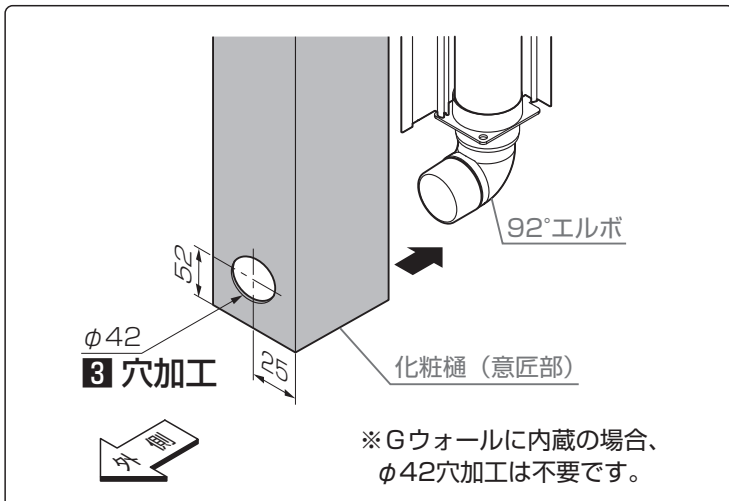
5-7-5 化粧樋の取付け

- 1: エルボ本体をエルボアタッチメントにはめ込んで取付け
- 2: 化粧樋（ベース部）を柱に【11a】で取付け
- 3: 化粧樋（意匠部）の排水側に92°エルボ用の穴加工
- 4: 化粧樋（意匠部）を化粧樋（ベース部）に【11a】で取付け
- 5: 化粧樋（カバー部）を化粧樋（ベース部）にはめ込んで取付け



💡 お願い

●折戸側かGウォール側か化粧樋を取り付ける側で納まりが異なります。注意して取付けてください。



5 本体の施工

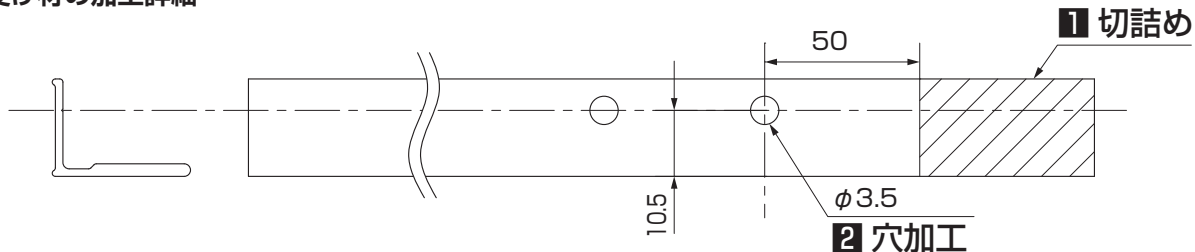
5-8 ボード天井材の取付け

5-8-1 端部受け材の取付け

1: 端部受け材を必要に応じて切詰め

2: フレームに $\phi 3.5$ の穴加工

●端部受け材の加工詳細



加工寸法表

設置サイズ	使用部材	必要部材長さ	部材切断寸法
4スパン	5スパン用	2910	750mm切詰
5スパン	5スパン用	3660	不要
6スパン	7スパン用	4410	750mm切詰

※寸法値は目安です。取付け箇所を測定し納まりに合わせて加工してください。

💡 お願い

●化粧樋（外側排水用）のエルボの寸法を実測し、加工寸法表+エルボ寸法を切り詰めてください。

3: 端部受け材をフレームに【15b】で取付け

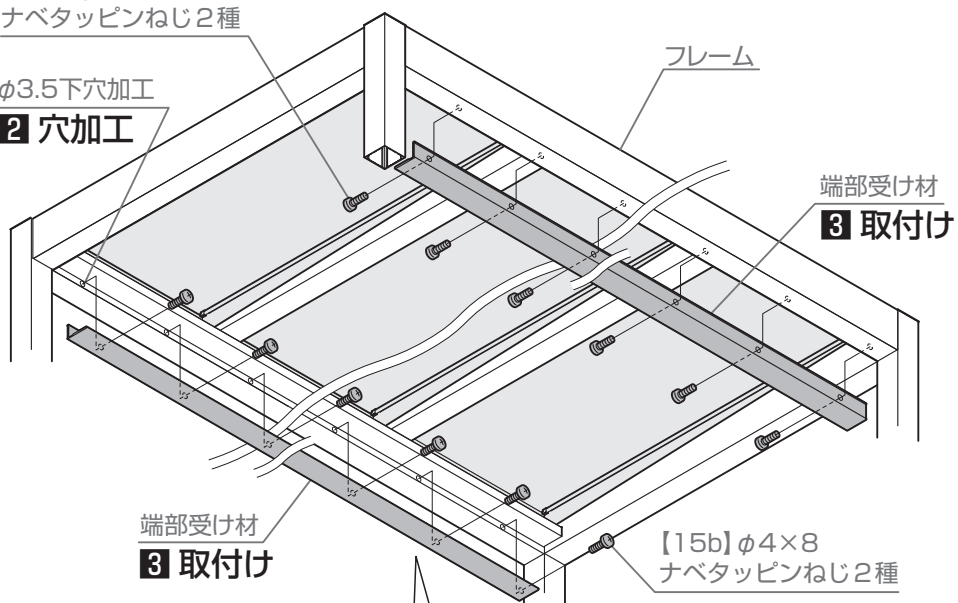
【15b】 $\phi 4 \times 8$
ナベタッピンねじ2種

🔧 補足

●【15b】 $\phi 4 \times 8$ ナベタッピンねじ2種は手締めで取付けてください。

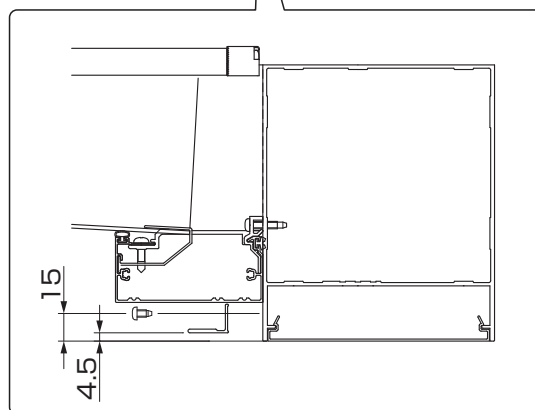
$\phi 3.5$ 下穴加工

2 穴加工



端部受け材
3 取付け

【15b】 $\phi 4 \times 8$
ナベタッピンねじ2種



5-8 ボード天井材の取付け

5-8-2 連結カバー受けの取付け

- ❶: フレームをケガキ、φ3.5 の穴加工
- ❷: 連結カバー受け固定金具をフレームに【16a】で取付け

- ❸: 連結カバー受けを必要に応じて切詰め

連結カバー受け材の加工



加工寸法表

設置サイズ	使用部材	必要部材長さ	部材切断寸法
4スパン	5スパン用	2905	750mm切詰
5スパン	5スパン用	3655	不要
6スパン	7スパン用	4405	750mm切詰

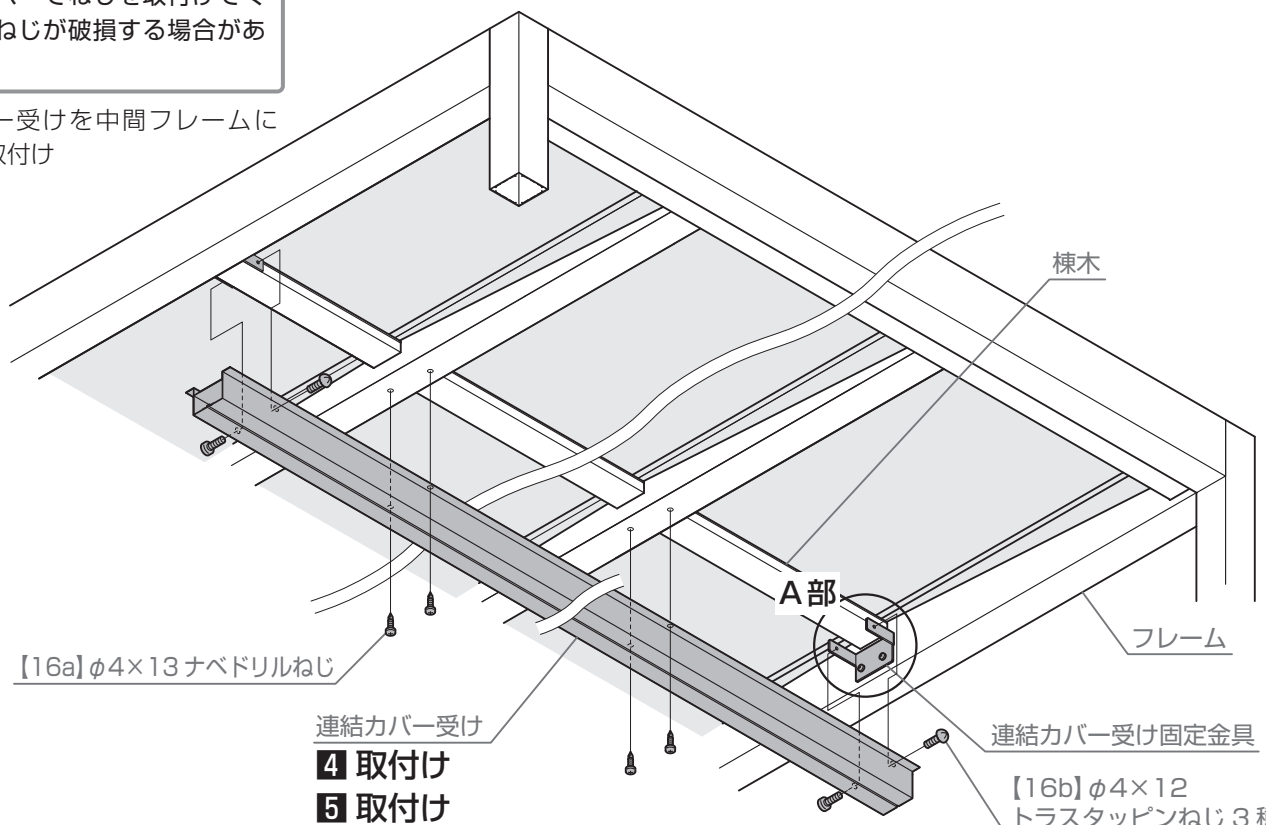
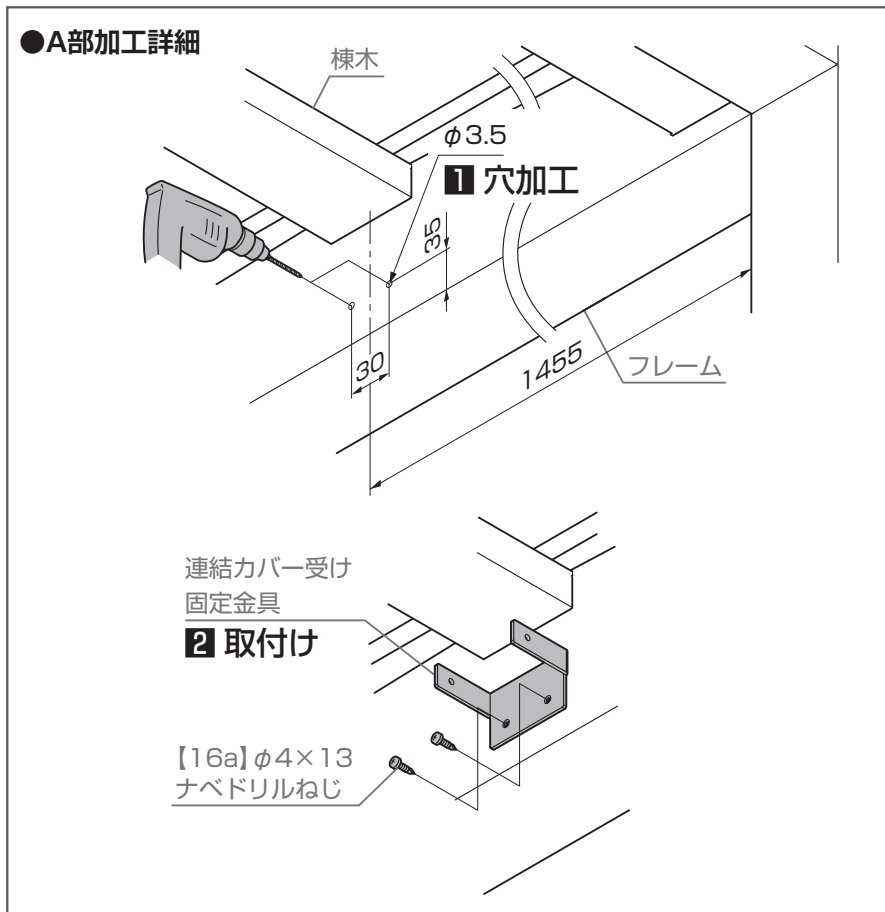
※寸法値は目安です。取付け箇所を測定し納まりに合わせて加工してください。

- ❹: 連結カバー受けを連結カバー受け固定金具に【16b】で取付け

お願い

●連結カバー受けを連結カバー受け固定金具に取付ける場合は、インパクトドライバーは、使用しないでドライバーでねじを取付けてください。ねじが破損する場合があります。

- ❺: 連結カバー受けを中間フレームに【16a】で取付け



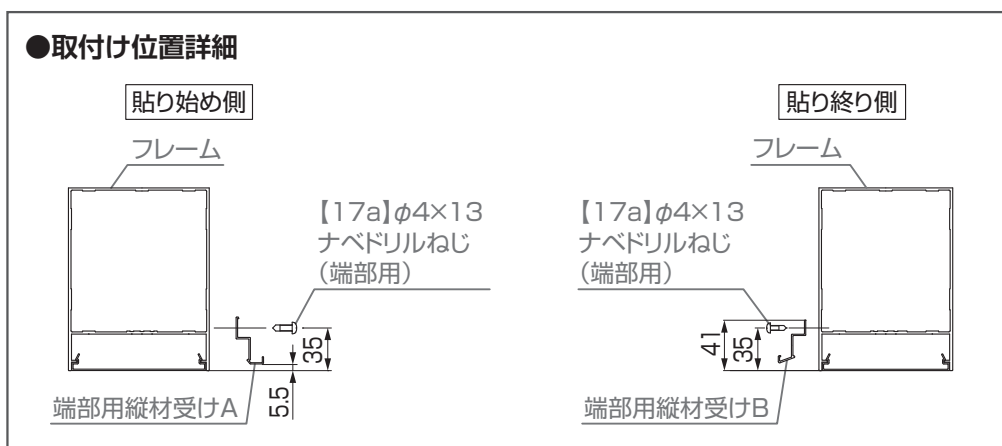
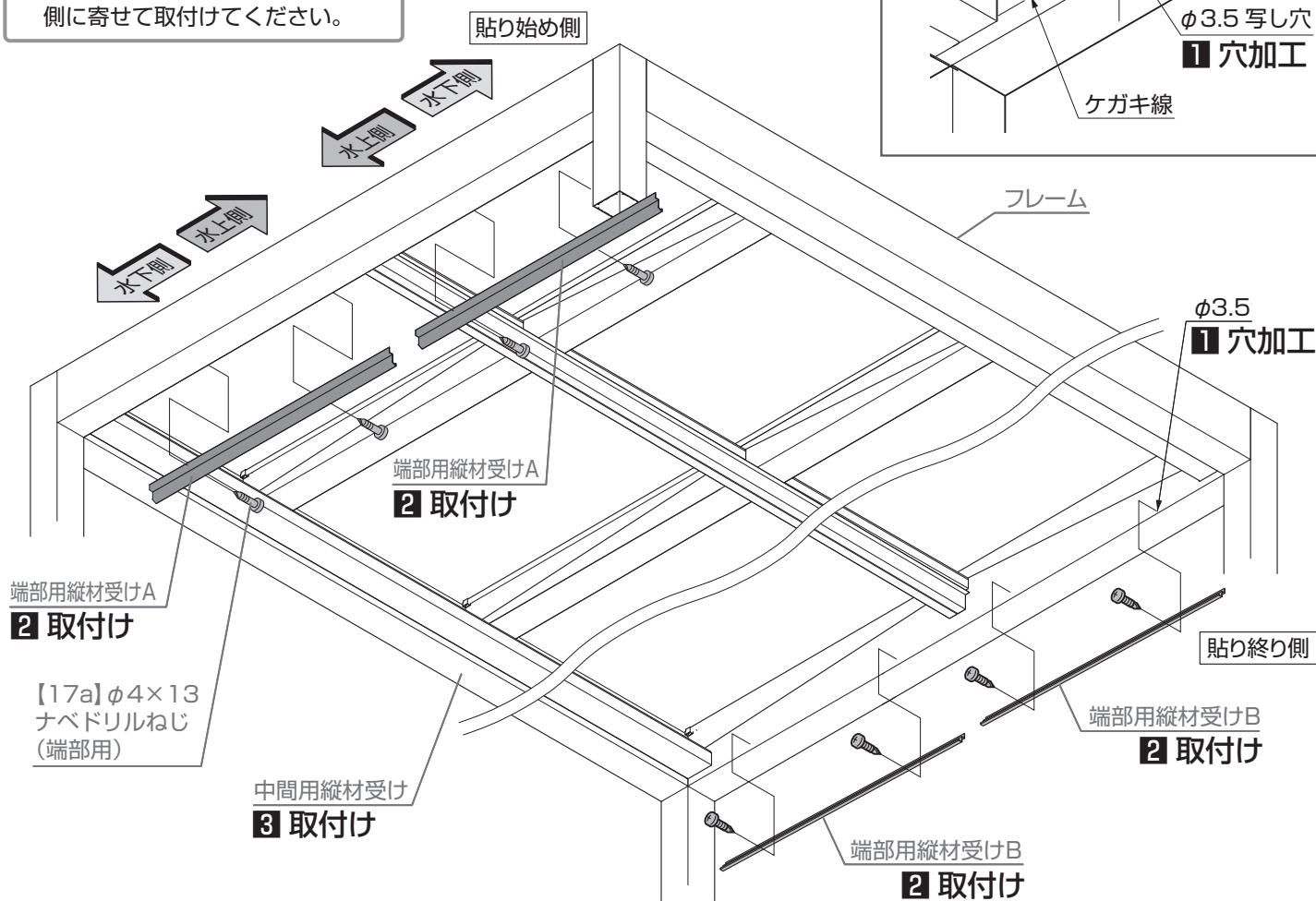
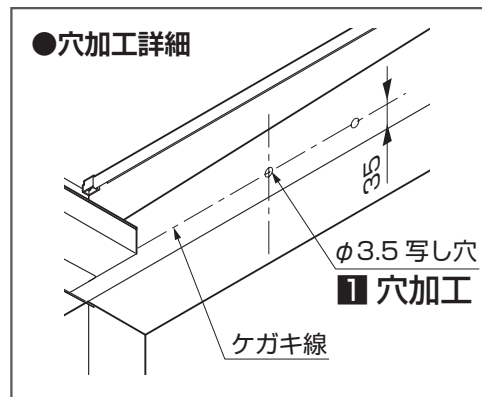
5-8 ボード天井材の取付け

5-8-3 端部縦材受けの取付け

- ❶: 端部用縦材受けのピッチに合わせて、フレームにφ3.5の穴加工
- ❷: 端部用縦材受けをフレームに【17a】で取付け

お願い

- 端部用縦材受けは、フレームに対して平行になるように取付けてください。
- 端部用縦材受けは、ルーフの水上側に寄せて取付けてください。



5-8 ボード天井材の取付け

5-8-4 断熱材と天井材共通スペーサーの取付け

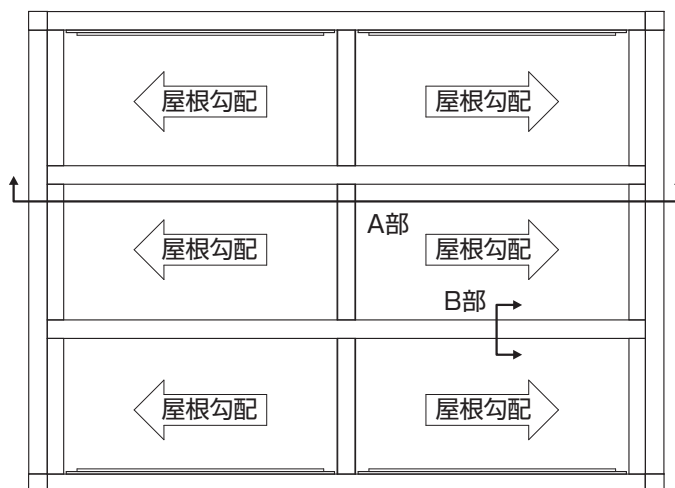
お願い

- 屋根に断熱材を取付けない場合は、下記の取付説明書を参照し天井材を取付けてください。
 - ・板張り天井材：取付説明書 Gルーフ 天井材フリータイプ 〈EXM-154〉
 - ・ボード天井材：取付説明書 Gルーフ フリータイプ ボード天井 〈EXM-155〉
- 屋根に断熱材を取付ける場合は、**必ず乳白色の屋根材を使用してください**。シャープホワイト色の屋根材を使用した場合、断熱材が耐候性劣化するおそれがあります。
- 板張り天井材に断熱材を取付ける場合も同様の手順で作業を行ってください。
- Gルーフのスパン数によって使用枚数が異なります。下表で使用枚数を確認してください。

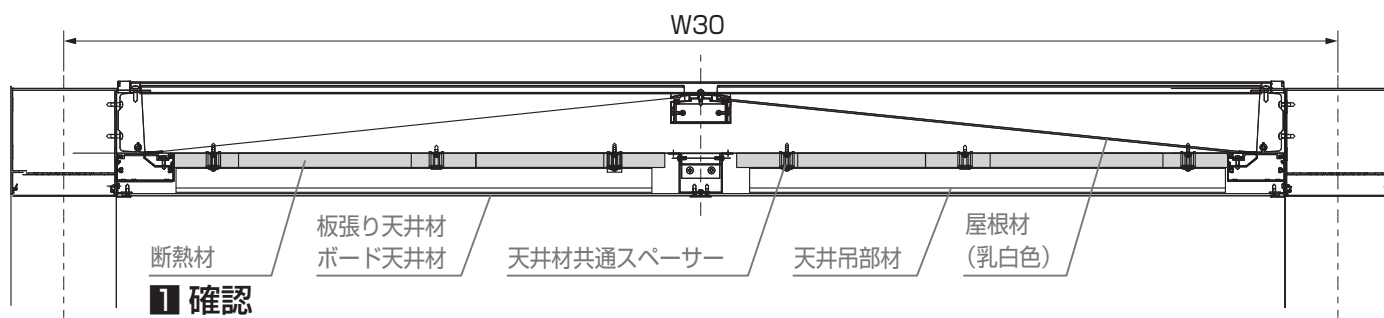
W/スパン	1スパン	2スパン	3スパン	4スパン	5スパン	6スパン	7スパン
W30		3枚	6枚	6枚	6枚	8枚	9枚

- ※1スパンは中間フレームがなく、断熱材が固定できないため取付けできません。
- ※2スパン以上で屋根材が1スパンの場合、中間フレームに必要な部品を付けることができないため、取付けできません。
- ※W30以外のサイズには断熱材の取付けはできません。

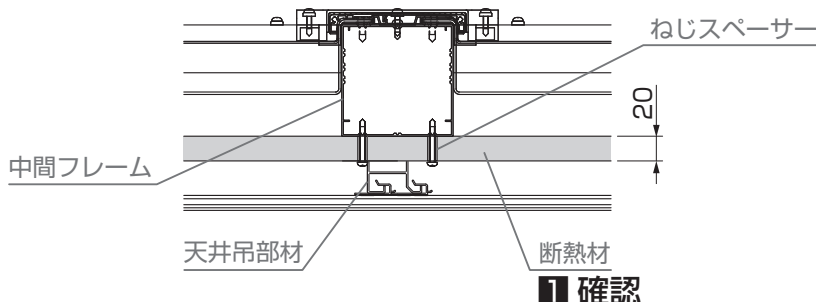
1:断熱材の取付け位置の確認



●A部断面詳細図



●B部断面詳細図



5 本体の施工

5-8 ボード天井材の取付け

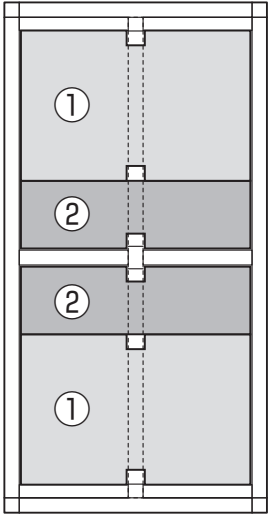
つづき

5-8-4 断熱材と天井材共通スペーサーの取付け

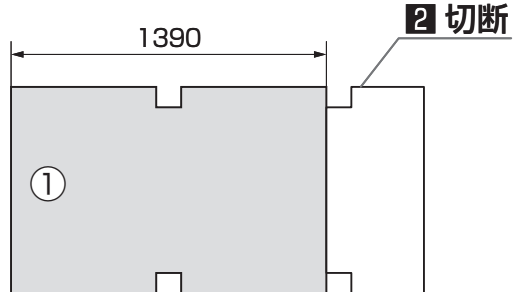
つづき

2: 断熱材の割付を確認し加工

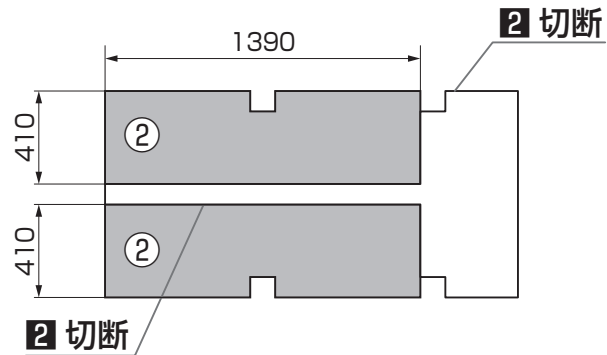
▼ 2スパンの場合 ▼



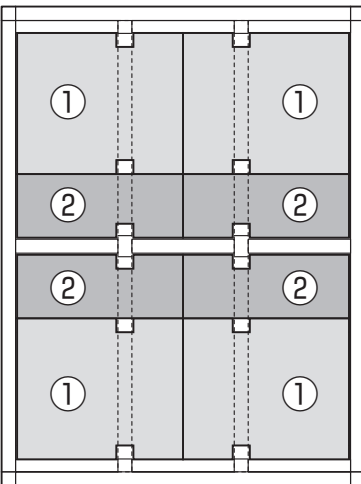
● 端部 必要数 2 枚



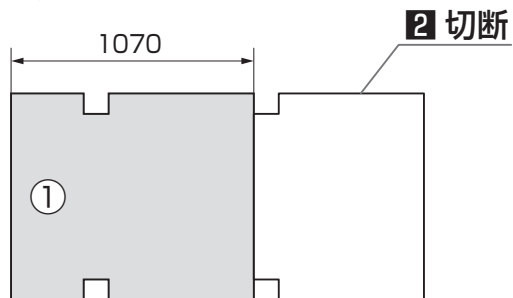
● 中間部 必要数 1 枚



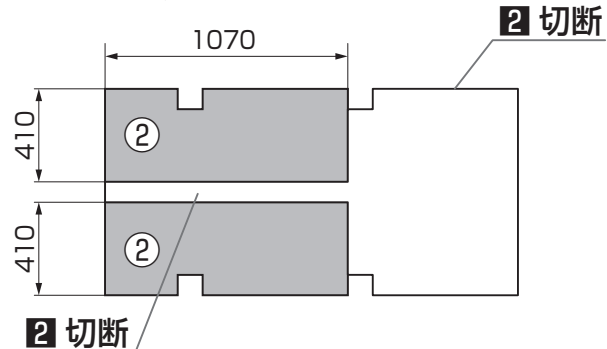
▼ 3スパンの場合 ▼



● 端部 必要数 4 枚



● 中間部 必要数 2 枚



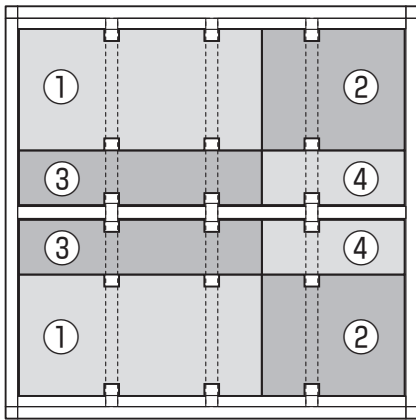
5-8 ボード天井材の取付け

つづき

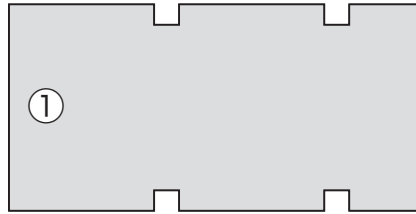
5-8-4 断熱材と天井材共通スペーサーの取付け

つづき

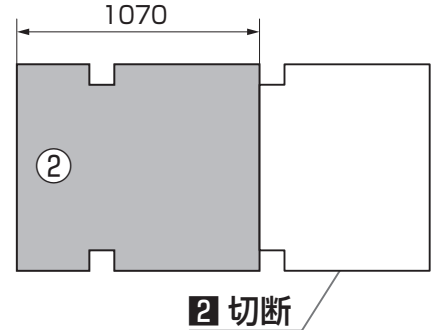
▼ 4スパンの場合 ▼



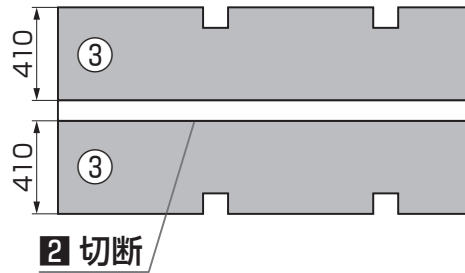
●端部 必要数 2 枚



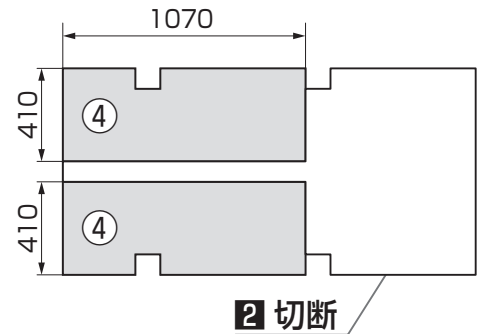
●端部 必要数 2 枚



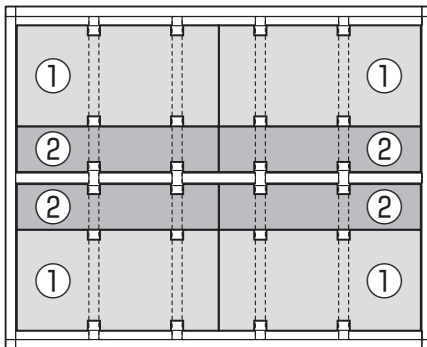
●中間部 必要数 1 枚



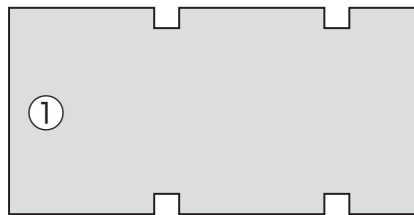
●中間部 必要数 1 枚



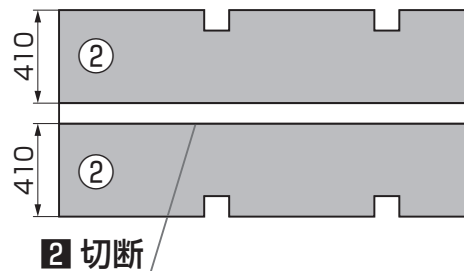
▼ 5スパンの場合 ▼



●端部 必要数 4 枚



●中間部 必要数 2 枚



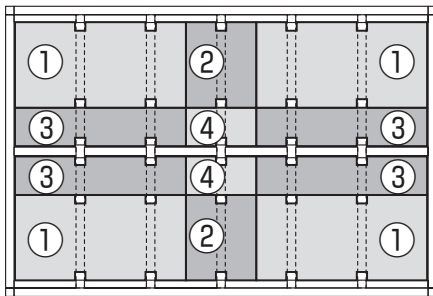
5-8 ボード天井材の取付け

つづき

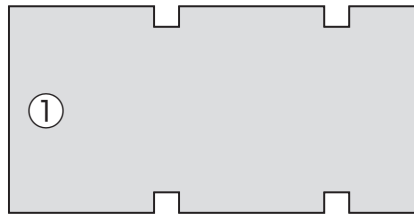
5-8-4 断熱材と天井材共通スペーサーの取付け

つづき

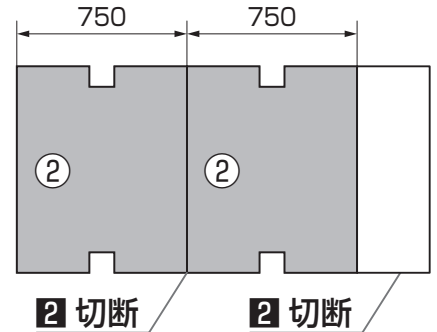
▼ 6スパンの場合 ▼



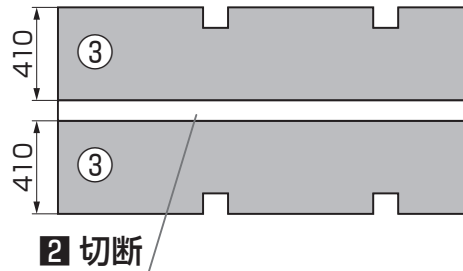
●端部 必要数 4 枚



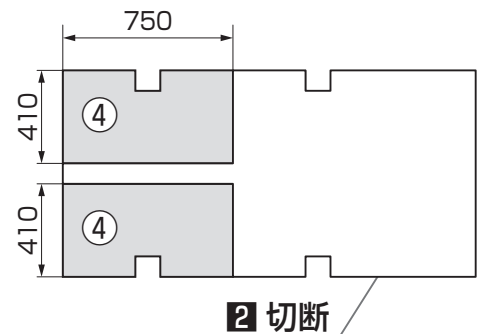
●端部 必要数 1 枚



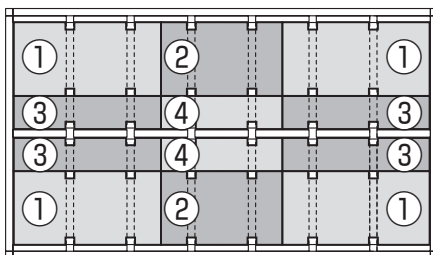
●中間部 必要数 2 枚



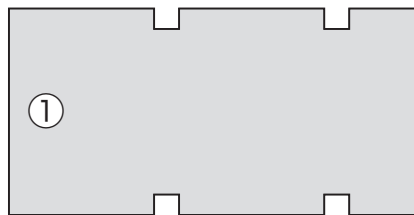
●中間部 必要数 1 枚



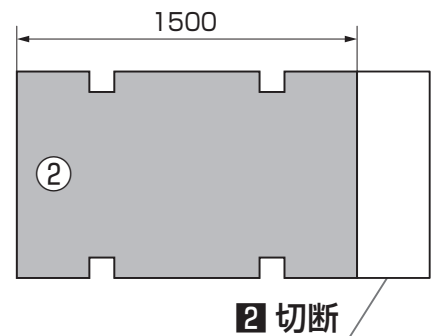
▼ 7スパンの場合 ▼



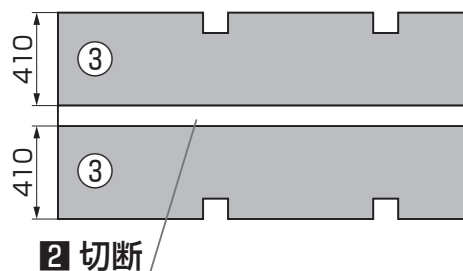
●端部 必要数 4 枚



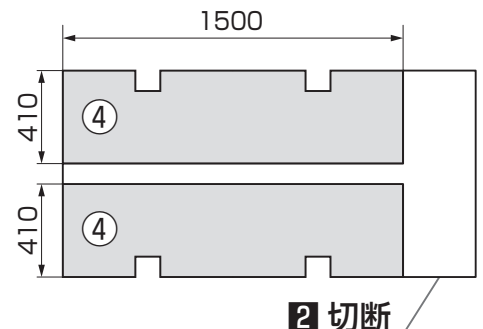
●端部 必要数 2 枚



●中間部 必要数 2 枚



●中間部 必要数 1 枚



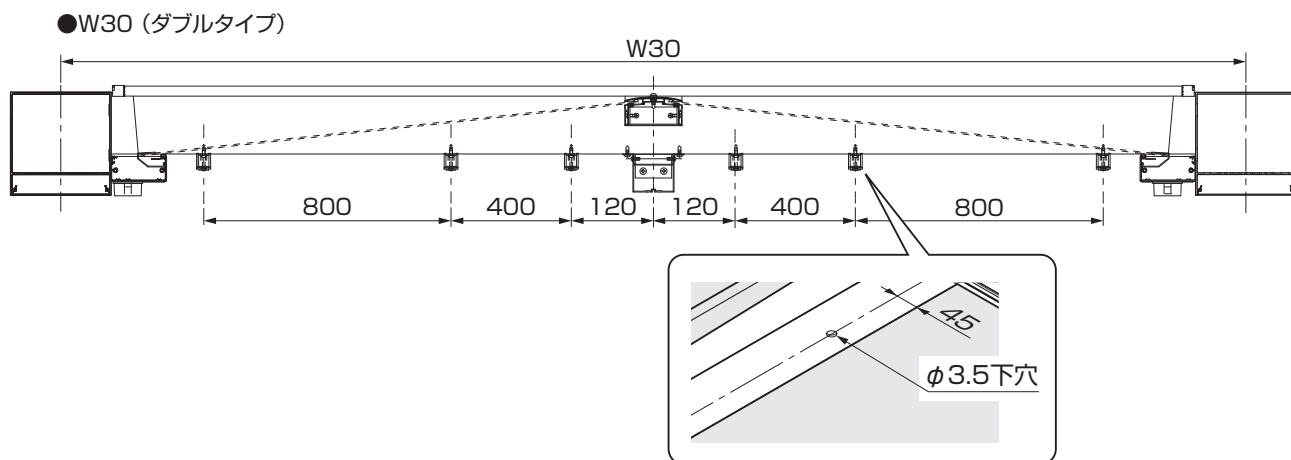
5-8 ボード天井材の取付け

つづき

5-8-4 断熱材と天井材共通スペーサーの取付け

つづき

3: 中間フレームにφ3.5の穴加工



4: 水下側の天井材共通スペーサーを中間フレームに下穴位置に合わせて【17b】で取付け

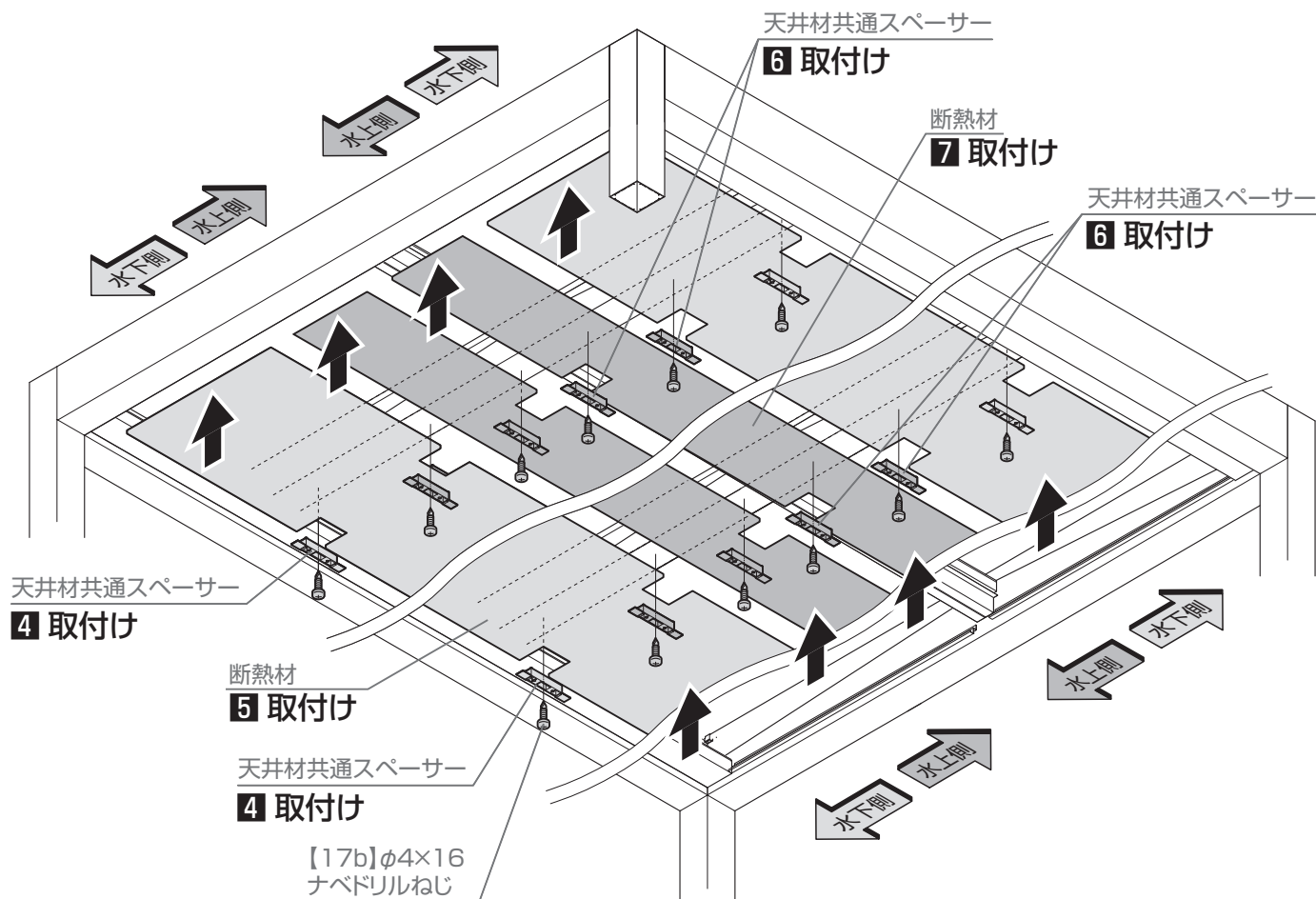
5: 水下側の断熱材を天井材共通スペーサーに切り欠きを差し込むようにして配置

6: 残りの天井材共通スペーサーを中間フレームに下穴位置に合わせて【17b】で取付け

7: 残りの断熱材を水上側の天井材共通スペーサーに切り欠きを差し込むようにして配置

お願い

- 取付け順序に注意して天井材共通スペーサーと断熱材の取付けを行ってください。
- 全ての断熱材の面が揃うように配置してください。
- 断熱材同士が干渉する場合は断熱材の端部を切断し調整してください。
- 中間縦材受けを取付けることで最終的に断熱材は固定されます。中間縦材受けの固定までに断熱材が外れる場合はアルミテープ等で中間フレームに仮留めしてください。



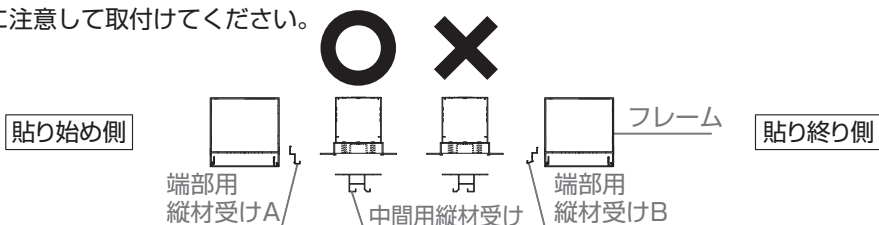
5-8 ボード天井材の取付け

5-8-5 中間縦材受けの取付け

- 1: 中間縦材受けの中央の加工穴を6.5 ~ 7.0に拡大加工
- 2: 中間縦材受けを天井材共通スペーサーのツメに引っ掛けてから中間縦材受け端部の加工穴と水上側・水下側の天井材共通スペーサーの穴ピッチを合わせる
- 3: 中間縦材受けの中央の加工穴にねじスペーサーを中間フレームに当たるまで差込み
- 4: 中間縦材受けを中間フレームに【17c】で取付け

お願い

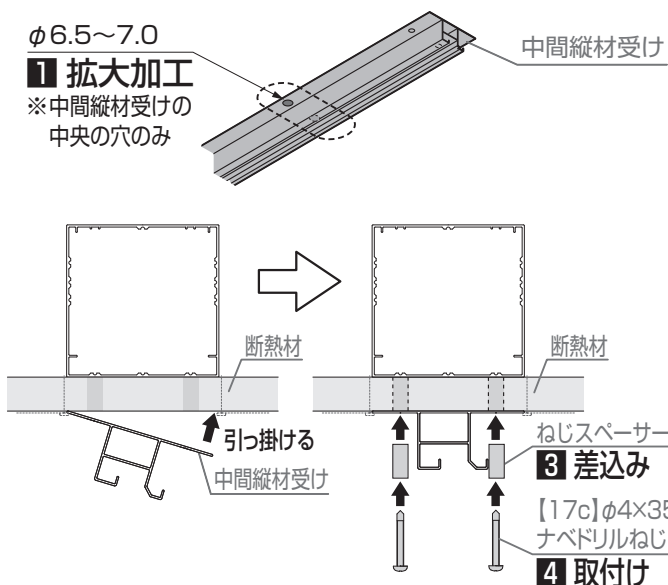
●中間縦材受けの向きに注意して取付けてください。



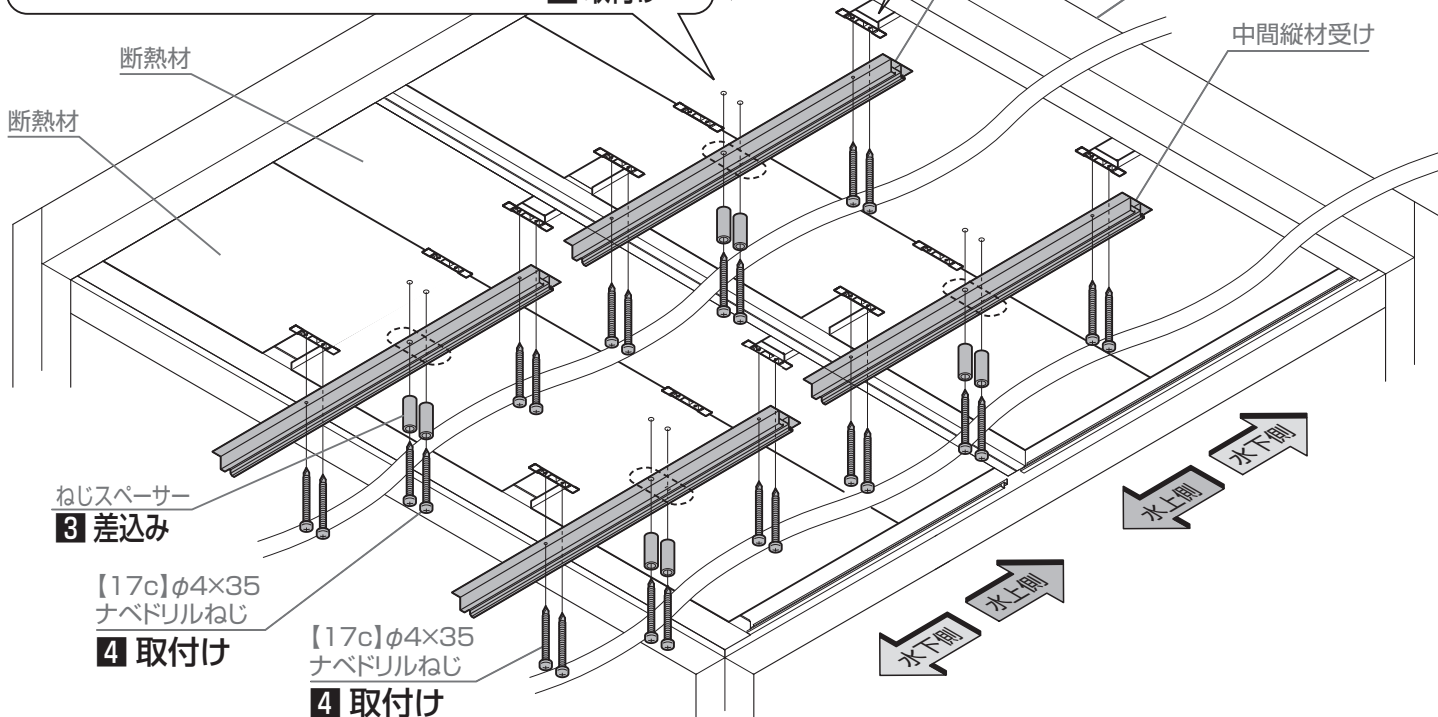
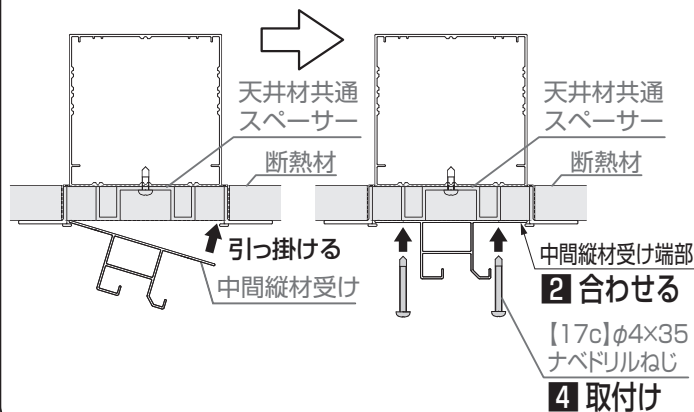
●中央の固定（天井材共通スペーサーなし）

φ6.5~7.0

- 1 拡大加工
- ※中間縦材受けの中央の穴のみ



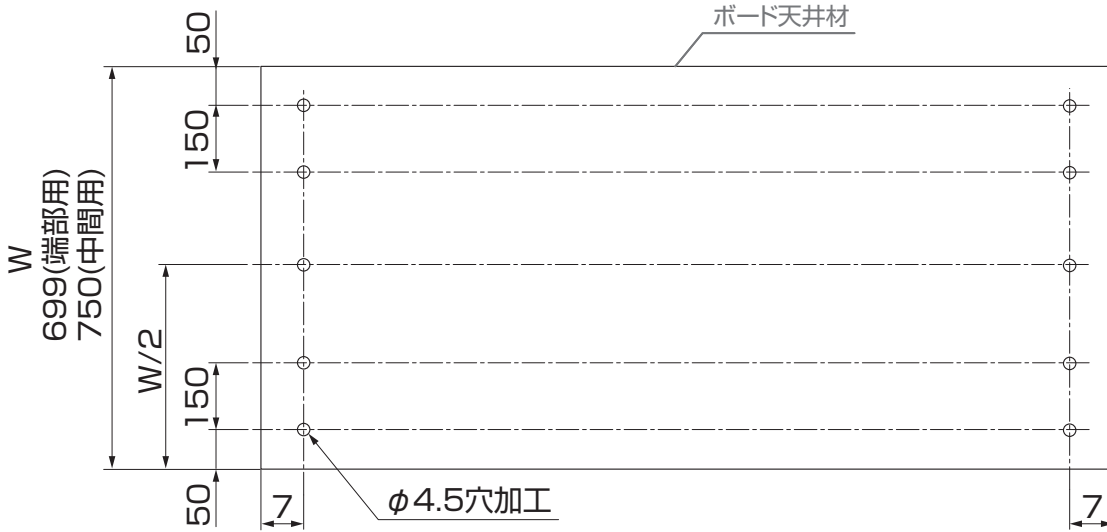
●端部の固定（天井材共通スペーサーあり）



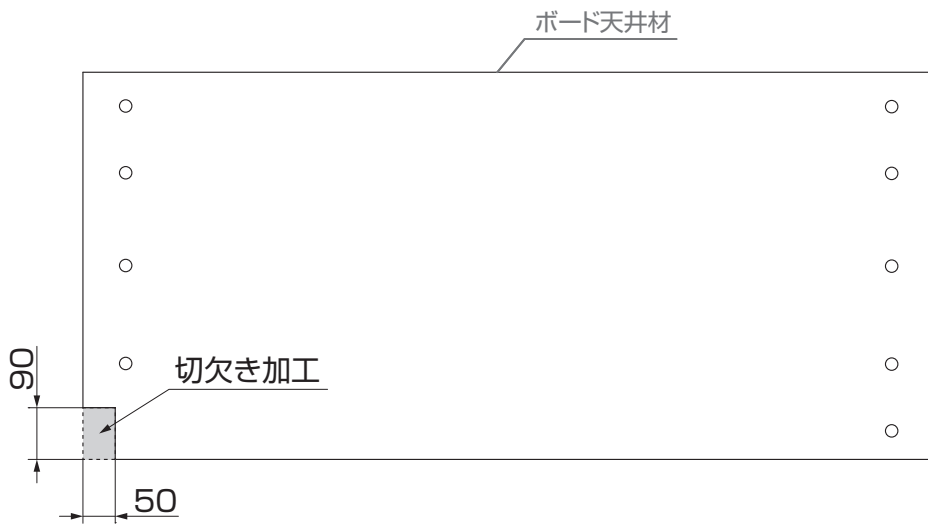
5-8 ボード天井材の取付け

5-8-6 | ボード天井材の加工

●ボード天井材の穴加工



●樋部のボード天井材の切欠き加工



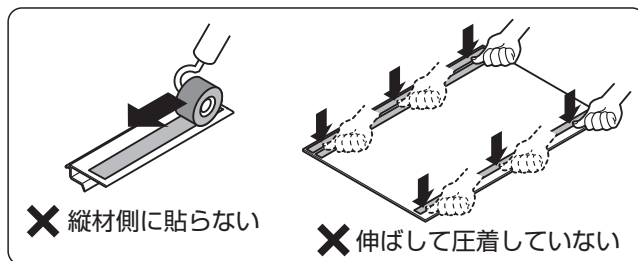
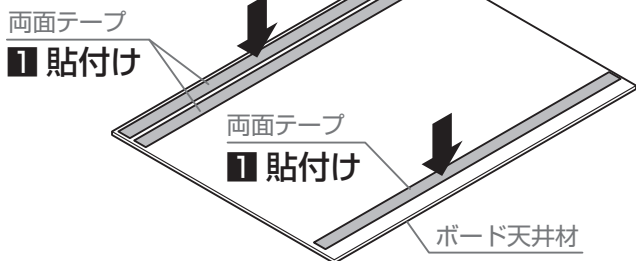
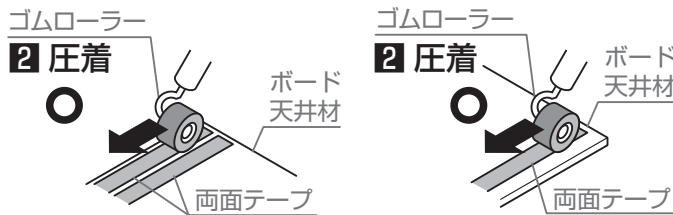
5-8 ボード天井材の取付け

5-8-7 縦材の取付け

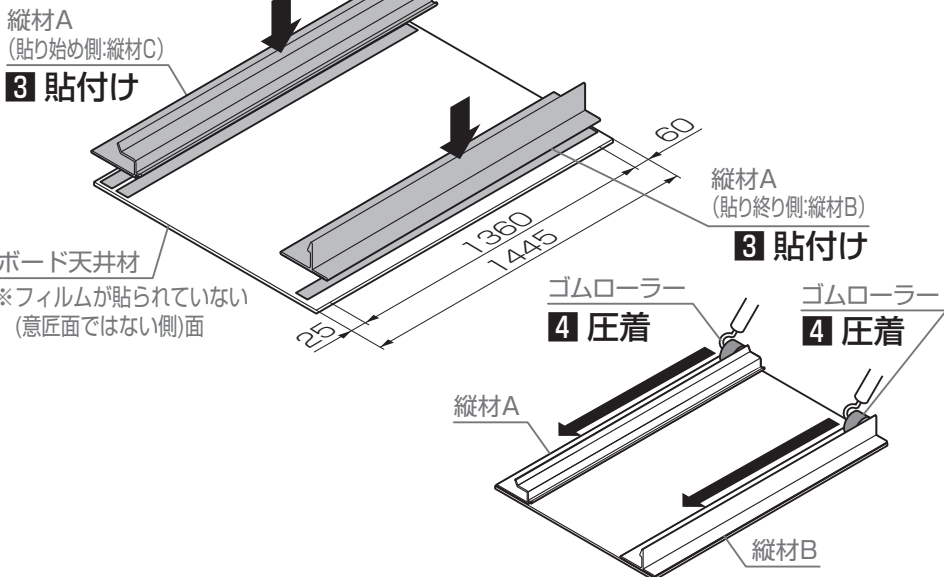
お願い

- ボード天井材の表裏をよく確認し、フィルムが貼られていない（意匠側ではない）面に縦材を取付けてください。
- 両面テープの貼付けの際は、以下の点に注意して施工を行ってください。
 - ・気温が5℃以下の環境下で両面テープの貼付けを行わないでください。初期接着力の低下により剥がれの原因になります。
 - ・ボード天井材と縦材の接着面に水濡れのないこと、また汚れ、油分がないことを確認し、ローラーなどを使用し十分な力（5kg/cm²以上）で圧着してください。
 - ・両面テープで部材同士を貼付け後、1時間以上の養生期間を設けてから次の組付けを行ってください。（両面テープの接着力は圧着直後に1/3、1時間経過で2/3、72時間で最終接着力と変化していきます。）

- 1: ボード天井材に両面テープを貼付け
- 2: 両面テープの上から、ゴムローラーまたは指で押し付けてボード天井材に圧着



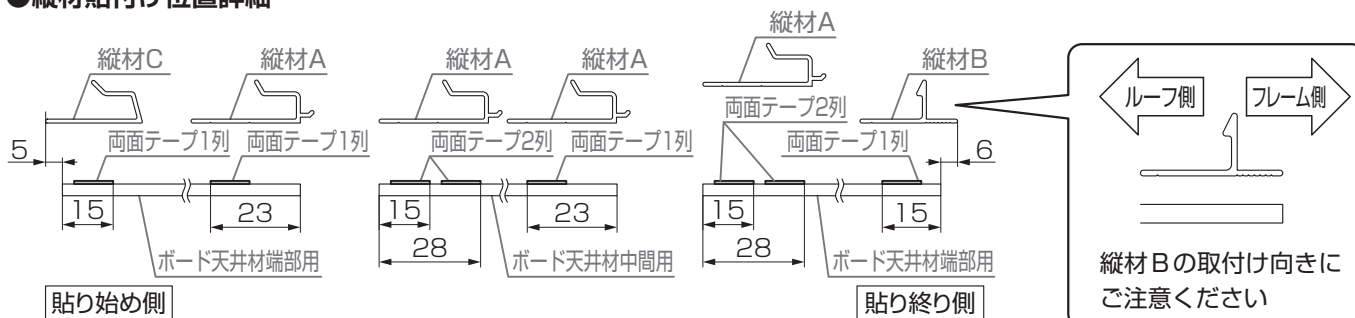
- 3: ボード天井材に貼った両面テープの上に縦材(A・B・C)を貼付け
- 4: 縦材の上から、ゴムローラーまたは指で押し付けて縦材をボード天井材に圧着



お願い

- 縦材A～Cは、ボード天井材端部から棟木側を25mm、雨樋側を60mmの位置に貼付けてください。
- 縦材Aの向きは、一方方向に合わせて取付けてください。
- 縦材Bの向きに注意して取付けてください。
- 縦材Cは5mm、縦材Bは6mmずつボード天井材から外側にはみ出して取付けてください。


●縦材貼付け位置詳細

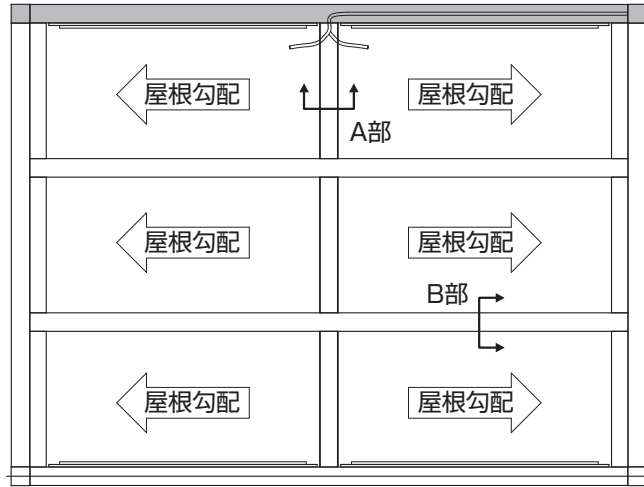


5-8 ボード天井材の取付け

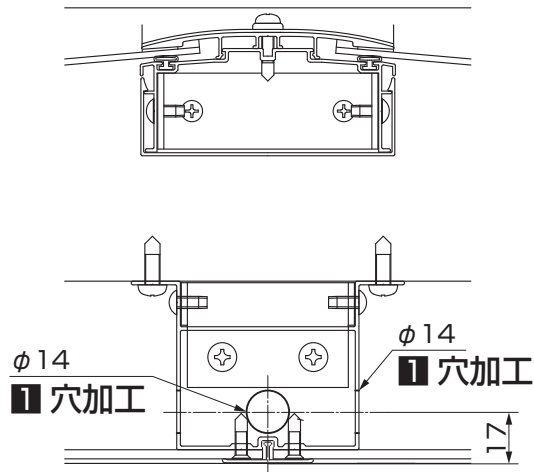
5-8-8 配線用の加工

1: 配線を通す箇所の調整フレームにφ14の穴加工

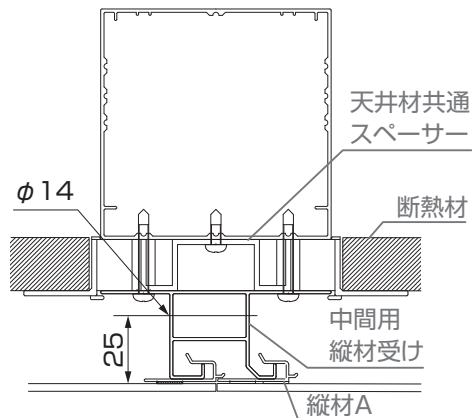
お願い
● 配線用の穴加工を行なうフレームは、側を加工してください。



●A部断面詳細図



●B部断面詳細図 ※スパンをまたいで配線する場合
中間用縦材受けにφ14の穴加工をして配線を引き込んでください。



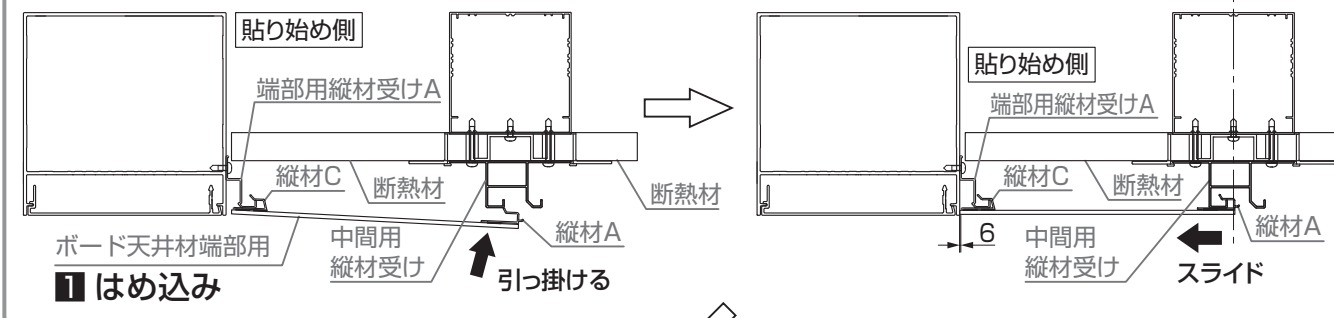
5-8 ボード天井材の取付け

5-8-9 ボード天井材の取付け

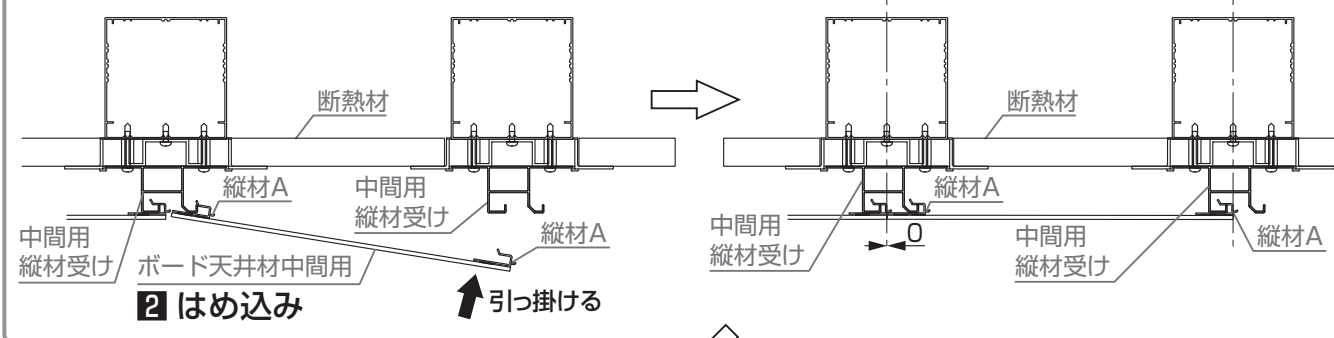
(1) ボード天井材のはめ込み

- ❶: 貼り始めのボード天井材端部を端部用縦材受けAと中間用縦材受けに引っ掛けてからスライドさせてはめ込み
- ❷: ボード天井材中間用を中間用縦材受けに引っ掛けてからスライドさせてはめ込み
- ❸: 貼り終りのボード天井材端部を中間用縦材受けに引っ掛けてから端部用縦材受けBにはめ込み

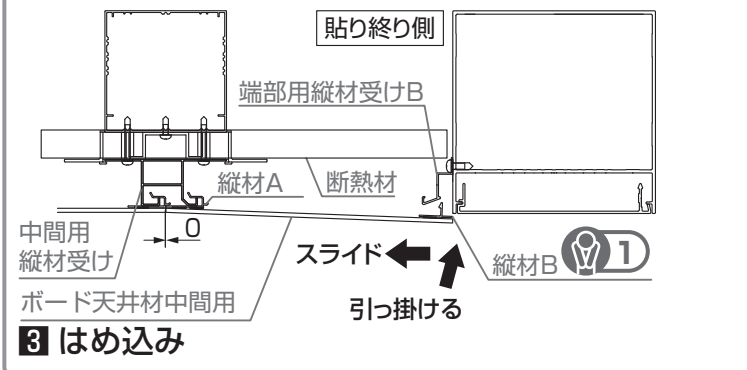
❶ 貼り始めのボード天井材端部用のはめ込み



❷ ボード天井材中間用のはめ込み



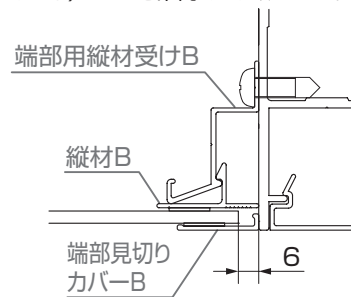
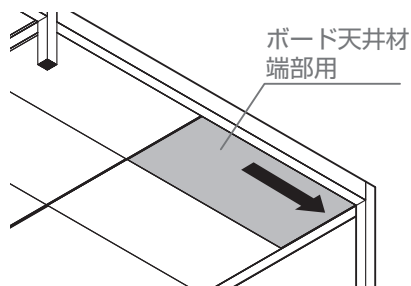
❸ 貼り終りのボード天井材端部用のはめ込み



お願い 1

● 縦材Bを押し込んだ後、確実にかん合していることを確認するため通しでも押し込んでください。

● ボード天井材がフレーム下面よりはみ出ない（部材のかん合がはまっている）ことを確認してください。



5-8 ボード天井材の取付け

つづき

5-8-9 ボード天井材の取付け

つづき

(2) ボード天井材の位置調整

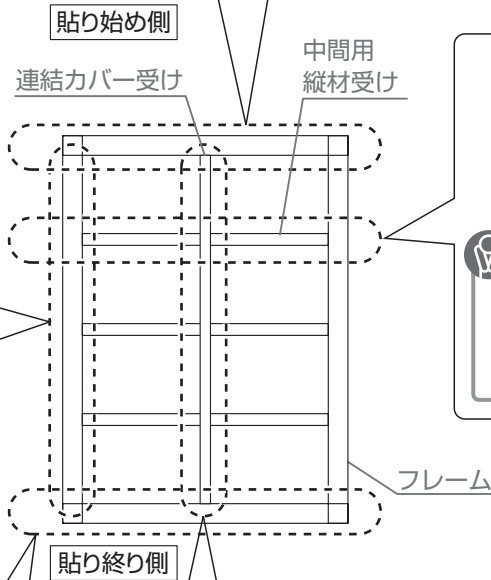
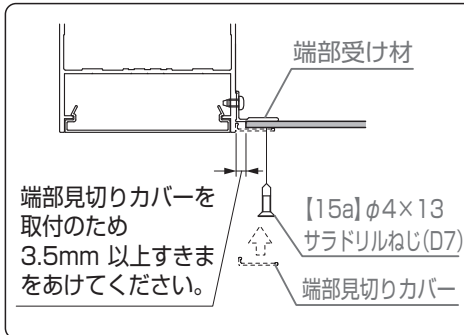
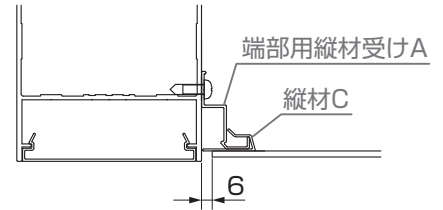
補足

●ボード天井材の位置を調整してください。必要に応じて別途スペーサーなどご用意ください。

1: ボード天井材を貼った後、ボード天井材すきまを確認して、対角・位置を調整

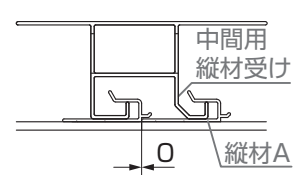
お願い

●最初に取付けるボード天井材は、フレームの隙間を0mmにして取付けてください。

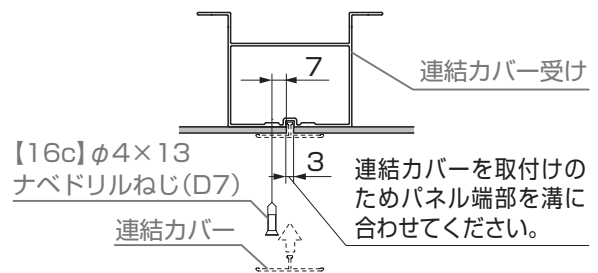
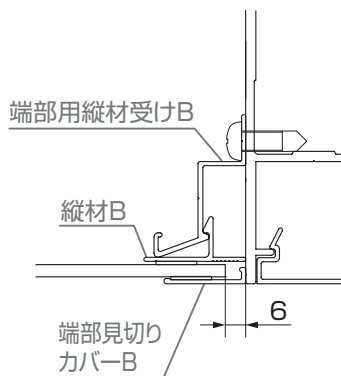


お願い

●各ボード天井材間の隙間を開けないよう0mmにして取付けてください。



●最後に取付けるボード天井材の隙間



お願い

●連結カバーを取付けのため、ボード天井材の隙間を3mm開けてください。

5-8 ボード天井材の取付け

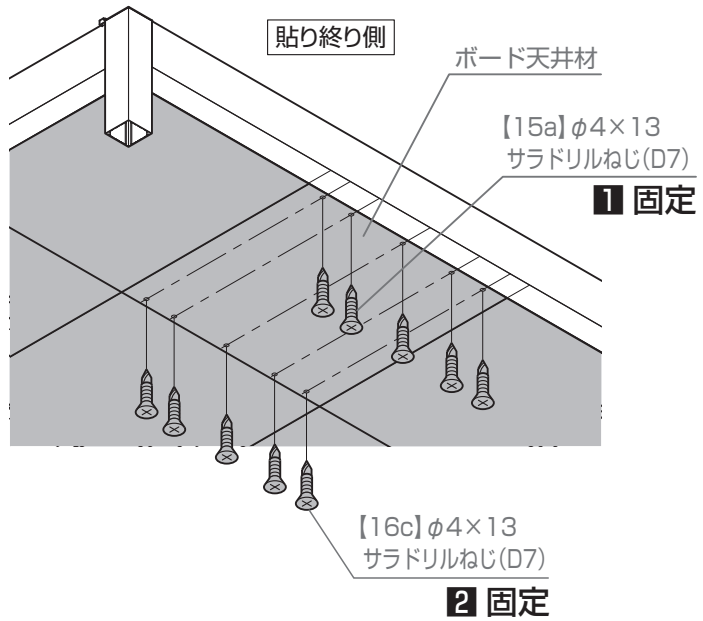
つづき

5-8-9 ボード天井材の取付け

つづき

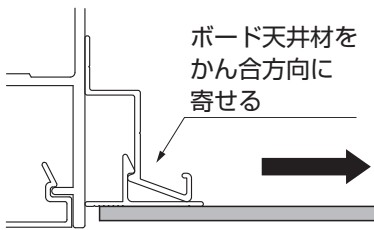
(3) ボード天井材の固定

- 1: ボード天井材を【15a】で端部受け材に固定
- 2: ボード天井材を【16c】で中間用縦材受けに固定



お願い

- 端部側のボード天井材を固定する前に、ボード天井材をかん合方向に寄せてからねじ固定してください。

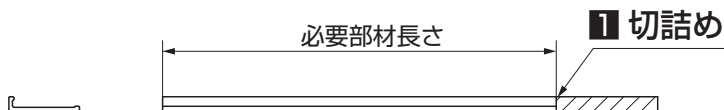


- ボード木目面の養生シートを剥がしてからねじ固定してください。
- ボード固定ねじはサラ頭とボード面が揃うまでとし、締め込み過ぎには注意してください。

5-8 ボード天井材の取付け

5-8-10 端部見切りカバーA・Bと連結カバーの取付け

1: 端部見切りカバー AとB、連結カバーを切詰め



端部見切りカバーAと連結カバーの加工

設置サイズ	使用部材	必要部材長さ	部材切断寸法
4スパン	5スパン用	2910	860mm切詰
5スパン	5スパン用	3660	110mm切詰
6スパン	7スパン用	4410	860mm切詰

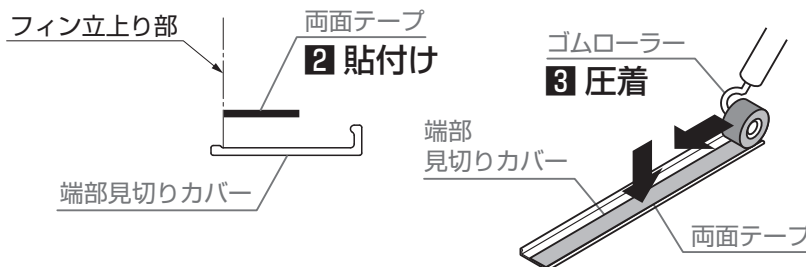
縦見切りカバーBの加工 (L=2000)

Wサイズ	必要部材長さ
W30	1419

※寸法値は目安です。
取付け箇所を測定し納まりに合わせて加工してください。

2: 両面テープを端部見切りカバーに貼付け

3: 端部見切りカバーに貼った両面テープの上から、ゴムローラーまたは指で押し付けて端部見切りカバーに圧着

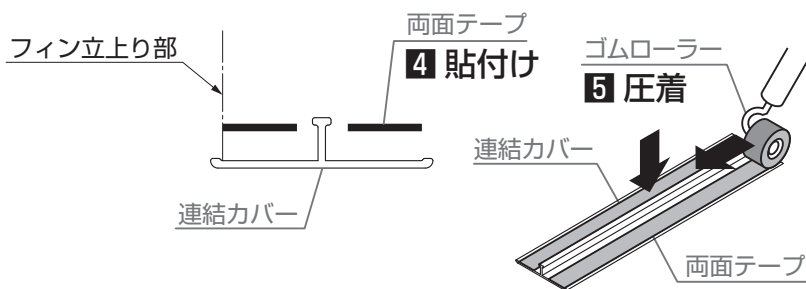


お願い

- 両面テープはフィンの立上りに合わせて貼付けてください。
- 圧着後、両面テープが剥がれないか確認してください。

4: 両面テープを連結カバーに貼付け

5: 連結カバーに貼った両面テープの上から、ゴムローラーまたは指で押し付けて連結カバーに圧着



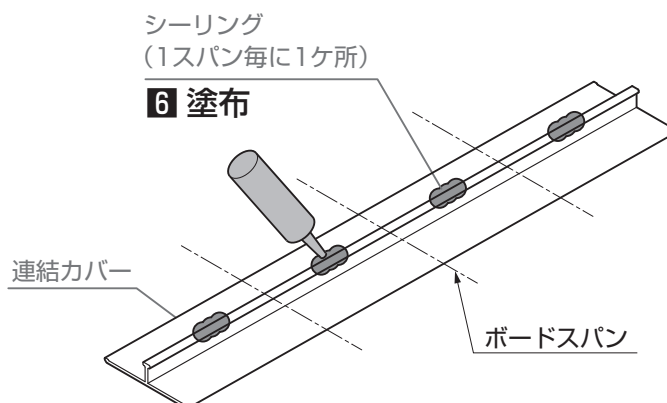
お願い

- 圧着後、両面テープが剥がれないか確認してください。

6: 連結カバーにシーリングを塗布

お願い

- ボード1スパン毎に1ヶ所シーリングを塗布してください。



5-8 ボード天井材の取付け

つづき

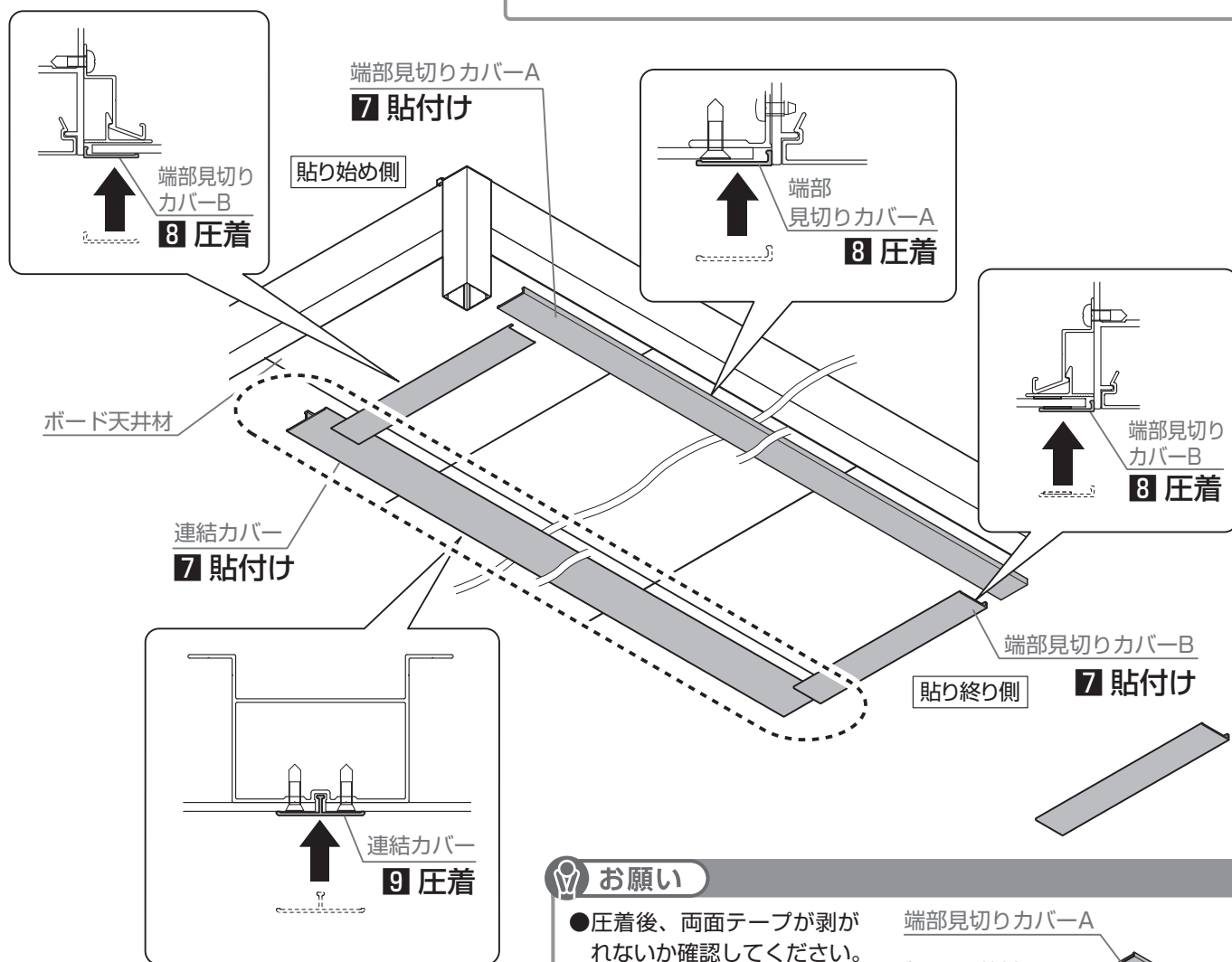
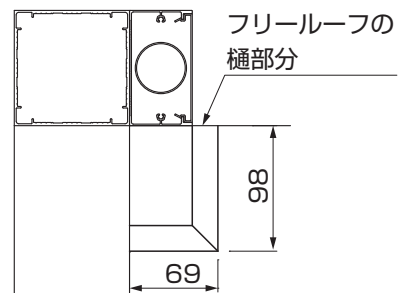
5-8-10 端部見切りカバーA・Bと連結カバーの取付け

つづき

- 7: 両面テープを貼った、端部見切りカバーまたは連結カバーをボード天井材に貼付け
- 8: 端部見切りカバーに貼った両面テープの上から、ゴムローラーまたは指で押し付けてボード天井材に圧着
- 9: 連結カバーに貼った両面テープの上から、ゴムローラーまたは指で押し付けてボード天井材に圧着

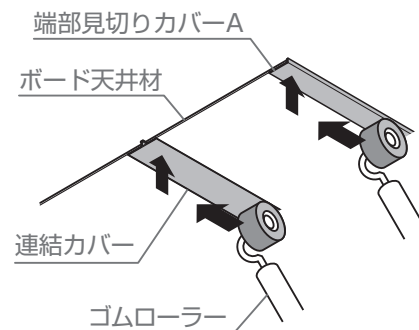
補足

- フリールーフの樋の部分にボード天井材が取付く場合は納まりに合わせて端部受け材を加工して取付けてください。



お願い

- 圧着後、両面テープが剥がれないか確認してください。
- 端部見切りカバー・連結カバーやボード天井材に貼付けた両面テープが圧着されてないと、ボード天井材が落ちる可能性があります。



5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-1 パネル取付部材の取付け

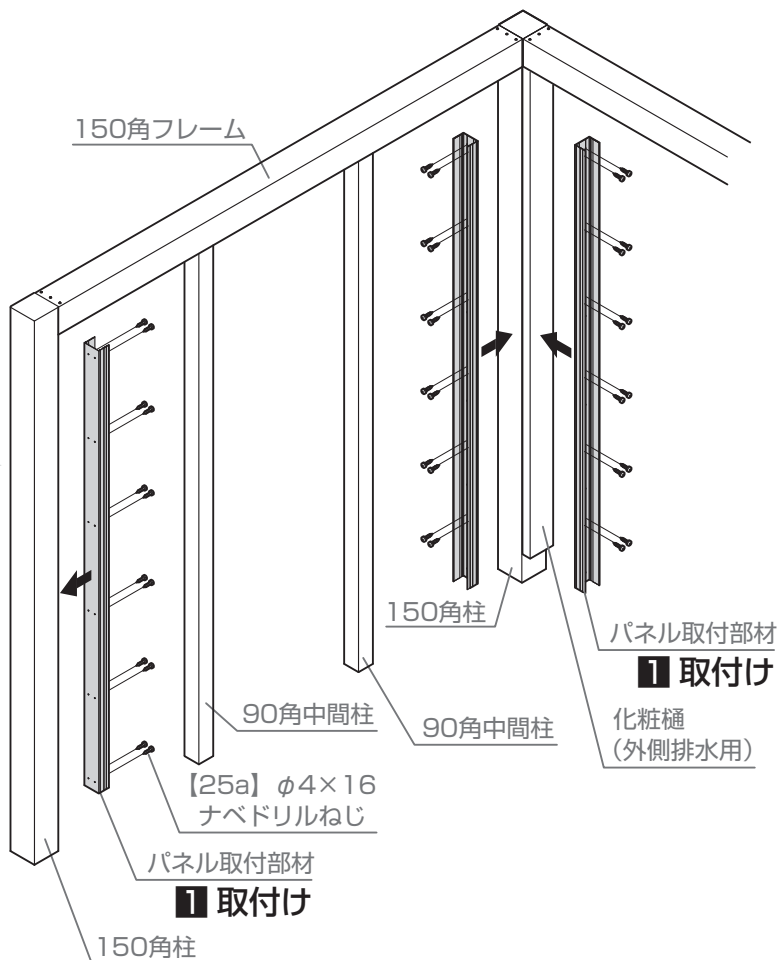
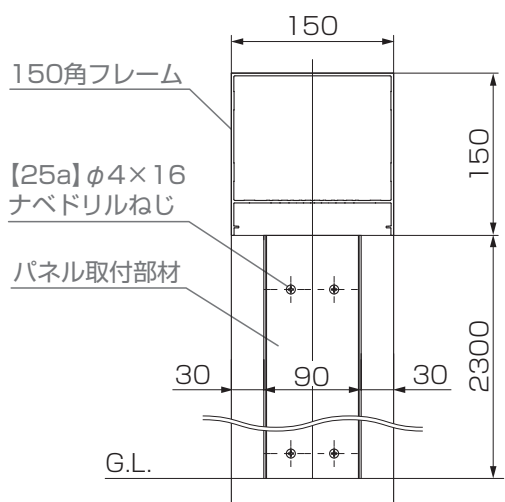
補足

- 取付け位置を実測し、切断加工をしてから取付けてください。

- 1: パネル取付部材を、スパン側は150角柱に、W30側は化粧樋(外側排水用)にそれぞれ【25a】で取付け

補足

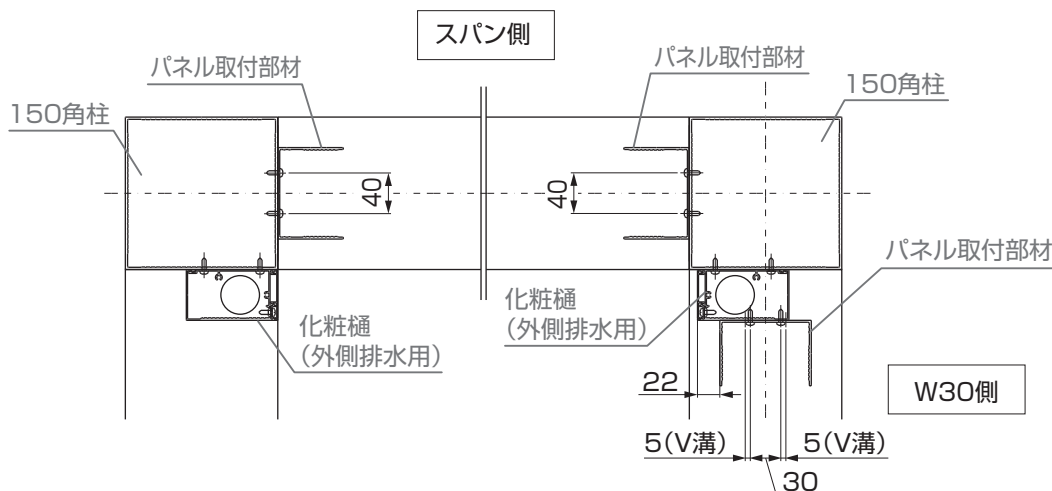
- パネル取付部材はフレーム下に合わせて図のように取付けてください。



お願い

- W30側の場合は、150角柱ではなく化粧樋(外側排水用)にパネル取付部材を取付けます。下記に注意して取付けを行ってください。
- ・化粧樋(外側排水用)の室内側から22mmの(150角柱の中心とパネル取付部材の中心が合う)位置に取付けてください。
- ・パネル取付部材のV溝から5mmずつ内側にねじ穴を追加加工し、ねじで固定してください。

●パネル取付部材取付位置



5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-2 巾木と下枠の取付け

補足

●巾木と下枠は、取付け位置を実測し切断加工をしてから取付けてください。

1:巾木をパネル取付部材、90角柱中間用に【22a】で取付け

お願い

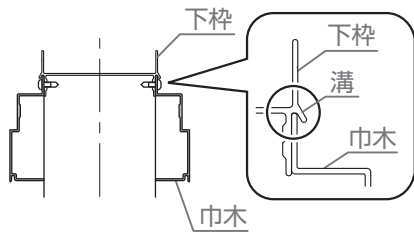
●巾木の高さをG.L.から86mmにして柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

2:巾木の間に下枠を差込む

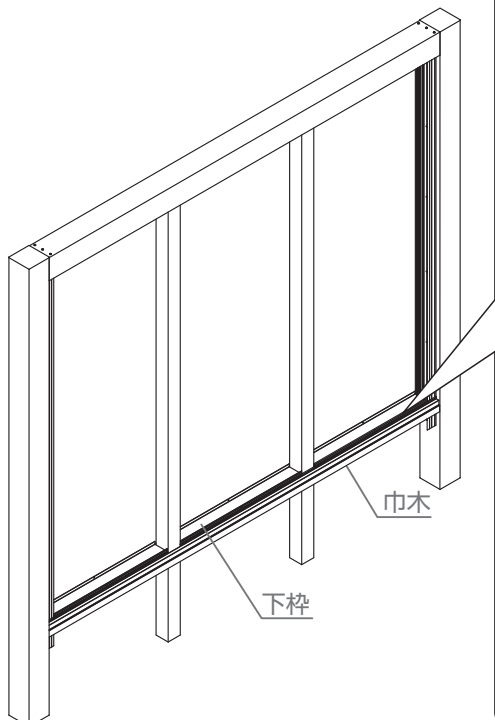
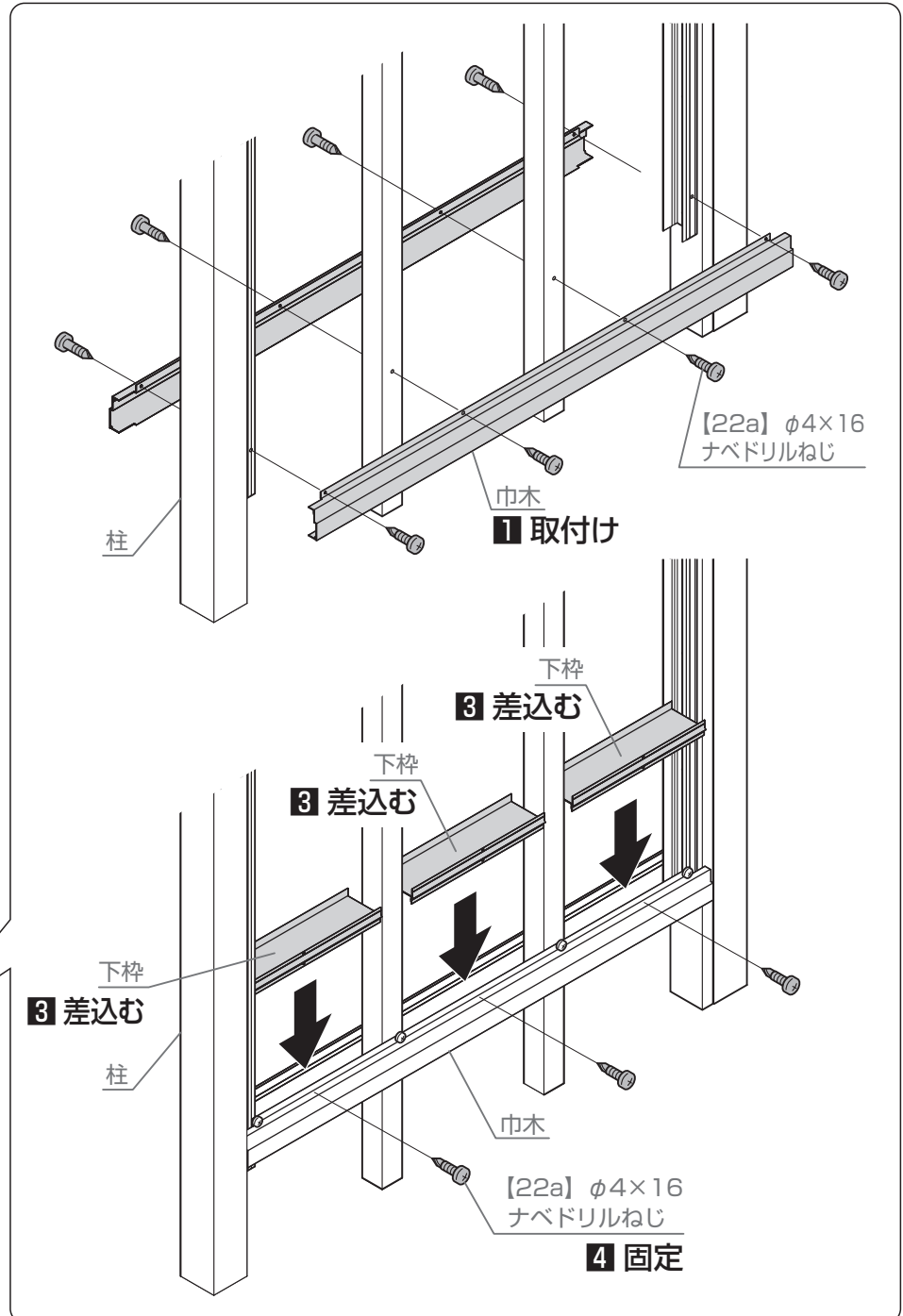
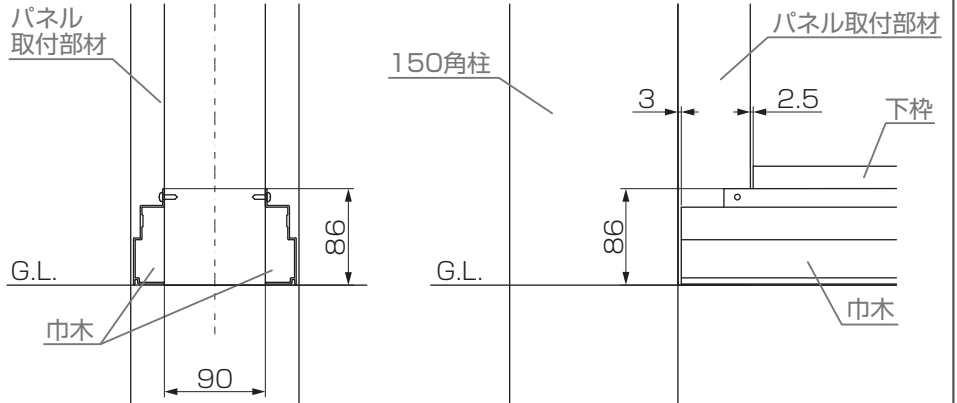
3:下枠を柱またはパネル取付部材から左右2.5mm隙間をあけて巾木に【22a】で固定

補足

●下枠の溝に巾木の上部がかみ合っていることを確認してください。



●巾木取付け位置



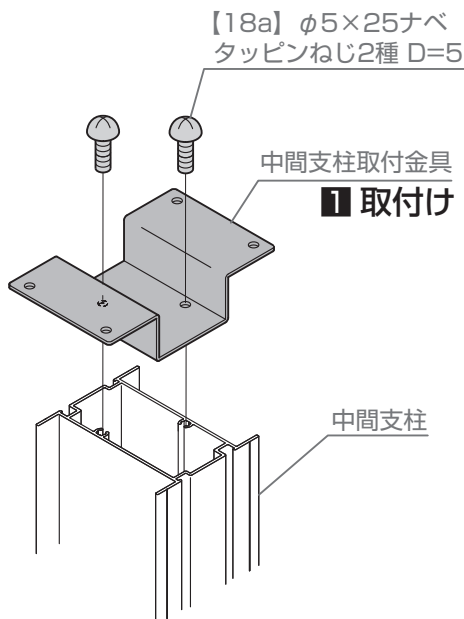
5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-3 中間支柱と中間支柱取付金具の取付け

1: 中間支柱取付金具を中間支柱に【18a】で取付け

お願い

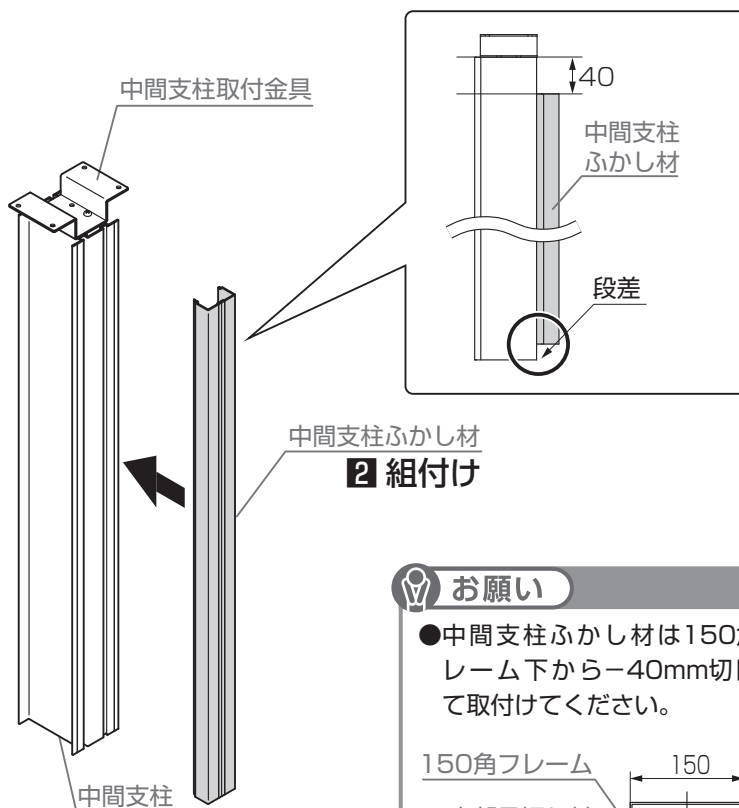
- 中間支柱部材には上下があります。下穴加工をしてある方が下側になります。中間支柱取付金具の上下の確認をして取付けてください。



2: 中間支柱ふかし材を中間支柱にはめ込んで組付け

お願い

- 中間支柱ふかし材は片側を中間支柱に掛けてから、逆側を押し込んでください。
- 引っかける向きに注意してください。(中間支柱ふかし材は左右形状が違いますので中間支柱の形状を確認して図のように押し込んでください。)



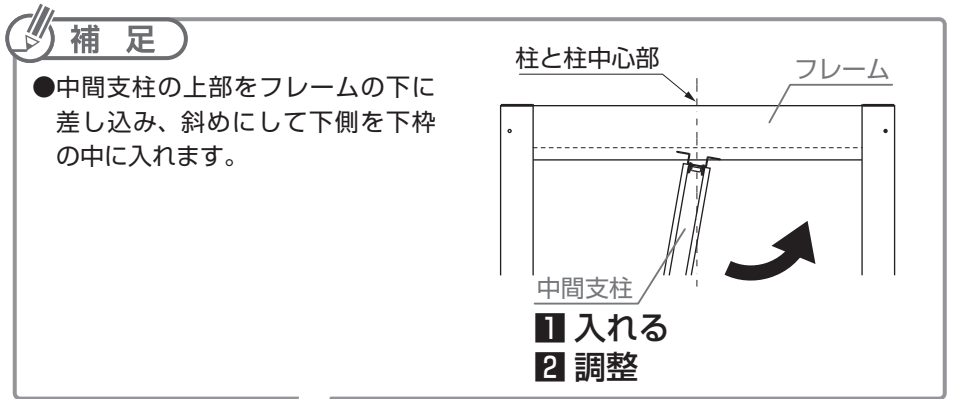
お願い

- 中間支柱ふかし材は150角フレーム下から40mm切断して取付けてください。

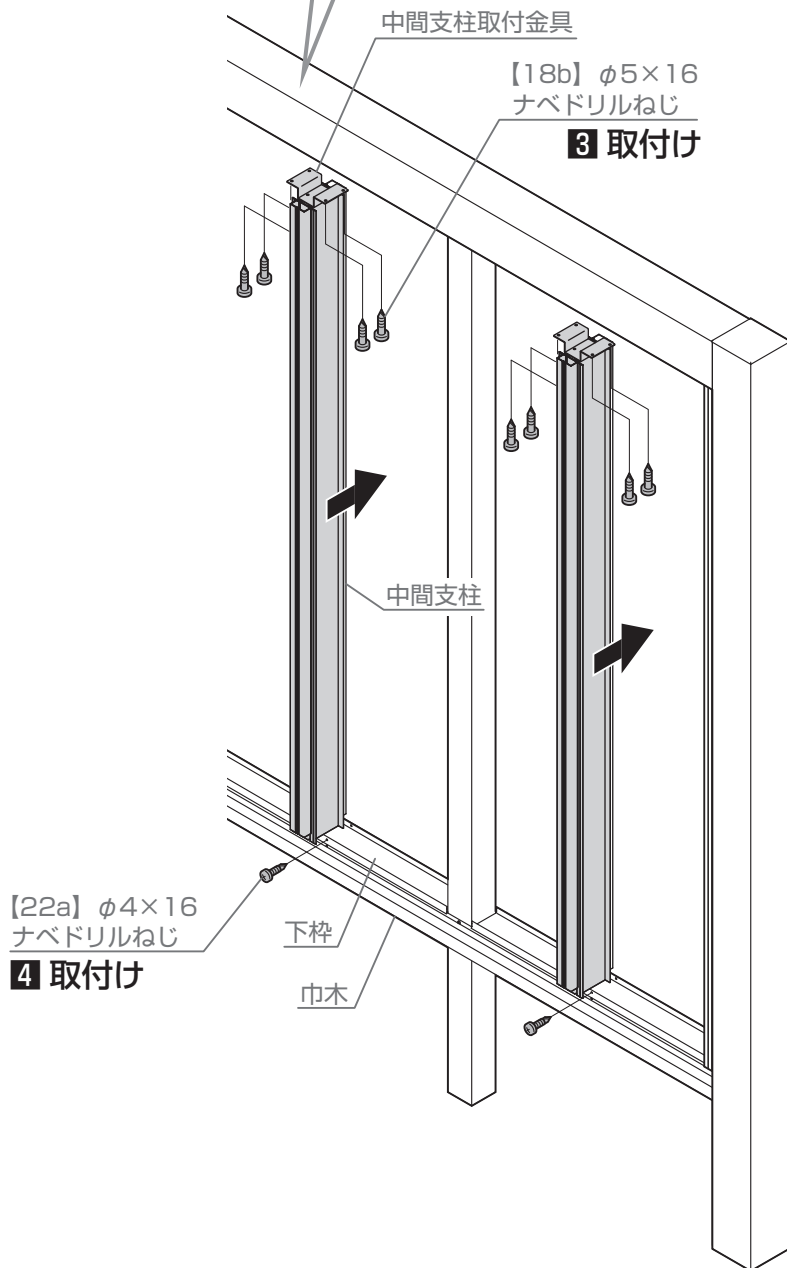
5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-4 中間支柱とフレームの取付け

1: 中間支柱をフレーム下と下枠に入れる



- 2: 中間支柱を垂直な状態にし、柱と柱の中心にくるよう位置を調整
- 3: フレームと中間支柱を【18b】で取付け
- 4: 中間支柱と下枠を【22a】で取付け



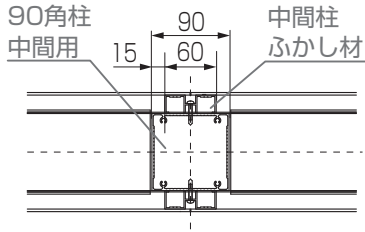
5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-5 中間柱ふかし材の取付け

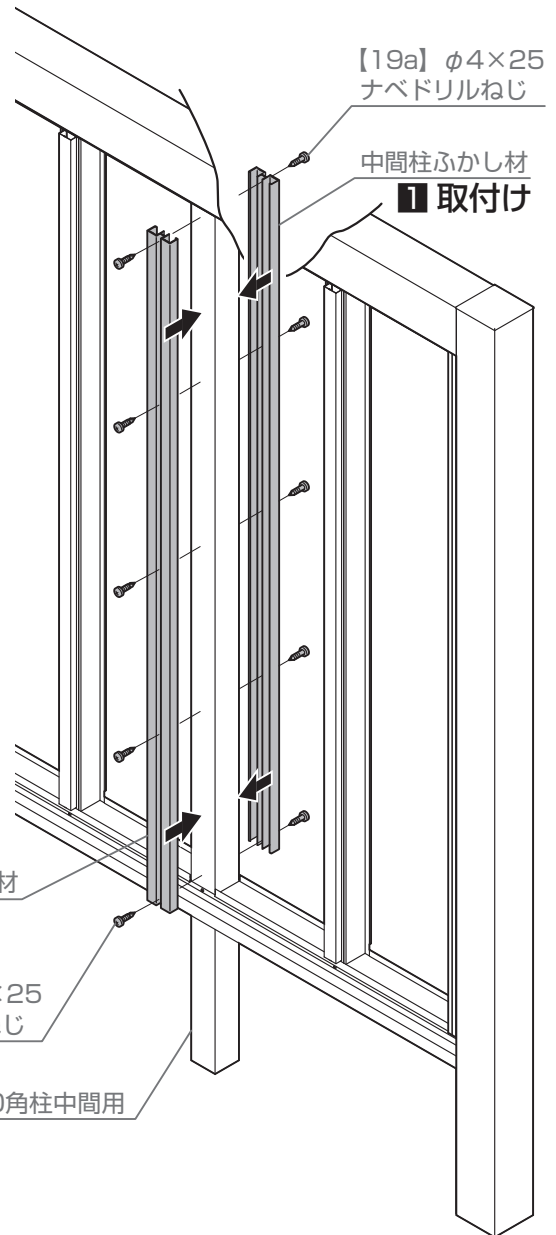
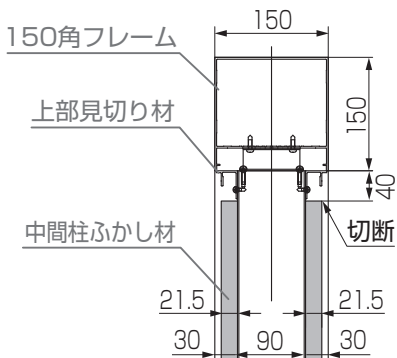
1: 中間柱ふかし材を90角柱中間用に【19a】で取付け

お願い

● 中間柱ふかし材は、90角柱中間用の端部から15mmの(中心を合わせた)位置に取付けてください。



● 中間柱ふかし材は150角フレーム下から40mm切断して取付けてください。



5-9 Gウォール 下地材の取付け

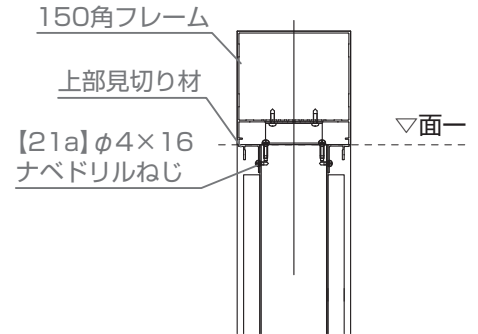
5-9-6 上部見切り材の取付け

補足

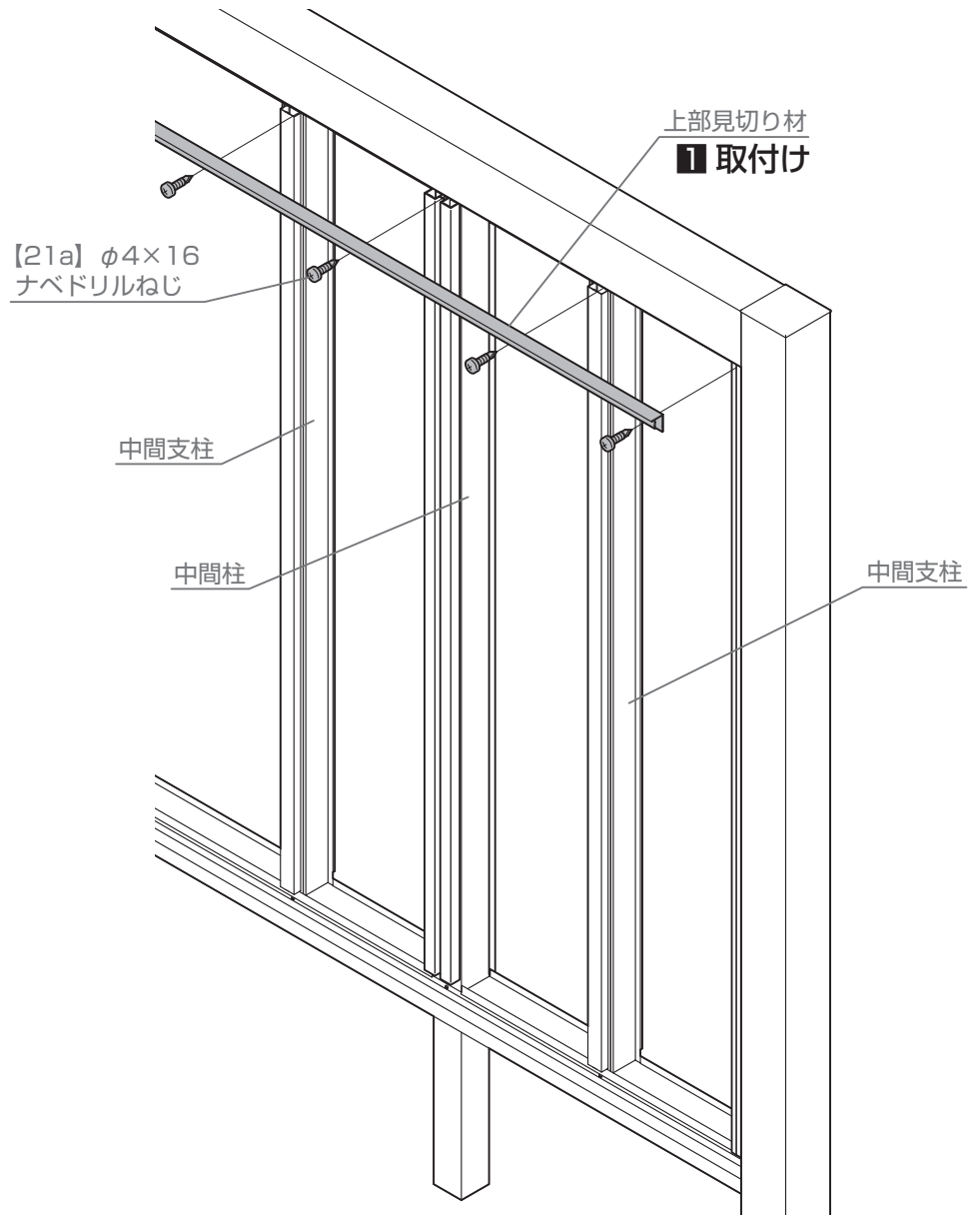
- 上部見切り材は、取付け位置を実測し切断加工をしてから取付けてください。
- ※W30側は室内側と室外側で上部見切り材の長さが異なります。

お願い

- 上部見切り材は150角フレームの下端と面一になるように取付けてください。



- 1**: 上部見切り材をパネル取付部材、90角柱中間用、中間支柱に【21a】で取付け



5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-7 端部ふかし材の取付け

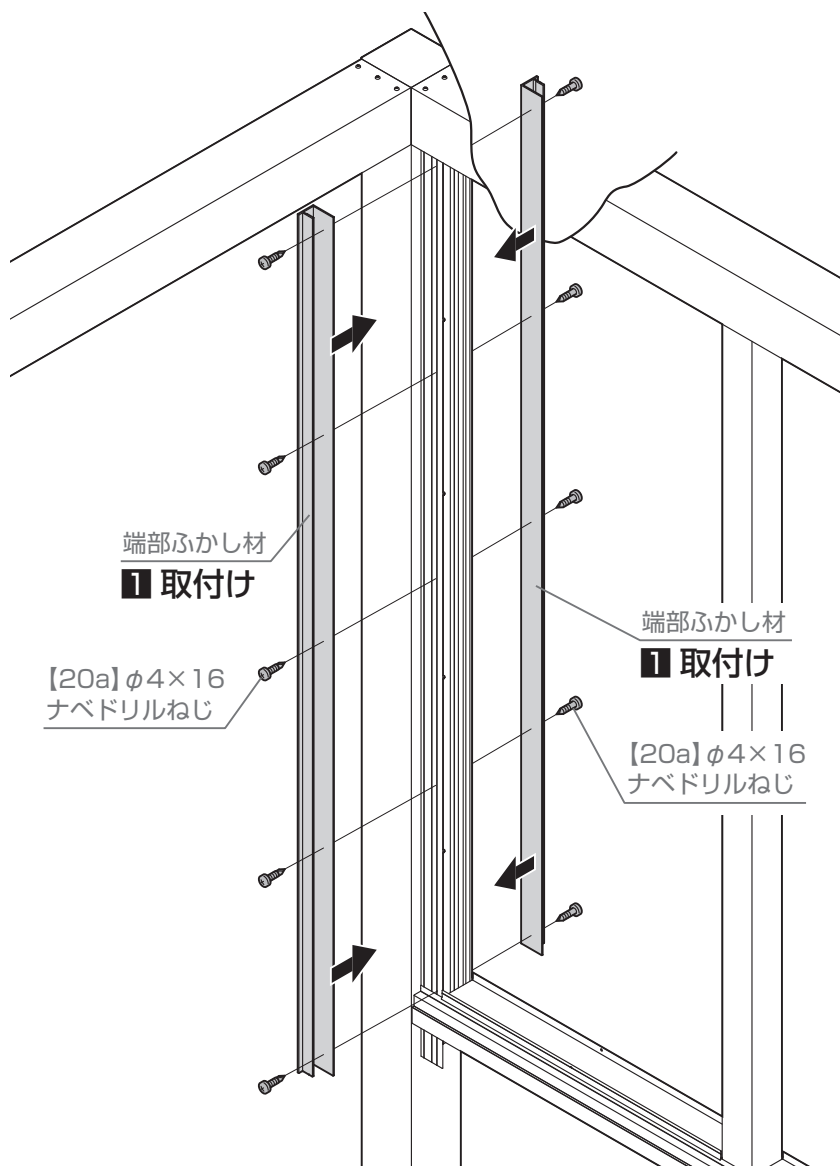
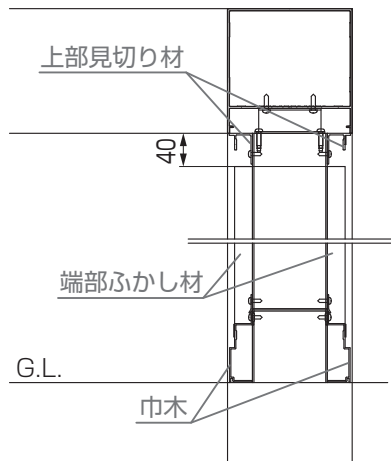
補足

●端部ふかし材は、取付け位置を実測し切断加工をしてから取付けてください。

1: 端部ふかし材をパネル取付部材、または150角柱に【20a】で取付け

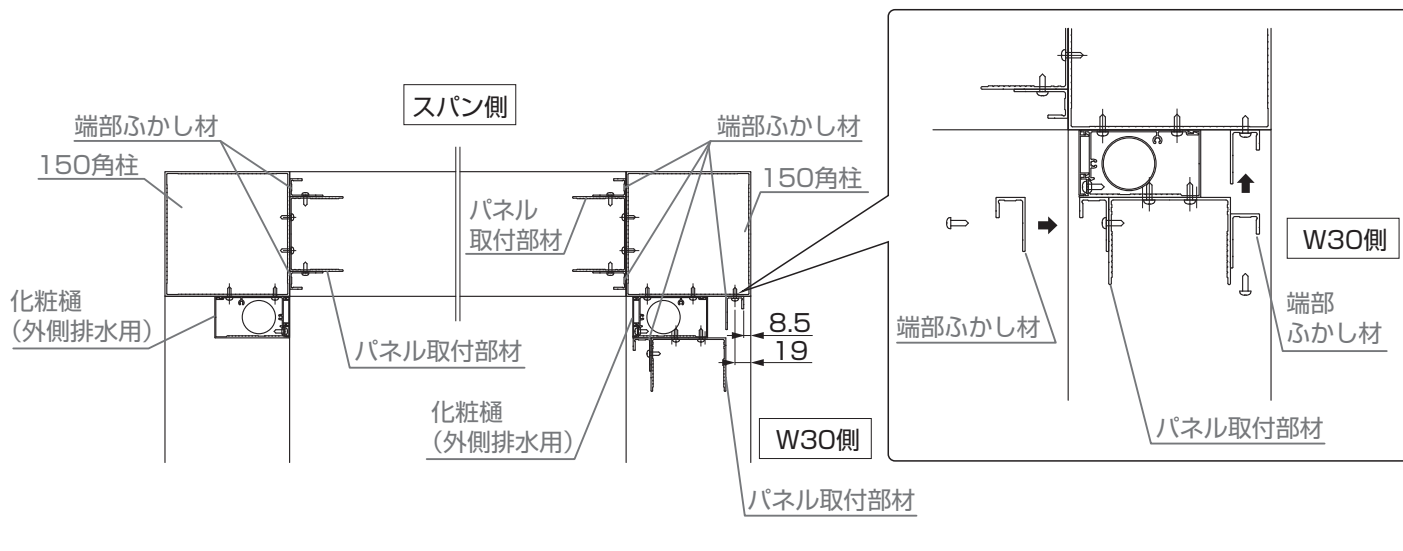
お願い

- 端部ふかし材は150角フレーム下から40mmの位置に上端を合わせて取付けてください。
- 端部ふかし材の下端は巾木・下枠に干渉しない位置で切断し取付けてください。



お願い

●W30側へ端部ふかし材を取付ける場合、室内側と室外側で取付け位置、ねじ固定方向が異なります。注意して取付けてください。

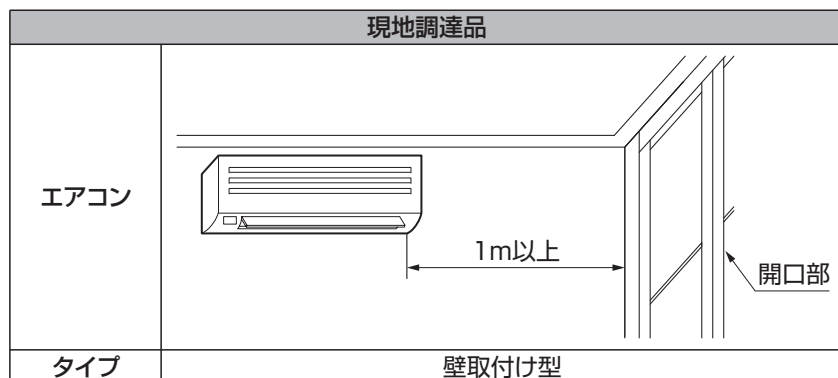


5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-8 中間横材の取付け (エアコンを設置する場合)

お願い

- 離れにエアコンを取付ける場合は、必ず立面の4面全てを壁と開口部で囲って1面以上をGウォールにしてください。また、エアコン取付け用に中間横材セットを手配してください。
- エアコンはGウォールにのみ取付けることができます。天井面や開口部への取付けはできません。
- エアコンは現地調達品となります。適した製品を選択してください。
- プラスG離れには住宅家屋のような水密性、気密性はありません。エアコンは開口部から1m以上離れた場所に設置してください。また、漏電などに備え、漏電遮断器を使用し燃えやすいものを近くに置かないなど、安全対策を行ってください。

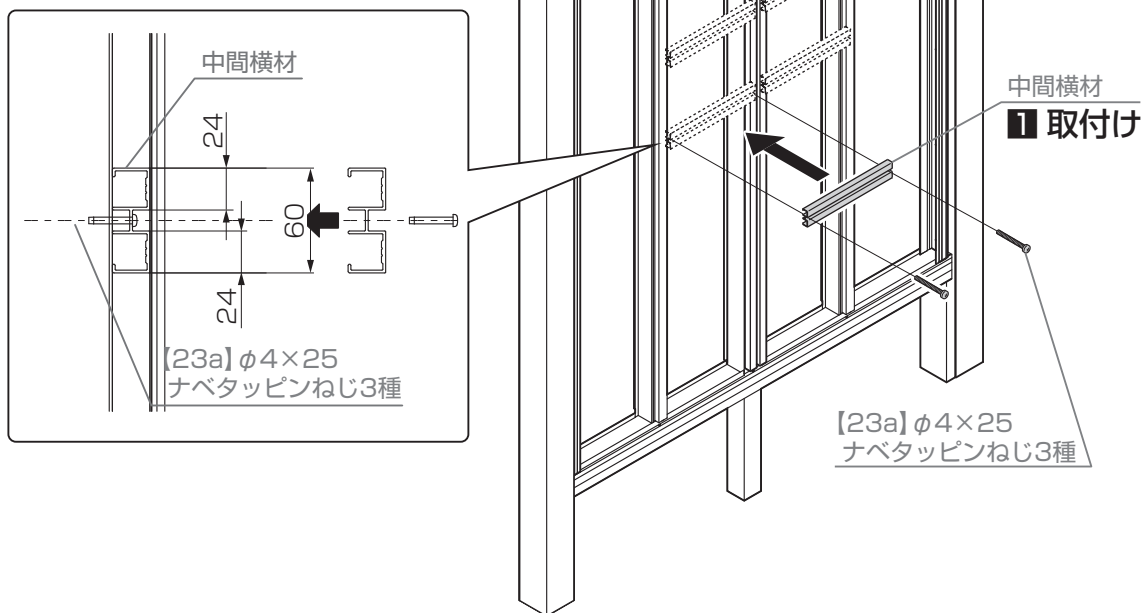


- Gウォール ラッピングボード仕様にエアコンを取付ける場合は、ラッピングボードへ配管穴や据付板用穴の加工が必要になります。

補足

- 中間横材は、取付け位置を実測し必要に応じて切断加工をしてから取付けてください。

- 1: 中間横材を90角柱中間用、中間支柱に【23a】で取付け



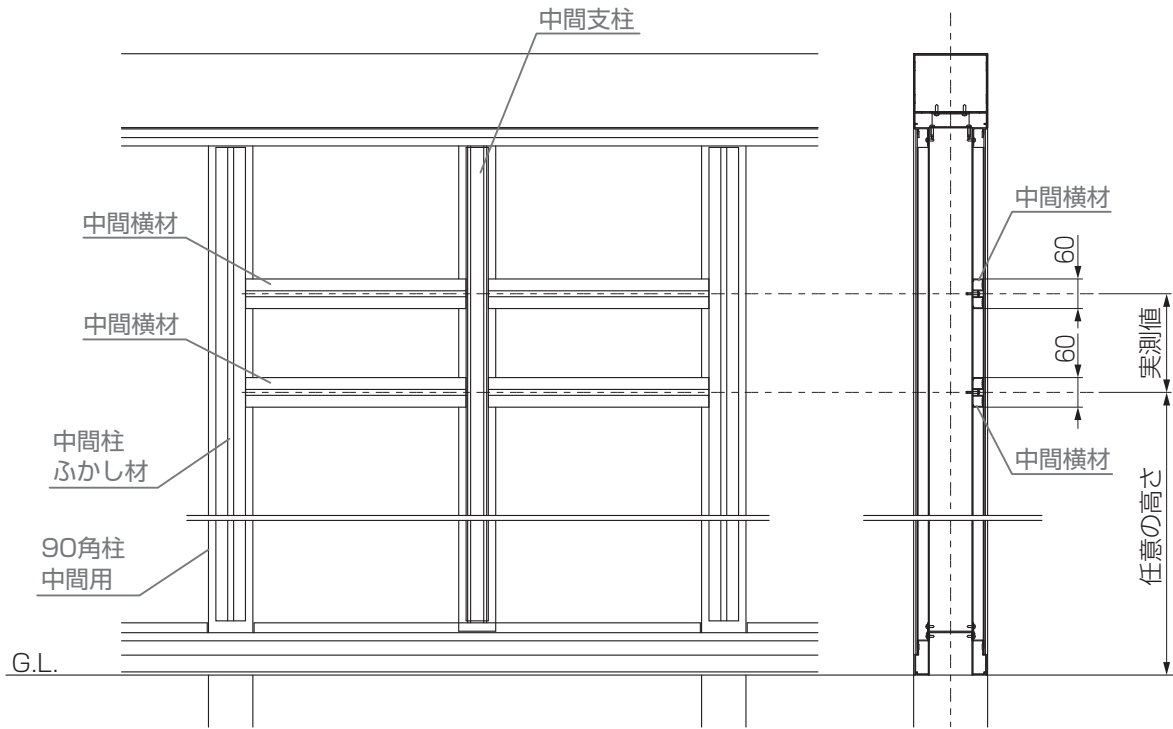
5-9 Gウォール 下地材の取付け

つづき

5-9-8 中間横材の取付け (エアコンを設置する場合)

つづき

●中間横材取付位置



5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-9 断熱材(ウォール用)の取付け

お願い

- Gウォールの室内側と室外側の両面に断熱材を設置してください。
片面のみの場合は十分な効果が得られない場合があります。
- Gウォールのサイズによって使用枚数が異なります。右表で使用枚数を確認してください。

使用枚数の目安

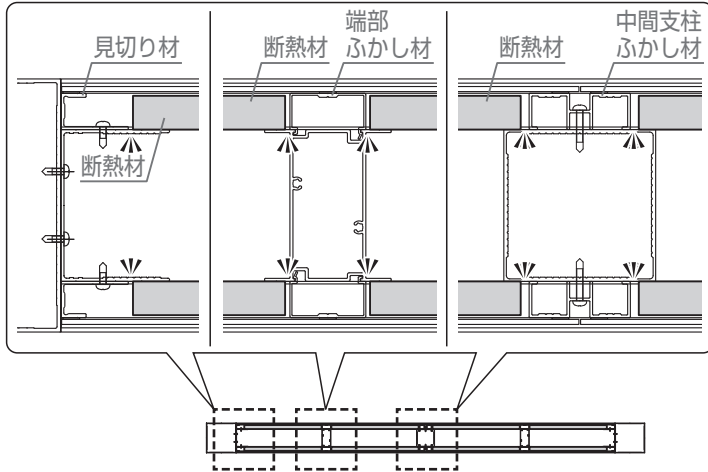
W \ H	H24	H29
W10	6枚	8枚
W20	12枚	16枚
W30	16枚	24枚

(1) 断熱材の取付け位置の確認

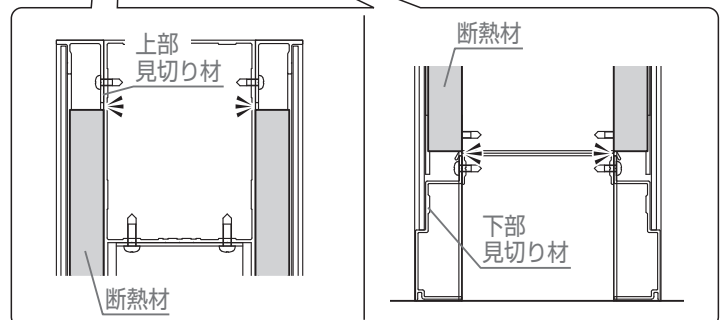
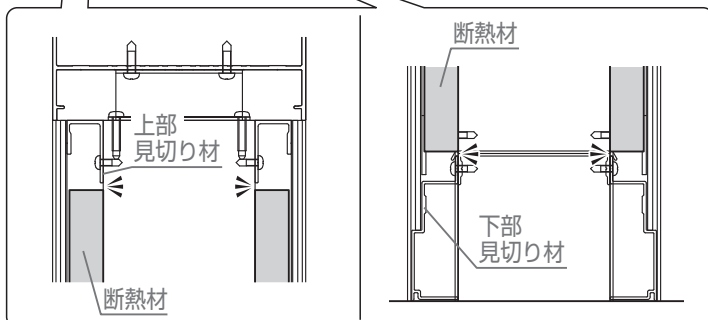
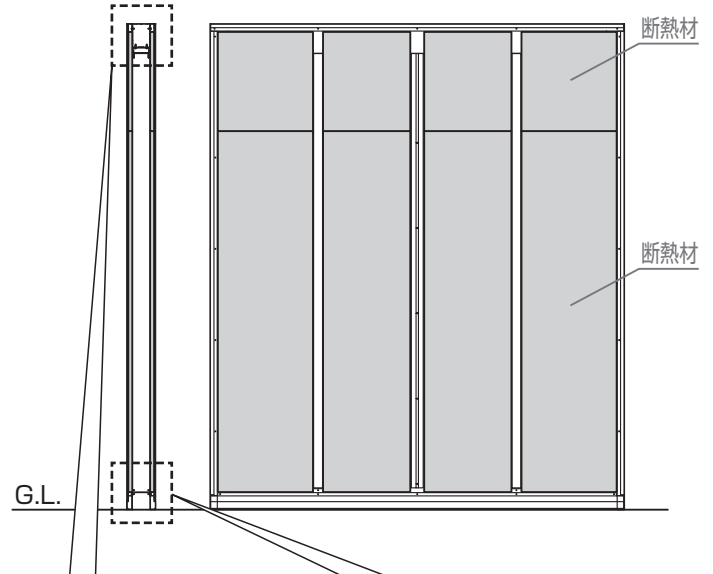
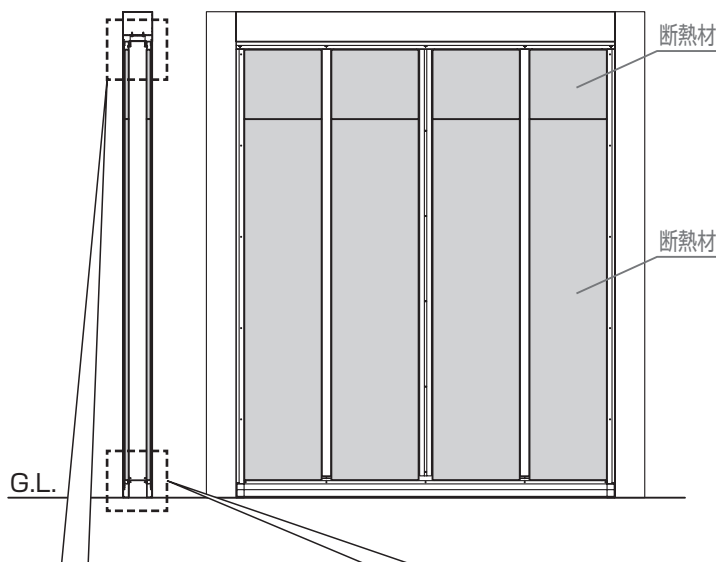
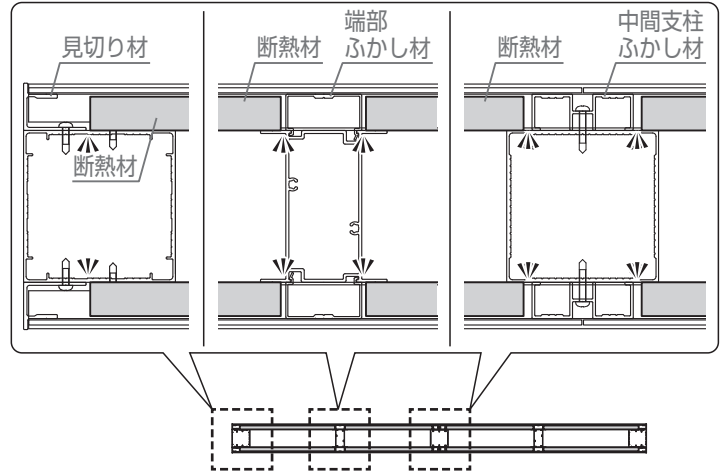
お願い

- 断熱材は、見切り材・ふかし材がある端部までは入れないでください。

●150角柱仕様



●90角柱仕様



5-9 Gウォール 下地材の取付け

5-9-9 断熱材(ウォール用)の取付け

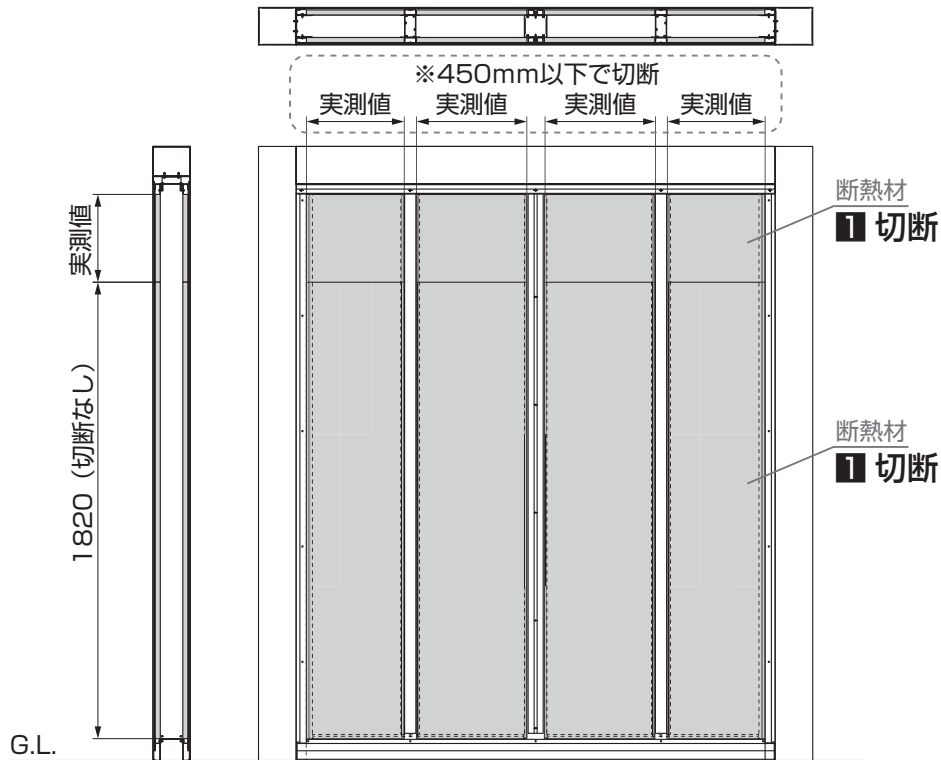
(2) 断熱材の加工

■:断熱材の取付け位置(部材間)を実測し切断

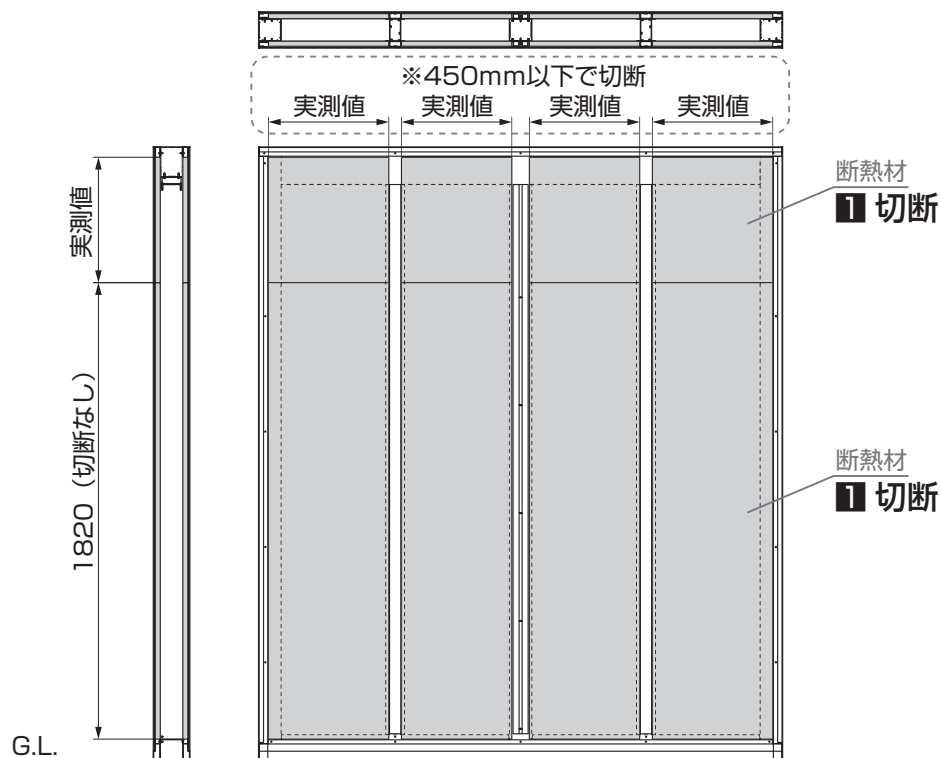
🔗 お願い

- 断熱材の大きさは910×1820で設定されています。
[端部ふかし材 - 中間支柱ふかし材]または[中間支柱ふかし材 - 中間柱ふかし材]を1列としたとき、910の幅から必ず2列分を切り出してください。1列分のみで使用すると全体の枚数が不足する可能性があります。
- [上部見切り - 下枠]が2枚構成となるようにし、下側の断熱材高さは1820として上側の断熱材高さを決定してください。

●150角柱仕様



●90角柱仕様



5-9-9 断熱材(ウォール用)の取付け

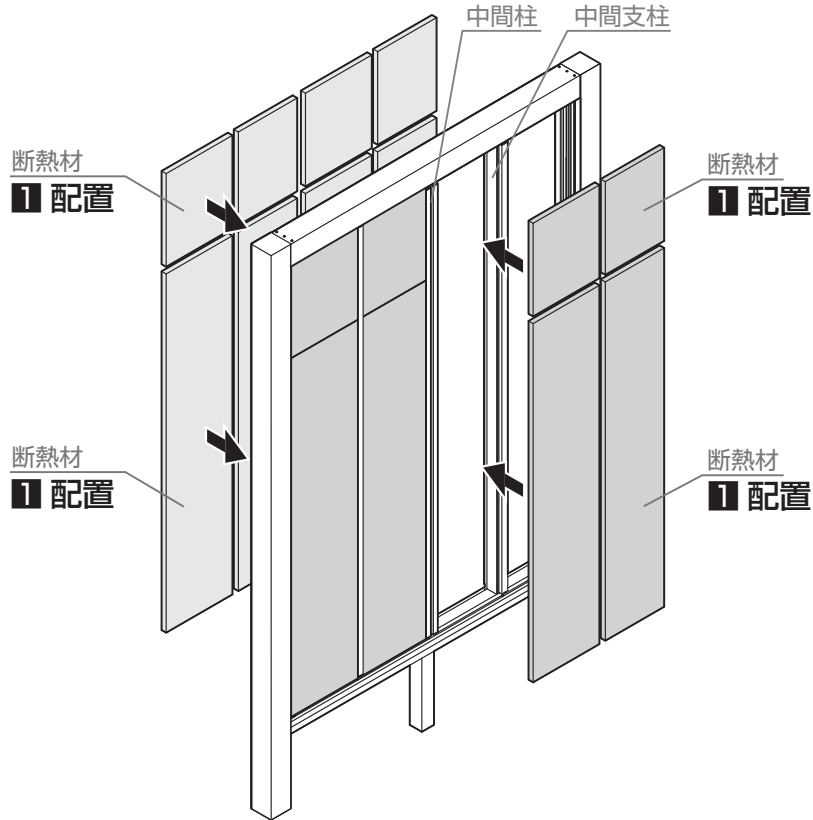
(3) 断熱材の取付け

1: 断熱材を部材間に配置

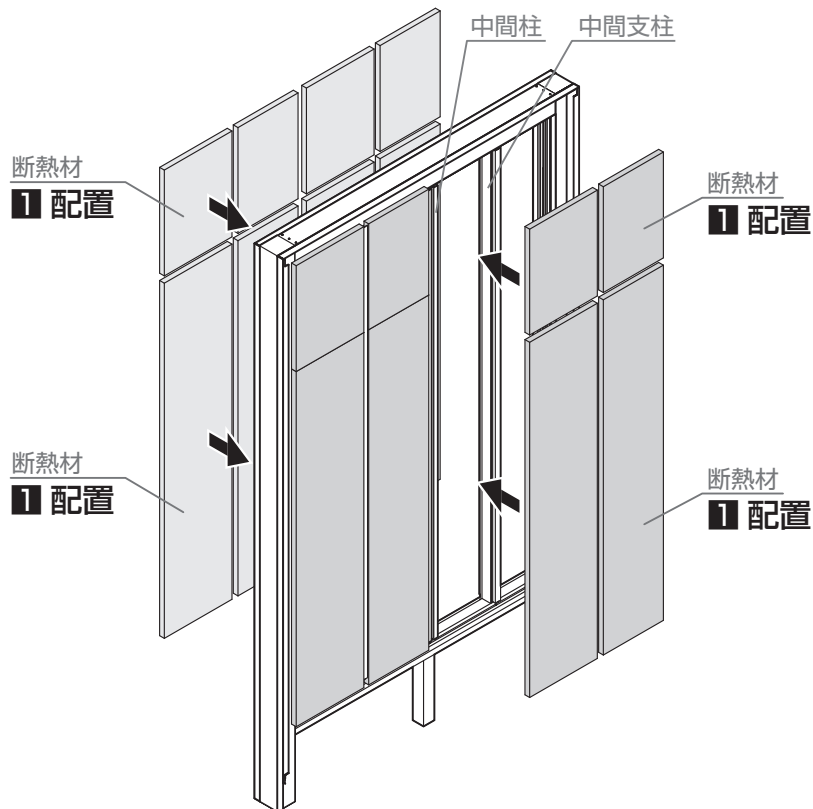
お願い

●面材を取付けることで最終的に断熱材は固定されます。面材を取付けるまでに断熱材が外れる場合はアルミテープ等で下地材に仮留めしてください。

●150角柱仕様



●90角柱仕様

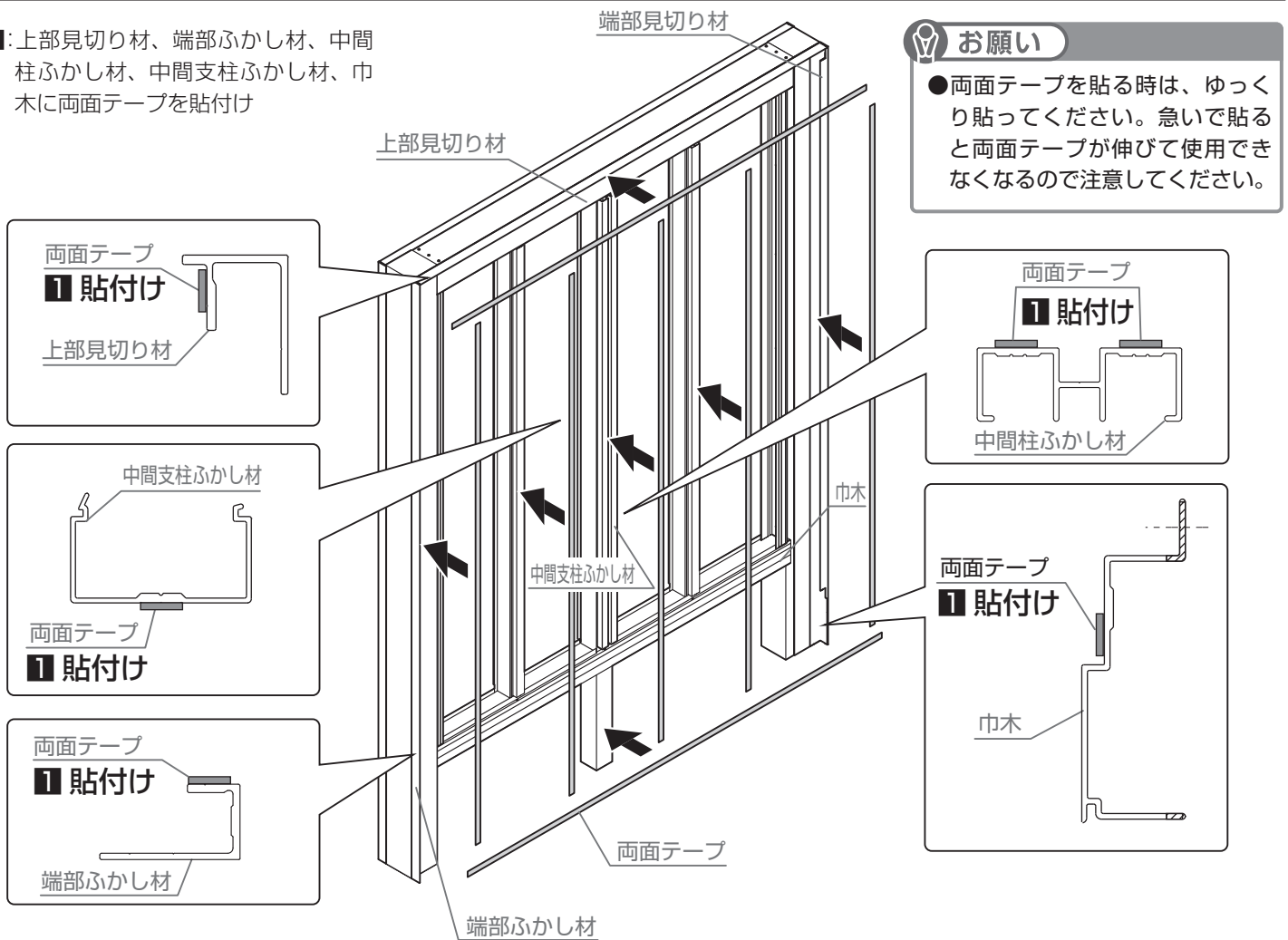


5 本体の施工

5-10 Gウォール ラッピングボードの取付け

5-10-1 両面テープの貼付け

- 1: 上部見切り材、端部ふかし材、中間柱ふかし材、中間支柱ふかし材、巾木に両面テープを貼付け



5-10-2 ラッピングボードの貼付け

- 1: ラッピングボードを両面テープに貼付けて圧着

お願い

▼ エアコンを取付ける場合 ▼

- エアコンを取付ける場合は、ラッピングボードへ配管穴や据付板用穴の加工が必要になります。



補足

- ラッピングボードは巾木に乗せてから上に向かって貼ってください。

The diagram shows the wrapping board being placed on the baseboard. The components labeled are: ラッピングボード (Wrapping board), 巾木 (Baseboard), and 乗せる (Place).

乗せる

お願い

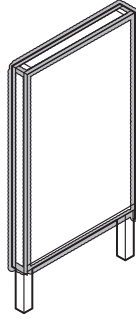
- ラッピングボードを両面テープで貼付けの際は、汚れ、油分を取除き十分な力 (5kg/cm²) で圧着してください。ラッピングボードをしっかり圧着させないと脱落するおそれがあります。
- ラッピングボードには養生シートが貼られています。施工が完了してから剥がしてください。

5 本体の施工

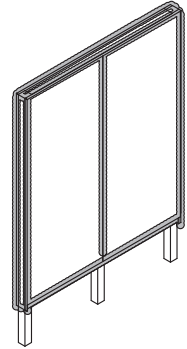
5-11 Gウォール 止水処理

1: 図の場所を確認し、シーリングを行う

●見切り材とラッピングボードとの取り合い



●ラッピングボードジョイント部分

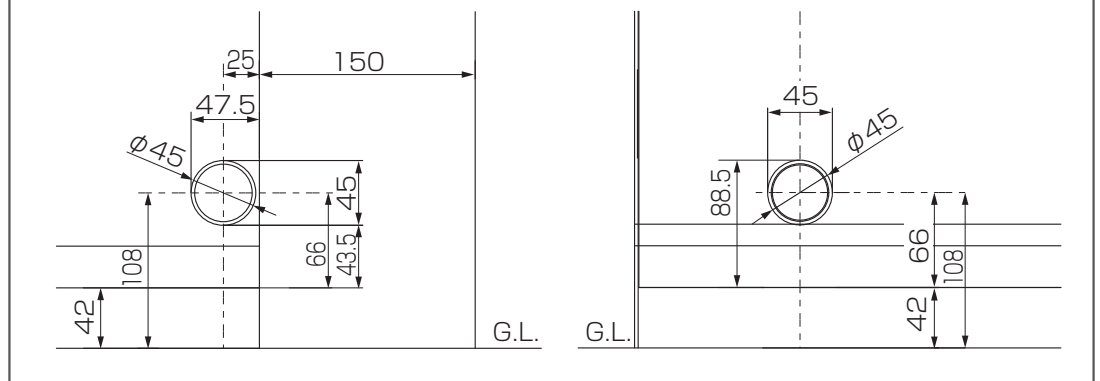


▼化粧樋内蔵の場合の止水処理▼

1: 化粧樋の納まり位置を確認後、寸法を測りラッピングボードに穴あけの寸法をケガク

2: ラッピングボードにφ45の穴あけを行ない、化粧樋とラッピングボードの隙間にシーリング

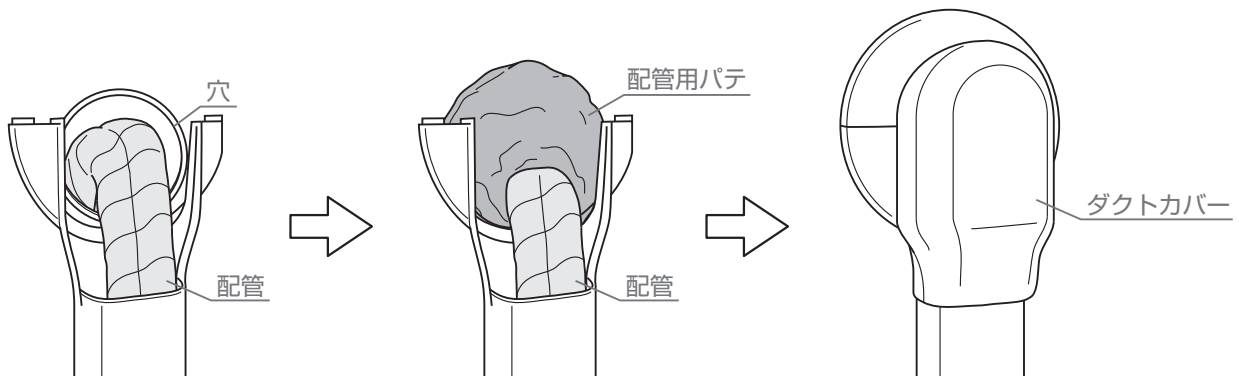
●加工詳細



▼エアコンを取付けた場合の止水処理▼

●お願い

●エアコンの取付業者や据付説明書の指示に従って、必ず配管周りの止水を行ってください。

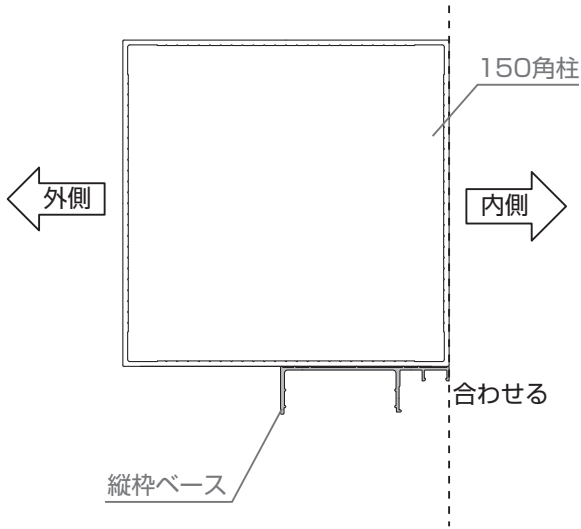


5-12 折戸 縦枠ベースの取付け

1: 縦枠ベースを150角柱または化粧樋(外側排水用)に【29c】で取付け

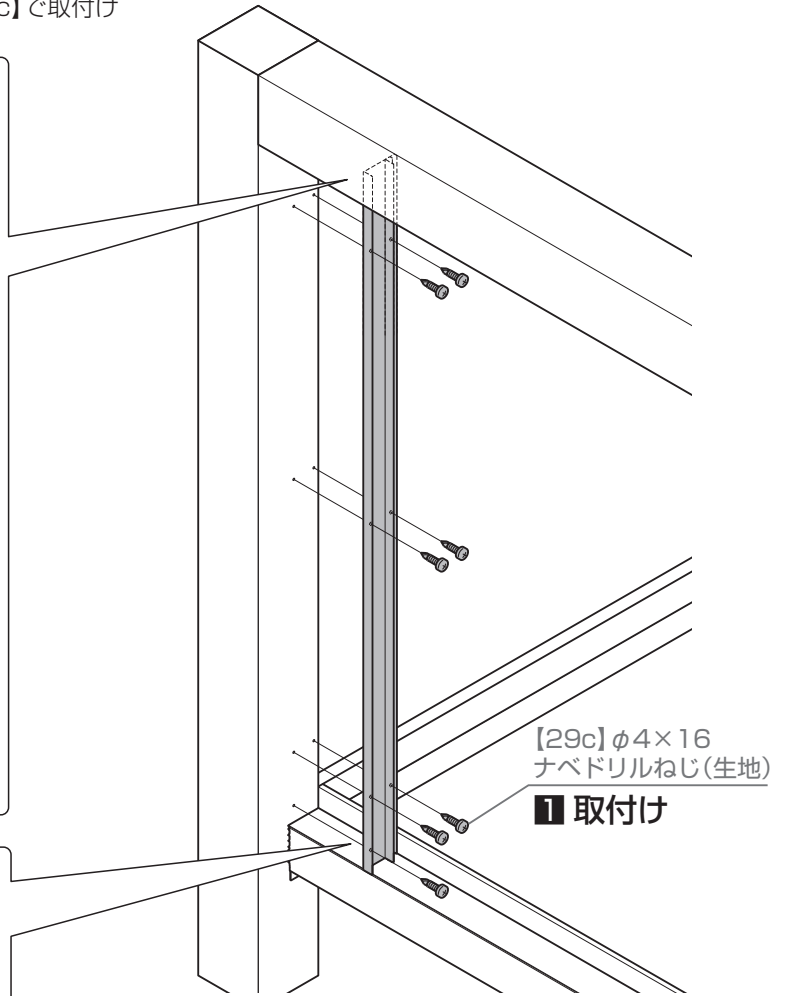
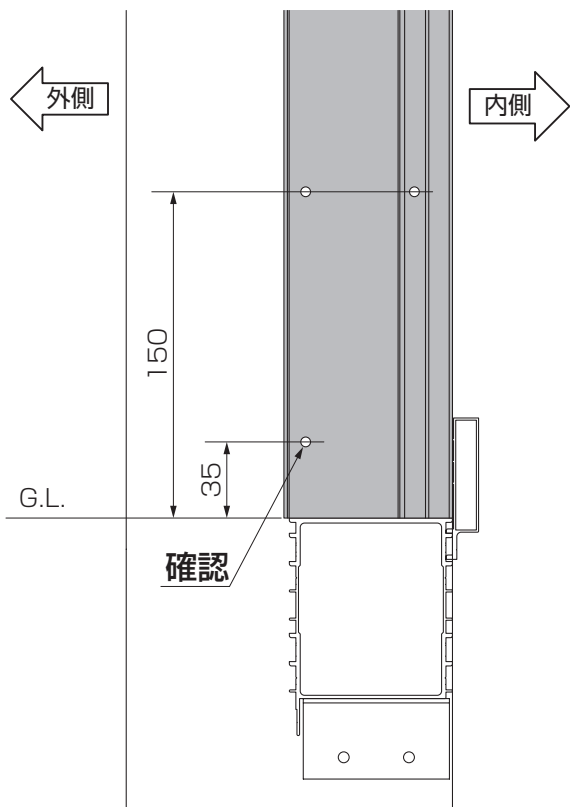
お願い

- 柱の内側端に縦枠ベースを面合わせて取付けてください。



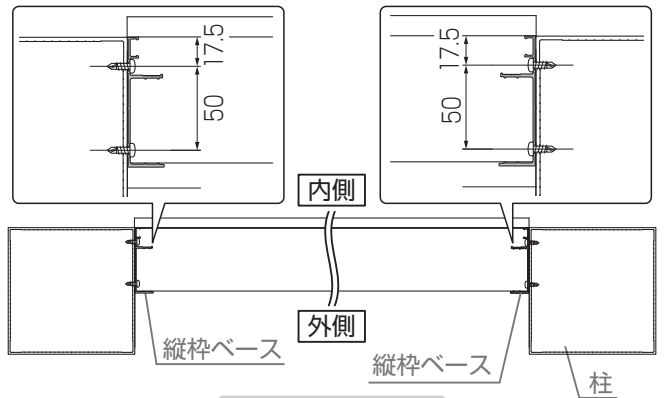
お願い

- 端部から35mmのねじ穴が下側かつ外側になるようにして縦枠ベースを取付けてください。

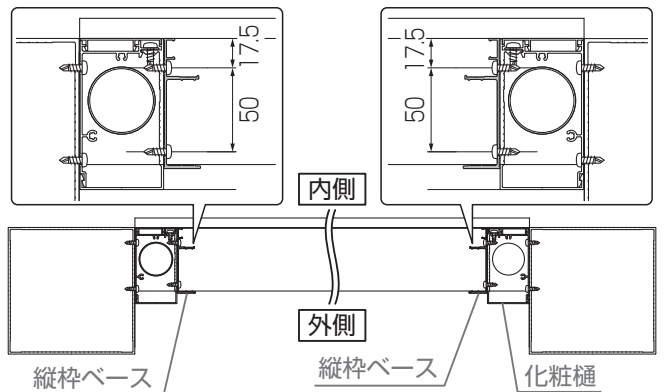


● 縦枠納まり

▼ 4スパン、5スパン、6スパンの場合 ▼



▼ W30の場合 ▼

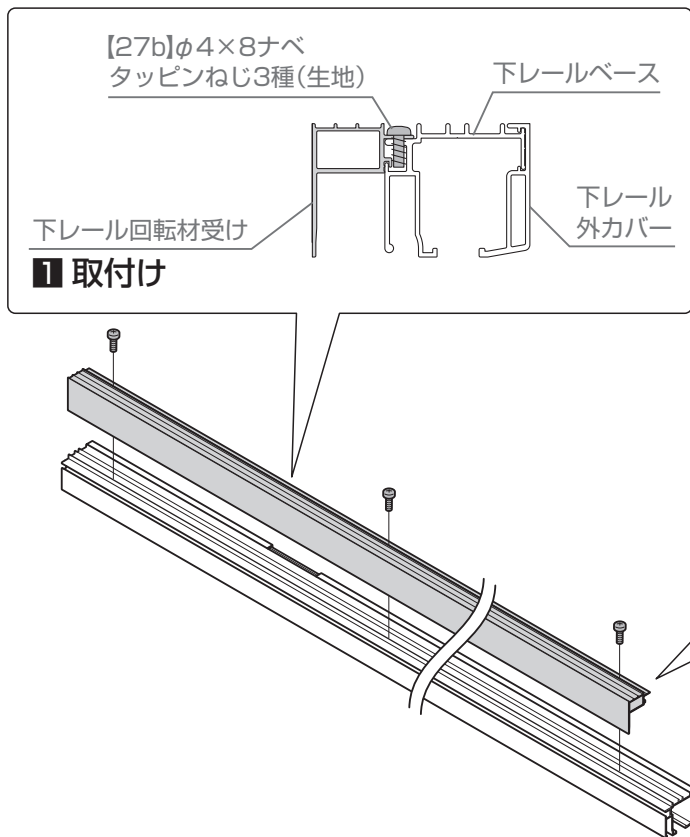


5 本体の施工

5-13 折戸 下レールの取付け

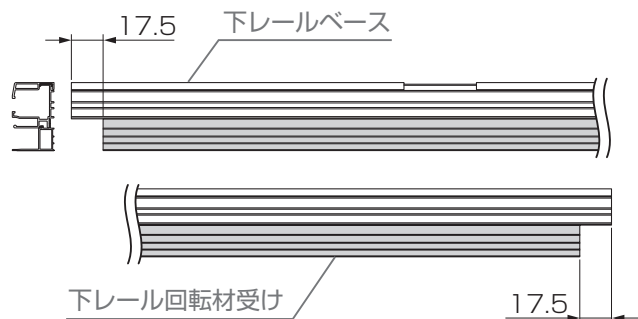
5-13-1 | 下レールの組立て

①: 下レール回転材受けを下レールベースに【27b】で取付け

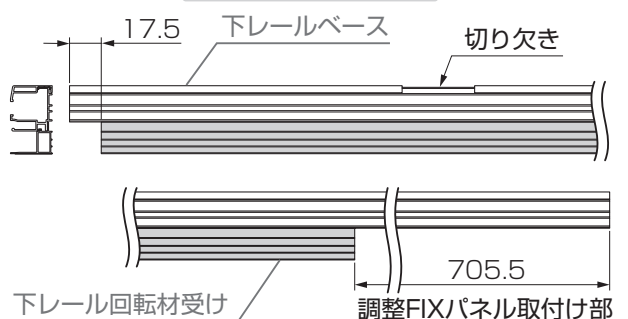


●下レール回転材受けの取付け位置を確認してください。

▼ W30、4スパン、6スパンの場合 ▼



▼ 5スパンの場合 ▼



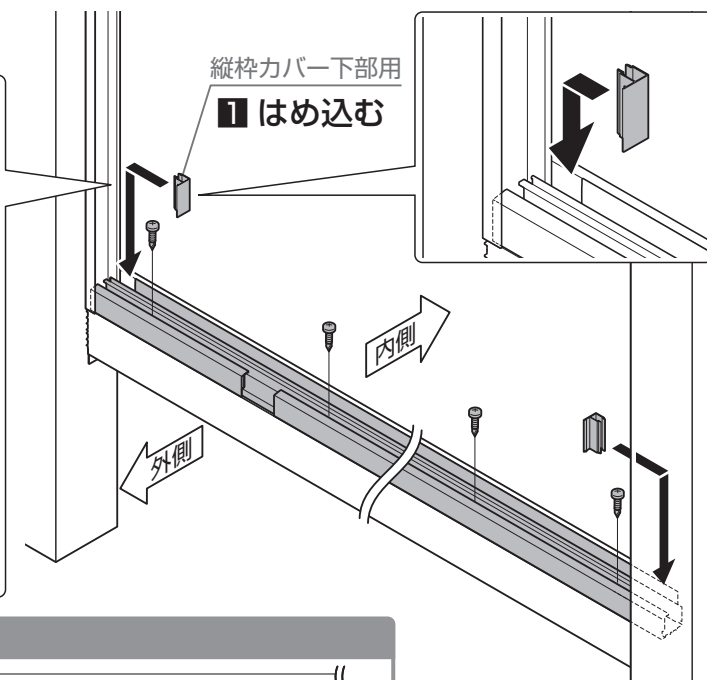
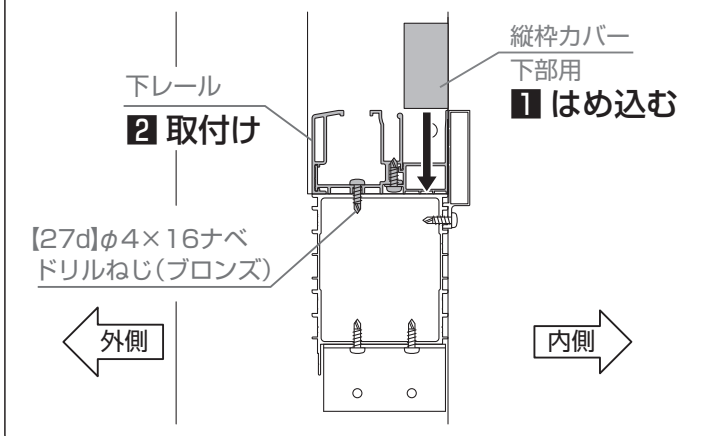
※折戸を吊込む切り欠きの反対側を、調整FIXパネル取付け部として広く空けてください。

5-13-2 | 下レールの取付け

①: 縦枠カバー下部用を縦枠ベースにはめ込む

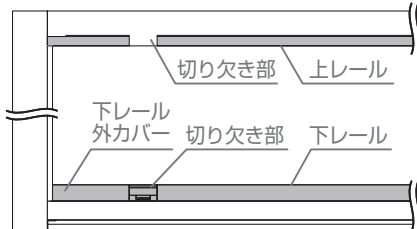
②: 下レールを床ベースに【27d】で取付け

- 縦枠カバー下部用は、はめ込んだ後、最下部までスライドさせてください。
- 下レール回転材受け側を土間見切り材に合わせて取付けてください。



💡 お願い

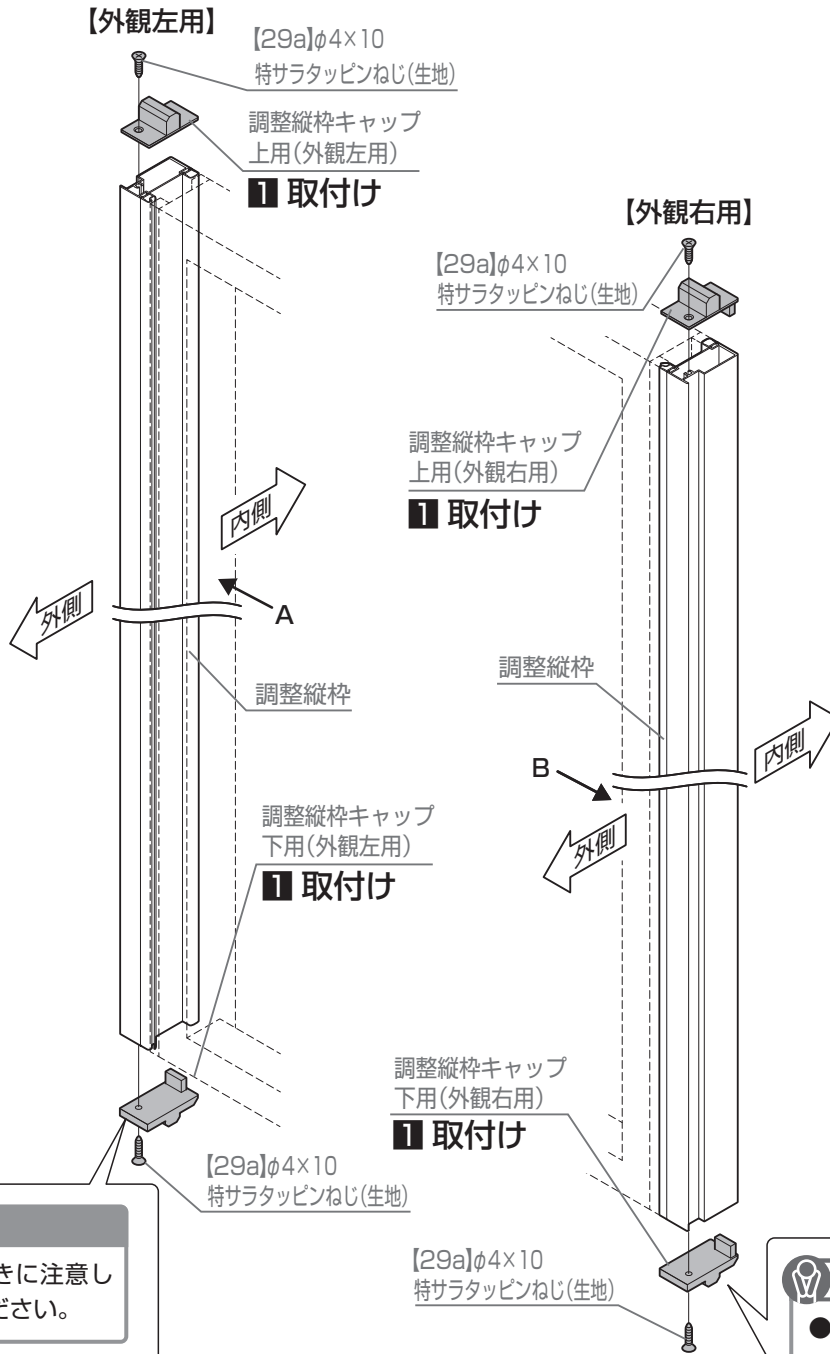
- 上レールの切り欠き部と下レールの切り欠き部の位置を合わせてください。
- 切り欠き部の左右が上レールと異なる場合は、下レール外カバーの左右を入れ替えてください。



5-14 折戸 調整縦枠の仮置き

5-14-1 調整縦枠の加工

1: 調整縦枠キャップ上用と下用を調整縦枠に【29a】で取付け



お願い

- キャップの向きに注意して取付けてください。

【調整縦枠キャップ上用】

A視

【調整縦枠キャップ下用】

A視

お願い

- キャップの向きに注意して取付けてください。

【調整縦枠キャップ上用】

B視

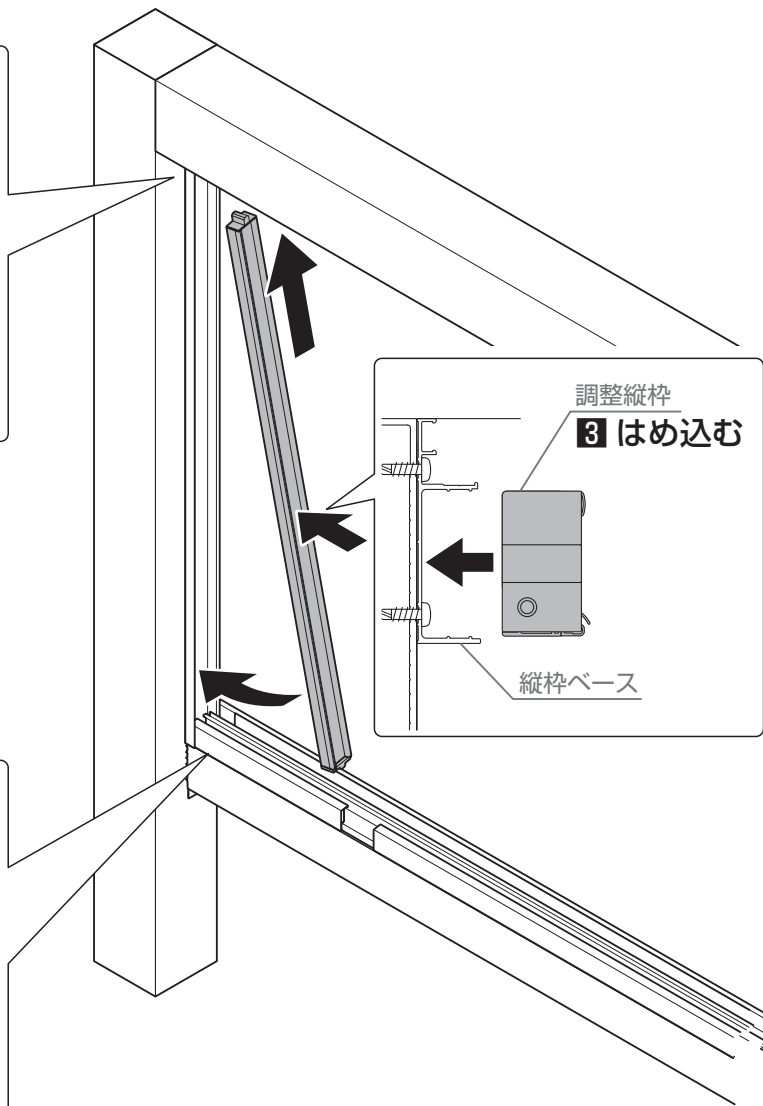
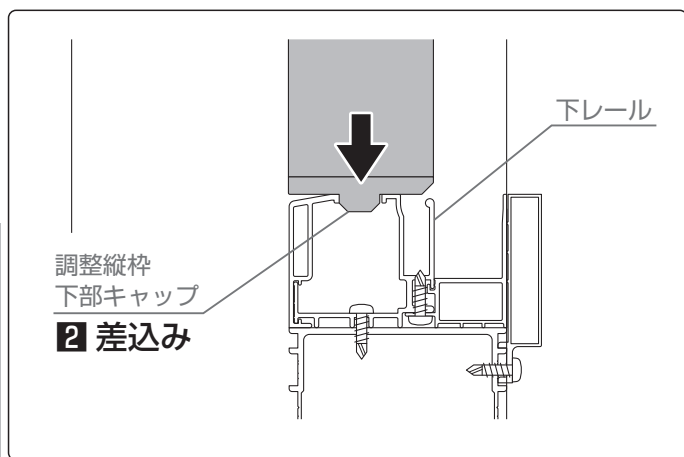
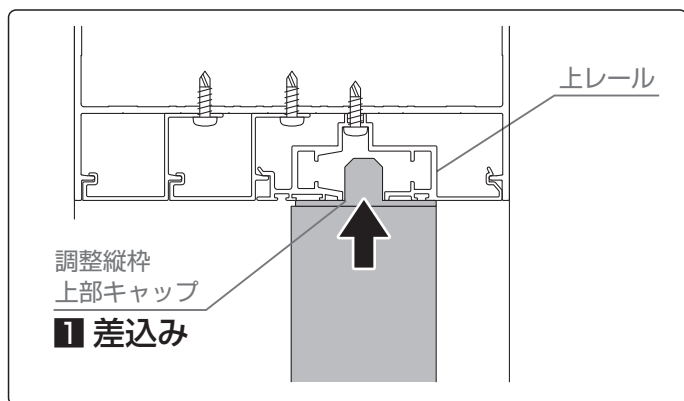
【調整縦枠キャップ下用】

B視

5-14 折戸 調整縦枠の仮置き

5-14-2 調整FIXパネルの取付け

- ❶:調整縦枠上部キャップを上レールに差込み
- ❷:調整縦枠下部キャップを下レールに差込み
- ❸:調整縦枠を縦枠ベースにはめ込む



5-15 折戸 調整FIXパネルの取付け (5スパンの場合)

5-15-1 調整FIXパネルの取付け

お願い

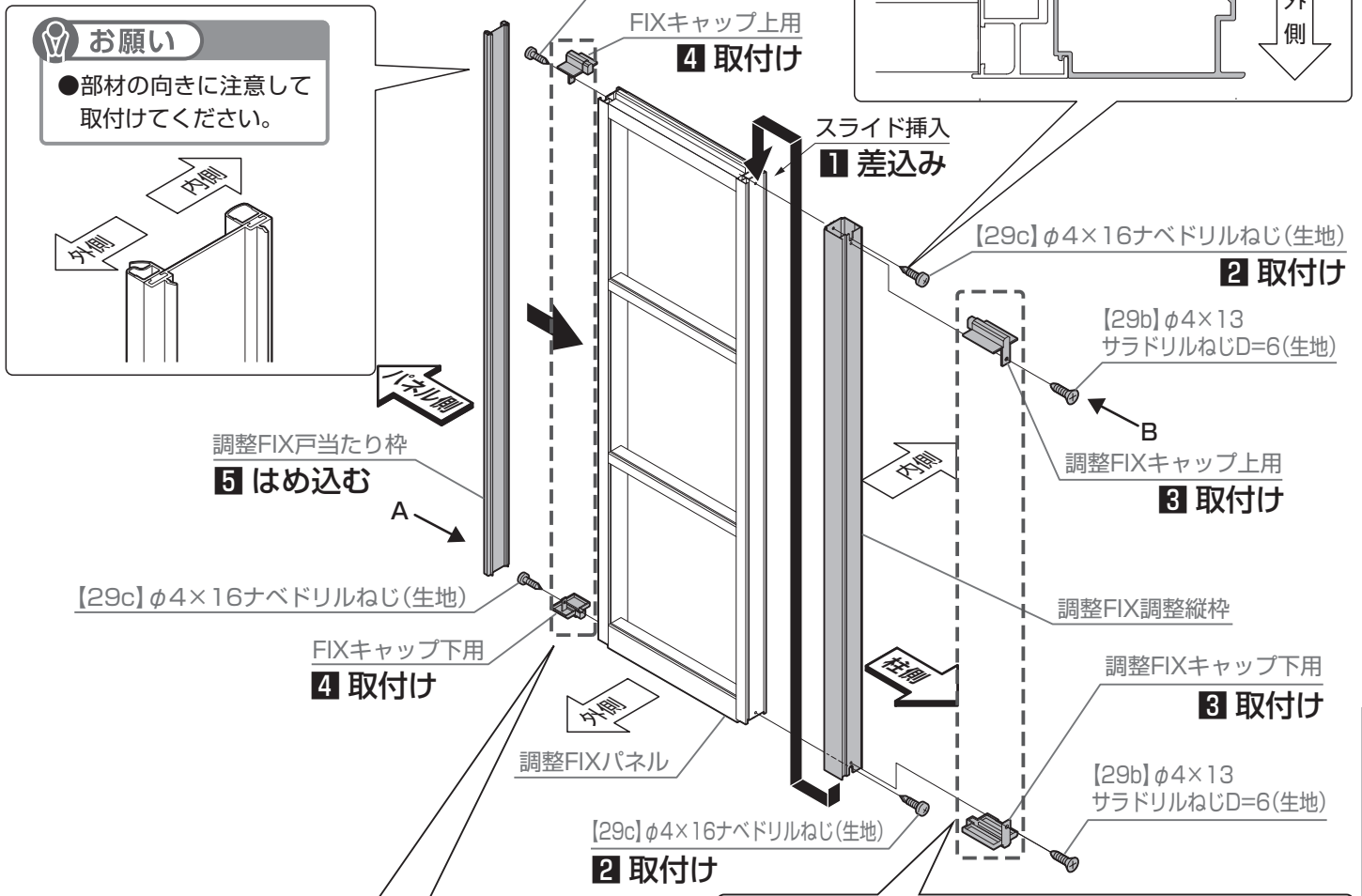
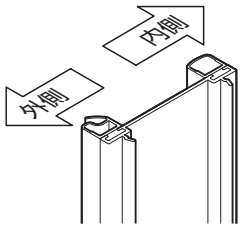
●調整FIXパネルの左右取付け位置に注意して組立ててください。

- 1: 調整FIX調整縦枠を調整FIXパネル縦枠柱側に上から差込み
- 2: 調整FIX調整縦枠を調整FIXパネルに【29c】で取付け
- 3: 調整FIXキャップ上用と下用を調整FIX調整縦枠に【29b】で取付け
- 4: FIXキャップ上用と下用を調整FIXパネルに【29c】で取付け
- 5: 調整FIX戸当たり枠を調整FIXパネルにはめ込む

※下図は調整FIXパネルを右端に取付ける場合です。左端に取付ける場合は、部材の取付け位置が逆になります。

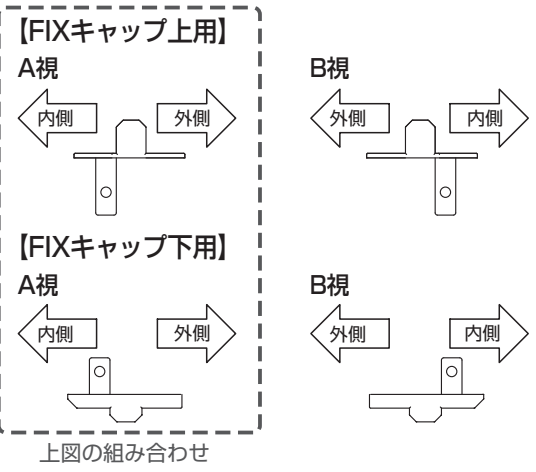
お願い

●部材の向きに注意して取付けてください。



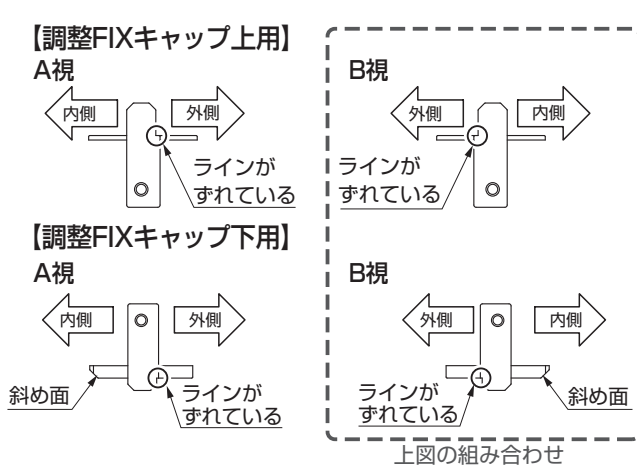
お願い

●キャップの向きに注意して取付けてください。



お願い

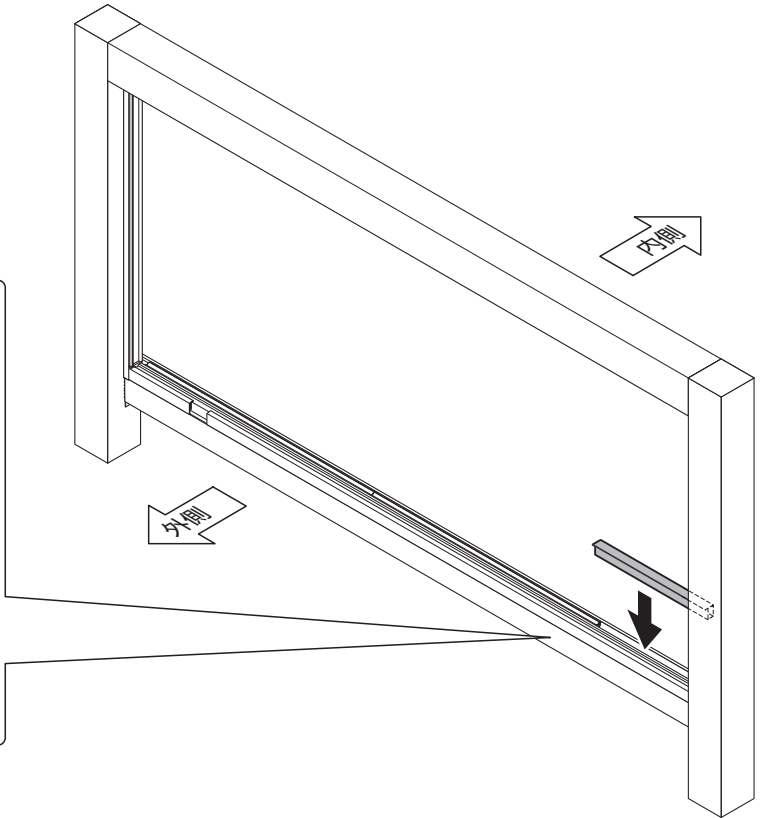
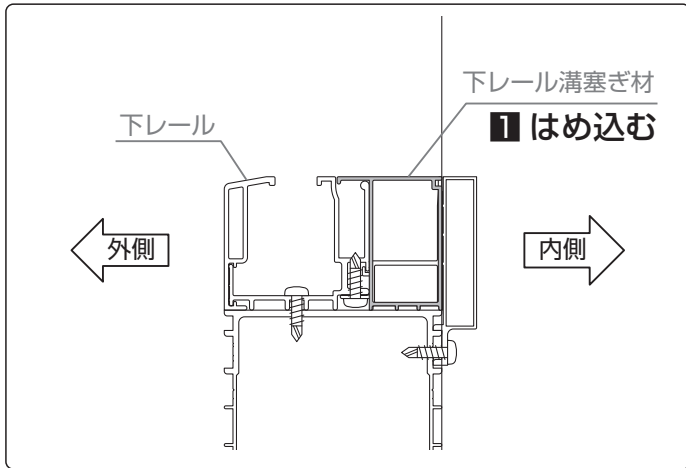
●キャップの向きに注意して取付けてください。



5-15 折戸 調整FIXパネルの取付け (5スパンの場合)

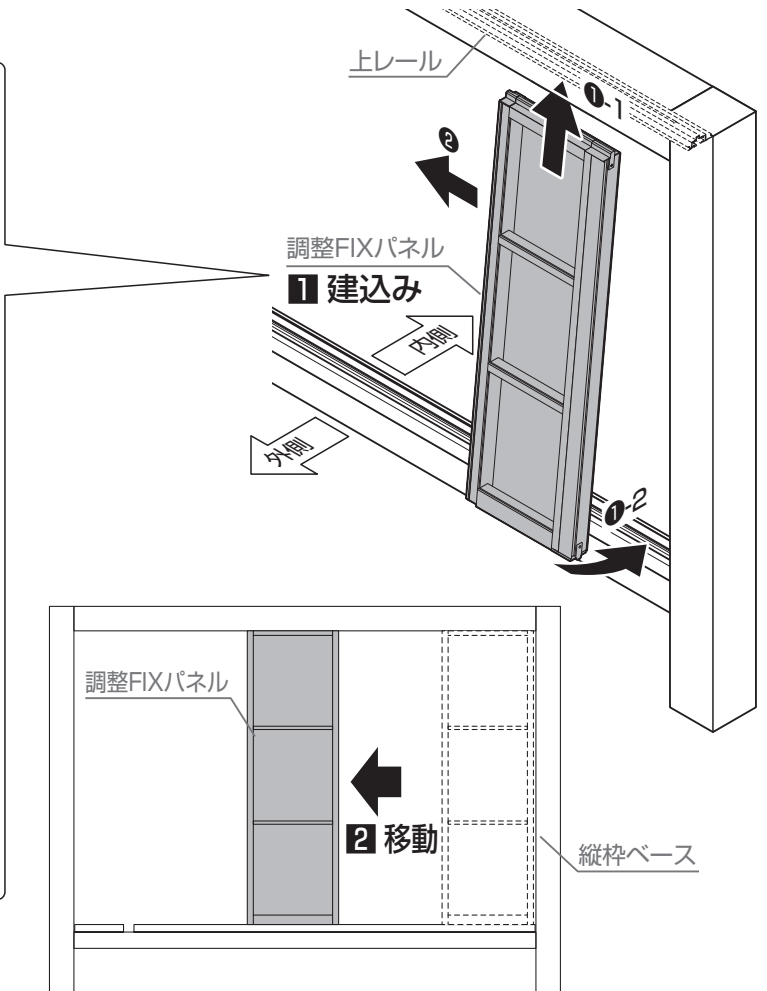
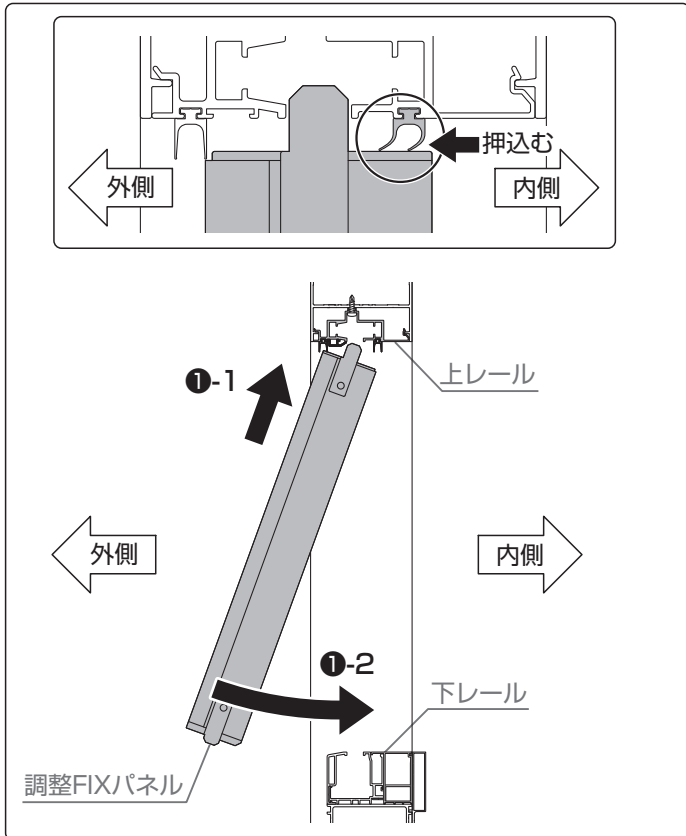
5-15-2 | 下レール溝塞ぎ材の取付け

1: 下レール溝塞ぎ材を下レールの隙間にはめ込む



5-15-3 | 調整FIXパネルの取付け

1: 調整FIXパネル上レールアタッチ材のない位置に建込み

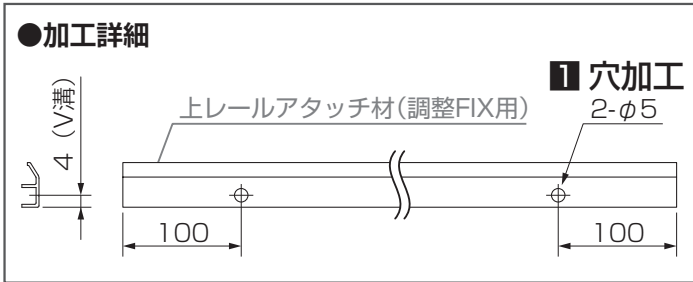


2: 調整FIXパネルを取付け位置とは反対に移動

5-15 折戸 調整FIXパネルの取付け (5スパンの場合)

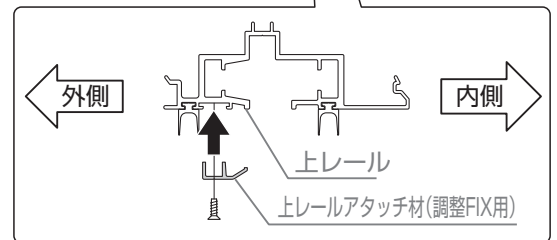
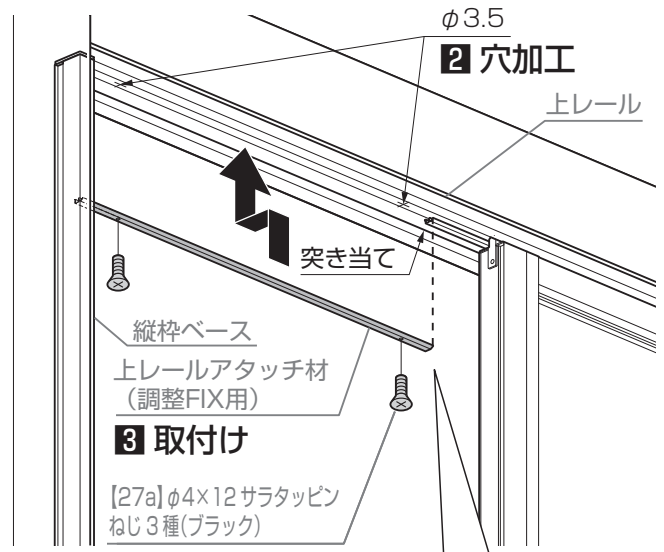
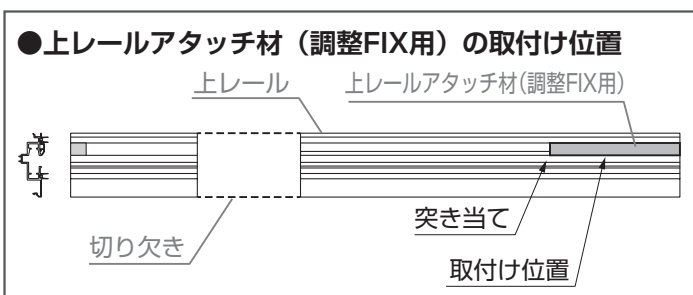
5-15-4 | 上レールアタッチ材 (調整FIX用) の取付け

1: 上レールアタッチ材 (調整FIX用) に穴加工

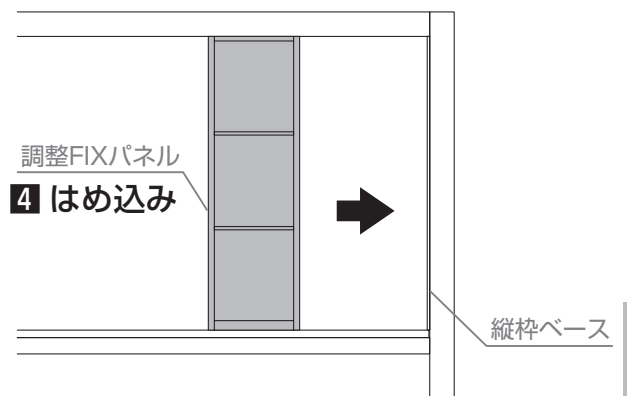


2: 上レールアタッチ材の穴をガイドにして上レールに穴加工

3: 上レールアタッチ材を上レールに【27a】で取付け



4: 調整FIXパネルを縦枠ベースにはめ込み

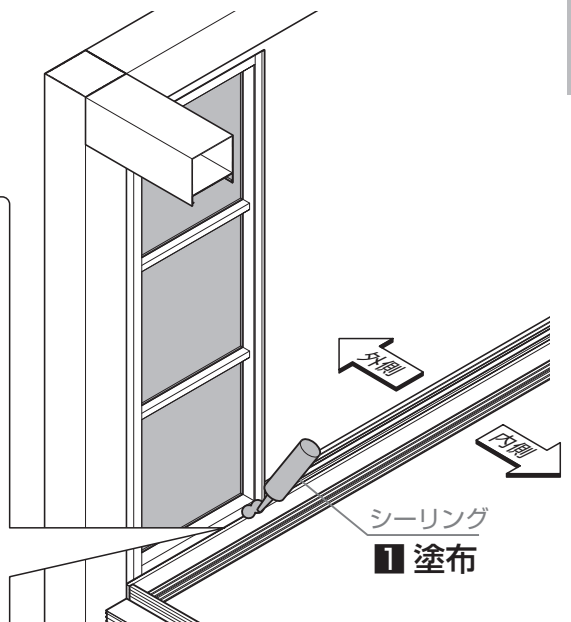
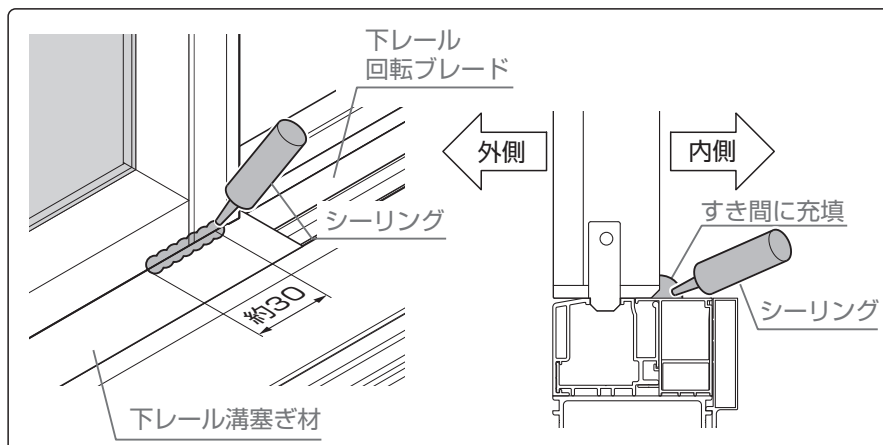


5-15-5 | シーリング

1: 調整FIXパネルの室内側にシーリングを塗布

お願い

- 下レール回転ブレードにシーリング材がかからないように避けて塗布してください。

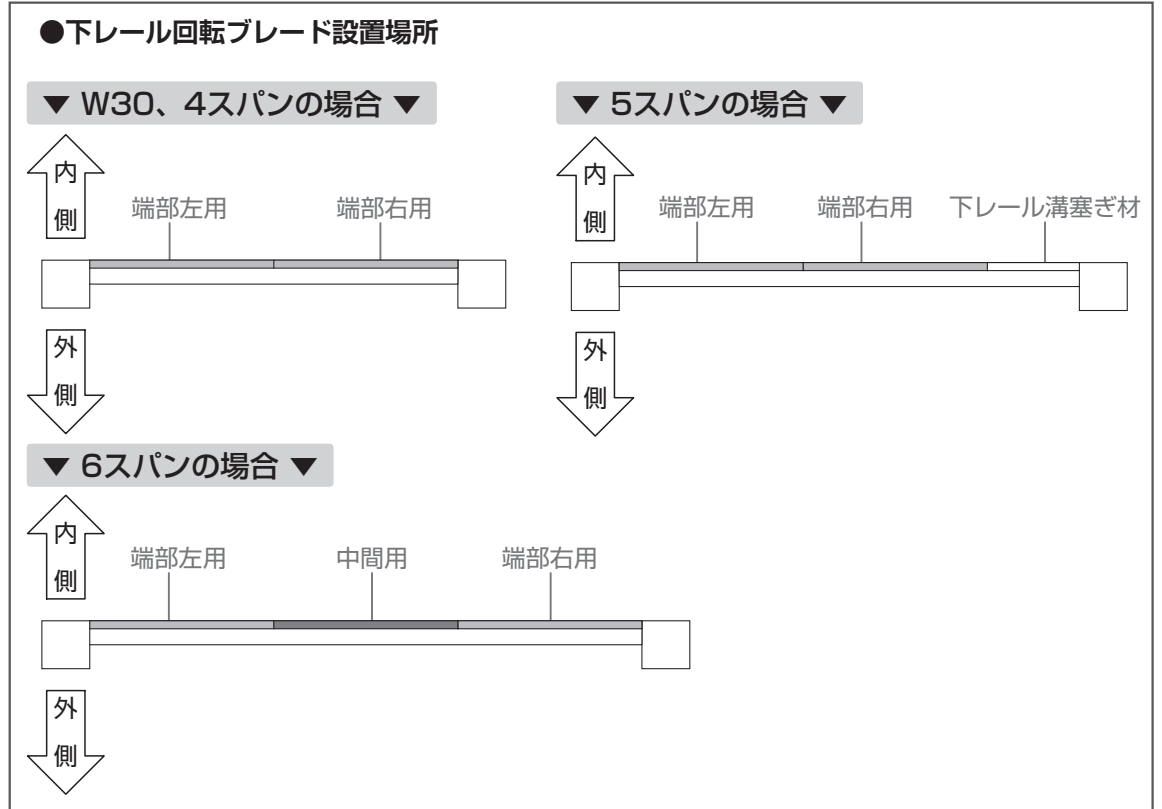


5 本体の施工

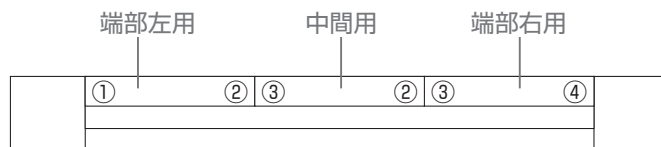
5-16 折戸 下レール回転ブレードの取付け

5-16-1 | 下レール回転ブレード設置場所の確認

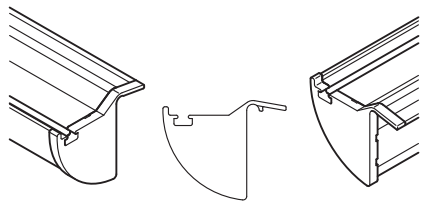
1: 図を参照して下レール回転ブレードの設置場所を確認



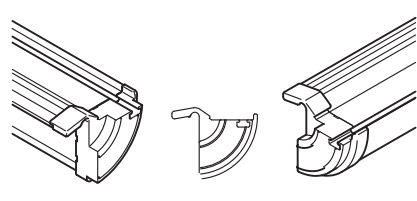
■回転ブレードとキャップの種類



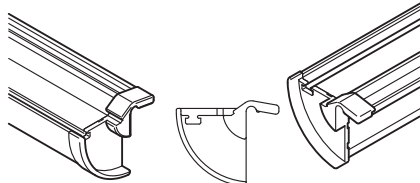
①下レール回転ブレード
キャップE(外観左用)



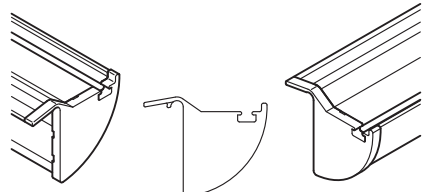
②下レール回転ブレード
キャップA



③下レール回転ブレード
キャップB



④下レール回転ブレード
キャップE(外観右用)

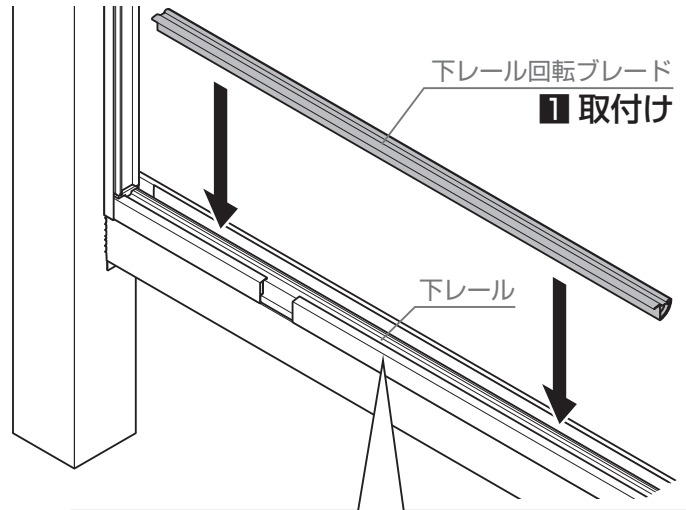


5-16 折戸 下レール回転ブレードの取付け

つづき

5-16-2 | 下レール回転ブレードの取付け

1: 下レール回転ブレードを下レールに取付け



お願い

- 最後の1本をはめ込むときは、隣接する回転ブレードの一端を持ち上げ、同時に下レールに置くとはめ込みやすくなります。

最後にはめ込む回転ブレード

隣接する回転ブレード

同時に置く

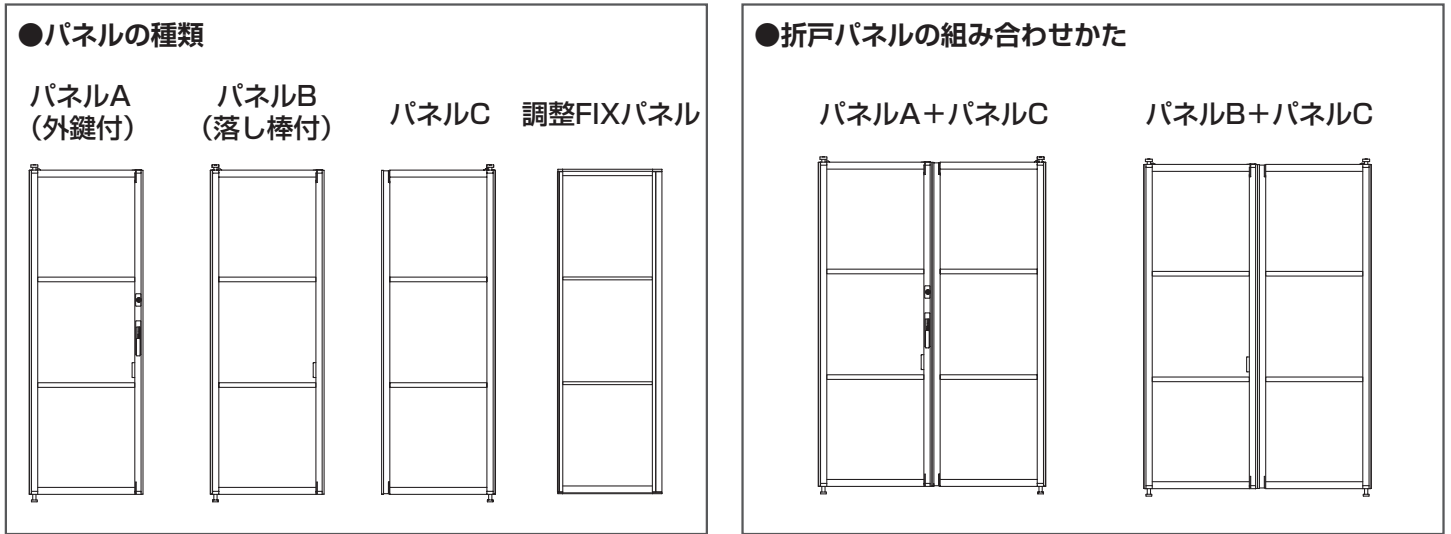
下レール

5 本体の施工

5-17 折戸 折戸パネルの取付け

5-17-1 折戸パネルの組み合わせと吊込み順の確認

1: 下記を参照して折戸の組み合わせと吊込み順番を確認

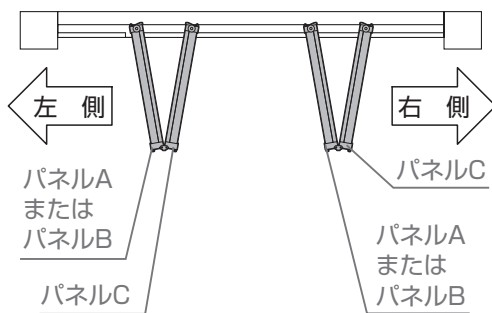


●折戸パネルの吊込み順

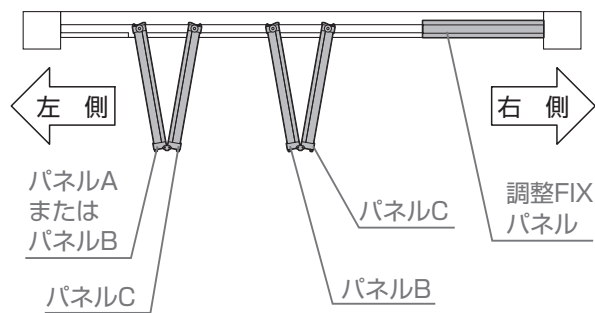
💡 お願い

●外鍵を付ける場合は、パネルA(外鍵付)+パネルCの組み合わせが左右いずれかの柱側になるように吊込んでください。

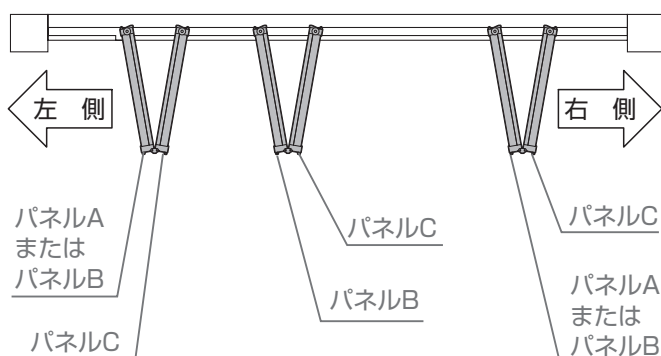
▼ W30、4スパンの場合 ▼



▼ 5スパンの場合 ▼



▼ 6スパンの場合 ▼

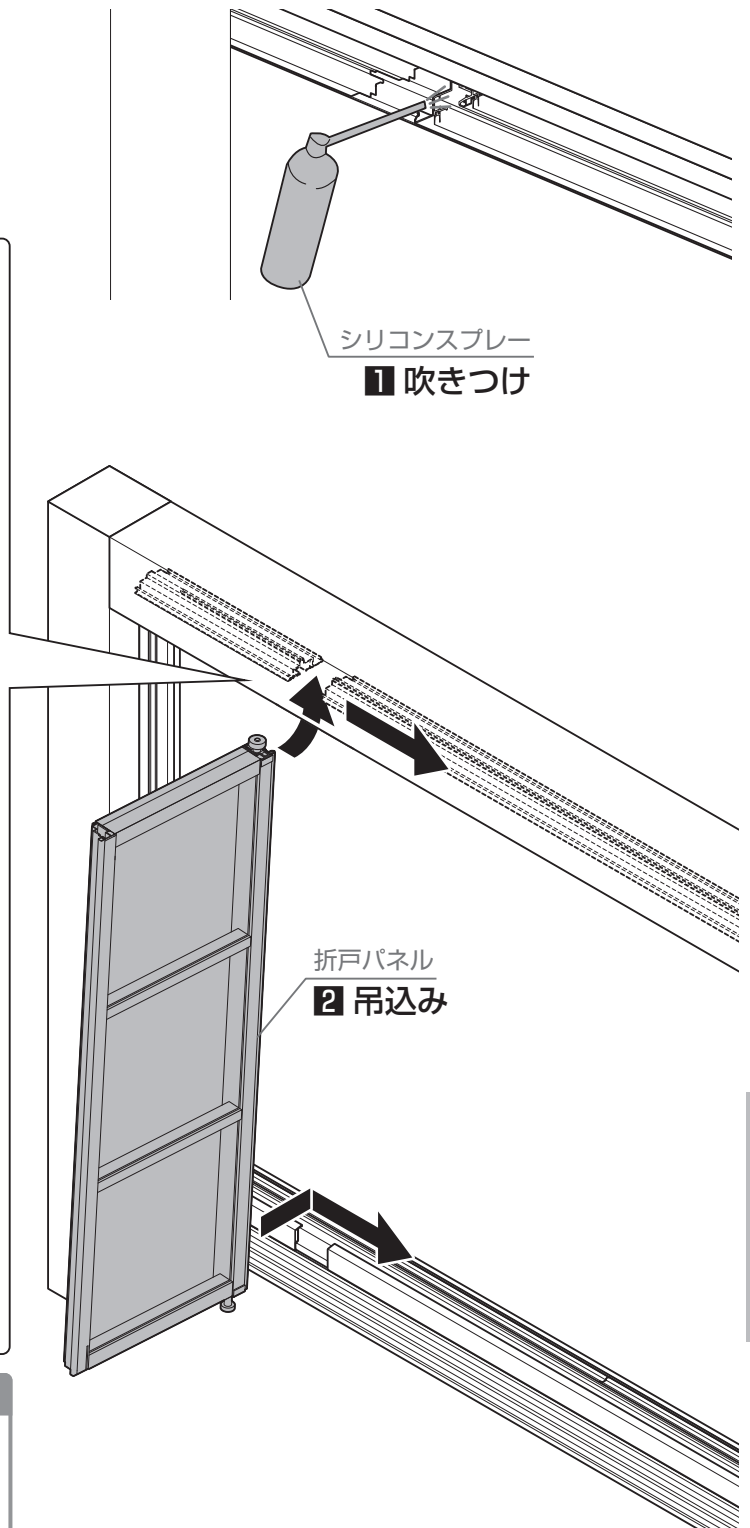
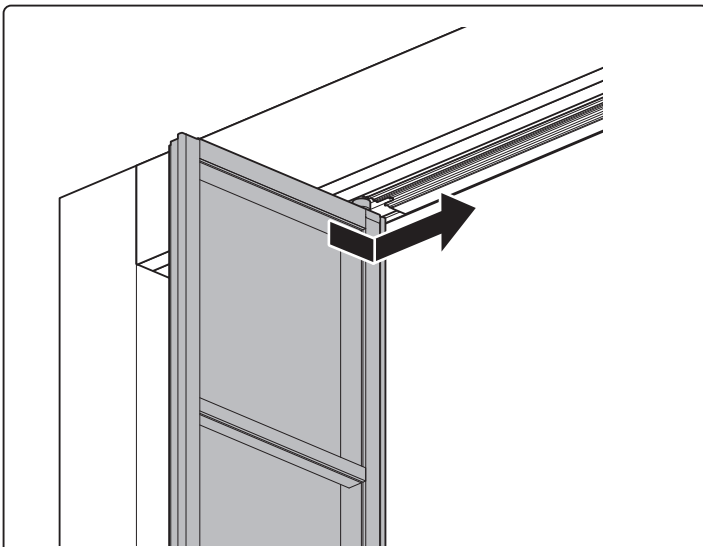


5-17 折戸 折戸パネルの取付け

5-17-2 折戸の吊込み

1: シリコンスプレーを上レールの戸車を通る部分に吹きつけ

2: 折戸パネルを上下レールの切欠き部より吊込み

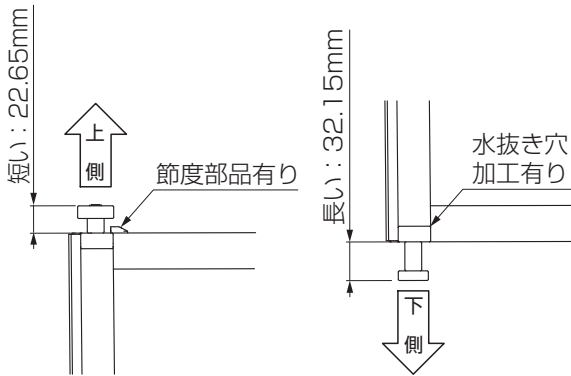


シリコンスプレー
1 吹きつけ

折戸パネル
2 吊込み

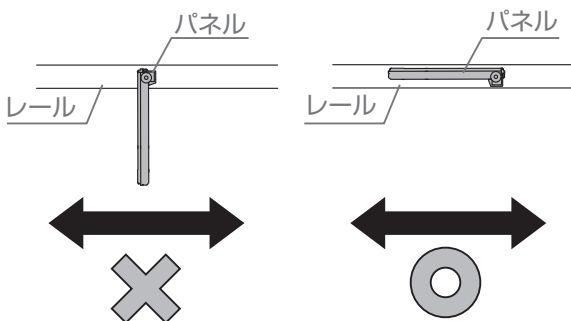
お願い

●パネルの上下にご注意ください。上下を間違えると折戸パネルが正しく機能しません。



お願い

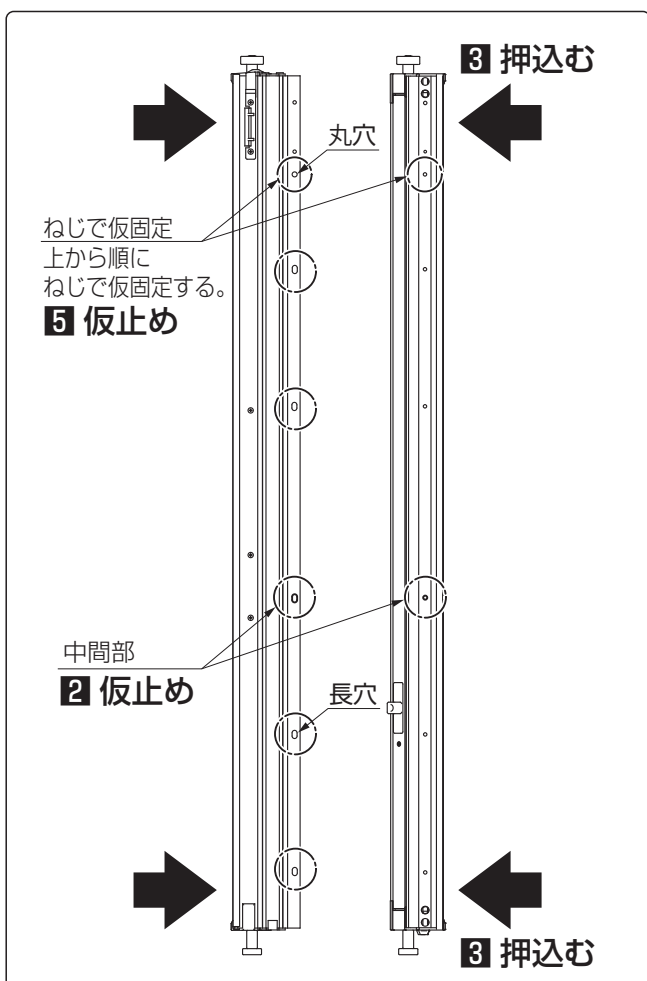
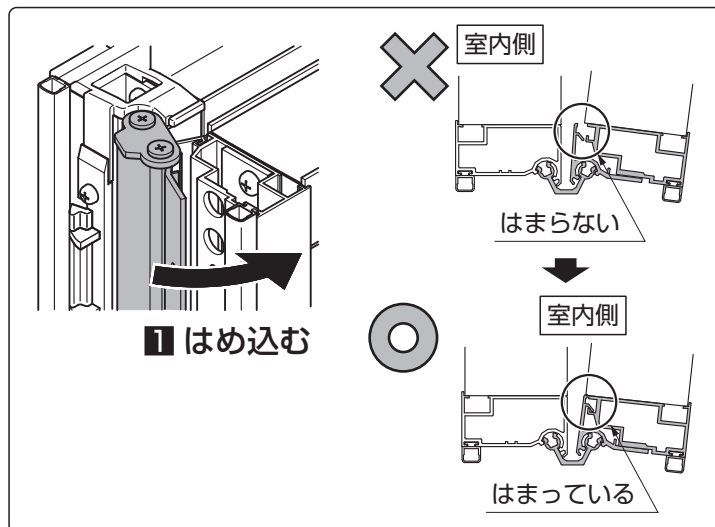
●吊込み後にパネルを移動する際は、パネルをレールと水平にしてください。上レールアタッチがずれて、上レール端部キャップが外れてしまいます。



5-17 折戸 折戸パネルの取付け

5-17-3 折戸の組合せ

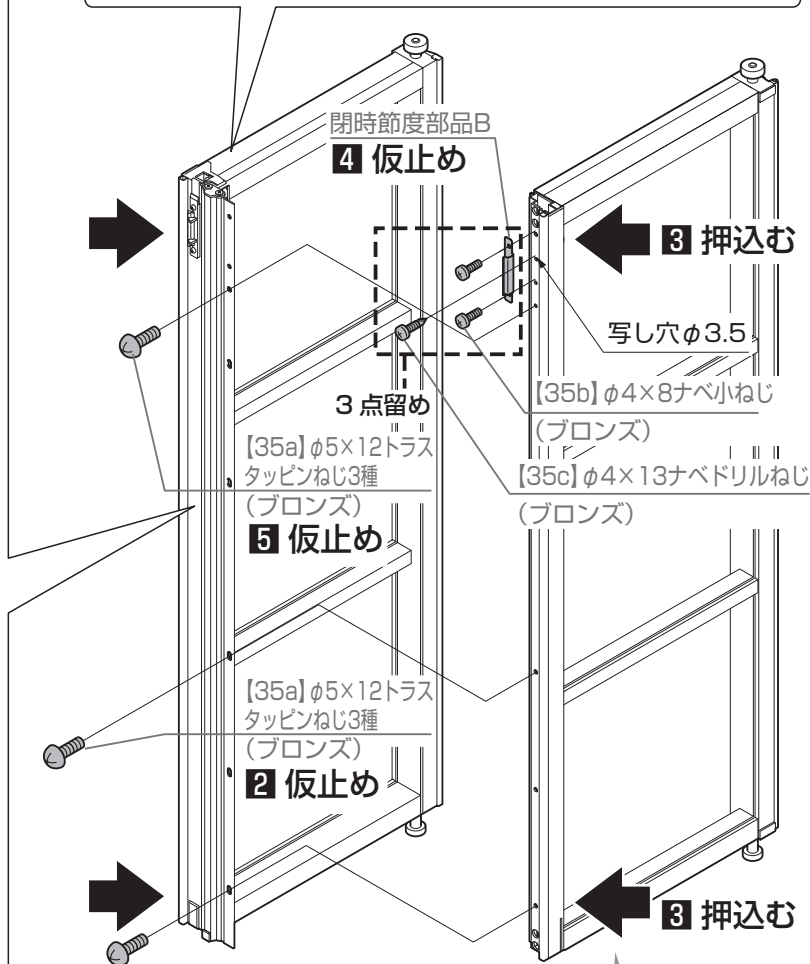
- 1: 縦棧のかん合箇所をはめ込む
- 2: 中間部の1箇所を【35a】で仮止め
- 3: 折戸パネルの上部と下部を左右から押込む
- 4: 閉時節度部品Bを【35b】と【35c】で仮止め
- 5: 縦棧を上から順に【35a】で仮止め



お願い

- 穴位置が合わない場合、パネル下部を右か左に振ってください。
- 取付けねじが緩むとパネルが破損するおそれがありますので、確実にきつく締めてください。

パネル下部を右か左に振る



補足

- 左右から押込んで正しくはめ合わせると「パチン」という音がします。

パチン

5-17 折戸 折戸パネルの取付け

つづき

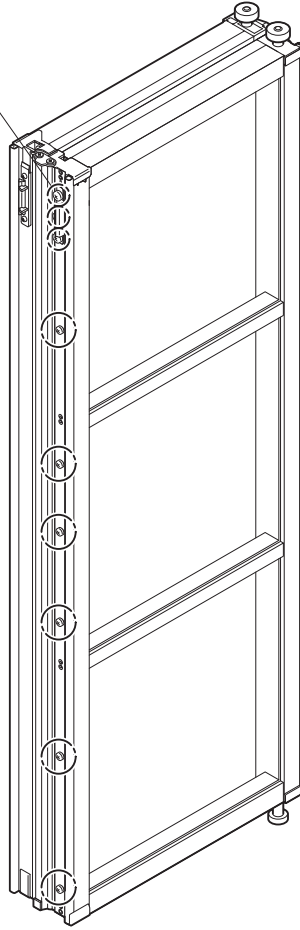
5-17-3 折戸の組合せ

つづき

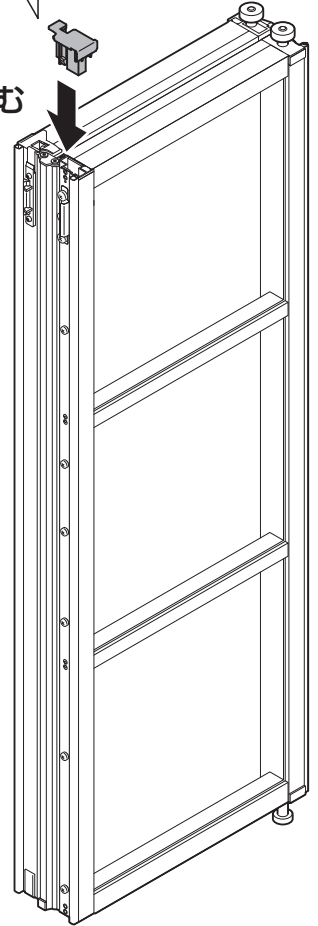
6:すべてのねじを本締め

7:パネル小口キャップ連結受側をはめ込む

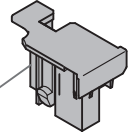
6 本締め



7 はめ込む



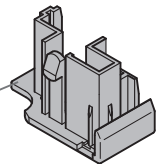
パネル小口キャップ
連結受側(上用)



7 はめ込む



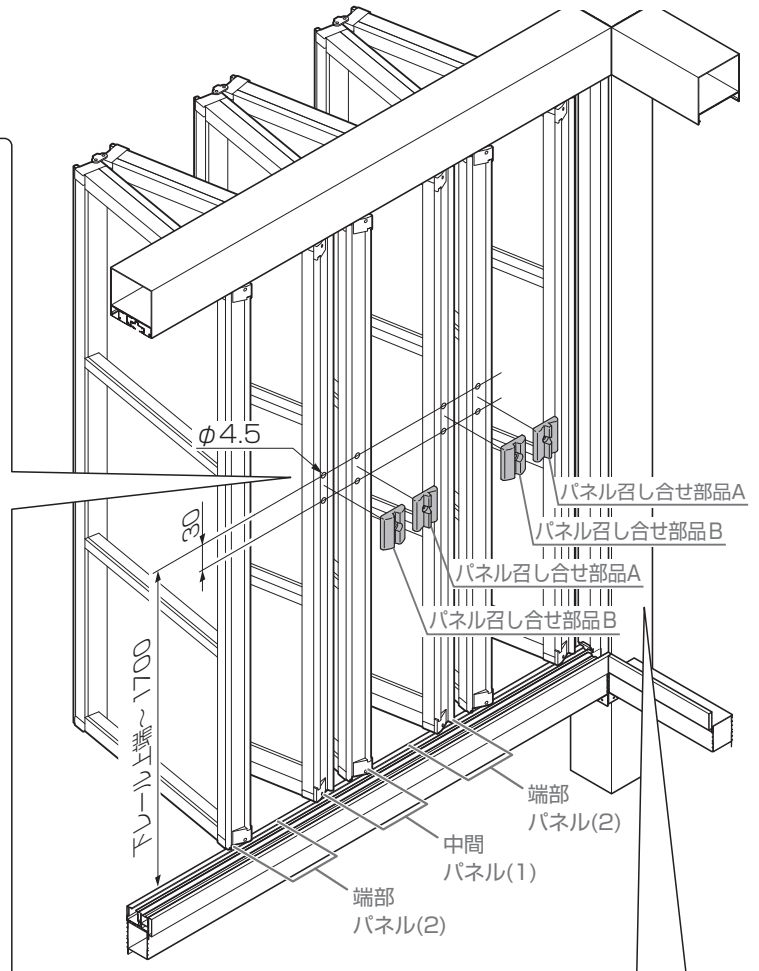
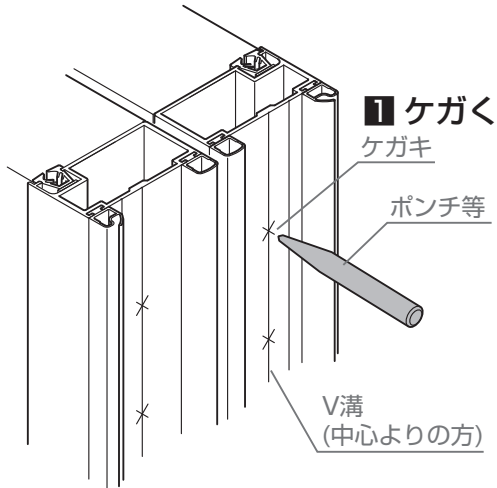
パネル小口キャップ
連結受側(下用)



5-17 折戸 折戸パネルの取付け

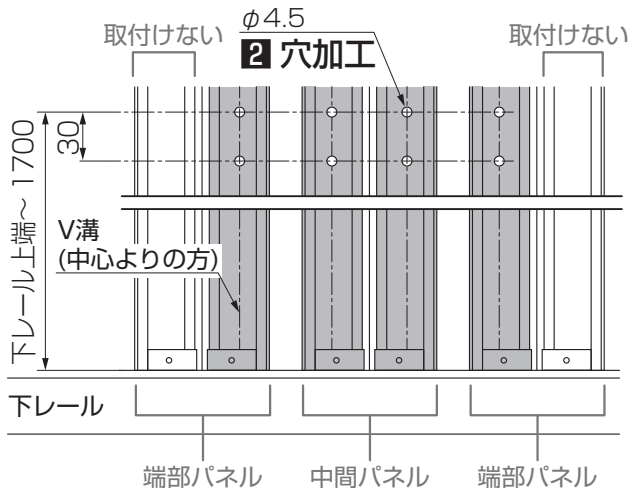
5-17-4 召し合せ部品の取付け

- ❶: 折戸パネルに召し合せ部品取付穴の位置をケガク
- ❷: 折戸パネルにφ4.5の穴加工
- ❸: パネル召し合せ部品A、Bを折戸パネルに取付け

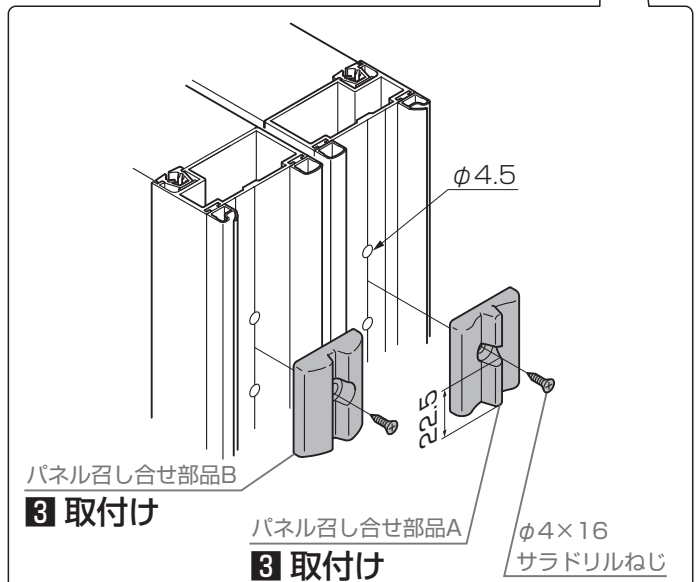
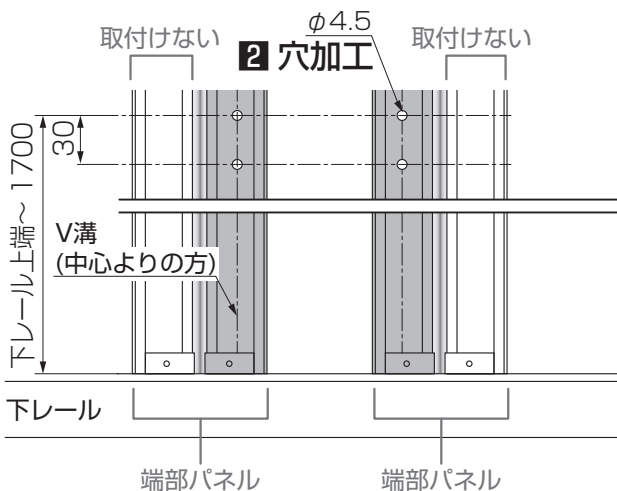


●加工詳細図

▼ 6スパンの場合 ▼

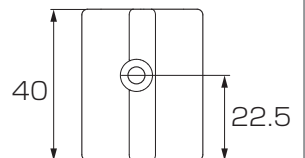


▼ W30、4スパン、5スパンの場合 ▼



💡 お願い

- パネル召し合せ部品は穴が上よりになる向きで取付けてください。



5 本体の施工

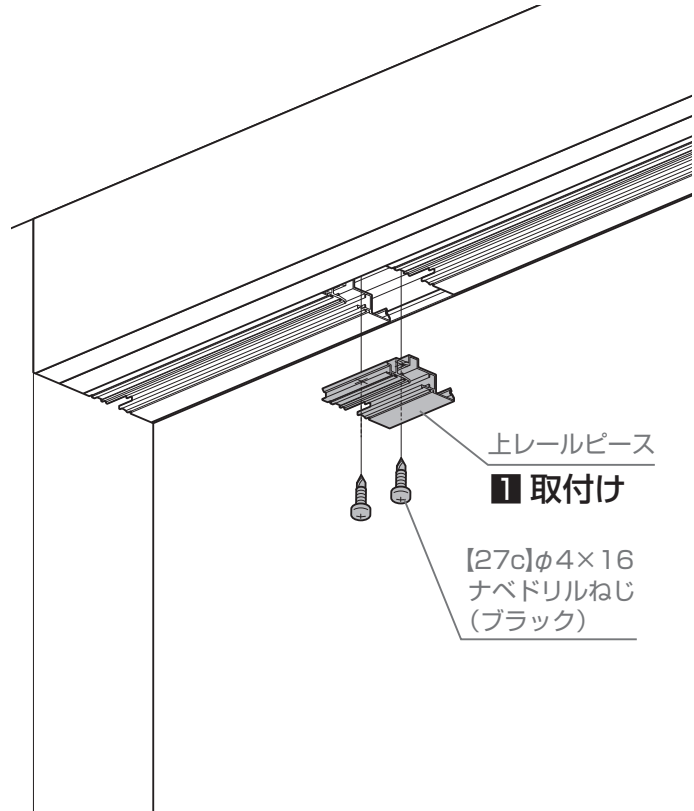
5-18 折戸 レールピースの取付け

5-18-1 | 上レールピースの取付け

1: 上レールピースを上レールに【27c】で取付け

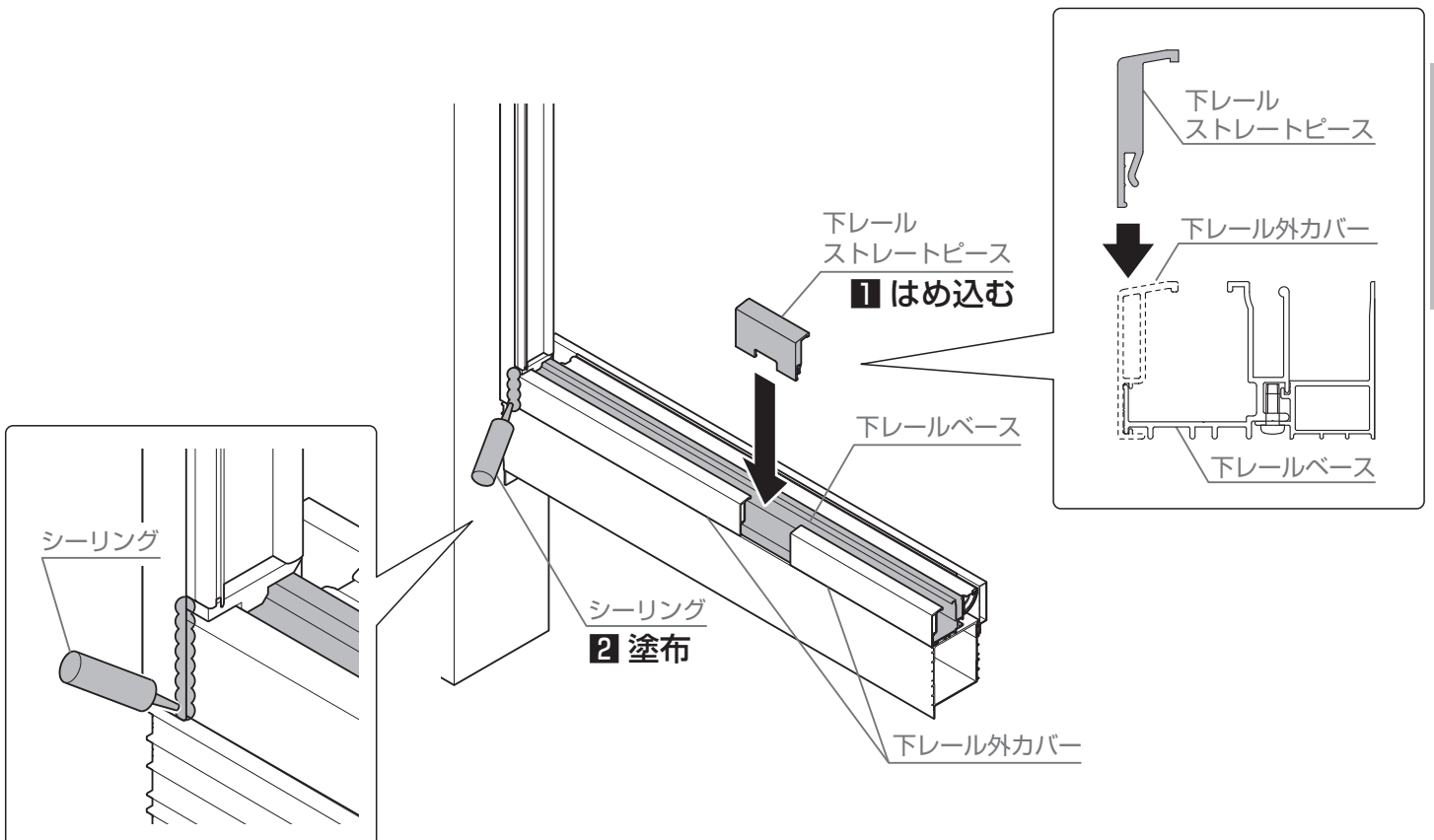
🔦 お願い

- 上レールピースの左右に隙間がでないよう注意してください。



5-18-2 | 下レールピースの取付け

- 1: 下レールピースを下レールベースにはめ込む
2: 下レールと縦枠ベースのかみ合わせ部分にシーリングを塗布



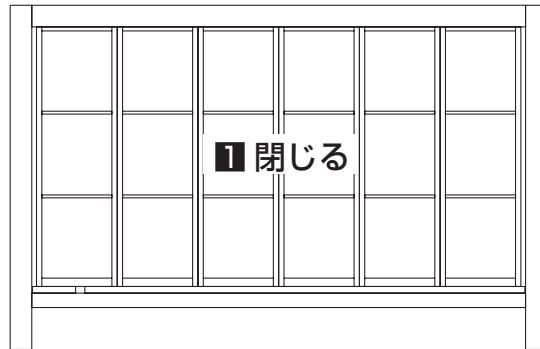
5-19 折戸 調整縦枠の取付け

5-19-1 調整縦枠の固定

1: 折戸をすべて閉じる

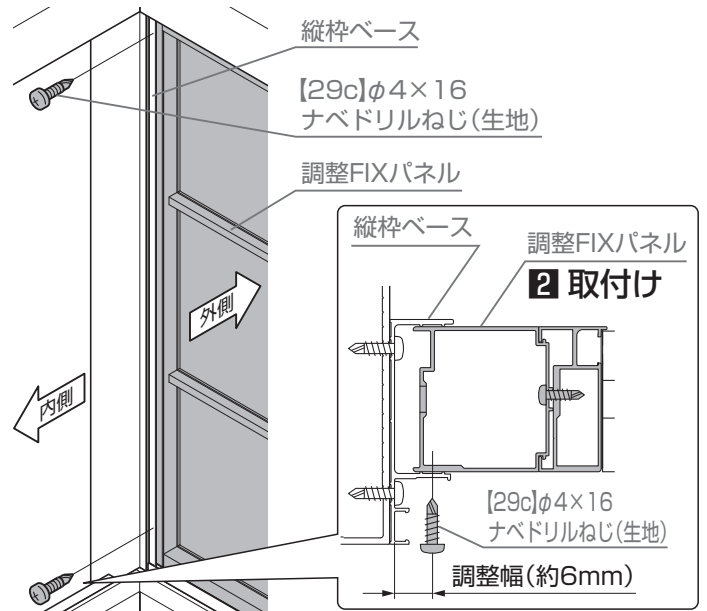
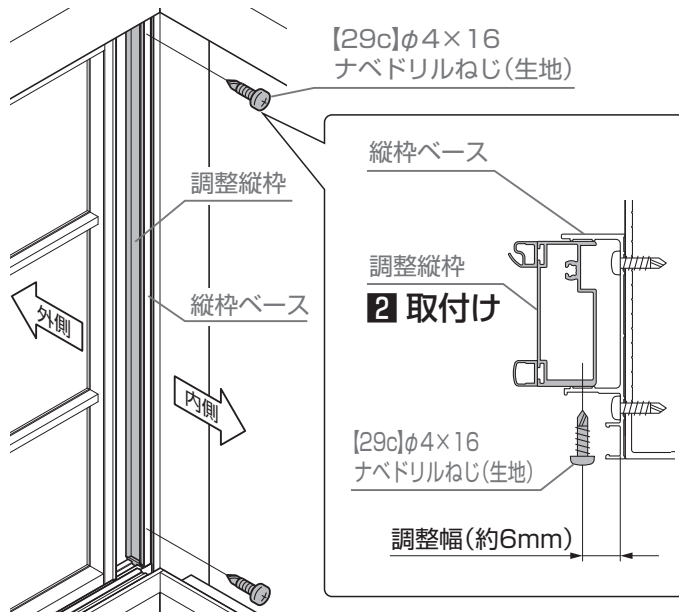
お願い

- 折戸を閉めた際に折戸と折戸の間がないことを確認してから、調整縦枠を固定してください。



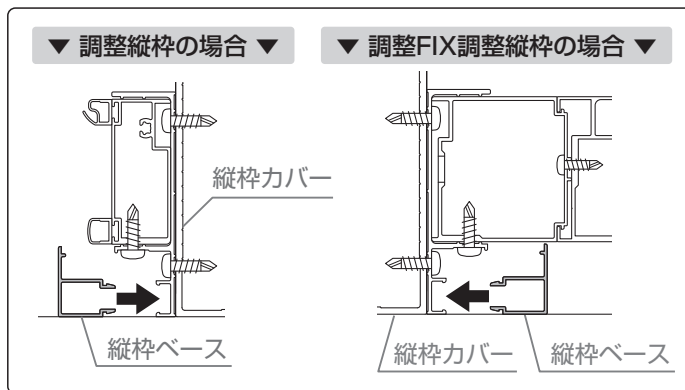
2: 調整縦枠を縦枠ベースに【29c】で取付け

▼ 調整FIX調整縦枠の場合 ▼



5-19-2 縦枠カバーの取付け

1: 縦枠カバー基本用を縦枠ベースにはめ込む



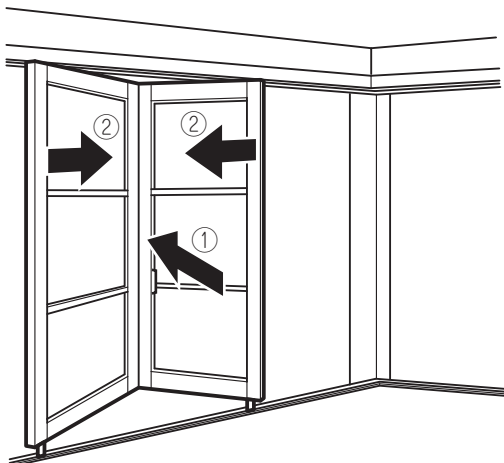
5-20 折戸 折戸の動作確認

■折戸パネルの開閉動作の確認

- 折戸パネルを開閉させ、がたつき等なく正しく動作することを確認してください。

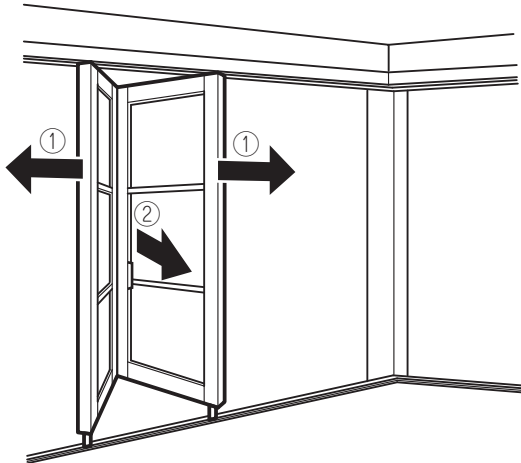
▼パネルのたたみ方▼

- 折戸パネルの中間部を押し、両端部を持って引き寄せる。



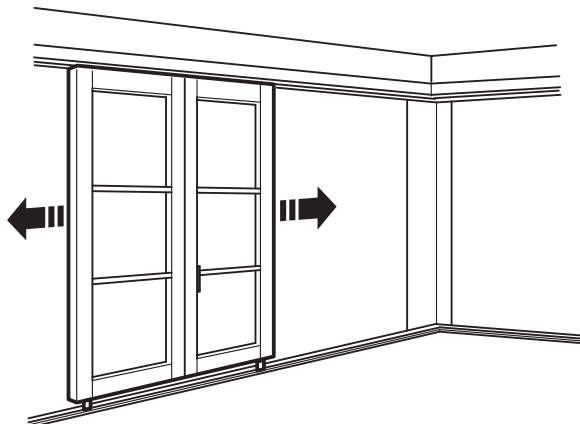
▼パネルの開き方▼

- 折戸パネルの両端を持って左右に引き、取っ手を持って引き寄せる。



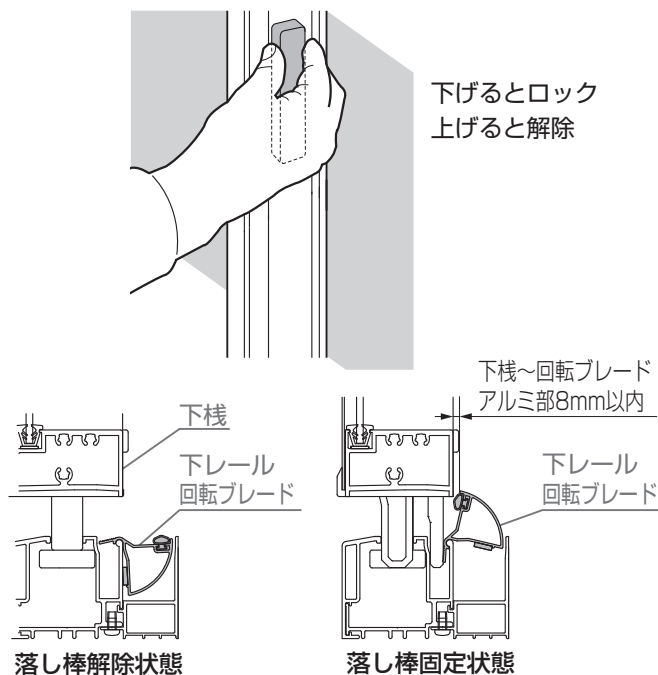
■折戸パネルの移動動作の確認

- 折戸パネルを開いた状態で両端部を持ちながらスライド移動させ、スムーズに動くことを確認してください。



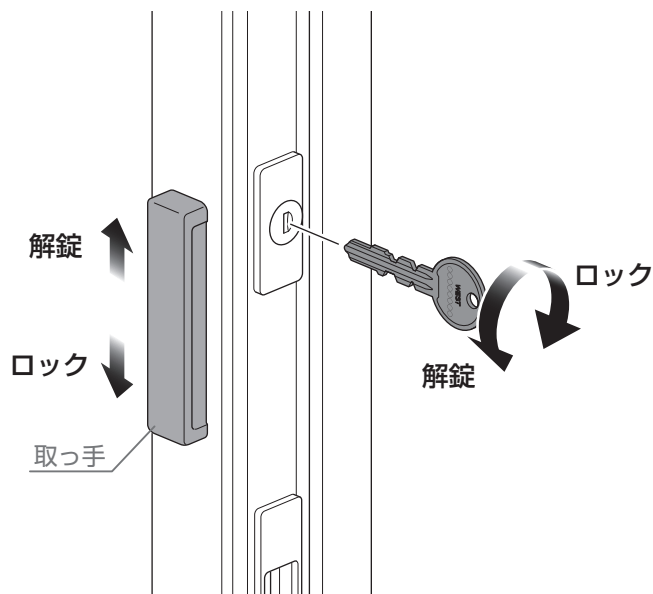
■落とし棒・回転ブレードの動作確認

- 折戸パネルの落とし棒を操作し、下レール回転ブレードが正しく動作することを確認してください。



■外鍵の動作確認

- 外鍵を操作して、ロックが掛かることを確認してください。

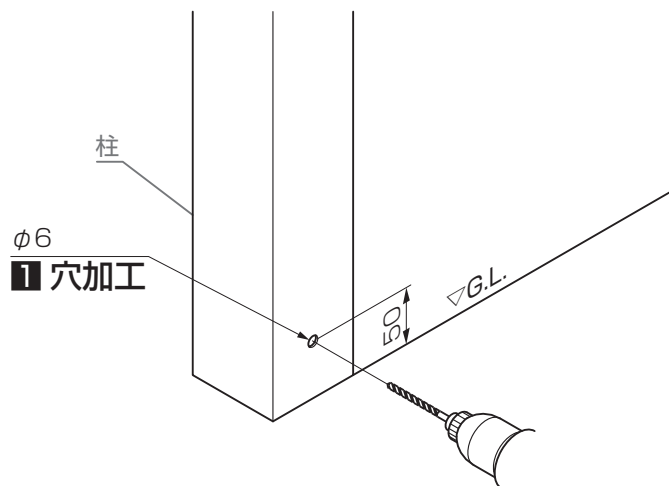


🔑 お願い

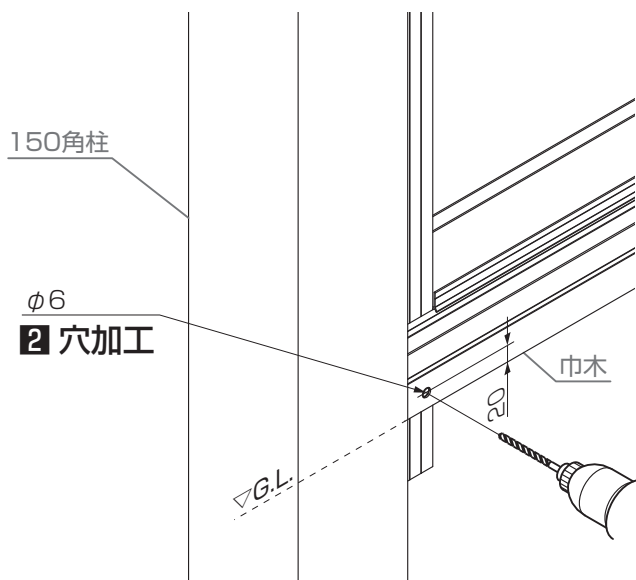
- 外錠用キー(3本)は最終的にお施主様へお渡しください。

5-21 水抜き穴の加工

1: 柱にφ6の水抜き穴加工



2: Gウォールの中木へφ6の水抜き穴加工



メモ

A series of horizontal dotted lines for taking notes.

